

中山間地域活性化高川第2・第3住宅新築工事

意 匠 図									構 造 図		
A-01	木造特記仕様書（1）	—	A-26	第2住宅 2階展開図	1/50	A-51	部分詳細図（1）	1/5、10	B1-01	木造軸組接合部標準図（1）	—
A-02	木造特記仕様書（2）	—	A-27	第2住宅 天井伏図	1/100	A-52	部分詳細図（2）	1/50、30、10	B1-02	木造軸組接合部標準図（2）	—
A-03	木造特記仕様書（3）	—	A-28	第2住宅 建具配置図	1/100	A-53	外構図	1/200、50、30、10	B1-03	地盤調査結果	1/200
A-04	木造特記仕様書（4）	—	A-29	第2住宅 鋼製建具表	1/50	A-54	現況図兼仮設計画図	1/200	B2-01	第2住宅 地盤改良杭伏図	1/50
A-05	木造特記仕様書（5）	—	A-30	第2住宅 木製建具表・ユニット図	1/50				B2-02	第2住宅 基礎伏図	1/50
A-06	木造特記仕様書（6）	—	A-31	第2住宅 法チェック図	—				B2-03	第2住宅 基礎詳細図	1/20
A-07	木造特記仕様書（7）	—	A-32	第3住宅 敷地求積図	1/100				B2-04	第2住宅 1階床伏図・2階床1階小屋梁伏図	1/60
A-08	木造特記仕様書（8）	—	A-33	第3住宅 求積図	1/100				B2-05	第2住宅 1階母屋伏図・2階小屋伏図	1/60
A-09	木造特記仕様書（9）	—	A-34	第3住宅 仕上表	—				B2-06	第2住宅 2階母屋伏図	1/60
A-10	工事区分表	—	A-35	第3住宅 平面図・屋根伏図	1/100				B2-07	第2住宅 耐力壁配置図	1/80
A-11	付近見取図・配置図	1/200	A-36	第3住宅 立面図	1/100				B2-08	第2住宅 軸組図（1）	1/100
A-12	第2住宅 敷地求積図	1/100	A-37	第3住宅 断面図	1/100				B2-09	第2住宅 軸組図（2）	1/100
A-13	第2住宅 求積図	1/100	A-38	第3住宅 断面詳細図（1）	1/30				B3-01	第3住宅 地盤改良杭伏図	1/50
A-14	第2住宅 仕上表	—	A-39	第3住宅 断面詳細図（2）	1/30				B3-02	第3住宅 基礎伏図	1/50
A-15	第2住宅 平面図・屋根伏図	1/100	A-40	第3住宅 断面詳細図（3）	1/30				B3-03	第3住宅 基礎詳細図	1/20
A-16	第2住宅 立面図	1/100	A-41	第3住宅 1階平面詳細図	1/50				B3-04	第3住宅 1階床伏図	1/60
A-17	第2住宅 断面図	1/100	A-42	第3住宅 2階平面詳細図	1/50				B3-05	第3住宅 2階床梁伏図・1階母屋伏図	1/60
A-18	第2住宅 断面詳細図（1）	1/30	A-43	第3住宅 1階展開図（1）	1/50				B3-06	第3住宅 2階小屋梁伏図	1/60
A-19	第2住宅 断面詳細図（2）	1/30	A-44	第3住宅 1階展開図（2）	1/50				B3-07	第3住宅 2階母屋伏図	1/60
A-20	第2住宅 断面詳細図（3）	1/30	A-45	第3住宅 2階展開図	1/50				B3-08	第3住宅 耐力壁配置図	1/100
A-21	第2住宅 断面詳細図（4）	1/30	A-46	第3住宅 天井伏図	1/100				B3-09	第3住宅 軸組図（1）	1/100
A-22	第2住宅 1階平面詳細図	1/50	A-47	第3住宅 建具配置図	1/100				B3-10	第3住宅 軸組図（2）	1/100
A-23	第2住宅 2階平面詳細図	1/50	A-48	第3住宅 鋼製建具表	1/50						
A-24	第2住宅 1階展開図（1）	1/50	A-49	第3住宅 木製建具表・ユニット図	1/50						
A-25	第2住宅 1階展開図（2）	1/50	A-50	第3住宅 法チェック図	—						

中山間地域活性化高川第2・第3住宅新築工事

特記仕様書

2025.10

I 工事概要

1. 工事場所

高知市土佐山高川1535番地3、1538番地

2. 工事種目

【第2住宅】

木造2階建て

延べ面積155.66㎡

【第3住宅】

木造2階建て

延べ面積211.16㎡

3. 関連工事等

電気設備工事 機械設備工事

4. 概成工期

完成期限の(7)日前 (令和 年 月 日)

《1.2.1》

II 建築工事仕様

1. 特記仕様

1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。○印のつかない場合は、※印の付いたものを適用する。

○印と㊟印の付いた場合は、共に適用する。

3) 特記事項に記載の《 》内表示番号は、「公共建築木造工事標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。《 》内表示番号は、「公共建築工事標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

2. 適用基準等

図面及び特記事項に記載されていない事項は、全て国土交通省(建設)大臣官房官庁営繕部監修の以下による。

※公共建築木造工事標準仕様書 (令和4年版)

※公共建築工事標準仕様書(建築工事編) (令和4年版)

・公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) (令和4年版)

※建築工事標準詳細図 (令和4年版)

・敷地調査共通仕様書 (令和4年版)

・建築物解体工事共通仕様書 (令和4年版)

3. 「週休2日制工事」の実施について

※対象 (○ 選択Ⅰ型 ・ 選択Ⅱ型)

本工事は、工事着手日から工事完成日までの間の土曜日及び日曜日を現場の休工日の基本とする「週休2日制工事」の対象工事である。実施にあたっては高知市「週休2日制工事」実施要領(営繕工事編)による。

(https://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/123/syukyuhutsuka.html)

・対象外(理由:)

4. 「猛暑による作業不能日数」の実施について

※対象 ・見込んでいない(理由: ※過去のWBGt値に基づき算定した日数が0日のため)

・対象外(理由: ・見込んでいる(作業不能日数: ※現場説明書による)

5. 「中東情勢の変化等による建設資材の流通状況を踏まえた設計変更」について

※適用する(現場説明書による) ・適用しない

項目

特記事項

一般共通事項

① 工事実績情報サービス(CORINS)への登録(請負金額500万円以上)(受注、変更、完成時)

登録の手続きについては、(一財)日本建設情報総合センターの「建設実績情報のコリンズ《1.1.4》」テクリス登録等に関する規約」による。

② 総合工程表

原則、工事の着手に先立ち、別契約関連工事の受注者と協議し、受注者及び別契約関連工事の受注者連名による総合工程表を監督職員に提出する。

③ 総合図

工事の施工に先立ち別契約関連工事の受注者と調整のうえ、総合図を作成し、監督職員の《1.2.3》承諾を受ける。

④ 工事日誌

週ごとに工事の全般的な経過及び次週の工事予定を記載した日誌を監督職員に提出する。《1.2.4》また、工事の経過が明確にわかる写真を貼付すること。

⑤ 工事写真

工事写真は1版程度とし、工事の内容、日付等必要事項を記入し1部提出する。(A4版台紙)《1.2.4》撮影方法は、「営繕工事写真撮影要領(令和5年版)」による。デジタル工事写真の小黑板情報電子化の実施をする場合は、監督職員の承諾を受ける。なお、実施については、国技建管第14号(令和5年3月1日付)「デジタル工事写真の小黑板情報電子化について」による。

⑥ 下請負者の報告

各下請負者については下請負契約前に監督職員に報告する。

7 電気保安技術者

適用する。《1.3.3》

⑧ 施工条件

施工日及び施工時間 ※1.3.5(1)(7)による。《1.3.5》

工事用車両の駐車場所及び資機材の置場所 ※ 仮囲内 ・ 図示 《1.3.5》

⑨ 交通誘導警備員

交通誘導警備員を配置する場合は、原則として警備業法(昭和47年法律第117号)第4条による認定を受けた警備業者の警備員を配置することとし、建設作業員等の他職種の者を従事させないこととする。ただし、一時的な作業等で、安全確保に対処できると監督職員が認めたものについては、この限りでないものとする。

配置人員等 ○ 作業日は 2 名常駐する。その他監督職員と協議し、適宜配置する。

配置人員の資格

・1名以上／1班は交通誘導警備業務に係る検定合格者(1級又は2級)を配置する工事。

※交通誘導に關し、1名以上／1班は専門的な知識及び技能を有する警備員等を配置する工事。

資格要件

1、2級交通誘導警備検定合格者

交通誘導警備に關して、公安委員会が学科及び実施試験を行い、専門的な知識及び技能を有すると認めたもの(交通誘導警備員A)

警備業法における指定講習を受講したもの警備業法における基本的基礎教育及び業務別教育(警備業法第2条第1項第2号の警備業務)を現に受けているもので、交通誘導に關する警備業務に従事した期間(実務経験年数)が1年以上であるもの

240人

なお、事前に監督職員に検定合格証の写し等の資格要件の確認できる資料を提出する。また、警備員等に変更が生じた場合は、速やかに監督職員に同様の資料を提出する。

⑩ 工事安全計画書

建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に、工事安全計画書を監督職員に提出する。

⑪ 統括安全衛生管理義務者の指名

労働安全衛生法第30条第2項に基づき指名をする。《1.3.7》

⑫ 発生材の処理

産業廃棄物の運搬、処分等については、(1.3.11)により適切に処分するものとし、事前に監督職員に処理計画書を提出する。産業廃棄物の運搬、あるいは処分を他業者に委託する場合は、書面による委託契約を行い、処理計画書にその写しを添付する。自己処分場で処分する場合は、その処分場が関係法令の規定に適合する旨の資料を提出し、監督職員の現地立会を受けたうえで承諾を得る。(積替・保管についても同様とする)産業廃棄物の収集、運搬に当たっては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律(以下廃棄物処理法という)施行令に基づく車両への表示及び書面の備え付けを行うこと。また、産業廃棄物を搬出する車両について、処分場ごとに1台のみ写真撮影(現場搬出時及び処分場到着時)し、随時監督職員に報告する。《1.3.11》

項目

特記事項

⑬ 再生資源利用(促進)

計画書及び実施書の提出(請負金額100万円以上)

⑭ 工事の保険

⑮ 契約保証

⑯ 前払金支出割合区分補正

⑰ 証明書(の提出)

(グリーン購入法)

⑱ 技能士及び技能資格者

⑲ 化学物質の室内濃度の測定

化学物質の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、《1.5.9》報告書を監督職員に提出する。ただし、完成検査前に報告書の提出が困難な場合は、事前に信頼のおける速報等の資料を監督職員に提出する。この場合、後日に正式な報告書を速やかに監督職員に提出しなければならない。測定する業者の選定にあたっては、あらかじめ監督職員に報告すること。

測定方法

※厚生労働省「室内空気中化学物質の室内濃度指針値及び標準的測定方法について」による。

測定対象化学物質

※ホルムアルデヒド ※トルエン ※キシレン ※エチルベンゼン

※スチレン ※パラジクロロベンゼン

測定箇所 (5)箇所 ※測定時期 ※完成前 ・着手前

測定対象者 (監督職員との協議による)

なお、測定結果が厚生労働省の定める指針値を超えている場合は、原則として本工事の引き渡しを行わないこととする。ただし、次のいずれかに該当する場合は除く

1 何らかの対策が施された結果、揮発性有機化合物の濃度が厚生労働省の定める指針値以下となったことが確認された場合。

2 濃度測定の結果が、本工事の施工により生じたものでないことが明確である場合。

3 濃度測定が、使用開始後(備品の搬入等を含む)に行われた場合。

本工事の引き渡し後、あるいは、使用開始後に室内の揮発性有機化合物(VOC)の濃度測定が行われ、測定結果が厚生労働省の指針値を超えている場合については、受注者は、工事引き渡し後であっても、その原因究明に当たって協力しなければならない。

また、本工事の施工が原因となって、化学物質の濃度が厚生労働省の定める指針値を超えたものであることが判明した場合は、受注者の負担により、その対策を講じなければならない。

内部養生に合板又は構造用パネルを使用する場合、その合板または構造用パネルのホルムアルデヒド放散量はF☆☆☆☆、又はそれと同等と認められる製品を使用する。

本工事に使用する材料等のうち、特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。(記載順序は不同)また、「評価名簿による」と特記されたものについては、(一社)公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿」によるもの、又は評価の内容についてこれらと同等と認められるものとする。ただし、同等とする場合は、監督職員の承諾を受ける。

⑳ 直接仮設の養生

㉑ 建築材料等

㉒ 仮設工事

① 足場その他

本足場を設ける場合は、(2.2.4(2))によるほか、足場の組立、解体、変更の作業は、《2.2.4》「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」により行うこと。

② 監督職員事務所

・設ける ※設けない 《2.3.1》

3 監督職員の備品等

備品等の設置 《2.3.1》

備品の種類	机・椅子	書棚	黒板	PC	掛時計
数 量	組	台	枚	台	個
備品の種類	温度計	ゴム長靴	雨がっぱ	保護帽	懐中電灯
数 量	個	足	着	個	個
備品の種類	衣類ロッカー	冷暖房機器	消火器	湯沸器	加入電話付属器
数 量	人用	台	個	台	台
備品の種類	掃除具				
数 量	個				

② 特別な材料の工法

③ 風圧力

本工事に使用する材料及び工法は、建築基準法に基づき定まる風圧力に対応したものとし、速度圧を求める場合の風速(Vo)及び地表面粗土区分は、次の数値とする。

風速(Vo): ※ 38m/sec ○ 36m/sec 地表面粗土区分: ※ Ⅲ ・

④ 仕上面の出隅処理

内外部とも仕上出隅で利用者の手の届く範囲は、図示が無くとも原則として全て面取りを施す。

木部(家具を含む) 6mm程度

コンクリート・モルタル部 20mm程度

鉄部、金属部 3mm程度

建具類等、上記により難い場合は、監督職員と協議する。

⑤ 事業損失補償

⑥ 完成時の提出図書

○完成図(作成範囲 ○配置図 ○平面図 ○立面図 ○断面図 ○仕上表) 《1.7.1》《1.7.2》

○完成図(CADデータの提出 ※する(CD-R等) ・しない) ※する(CD-R等) ・しない 《1.7.3》

○保全に関する資料(提出部数 ※2部 ・部) 《1.7.3》

上記のほか、使用材料のメーカー名、品番、色(マンセル値等)をCADデータ等で監督職員に提出する。また、工種別下請負者の一覧表を提出する。《1.7.2》

○施工図、施工計画書 提出した施工図及び施工計画書の著作に係る当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。《1.7.2》

下表のものを監督職員に提出する。

位 置	分類・規格	撮影枚数	部 数
○ 各室	手札版(L版)	※2枚 ・ 枚	※1部 ・ 部
○ 外部	キャビネ版	※4枚 ・ 枚	※1部 ・ 部
・ 外部	半切パネル(・木製枠※アルミ枠)	※1枚 ・ 枚	※1部 ・ 部
・	スライド		※1部 ・ 部

カラー・電子データ化(CD-R等)し、すべて提出する。

撮影箇所は監督職員と協議する。

上表のほか、監督職員指示の箇所をデジタルカメラにて撮影し、CD-R等にて提出する。

画像形式等 フォーマット: JPEG 画質: 標準 画像サイズ: 1024×768ピクセル程度

⑦ 完成写真

⑧ 別途設備工事との取合い

⑨ 不当要求等への対応

30 消防計画

工事の着手にあたり、火災等の災害の予防や、使用部分と工事中の部分の安全を確保するため、別契約の関連工事業者と協議の上、「工事中の消防計画書」を作成し、当該施設の防火管理者の承諾を得て届出を行う。

⑩ 工事特性等

受注者は、自ら立案した工事特性、創意工夫、社会性等のそれぞれの評価項目について、実施しようとする場合は、事前に計画内容を所定の様式で監督職員に提出する。また、実施後、工事完成時までに所定の様式に実施状況の分かる図面や状況写真等を添付して監督職員に提出する。

⑪ 住宅瑕疵担保責任保険

工事請負契約後、速やかに保険を締結すること。

仮設工事

① 足場その他

本足場を設ける場合は、(2.2.4(2))によるほか、足場の組立、解体、変更の作業は、《2.2.4》「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」により行うこと。

② 監督職員事務所

・設ける ※設けない 《2.3.1》

3 監督職員の備品等

備品等の設置 《2.3.1》

備品の種類	机・椅子	書棚	黒板	PC	掛時計
数 量	組	台	枚	台	個
備品の種類	温度計	ゴム長靴	雨がっぱ	保護帽	懐中電灯
数 量	個	足	着	個	個
備品の種類	衣類ロッカー	冷暖房機器	消火器	湯沸器	加入電話付属器
数 量	人用	台	個	台	台
備品の種類	掃除具				
数 量	個				

工事名

中山間地域活性化高川第2・第3住宅新築工事

係 係長 課長補佐 課長 図面番号

図面名 木造特記仕様書(1) 2024.04 縮尺 1 / 作図 年 月 日 A - 01

高知市 都市建設部 公共建築課

松本琢史建築設計事務所
TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates
一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史

項 目		特 記 事 項		項 目		特 記 事 項		項 目		特 記 事 項	
④	工事用水・電力	構内既存の施設(用水) ・利用できる (※ 有償 ・ 無償) ※ 利用できない 構内既存の施設(電力) ・利用できる (※ 有償 ・ 無償) ※ 利用できない		5	鋼杭地業	材料 (4.4.3)(表4.4.1) ・鋼管ぐい 種類の記号(・ SKK400 ・ SKK490) ・ H形鋼ぐい 種類の記号(・ SHK400 ・ SHK490M) 寸法 ※ 図示 ・ 工法 特定埋込杭工法(建築基準法認定工法) (4.3.3)(4.3.5) 支持層の位置及び土質： ※ 図示 ・ 杭の根入れ長さ： ※ 図示 ・ 杭の精度： 水平方向の位置ずれの精度 ・ 杭径の1/4かつ100mm以内 ・ 傾斜 1/100以内 ・ 杭の継手の工法 ※ 図示 ・ (4.4.5) ・ 杭頭処理 杭頭の切断方法 ※ ガス切断 ・ 図示 (4.4.6)		6	圧接完了後の試験	試験方法 ※ 超音波探傷試験 ・ 引張試験 (5.4.10)	
		7	機械式継手			平成12年建設省告示第1463号に適合する性能 (5.5.3) ・ A級 (5.5.3) 鉄筋相互のあき ・ 図示 (5.5.3) 施工完了後の継手部の試験 ・ 図示 (5.5.5) ・ 外観試験 試験項目、試験方法 ※ 図示 ・ 超音波探傷試験 試験対象 ※ 図示 不合格となった場合の措置 ※ 図示 (5.5.5)					
		8				溶接継手	平成12年建設省告示第1463号に適合する性能 (5.6.3) ・ A級 (5.6.3) 鉄筋相互のあき ・ 図示 (5.6.3) 施工完了後の継手部の試験 ・ 図示 (5.6.5) ・ 外観試験 試験項目、試験方法 ※ 図示 ・ 超音波探傷試験 試験対象 ※ 図示 不合格となった場合の措置 ※ 図示 (5.6.5)				
⑤	仮囲い	※ 図示 ・							コンクリート工事		
⑥	仮設物撤去後の 整地・跡片付け	※ 原形の復旧 ・ 良土にて設計地盤まで盛土整地する。 範囲(図示) 厚さ () 《2.4.1》		6	場所打ち コンクリート杭地業	掘削工法 ・ アースドリル工法 (安定液 ※ 使用する ・ 使用しない) (4.5.1)(4.5.5) ・ リバース工法 ・ オールケーシング工法(孔内の水張り ・ 行う ・ 行わない) 併用する工法・場所打ち鋼管コンクリート杭工法 (4.5.1)(4.5.6) ・ 拉底杭工法 (安定液 ・ 使用する ・ 使用しない) 帯筋の加工及び組立て： ※ 図示 (4.5.4) 鉄筋の最小かぶり厚さ ・ 100mm ・ 図示 (4.5.4) 鉄筋かごの補強 ※ 図示 ・ (4.5.4) 鉄筋の節ごとの継手 ※ 重ね継手 ・ (4.5.4) セメントの種類 ※ 高炉セメントB種 ・ (4.5.4) コンクリートの設計基準強度(Fc) ※ 図示 ・ (4.5.4) コンクリートの種別 ※ 表4.5.1による ・ (4.5.4) スランブ ※ 18cm ・ (4.5.4) 構造体強度補正值(S) ※ 3N/mm2 ・ (4.5.4) 鋼管(鋼管部分の材料) ※ 図示 (4.5.4) 支持層の位置及び土質： ※ 図示 ・ (4.5.4～4.5.5) 孔壁の確認 ・ 行う(超音波測定器による) ・ 行わない (4.5.4～4.5.5) 杭の精度： 水平方向の位置ずれ ・ 杭径の1/4かつ100mm以下 ・ 傾斜 1/100以内 ・		①		コンクリートの種類・強度・スランブ (6.2.1～6.2.2)(6.2.4)(表6.2.2) 設計基準強度 Fc(N/mm2) スランブ (cm) 適用箇所 ⊗ 21 ・ 15 ⊙ 18 フェンス基礎 ・ 18 ・ 15 ・ 18 ⊙ 24 ・ 15 ⊙ 18 基礎、スラブ ・ 軽量コンクリート 設計基準強度 Fc(N/mm2) スランブ (cm) 適用箇所 ※ 21 ・ 15 ・ 18 ・ 18 ・ 15 ・ 18 ・ コンクリートの類別 ※ I類 ・ II類 (6.2.1)(表6.2.1) ※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 (6.3.1)(6.13.2) ・ 高炉セメントB種 (適用箇所：) ・ フライアッシュセメントB種(適用箇所：) ・ アルカリシリカ反応性による区分 ※ A ・ B (6.3.1) ⊙ 混和剤 ※ A E 剤又は A E 減水剤標準形 (JIS A 6204) (6.3.1) ・ 高性能 A E 減水剤標準形 (JIS A 6204) ・ 混和材 ・ フライアッシュ (・ I 種 ・ II 種 ・ IV 種) (JIS A 6201) ・ コンクリート用高炉スラグ微粉末 (JIS A 6206) ・ コンクリート用シリカフューム (JIS A 6207) ・ コンクリート用膨張材 (JIS A 6202) 構造体強度補正值 (S) ※ 表6.3.2による ・ (6.3.2) 打継ぎ目地及びひび割れ誘発目地 ※ 9.7.3(1)(7)による ・ (6.6.4)(9.7.3) ひび割れ誘発目地の位置 ※ 図示 ・ (6.8.1) ひび割れ誘発目地の形状及び寸法※ 9.7.3(1)(7)による ・ (6.8.1)(9.7.3) 打増し厚さ 外部に面するコンクリートの打増し厚さ(mm) (6.8.1) 外壁 ※ 図示 ⊙ 20 ・ 25 ・ 軒天 ※ 図示 ・ 10 ・ 15 ・ 20 その他 ※ 図示 ・ 20 コンクリートの打放し仕上げ ※ 合板せき板を用いる場合 (6.2.5)(6.8.2)(表6.2.4) 種 別 厚さ(mm) 施工箇所 ⊙ A 種 ※ 12 ・ 見え掛かり部 ・ B 種 ※ 12 ・ ・ C 種 ※ 12 ・ ・ せき板の材料として合板を用いない場合 材料 () 厚さ () 適用部位 ※ 下表 ・ 図示 (6.2.5)(表6.2.5)(15.4.2) 種別 コンクリートの内外装仕上げ 平たんさ 適用部位による仕上げの目安 a 種 コンクリートが見え掛りとなる場合又は仕上げ厚さが極めて薄い場合その他非常に良好な平たんさ及び良好な表面状態が必要な場合 3mにつき7mm以下 化粧打放しコンクリート塗装仕上げ 壁紙張り 床コンクリート直均し仕上げ フライアッシュ(置敷式) 合成樹脂塗床 ビニル系床材張り 床コンクリート直均し仕上げ フライアッシュ(置敷式) b 種 仕上げ厚さが7mm未満の場合その他良好な平たんさが必要な場合 3mにつき10mm以下 仕上塗材塗り 外装タイルモザイク張り カーペット張り 防水下地 セルフレバシク材塗り c 種 仕上げ厚さが7mm以上の場合又は下地の影響を受けにくい仕上げの場合 1mにつき10mm以下 セメントモザイクによる陶磁器質タイル張り タイル張り モザイク塗り 二重床 胴縁下地 ※ 下記の通り ・ 図示 (6.8.2)(表6.8.1) (i) 外壁の地中部分等水密を要する部分に用いるスリーブは、つば付き鋼管とする。 (ii) 地中部分で水密を要しない部分に用いるスリーブは、硬質ポリ塩化ビニル管とする。 (iii) (i)及び(ii)以外の円形スリーブは、溶融亜鉛めっき鋼板とし、原則として、筒形の両端を外側に折り曲げてつばを設ける。また、必要に応じて、円筒部を両方から差し込む伸縮形とする。 (iv) 硬質ポリ塩化ビニル管は、防火区画を貫通する場合には使用しない。 なお、柱及び梁以外の箇所、開口補強が不要であり、かつ、スリーブ径が 200mm 以下の部分は、紙チューブとすることができる。 評価名簿による (6.8.3) 使 用 箇 所 厚 さ 備 考 ・ ・ ・	
⑦	砂利及び砂地業	材料 (4.6.2) 砂利地業 ※ 切込砂利又は切込砕石 ※ 再生クラッシュラン(直接基礎下を除く) 砂地業 ・ 山砂 ・ 川砂又は砕砂 厚さ ⊙ 図示 ※ 60mm ・ (4.6.3) コンクリートの種類 ※ 普通コンクリート ・ (6.14.1) 設計基準強度(Fc) ※ 18N/mm2 ・ 18cm スランブ ※ 15cm ・ (4.6.4) 厚さ ※ 50mm ・				②	セメントの種類				
⑧	捨コンクリート地業	コンクリートの種類 ※ 普通コンクリート ・ (6.14.1) 設計基準強度(Fc) ※ 18N/mm2 ・ 18cm スランブ ※ 15cm ・ (4.6.4) 厚さ ※ 50mm ・				③		骨材			
⑨	床下防湿層	施工範囲 ※ 建物内土間スラブ及び土間コンクリートの直下(ピット下を除く) (4.6.5) (断熱材がある場合は、断熱材の直下) ・ 図示 ⊙ ポリエチレンフィルムの厚さ ※ 0.15mm ・ ⊙ 機械攪拌式深層混合処理工法(仕様、工法等は図示)		④	混和材料						
⑩	地盤改良			⑤		構造体強度補正值 (S)					
鉄筋工事				⑥	打継ぎ目地及びひび割れ誘発目地						
①	鉄筋の種類	(5.2.1)(表5.2.1) 種 類 の 記 号 呼 び 名 使 用 箇 所 ⊙ SD295 D10、D13 すべて ・ SD345 ・ SD390 ・ SD490		⑦		打増し厚さ					
②	溶接金網等	規格 ※ JIS G 3551 (5.2.2) 種類 ⊙ 溶接金網 ・ 鉄筋格子 鉄線の形状、網目寸法 (100×100) 鉄線の径(mm) (φ6) 継手 (5.3.4)(表5.3.2～表5.3.3) 部 位 継 手 方 法 呼び名 柱・梁の主筋 ※ ガス圧継手 ⊙ 重ね継手 ・ 機械式継手 ・ 溶接継手 D10、D13 耐力壁の鉄筋 ※ 重ね継手 ・ その他 ※ 重ね継手 ・ 継手の位置 ※ 図示 ⊙ 配筋標準図による (5.3.4) 先組み工法等で柱、梁の主筋の隣り合う継手を同一箇所設ける場合 ※ 図示 ・ (表5.3.2)(5.3.4(3)) 重ね継手の長さ ※ 図示 ⊙ 5.3.4(3)による (表5.3.4)(5.3.4(5)) 鉄筋の定着の長さ ※ 表5.3.4による ・ 機械式定着工法 ・ 適用する 適用箇所、種類 ※ 図示 ※ 表5.3.6による ・ (表5.3.6)(5.3.5) ※ かぶり厚さは目地底から算定する。 ※ 塩害を受けるおそれのある部分等、耐久性上不利な箇所の最小かぶり厚さは下表による。 (5.3.5) 施 工 箇 所 等 表5.3.6の値に加える数値(mm) 柱、梁、壁及び庇等の外気に接する打増し面 ※ 10 ・ ・ 軽量コンクリートで土に接する部分の最小かぶり厚さ (5.3.5) 表5.3.6の値に加える数値(mm) () ・ 機械式継手及び溶接継手の場合の鉄筋相互のあき ※ 図示 (5.3.5) ※ 図示 ・ (5.3.7)		⑧	構造体コンクリートの仕上り						
③	鉄筋の継手及び定着			⑨		コンクリートの仕上りの平たんさ					
④	鉄筋のかぶり厚さ			⑩	スリーブの材種、規格等						
⑤	各部の配筋			11		床型枠用鋼製デッキプレート					
土工事											
①	埋戻し及び盛土	種別 ⊙ A種(水締めのみく砂質土) (3.2.3)(表3.2.1) ※ B種 ・ C種 ・ D種									
②	建設発生土の処理	※ 構外搬出適切処理(搬出前に建設発生土の受入証明又は法令による許可書等を提出する) (3.2.5) ・ 構外指示の場所に処分(搬出調書等を提出する) ・ 受入れ施設名： ・ 受入れ場所： ⊙ 構内指示の場所に敷き均し ・ 構内指示の場所にたい積 500m3以上を構外搬出適切処理する場合は確認結果表を作成し、再生資源利用計画の添付資料とする。 (https://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/123/kensetuhasseido-nannsyutusaki.html)									
3	山留め	山留め工法 ・ 山留めの撤去 ※ 撤去する ・ 存置する (3.3.3)									
地業工事											
1	試験杭	位置、本数、寸法 ※ 図示 ・ (4.2.2) 杭の種類 ※ 本杭 ・									
2	杭の載荷試験	試験の種類 ・ 鉛直載荷試験 ・ 水平載荷試験 (4.2.3) 試験位置 ()箇所 ※ 図示 ・ 試験深さ ・ 設計G Lより()m 試験対象土質 ・ 最大荷重 ・ ()t 試験の方法及び報告書の記載事項 ※ 図示 ・									
3	地盤の載荷試験	試験の種類 ※ 平板載荷試験 ・ (4.2.4) 試験位置 ()箇所 ※ 図示 ・ 試験深さ ・ 設計G Lより()m 試験対象土質 ・ 最大荷重 ・ ()t 試験の方法及び報告書の記載事項 ※ 図示 ・									
4	既製コンクリート杭地業	杭の種類 ※ 遠心力高強度プレストレストコンクリート杭(PHC杭) (4.3.3) ・ 外殻鋼管付きコンクリート杭(SC杭) ・ プレストレスト鉄筋コンクリート杭(PRC杭) ・ 種類、性能、曲げ強度等による区分等 ※ 図示 ・ 寸法及び継手の箇所数 ※ 図示 ・ (4.3.3) 杭先端部の形状 ・ 開放形 ・ 半開放形 ・ 閉塞形 ※ 図示 (4.3.3) 工法 ・ セメントミルク工法 (4.3.4) 支持層の位置及び土質： ※ 図示 ・ 掘削深さ及び杭の支持層への根入れ深さ： ※ 図示 ・ 杭の精度： 水平方向の位置ずれ寸法 ・ 杭径の1/4かつ100mm以内 ・ 傾斜 1/100以内 ・ ・ 特定埋込杭工法(建築基準法認定工法) (4.3.3)(4.3.5) 工法： 支持層の位置及び土質： ※ 図示 ・ (表5.3.2)(5.3.4(3)) 杭の根入れ長さ： ※ 図示 ・ (表5.3.4)(5.3.4(5)) 杭の精度： 水平方向の位置ずれの精度 ・ 杭径の1/4かつ100mm以内 ・ 傾斜 1/100以内 ・ 杭の継手工法 ※ アーク溶接 (4.3.6) ・ 機械式継手 (工法： ※ 性能評価された工法 ・ ・ 杭頭の処理 杭頭の切断方法 ※ ダイヤモンドカッター ・ (4.3.8)									
				松本琢史建築設計事務所 TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates 一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史		工 事 名 中山間地域活性化高川第2・第3住宅新築工事 図 面 名 木造特記仕様書(2) 2024.04 縮 尺 1 /		係 係 長 課長補佐 課 長 図面番号 A - 02 作 図 年 月 日			

12

軽量コンクリート

(6.10.1)(6.10.2)(表 6.10.1)	
種 類	所要気乾単位容積質量 (t/m3) スランブ 適 用 箇 所
・ 1 種 ・ 2 種	※表6.10.1による ・ ※21 ・ ※図示

13

無筋コンクリート
(捨コンクリートを除く)

コンクリートの種類 ※普通コンクリート ・ 軽量コンクリート (6.14.1)
設計基準強度 Fc(N/mm2) スランブ(cm) 適 用 箇 所
※18 ・ ※15 ・ 18 ※6.14.1(4)による ・ 図示

木造工事

1

複数の構・工法

部位及び工法 ※図示 (4.1.1)

2

耐火構造

木材を用いて耐火構造とする場合の適用 (4.1.6)
・平成12年告示第1399号に基づくもの ・ 国土交通大臣の認定を受けたもの

③

木材の防蟻・防蟻処理

○処理不要樹種 ※4.2.1(1)(7)による (4.2.1)
適用部材 ※図示

・薬剤の加圧注入 ※日本農林規格の保存処理 性能区分 ・ K 2 ※ K 3 ・ K 4
・ A Q 認証保存処理材 ・ 3 種 ※ 2 種 ・ 1 種
・ JIS K 1570又はJIS A 9002
・ インサイジング加工 適用部位 ※図示
処理に使用した使用薬剤、注入量等の証明書を監督職員に提出すること

○薬剤の塗布 ※JIS K 1571またはこれと同等の性能を有するもの
適用部位 ・ 図示 ※土台天端から上部1m以下の部分
処理に使用した薬剤、使用量等の記録を監督職員に提出すること
・薬剤の接着剤への混入 適用部材 ※図示
・合板等の加圧注入 適用部材 ※図示
・断熱材の防蟻・防蟻処理 適用部材・処理の種類 ※図示

④

土壌の防蟻処理

薬剤及び使用量 (4.2.3)
※(公社)日本しろあり対策協会又は(公社)日本木材保存協会の認定工法とし、事前に監督職員に資料を提出すること
・図示

⑤

防蟻措置

床下換気 ※ねこ土台 ・ 換気孔 ・ 図示 (4.2.4)

小屋裏換気位置、大きさ
給気孔 位置 (※図示 ・) 大きさ (※図示 ・)
排気孔 位置 (※図示 ・) 大きさ (※図示 ・)

6

防火被覆の処理

防火被覆材の材料及び厚さ ※図示 (4.3.2)
防火被覆材の留め付け材の種類等 ※図示
防火被覆材の目地等の処理 ※図示
継手及び仕口の接合金物の防火被覆処理 ※図示
防火被覆処理部への二次部材取付部の処理 ※図示

7

燃えしろ層の処理

燃えしろ層の厚さ ※図示 (4.3.3)
柱又は梁を接合する継手及び仕口の接合金物の防火被覆処理 ※図示
接合具にボルト、ドリフトピン等を用いる場合の防火被覆処理 ※図示
燃えしろ層への二次部材取付部の処理 ※図示

8

不燃処理木材等

・不燃材料 (※図示 ・) (4.3.4)
・準不燃材料 (※図示 ・)
・難燃材料 (※図示 ・)

軸組構法(壁構造系)工事

①

製材

目視等級または機械等級区分構造用製材 (JAS 1083-3,4) (5.2.2)

部位	樹種	目視等級	機械等級	含水率	保存処理	材面の美観 作用製材 の基準により 指定する
土台	桧	・ 甲種 ・ 1 級 ・ 乙種 ・ 2 級	・ E90 ※図示	・ 20%以下 ※ 15%以下	・ K 2 ・ K 3 ・ K 4	○特一等
柱、梁、 火打梁、 小屋梁、 小屋束、 母屋	杉	・ 甲種 ・ 1 級 ・ 乙種 ・ 2 級	・ E90 ※図示	・ 20%以下 ※ 15%以下	・ K 2 ・ K 3 ・ K 4	○特一等
筋交、 垂木	杉	○ 甲種 ・ 1 級 ・ 乙種 ○ 2 級	・ E90 ※図示	・ 20%以下 ※ 15%以下	・ K 2 ・ K 3 ・ K 4	○特一等
				・ 20%以下 ※ 15%以下	・ K 2 ・ K 3 ・ K 4	
				・ 20%以下 ※ 15%以下	・ K 2 ・ K 3 ・ K 4	
				・ 20%以下 ※ 15%以下	・ K 2 ・ K 3 ・ K 4	

各部位の寸法は図示とする。

広葉樹製材 (JAS 1083-6) (5.2.2)

部位	樹種	等級	寸法	含水率	保存処理
		・ 特等 ・ 1 等 ・ 2 等	※図示	・ 13%以下 ・ 10%以下	・ K 2 ・ K 3 ・ K 4

基準強度：平成12年告示第1452号第五号に基づくもの
※縦振動ヤング係数測定対象部材 (※梁 ・ 柱 ・ 図示)
測定数 ・ 全数 ※抽出 (抽出方法： ・ JIS Z 2101による ※無作為に10%)

項目

特記事項

2

集成材

集成材の日本農林規格 (5.2.2)

部位	樹種	等級	寸法	含水率	保存処理	備考
		・ 1 級 ・ 2 級	※図示	・ 20%以下 ※ 15%以下	・ K 2 ・ K 3 ・ K 4	
		・ 1 級 ・ 2 級	※図示	・ 20%以下 ※ 15%以下	・ K 2 ・ K 3 ・ K 4	

「製材の日本農林規格」以外の材料を使用する場合は、日本農林規格の品質基準に準じて、部位ごとに指定している要求性能を満たしているものとなっていることを証明する資料を監督職員に提出すること

構造用集成材「集成材の日本農林規格」 (5.2.2)

部位	品名	強度等級	材面の品質	接着性能	樹種	寸法	保存処理
			・ 1 種 ・ 2 種 ・ 3 種	・ A ・ B ・ C		※図示	
			・ 1 種 ・ 2 種 ・ 3 種	・ A ・ B ・ C		※図示	

化粧ばり構造用集成柱「集成材の日本農林規格」 (5.2.2)

部位	樹種 (芯材)	品名	化粧薄板の厚さ	見付け材面	寸法
				・ 1 等 ・ 2 等	※図示
				・ 1 等 ・ 2 等	※図示

「集成材の日本農林規格」以外の材料を使用する場合は、日本農林規格の品質基準に準じて、部位ごとに指定している要求性能を満たしているものとなっていることを証明する資料を監督職員に提出すること

枠組壁工法構造用製材 (JAS 0600) (5.2.2)

施工箇所	品名	樹種	樹種群	寸法型式	等級	含水率	保存処理
	・ 甲種枠組材 ・ 乙種枠組材 ・ MSR枠組材					※ 19%以下	・ K 2 ・ K 3 ・ K 4
	・ 甲種枠組材 ・ 乙種枠組材 ・ MSR枠組材					※ 19%以下	・ K 2 ・ K 3 ・ K 4
	・ 甲種枠組材 ・ 乙種枠組材 ・ MSR枠組材					※ 19%以下	・ K 2 ・ K 3 ・ K 4

「枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材の日本農林規格」以外の材料を使用する場合は、日本農林規格の品質基準に準じて、施工箇所ごとに指定している要求性能を満たしているものとなっていることを証明する資料を監督職員に提出すること

国土交通大臣の基準強度の数値等の指定を受けたMSR枠組材 (5.2.2)
施工箇所： () 含水率： ・ 20%以下 ※ 15%以下

枠組壁工法構造用たて継ぎ材 (JAS 0600) (5.2.2)

施工箇所	品名	樹 種	樹種群	寸法型式	等 級	備 考
	・ 甲種たて継ぎ材 ・ 乙種たて継ぎ材 ・ MSRたて継ぎ材					
	・ 甲種たて継ぎ材 ・ 乙種たて継ぎ材 ・ MSRたて継ぎ材					
	・ 甲種たて継ぎ材 ・ 乙種たて継ぎ材 ・ MSRたて継ぎ材					

「枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材の日本農林規格」以外の材料を使用する場合は、日本農林規格の品質基準に準じて、施工箇所ごとに指定している要求性能を満たしているものとなっていることを証明する資料を監督職員に提出すること

国土交通大臣の基準強度の数値等の指定を受けたたて継ぎ材 (5.2.2)
施工箇所： () 含水率： ・ 20%以下 ※ 15%以下

項目

特記事項

5

構造用単板積層材

構造用単板積層材 (JAS 0701) (5.2.2)

施工箇所	樹種	品名	曲げ性能	寸法	接着性能 (使用環境)	水平せん断 区分	保存処理
				※図示			
				※図示			
				※図示			

「単板積層材の日本農林規格」以外の材料を使用する場合は、日本農林規格の品質基準に準じて、施工箇所ごとに指定している要求性能を満たしているものとなっていることを証明する資料を監督職員に提出すること

丸太材 (皮はぎ材) (5.2.2)

施工箇所	樹 種	寸 法	含 水 率	末 口 径	備 考
			※ 20%以下 ・ 15%以下		

加工前にすべてについて、目視による材の欠点がないことの確認を行い、監督職員に報告書を提出すること。
基準強度：平成12年告示第1452号第五号に基づくもの
・縦振動ヤング係数測定対象部材 ()
測定数 ・ 全数 ※抽出 (抽出方法： ・ JIS Z 2101による ※無作為に10%)

6

丸太材

木質接着成形軸材料
木質複合軸材料
木質断熱複合パネル
木質接着複合パネル

7

木質接着成形軸材料
木質複合軸材料
木質断熱複合パネル
木質接着複合パネル

8

直交集成板

直交集成板 (JAS 3079) (5.2.2)

施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能 (使用環境)	樹種	寸法
				・ A ・ B ・ C		※図示
				・ A ・ B ・ C		※図示

「直交集成板の日本農林規格」以外の材料を使用する場合は、日本農林規格の品質基準に準じて、施工箇所ごとに指定している要求性能を満たしているものとなっていることを証明する資料を監督職員に提出すること

構造用パーティクルボード (JIS A 5908) (5.2.3)

施工箇所	厚さ (mm)	曲げ強さによる区分	表裏面の状態に よる区分	耐水性による区分
		・ S 18	・ S-RN ・ S-RS	・ REG ・ MR 1 ・ MR 2

構造用メディアムデンシティーファイバーボード(構造用MDF) (JIS A 5905) (5.2.3)

施工箇所	厚さ (mm)	曲げ強さによる区分	表裏面の状態に よる区分	接着剤による区分
	9	・ 30タイプ ・ 25タイプ	・ RN ・ RS	・ U ・ M ・ P

構造用合板「合板の日本農林規格」 (5.2.3)

施工箇所	品名	厚さ (mm)	単板の 樹種名	等級	板面の品質	曲げ性能	接着の程度	防虫処理
床	28		※針葉樹	※1級 ・ 2級	※C-D以上		※特類 ・ 1類	・ 行う ※行わない
野地板	15		※針葉樹	※1級 ・ 2級	※C-D以上		※特類 ・ 1類	・ 行う ※行わない

※屋外又は屋内の常時湿潤状態となる場所に使用する接着の程度は特類とする。
「合板の日本農林規格」以外の材料を使用する場合は、日本農林規格の品質基準に準じて、施工箇所ごとに指定している要求性能を満たしているものとなっていることを証明する資料を監督職員に提出すること

化粧ばり構造用合板「合板の日本農林規格」 (5.2.3)

施工箇所	品名	厚さ (mm)	単板の 樹種名	接着の程度	備考
				・ 特類 ・ 1類	
				・ 特類 ・ 1類	

※屋外又は屋内の常時湿潤状態となる場所に使用する接着の程度は特類とする。
「合板の日本農林規格」以外の材料を使用する場合は、日本農林規格の品質基準に準じて、施工箇所ごとに指定している要求性能を満たしているものとなっていることを証明する資料を監督職員に提出すること

構造用パネル (JAS 0360) (5.2.3)

施工箇所	品名	厚さ (mm)	備考

「構造用パネルの日本農林規格」以外の材料を使用する場合は、日本農林規格の品質基準に準じて、施工箇所ごとに指定している要求性能を満たしているものとなっていることを証明する資料を監督職員に提出すること

パーティクルボード (JIS A 5908) (5.2.3)

施工箇所	厚さ (mm)	曲げ強さによる区分	表裏面の状態による区分	耐水性による区分
		・ 18 ・ 13 ・ 8 ・ 24-10 ・ 17.5-10.5 ・ 30-15	・ RN ・ RS ・ VN ・ VS ・ DV ・ DO ・ DC	・ REG ・ MR 1 ・ MR 2

ハードファイバーボード (JIS A 5905) (5.2.3)

施工箇所	厚さ (mm)	油、樹脂などの 特殊処理	曲げ強さによる区分	表面の状態による区分	難燃性による区分
		・ S (無処理) ・ T (処理)	・ S 3 5 ・ S 2 5 ・ S 2 0 ・ T 4 5	・ RN ・ RS ・ DN ・ RS ・ RN ・ RS ・ DE	・ 難燃 2 ・ 難燃 3

項目

特記事項

9

構造用面材

構造用面材 (JAS 0701) (5.2.2)

施工箇所	樹種	品名	曲げ性能	寸法	接着性能 (使用環境)	水平せん断 区分	保存処理
				※図示			
				※図示			
				※図示			

「面材の日本農林規格」以外の材料を使用する場合は、日本農林規格の品質基準に準じて、施工箇所ごとに指定している要求性能を満たしているものとなっていることを証明する資料を監督職員に提出すること

構造用面材「面材の日本農林規格」 (5.2.2)

部位	樹種	等級	寸法	含水率	保存処理	備考
		・ 1 級 ・ 2 級	※図示	・ 20%以下 ※ 15%以下	・ K 2 ・ K 3 ・ K 4	
		・ 1 級 ・ 2 級	※図示	・ 20%以下 ※ 15%以下	・ K 2 ・ K 3 ・ K 4	

「面材の日本農林規格」以外の材料を使用する場合は、日本農林規格の品質基準に準じて、部位ごとに指定している要求性能を満たしているものとなっていることを証明する資料を監督職員に提出すること

構造用面材「面材の日本農林規格」 (5.2.2)

部位	品名	強度等級	材面の品質	接着性能	樹種	寸法	保存処理
			・ 1 種 ・ 2 種 ・ 3 種	・ A ・ B ・ C		※図示	
			・ 1 種 ・ 2 種 ・ 3 種	・ A ・ B ・ C		※図示	

化粧ばり構造用面材「面材の日本農林規格」 (5.2.2)

部位	樹種 (芯材)	品名	化粧薄板の厚さ	見付け材面	寸法
				・ 1 等 ・ 2 等	※図示
				・ 1 等 ・ 2 等	※図示

「面材の日本農林規格」以外の材料を使用する場合は、日本農林規格の品質基準に準じて、部位ごとに指定している要求性能を満たしているものとなっていることを証明する資料を監督職員に提出すること

枠組壁工法構造用面材 (JAS 0600) (5.2.2)

施工箇所	品名	樹種	樹種群	寸法型式	等級	含水率	保存処理
	・ 甲種面材 ・ 乙種面材 ・ MSR面材					※ 19%以下	・ K 2 ・ K 3 ・ K 4
	・ 甲種面材 ・ 乙種面材 ・ MSR面材					※ 19%以下	・ K 2 ・ K 3 ・ K 4
	・ 甲種面材 ・ 乙種面材 ・ MSR面材					※ 19%以下	・ K 2 ・ K 3 ・ K 4

「枠組壁工法構造用面材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材の日本農林規格」以外の材料を使用する場合は、日本農林規格の品質基準に準じて、施工箇所ごとに指定している要求性能を満たしているものとなっていることを証明する資料を監督職員に提出すること

国土交通大臣の基準強度の数値等の指定を受けた面材 (5.2.2)
施工箇所： () 含水率： ・ 20%以下 ※ 15%以下

項目

特記事項

9

構造用面材

構造用面材 (JAS 0701) (5.2.2)

施工箇所	樹種	品名	曲げ性能	寸法	接着性能 (使用環境)	水平せん断 区分	保存処理
				※図示			
				※図示			
				※図示			

「面材の日本農林規格」以外の材料を使用する場合は、日本農林規格の品質基準に準じて、施工箇所ごとに指定している要求性能を満たしているものとなっていることを証明する資料を監督職員に提出すること

構造用面材「面材の日本農林規格」 (5.2.2)

部位	樹種	等級	寸法	含水率	保存処理	備考
		・ 1 級 ・ 2 級	※図示	・ 20%以下 ※ 15%以下	・ K 2 ・ K 3 ・ K 4	
		・ 1 級 ・ 2 級	※図示	・ 20%以下 ※ 15%以下	・ K 2 ・ K 3 ・ K 4	

「面材の日本農林規格」以外の材料を使用する場合は、日本農林規格の品質基準に準じて、部位ごとに指定している要求性能を満たしているものとなっていることを証明する資料を監督職員に提出すること

構造用面材「面材の日本農林規格」 (5.2.2)

部位	品名	強度等級	材面の品質	接着性能	樹種	寸法	保存処理
			・ 1 種 ・ 2 種 ・ 3 種	・ A ・ B ・ C		※図示	
			・ 1 種 ・ 2 種 ・ 3 種	・ A ・ B ・ C		※図示	

化粧ばり構造用面材「面材の日本農林規格」 (5.2.2)

部位	樹種 (芯材)	品名	化粧薄板の厚さ	見付け材面	寸法
				・ 1 等 ・ 2 等	※図示
				・ 1 等 ・ 2 等	※図示

「面材の日本農林規格」以外の材料を使用する場合は、日本農林規格の品質基準に準じて、部位ごとに指定している要求性能を満たしているものとなっていることを証明する資料を監督職員に提出すること

枠組壁工法構造用面材 (JAS 0600) (5.2.2)

施工箇所	品名	樹種	樹種群	寸法型式	等級	含水率	保存処理
	・ 甲種面材 ・ 乙種面材 ・ MSR面材					※ 19%以下	・ K 2 ・ K 3 ・ K 4
	・ 甲種面材 ・ 乙種面材 ・ MSR面材					※ 19%以下	・ K 2 ・ K 3 ・ K 4
	・ 甲種面材 ・ 乙種面材 ・ MSR面材					※ 19%以下	・ K 2 ・ K 3 ・ K 4

「枠組壁工法構造用面材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材の日本農林規格」以外の材料を使用する場合は、日本農林規格の品質基準に準じて、施工箇所ごとに指定している要求性能を満たしているものとなっていることを証明する資料を監督職員に提出すること

国土交通大臣の基準強度の数値等の指定を受けた面材 (5.2.2)
施工箇所： () 含水率： ・ 20%以下 ※ 15%以下

項目

特記事項

9

構造用面材

構造用面材 (JAS 0701) (5.2.2)

施工箇所	樹種	品名	曲げ性能	寸法	接着性能 (使用環境)	水平せん断 区分	保存処理
				※図示			
				※図示			
				※図示			

「面材の日本農林規格」以外の材料を使用する場合は、日本農林規格の品質基準に準じて、施工箇所ごとに指定している要求性能を満たしているものとなっていることを証明する資料を監督職員に提出すること

構造用面材「面材の日本農林規格」 (5.2.2)

部位	樹種	等級	寸法	含水率	保存処理	備考
		・ 1 級 ・ 2 級	※図示	・ 20%以下 ※ 15%以下	・ K 2 ・ K 3 ・ K 4	
		・ 1 級 ・ 2 級	※図示	・ 20%以下 ※ 15%以下	・ K 2 ・ K 3 ・ K 4	

「面材の日本農林規格」以外の材料を使用する場合は、日本農林規格の品質基準に準じて、部位ごとに指定している要求性能を満たしているものとなっていることを証明する資料を監督職員に提出すること

構造用面材「面材の日本農林規格」 (5.2.2)

部位	品名	強度等級	材面の品質	接着性能	樹種	寸法	保存処理
			・ 1 種 ・ 2 種 ・ 3 種	・ A ・ B ・ C		※図示	
			・ 1 種 ・ 2 種 ・ 3 種	・ A ・ B ・ C		※図示	

化粧ばり構造用面材「面材の日本農林規格」 (5.2.2)

部位	樹種 (芯材)	品名	化粧薄板の厚さ	見付け材面	寸法
				・ 1 等 ・ 2 等	※図示
				・ 1 等 ・ 2 等	※図示

「面材の日本農林規格」以外の材料を使用する場合は、日本農林規格の品質基準に準じて、部位ごとに指定している要求性能を満たしているものとなっていることを証明する資料を監督職員に提出すること

枠組壁工法構造用面材 (JAS 0600) (5.2.2)

施工箇所	品名	樹種	樹種群	寸法型式	等級	含水率	保存処理
	・ 甲種面材 ・ 乙種面材 ・ MSR面材					※ 19%以下	・ K 2 ・ K 3 ・ K 4
	・ 甲種面材 ・ 乙種面材 ・ MSR面材					※ 19%以下	・ K 2 ・ K 3 ・ K 4
	・ 甲種面材 ・ 乙種面材 ・ MSR面材					※ 19%以下	・ K 2 ・ K 3 ・ K 4

「枠組壁工法構造用面材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材の日本農林規格」以外の材料を使用する場合は、日本農林規格の品質基準に準じて、施工箇所ごとに指定している要求性能を満たしているものとなっていることを証明する資料を監督職員に提出すること

国土交通大臣の基準強度の数値等の指定を受けた面材 (5.2.2)
施工箇所： () 含水率： ・ 20%以下 ※ 15%以下

工 事 名

中山間地域活性化高川第 2 ・ 第 3 住宅新築工事

係

係 長

課長補佐

課 長

図面番号

A - 03

図 面 名

木造特記仕様書 (3)

2024.04

縮 尺

1 /

作 図

年

月

日

松本琢史建築設計事務所
TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates
一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史

高知市 都市建設部 公共建築課

項 目		特 記 事 項		項 目		特 記 事 項		項 目		特 記 事 項																											
⑩	接合金物	せっこうボードその他のボード (J I S 規格) 《 5. 2. 3 》		⑪	釘及び木ねじ	※ 5. 2. 4. (1). (a) の Z、C または X マーク表示金物による ※ 5. 2. 4. (1). (b) の D または S マーク表示金物による ・ 5. 2. 4. (1). (c) の金物による 寸法、形状および鋼材の材質 ※ 図示 《 5. 2. 4 》 表面処理の適用 (14. 2. 2) (18. 3. 2) (18. 3. 3) 《 5. 2. 4 》 ・ 溶融亜鉛メッキ ※電気亜鉛メッキ ・ 錆止め塗装 防腐・防蟻処理製材等に使用する場合は、腐食が起きないよう表面処理を施したもの 溶接接合 溶接技能者への技量付加試験 ・ 行う ※ 行わない 代替エンドタブを使用する場合は、技量付加試験を行うか、AW 検定協議会が 実施する代替エンドタブ検定により認定された溶接技能者でなければならない 開先の形状 ※ 図示 ・ 「鉄骨工事技術指針・工場制作編」による (7. 6. 4) スカロップの形状 ※ 図示 (7. 6. 7) エンドタブ ※ 切断する ・ 切断しない 適用箇所 ※ 見えがかり部 ・ 図示		⑫	ボルト及びナット	ボルト及びナット材料： ※表5. 2. 2による 《 5. 2. 4 》 表面処理の適用 (14. 2. 2) (18. 3. 2) (18. 3. 3) 《 5. 2. 4 》 ・ 溶融亜鉛メッキ ※電気亜鉛メッキ ・ 錆止め塗装 ・ 防腐・防蟻処理製材等に使用する場合は、腐食が起きないよう表面処理を施したもの 構造材を仕上げ材として用いる場合の見え掛り部の取付け方法 《 5. 5. 10 》 ※ 座掘りして埋木処理		⑬	アンカーボルト	材質、寸法等 ※ 図示 ・ 《 5. 2. 4 》 埋込み深さ ※ 図示 ・ 《 5. 5. 3 》 保持及び埋込み工法 ・ A 種 ※ B 種 《表5. 5. 1 》 位置の許容誤差 ※ ± 5 mm ・ 《 5. 5. 3 》		⑭	座金	材質 ※ 図示 《 5. 2. 4 》 厚さ、寸法及び形状 引張り応力を受けるボルトの座金 《表5. 2. 3 》 ※ 表 5. 2. 3 ボルト径12 (※ A 種 ・ B 種 ・ D 種 ○ 図示) ボルト径16 (※ C 種 ・ E 種 ○ 図示) せん断応力を受けるボルトの座金 《表5. 2. 4 》 ※ 表 5. 2. 4 ボルト径12 (※ H 種 ・ I 種) 表面処理の適用 (14. 2. 2) (18. 3. 2) (18. 3. 3) 《 5. 2. 4 》 ・ 溶融亜鉛メッキ ※電気亜鉛メッキ ・ 錆止め塗装 防腐・防蟻処理製材等に使用する場合は、腐食が起きないよう表面処理を施したもの		⑮	ラグスクリュー	材質、寸法、形状等 ※ 図示 《 5. 2. 4 》 《 5. 2. 11 》 表面処理の適用 (14. 2. 2) (18. 3. 2) (18. 3. 3) 《 5. 2. 4 》 ・ 溶融亜鉛メッキ ※電気亜鉛メッキ ・ 錆止め塗装 防腐・防蟻処理製材等に使用する場合は、腐食が起きないよう表面処理を施したもの 見え掛り部の取付け方法 ※ 図示 ・ 《 5. 5. 11 》		16	ドリフトピン	材質 ※ JIS G 3101 の SS400 ・ 《 5. 2. 4 》 形状 ※ JIS G 3191 の丸鋼 ・ 《 5. 2. 4 》 径、寸法等 ※ 図示 ・ 《 5. 2. 4 》 《 5. 5. 12 》 表面処理の適用 (14. 2. 2) (18. 3. 2) (18. 3. 3) 《 5. 2. 4 》 ・ 溶融亜鉛メッキ ※電気亜鉛メッキ ・ 錆止め塗装 防腐・防蟻処理製材等に使用する場合は、腐食が起きないよう表面処理を施したもの 見え掛り部の取付け方法 ※ 図示 ・ 《 5. 5. 12 》		17	木栓及び木だば	樹種、形状及び長さ ※ 図示 ・ 《 5. 2. 4 》 木だば径 ※ 図示 ・ 《 5. 5. 13 》		⑯	接着剤	・ 床鳴り防止用接着剤の種類 ・ 変成シリコン樹脂系 ・ ウレタン樹脂系 《 5. 2. 4 》 ・ 接着剤による接合の接着剤の種類 ・ 変成シリコン樹脂系 ・ ウレタン樹脂系 ○ 接着剤を併用した接合の接着剤の種類 ○ エポキシ樹脂系			
		パルプセメント板 (JIA A 5414) 《 5. 2. 3 》				厚 さ (mm)				種 類				《 5. 2. 3 》				厚 さ (mm)				種 類				《 5. 2. 3 》				厚 さ (mm)				種 類		《 5. 2. 3 》	
		国土交通大臣認定の乾燥処理を施した構造用面材 施工箇所： () 含水率： ・ 20%以下 ※ 15%以下 《 5. 2. 3 》				《 5. 2. 3 》				《 5. 2. 3 》				《 5. 2. 3 》				《 5. 2. 3 》				《 5. 2. 3 》				《 5. 2. 3 》				《 5. 2. 3 》				《 5. 2. 3 》		《 5. 2. 3 》	
		《 5. 2. 4 》				《 5. 2. 4 》				《 5. 2. 4 》				《 5. 2. 4 》				《 5. 2. 4 》				《 5. 2. 4 》				《 5. 2. 4 》				《 5. 2. 4 》				《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》	
		《 5. 2. 4 》				《 5. 2. 4 》				《 5. 2. 4 》				《 5. 2. 4 》				《 5. 2. 4 》				《 5. 2. 4 》				《 5. 2. 4 》				《 5. 2. 4 》				《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》	
		《 5. 2. 4 》				《 5. 2. 4 》				《 5. 2. 4 》				《 5. 2. 4 》				《 5. 2. 4 》				《 5. 2. 4 》				《 5. 2. 4 》				《 5. 2. 4 》				《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》	
		《 5. 2. 4 》				《 5. 2. 4 》				《 5. 2. 4 》				《 5. 2. 4 》				《 5. 2. 4 》				《 5. 2. 4 》				《 5. 2. 4 》				《 5. 2. 4 》				《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》	
		《 5. 2. 4 》				《 5. 2. 4 》				《 5. 2. 4 》				《 5. 2. 4 》				《 5. 2. 4 》				《 5. 2. 4 》				《 5. 2. 4 》				《 5. 2. 4 》				《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》	
		《 5. 2. 4 》				《 5. 2. 4 》				《 5. 2. 4 》				《 5. 2. 4 》				《 5. 2. 4 》				《 5. 2. 4 》				《 5. 2. 4 》				《 5. 2. 4 》				《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》	
		《 5. 2. 4 》				《 5. 2. 4 》				《 5. 2. 4 》				《 5. 2. 4 》				《 5. 2. 4 》				《 5. 2. 4 》				《 5. 2. 4 》				《 5. 2. 4 》				《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》	
《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》																			
《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》																			
《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》																			
《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》																			
《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》																			
《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》																			
《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》																			
《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》																			
《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》																			
《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》																			
《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》																			
《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》																			
《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》																			
《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》																			
《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》																			
《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》																			
《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》																			
《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》																			
《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》																			
《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》																			
《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》																			
《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》																			
《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》																			
《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》																			
《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》																			
《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》																			
《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》																			
《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》																			
《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》																			
《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》																			
《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》																			
《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》																			
《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》																			
《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》																			
《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》																			
《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》																			
《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》																			
《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》																			
《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》																			
《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》																			
《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》																			
《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》																			
《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》																			
《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》																			
《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》																			
《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》		《 5. 2. 4 》																											

項 目		特 記 事 項		項 目		特 記 事 項	
木工事							
①	表面仕上げ	機械加工によるかなん掛け仕上げの程度（製材・造作用集成材）《表10.1.1》《10.1.3》 表面仕上げの種別 適 用 箇 所 ・ A種 ※ B種 内部造作材、外部造作材 ※ C種 下地材 手加工によるかなん掛け仕上げの程度（製材）《表10.1.2》《10.1.3》 表面仕上げの種別 適 用 箇 所 ・ H－A種 ※ H－B種 内部造作材、外部造作材 ※ H－C種 下地材		④	合板等	下地用合板 ○「合板の日本農林規格」による普通合板《10.2.3》 施工箇所（品名） 厚さ（mm） 単板の樹種名 接着の程度 板面の品質 防虫処理 難燃 防虫 処理 処理 図示 5.5 9.0 12.0 ラワン しな 1 類 広葉樹（※ 2等以上 ・ ） 2 類 針葉樹（※ C-D以上 ・ ） ○ ・ ・ ○「合板の日本農林規格」による構造用合板 施工箇所（品名） 厚さ（mm） 単板の樹種名 接着の程度 等級 板面の品質 防虫処理 強度等級 図示 12.0 15.0 針葉樹 1 類 ※ 2級以上 ※ C-D以上 ・ ※ 指定しない ○ 特類 ・ 1級 ・ ・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 施工箇所（品名） 厚さ（mm） 単板の樹種名 接着の程度 防虫処理 ※ 1 類 ・ 特類 ・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 施工箇所 厚さ（mm） 化粧板に使用する単板の樹種名 接着の程度 防虫処理 ※ 1 類 ・ 2 類 ・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 施工箇所（品名） 厚さ（mm） 接着の程度 単板の樹種名 化粧加工の方法 防虫処理 ※ 1 類 ・ 2 類 ・パーティクルボード 施工箇所 厚さ（mm） 表裏面の状態による区分 曲げ強さによる区分 耐水性による区分 難燃性による区分 ※ 15.0 ・ 素地（研磨品） ・ 13タイプ ※ MR1 (M) 又は MR2 (P)タイプ ・ 単板張り（ ・ 研磨品 ・ 無研磨品） ・ 構造用パネル 施工箇所（品名） 寸法（mm） 等 級 ・ 1 級 ・ 2 級 ・ 3 級 ・ 4 級	
②	材料	材料の含水率の規定がない場合の種別《表10.2.1》《10.2.1》 下地材 ※ A種15%以下 ・ B種20%以下 造作材 ※ A種15%以下 ・ B種18%以下		⑤	接合具等	釘 《10.2.4》 ※ 10.2.4. (1). (ア)による釘 ・ 10.2.4. (1). (イ)による釘 （材質並びに寸法及び形状： ※図示 ・ ） 釘打ち工法 下張材に対する釘の打込み本数 ※図示 ・ 斜めに釘を打ち込む場所 ※図示 ・ 造作材化粧面の釘打ち ※ 隠し釘打ち ・ 釘頭埋め木 ・ つぶし頭釘打ち ・ 釘頭現し 木ねじ ※ 10.2.4. (2). (ア)による木ねじ ・ 10.2.4. (2). (イ)による木ねじ （材質並びに寸法及び形状： ※図示 ・ ）	
③	木材	○下地用製材《10.2.2》 施工箇所 ※図示 ・ 樹種 ○ 杉 ・ 桧 寸法（mm） ※図示 ・ 等級 日本農林規格を使用する場合： ・ 1 級 ※ 2 級 日本農林規格以外を使用する場合： ※ 特一等 ・ 一等 含水率 ※ 15%以下 保存処理 ・ 防虫処理 ・ 行う ○ 行わない 難燃処理 ・ 行う ○ 行わない ○造作用製材 施工箇所 ※図示 ・ 樹種 ・ 杉 ○ 桧 寸法（mm） ※図示 ・ 等級 日本農林規格を使用する場合 見え掛かり面：※上小節(左記以外) ○無節(壁板張り) 見え掛かり面以外：※小節以上 日本農林規格以外を使用する場合見え掛かり面：※上小節(左記以外) ○無節(壁板張り) 見え掛かり面以外：※小節以上 ・ 特一等 含水率 ※ 15%以下 保存処理 ・ 防虫処理 ・ 行う ○ 行わない 難燃処理 ・ 行う ○ 行わない ・ 広葉樹製材 施工箇所 ※図示 ・ 樹種 ・ 寸法（mm） ※図示 ・ 等級 日本農林規格を使用する場合： ・ 特等 ※ 1 等 ・ 2 等 日本農林規格以外を使用する場合： ※ 特一等 ・ 一等 形状 ※図示 ・ 含水率 ※ 10%以下 保存処理 ・ 防虫処理 ・ 行う ・ 行わない 難燃処理 ・ 行う ・ 行わない ○「集成材の日本農林規格」による造作用集成材《10.2.2》 施工箇所 品名 樹種 寸法（mm） 見付け材面数 見付け材面の品質 図示 桧 ※図示 見え掛かり面数 ※1等 ・ 2 等 ・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材 施工箇所 品名 樹種 化粧薄板の厚さ（mm） 寸法（mm） 見付け材面数 見付け材面の品質 化粧薄板： 樹種 ※図示 芯材： 化粧薄板： 芯材： ・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材 施工箇所 樹種 寸法（mm） 見付け材面の品質 含水率 ※図示 ※15%以下 ・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材 施工箇所 樹種 化粧薄板の厚さ（mm） 寸法（mm） 見付け材面の品質 含水率 化粧薄板： 樹種 ※図示 芯材： 化粧薄板： 芯材： ・「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材《10.2.2》 施工箇所 品名 厚さ（mm） 表面の化粧加工 防虫処理 ・ ・ 有（・天然木化粧加工 ・ 塗装加工） ・ 行う ・ 図示 ・ 無（等級： ・ 1 等 ・ 2 等 ・ 3 等） ・ 行わない ・「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材 施工箇所 厚さ（mm） 表面の化粧加工 防虫処理 含水率 ・ 有（・天然木化粧加工 ・ 塗装加工） ・ 行う ※14%以下 ・ 図示 ・ 無（等級： ・ 1 等 ・ 2 等 ・ 3 等） ・ 行わない ・ C L T（直交集成板） 施工箇所 品名 曲げ強度（強度等級） 種別 接着性能（使用環境） 樹種 寸法（mm） ※図示 寸法表示は仕上り寸法とする。		⑥	耐候性、防虫処理	○ 耐候性処理 《10.3.1》 ※ 屋外に使用する仕上げ木材の木材保護塗料塗り（W P） ○ 防虫処理 《10.3.2》 ※ ラワン及びならを使用する場合 K 1 ○ 軒先・けらば回り 《10.4.1》 ○ 鼻隠しの樹種及び寸法 ※図示 ・ ○ 破風板の樹種及び寸法 ※図示 ・ ○ 広小舞、登りよどの樹種及び寸法 ※図示 ・ ・ 面戸板の樹種及び寸法 ※図示 ・ ・ 瓦棒葺き屋根 心木の樹種及び寸法 ※図示 ・ 杉 高さ40mm×幅45mm以上 心木の防腐、防蟻処理 ・ 屋根通気下地 屋根の構造用面材の上部に通気層を設ける場合 通気垂木の樹種及び寸法 ※図示 ・ 断熱材の厚さ ※図示 ・ ○ 軒天井下地 《10.4.3》 野縁受け、野縁及び下地板の樹種及び寸法 ※図示 ○ 吊木：杉45×45@455 野縁受：杉45×45@910 野縁：杉45×45@455	
				⑧	外部開口部回り	○ 窓及び出入口の取付け下地材及び受材の樹種及び寸法 ※図示 ・ 《10.5.1》 ・ 外部出入口木製建具回り木製枠 枠材の樹種及び寸法 ※図示 ・ 下枠の材料 ステンレス製（厚さ2mm以上）の寸法及び形状 ※図示 ・ 厚さ40mm以上の花こう岩による石材で種類、寸法及び形状 ※図示 ・ ・ 外部額縁 樹種及び寸法 ※図示 ・ 《10.5.3》	
				⑨	内部開口部回り	○ 内部出入口木製建具回り木製枠 樹種及び寸法 ※図示 ・ 《10.6.1》 ・ 内部窓回り 樹種及び寸法 ※図示 ・ 《10.6.2》	
				⑩	内部床回り	○ 内部床下地 《10.7.1》 下地用床板 ○ 10.2.3 (7) による下地用合板 厚さ ※ 12mm ○図示 ・ 10.2.3 (4) によるパーティクルボード 強度及び接着剤による区分 ※ 13Pタイプ又は13Mタイプ ・ 厚さ ※ 15mm ○ 構造用合板の上の仕上げ用下地用床板（10.2.3(7)による合板） 厚さ ※図示 ○ 内部床板張り 《10.7.2》 床板に使用する製材の樹種、寸法及び厚さ ※図示 ・ ○ 上がりがまち 《10.7.3》 樹種、寸法及び厚さ ※図示 ・ ○ 外壁下地材料 《10.8.1》 ・ 胴縁 樹種、寸法及び間隔 ※図示 ・	
				⑪	外壁回り		
				松本琢史建築設計事務所 TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates 一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史		高知市 都市建設部 公共建築課	
				工 事 名		係 係 長 課長補佐 課 長 図面番号	
				中山間地域活性化高川第2・第3住宅新築工事		A - 05	
				図 面 名 木造特記仕様書（5） 2024.04 縮 尺 1 /		作 図 年 月 日	

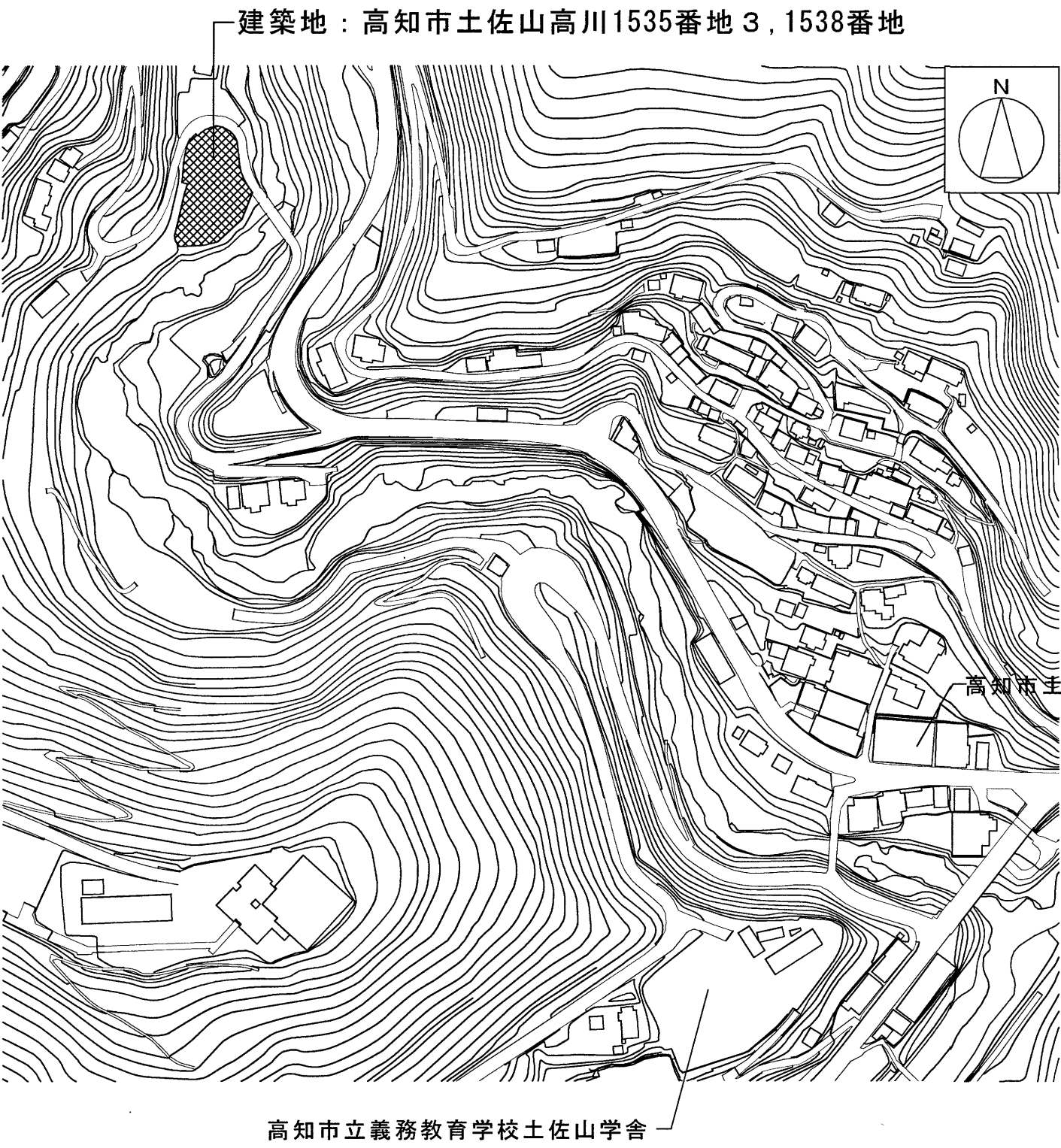
項 目		特 記 事 項		項 目		特 記 事 項		項 目		特 記 事 項	
防水工事				③ 有機系接着剤による陶磁器質タイル張り		(11.3.2) 施工箇所 形状寸法(mm) 吸水率の区分 I 類 II 類 III 類 施軸 無軸 標準 特注 色 耐凍害性 耐滑り性 役物の適用 品 質 (公表単価(円/m2)) ④ 玄関巾木部 300角 ⑤ 標準的な曲がりの役物は一体成形とする ⑥ タイルの試験張り ⑦ タイルの見本焼き ⑧ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ⑨ 外装タイルにおける目地詰め ⑩ 外装タイル接着張りにおける目地のシーリング材 ⑪ 打継ぎ目地及びひび割れ誘発目地 ⑫ 伸縮調整目地その他の目地 ⑬ 下地調整塗材塗りを行うコンクリート素地面の処理 ⑭ 目荒し工法 ⑮ MCR 工法 (11.3.4) (11.3.5) (11.3.6) (11.3.7) (11.3.8) (11.3.9) (11.3.10) (11.3.11) (11.3.12) (11.3.13) (11.3.14) (11.3.15) (11.3.16) (11.3.17) (11.3.18) (11.3.19) (11.3.20) (11.3.21) (11.3.22) (11.3.23) (11.3.24) (11.3.25) (11.3.26) (11.3.27) (11.3.28) (11.3.29) (11.3.30) (11.3.31) (11.3.32) (11.3.33) (11.3.34) (11.3.35) (11.3.36) (11.3.37) (11.3.38) (11.3.39) (11.3.40) (11.3.41) (11.3.42) (11.3.43) (11.3.44) (11.3.45) (11.3.46) (11.3.47) (11.3.48) (11.3.49) (11.3.50) (11.3.51) (11.3.52) (11.3.53) (11.3.54) (11.3.55) (11.3.56) (11.3.57) (11.3.58) (11.3.59) (11.3.60) (11.3.61) (11.3.62) (11.3.63) (11.3.64) (11.3.65) (11.3.66) (11.3.67) (11.3.68) (11.3.69) (11.3.70) (11.3.71) (11.3.72) (11.3.73) (11.3.74) (11.3.75) (11.3.76) (11.3.77) (11.3.78) (11.3.79) (11.3.80) (11.3.81) (11.3.82) (11.3.83) (11.3.84) (11.3.85) (11.3.86) (11.3.87) (11.3.88) (11.3.89) (11.3.90) (11.3.91) (11.3.92) (11.3.93) (11.3.94) (11.3.95) (11.3.96) (11.3.97) (11.3.98) (11.3.99) (11.3.100) (11.3.101) (11.3.102) (11.3.103) (11.3.104) (11.3.105) (11.3.106) (11.3.107) (11.3.108) (11.3.109) (11.3.110) (11.3.111) (11.3.112) (11.3.113) (11.3.114) (11.3.115) (11.3.116) (11.3.117) (11.3.118) (11.3.119) (11.3.120) (11.3.121) (11.3.122) (11.3.123) (11.3.124) (11.3.125) (11.3.126) (11.3.127) (11.3.128) (11.3.129) (11.3.130) (11.3.131) (11.3.132) (11.3.133) (11.3.134) (11.3.135) (11.3.136) (11.3.137) (11.3.138) (11.3.139) (11.3.140) (11.3.141) (11.3.142) (11.3.143) (11.3.144) (11.3.145) (11.3.146) (11.3.147) (11.3.148) (11.3.149) (11.3.150) (11.3.151) (11.3.152) (11.3.153) (11.3.154) (11.3.155) (11.3.156) (11.3.157) (11.3.158) (11.3.159) (11.3.160) (11.3.161) (11.3.162) (11.3.163) (11.3.164) (11.3.165) (11.3.166) (11.3.167) (11.3.168) (11.3.169) (11.3.170) (11.3.171) (11.3.172) (11.3.173) (11.3.174) (11.3.175) (11.3.176) (11.3.177) (11.3.178) (11.3.179) (11.3.180) (11.3.181) (11.3.182) (11.3.183) (11.3.184) (11.3.185) (11.3.186) (11.3.187) (11.3.188) (11.3.189) (11.3.190) (11.3.191) (11.3.192) (11.3.193) (11.3.194) (11.3.195) (11.3.196) (11.3.197) (11.3.198) (11.3.199) (11.3.200) (11.3.201) (11.3.202) (11.3.203) (11.3.204) (11.3.205) (11.3.206) (11.3.207) (11.3.208) (11.3.209) (11.3.210) (11.3.211) (11.3.212) (11.3.213) (11.3.214) (11.3.215) (11.3.216) (11.3.217) (11.3.218) (11.3.219) (11.3.220) (11.3.221) (11.3.222) (11.3.223) (11.3.224) (11.3.225) (11.3.226) (11.3.227) (11.3.228) (11.3.229) (11.3.230) (11.3.231) (11.3.232) (11.3.233) (11.3.234) (11.3.235) (11.3.236) (11.3.237) (11.3.238) (11.3.239) (11.3.240) (11.3.241) (11.3.242) (11.3.243) (11.3.244) (11.3.245) (11.3.246) (11.3.247) (11.3.248) (11.3.249) (11.3.250) (11.3.251) (11.3.252) (11.3.253) (11.3.254) (11.3.255) (11.3.256) (11.3.257) (11.3.258) (11.3.259) (11.3.260) (11.3.261) (11.3.262) (11.3.263) (11.3.264) (11.3.265) (11.3.266) (11.3.267) (11.3.268) (11.3.269) (11.3.270) (11.3.271) (11.3.272) (11.3.273) (11.3.274) (11.3.275) (11.3.276) (11.3.277) (11.3.278) (11.3.279) (11.3.280) (11.3.281) (11.3.282) (11.3.283) (11.3.284) (11.3.285) (11.3.286) (11.3.287) (11.3.288) (11.3.289) (11.3.290) (11.3.291) (11.3.292) (11.3.293) (11.3.294) (11.3.295) (11.3.296) (11.3.297) (11.3.298) (11.3.299) (11.3.300) (11.3.301) (11.3.302) (11.3.303) (11.3.304) (11.3.305) (11.3.306) (11.3.307) (11.3.308) (11.3.309) (11.3.310) (11.3.311) (11.3.312) (11.3.313) (11.3.314) (11.3.315) (11.3.316) (11.3.317) (11.3.318) (11.3.319) (11.3.320) (11.3.321) (11.3.322) (11.3.323) (11.3.324) (11.3.325) (11.3.326) (11.3.327) (11.3.328) (11.3.329) (11.3.330) (11.3.331) (11.3.332) (11.3.333) (11.3.334) (11.3.335) (11.3.336) (11.3.337) (11.3.338) (11.3.339) (11.3.340) (11.3.341) (11.3.342) (11.3.343) (11.3.344) (11.3.345) (11.3.346) (11.3.347) (11.3.348) (11.3.349) (11.3.350) (11.3.351) (11.3.352) (11.3.353) (11.3.354) (11.3.355) (11.3.356) (11.3.357) (11.3.358) (11.3.359) (11.3.360) (11.3.361) (11.3.362) (11.3.363) (11.3.364) (11.3.365) (11.3.366) (11.3.367) (11.3.368) (11.3.369) (11.3.370) (11.3.371) (11.3.372) (11.3.373) (11.3.374) (11.3.375) (11.3.376) (11.3.377) (11.3.378) (11.3.379) (11.3.380) (11.3.381) (11.3.382) (11.3.383) (11.3.384) (11.3.385) (11					

[illegible]

項 目		特 記 事 項		項 目		特 記 事 項									
断熱・防露、ユニット及びその他工事				サイディング工事		窯業系サイディング（JIS A 5422）									
①	断熱・防露	図中の断熱材の仕様は参考とする。 図中の熱抵抗値ほか同等以上の性能を有することが確認できる場合は、協議により変更とする。		③		《20.3.2》 種 類 形 状 働き長さ 働き幅 厚さ 表面仕上げ 耐凍害性能 防 火 耐火性能 公表価格7,500円/m2程度 1820 455 16 塗装品									
		断熱材 《20.2.2》《20.2.3》《表20.1.1》				通気胴縁の樹種： ※ 杉 ・ 通気胴縁の寸法：※ 図示 防露処理： ※ 行う ・ 行わない 張り方 ※ 縦張り工法 ※ 横張り工法 建具上部の雨水排出路※ 設ける （位置： ※ 図示 ） ※ 設けない ・ 現場塗装用サイディングの現場塗装 下地処理及び仕上げ ※ 図示 ・ 幅10mm以下、深さ5mm以上 シーリング材の目地寸法 ※ 図示 複合金属サイディング(JIS A 6711) 《20.3.3》									
		開口部を断熱構造とする部位 ※ 図示 ・				通気胴縁の樹種： ※ 杉 ・ 通気胴縁の寸法：※ 図示 《20.3.3》 防露処理： ※ 行う ・ 行わない 張り方 ※ 縦張り工法 ・ 横張り工法 換気口部の防水措置 ※ 20.3.2.(3).(9).(c).①、②及び③による 《20.3.2》《20.3.3》 換気口、接続パイプ ※ 接続パイプJIS K 6741（硬質ポリ塩化ビニル管） パイプ受け ※ 接続パイプ適合品した既製品									
		防湿材 厚さ(mm) ※ 図示 ○0.15mm 《20.2.2》 ※ JIS A 6930(住宅用プラスチック系防湿フィルム)によるもの ・ JIS Z 1702(包装用ポリエチレンフィルム)によるもので、厚さ0.05mm以上のもの ・ JIS K 6781(農業用ポリエチレンフィルム)によるもので、厚さ0.05mm以上のもの				材料の種類、仕上げ ・ ステンレス、# 400 ○図示 (20.2.6)									
		気密材 厚さ(mm) ※ 図示 ○0.1mm 《20.2.2》 ○ JIS A 6930によるもの ・ JIS A 6111(透湿防水シート)によるもの ・ 「日本農林規格」による合板及び構造用パネル並びにJIS A 6901(せっこうボード)によるもの ・ JIS A 9521(発泡プラスチック保温材)及び JIS A 9526(建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム)によるもの ・ 乾燥木材(含水率20%以下)等 ・ 金属部材 ・ コンクリート部材				室名札等 (20.2.11)									
		防風材 《20.2.2》 ※ JIS A 6111による透湿防水シート B ・ 「日本農林規格」による合板及び構造用パネル ・ JIS A 5905(繊維板)によるシーシングボード ・ JIS A 5440(火山性ガラス質複層板(VSボード)) ・ JIS A 5905による MDF				区 分 材質・厚さ(mm) 印刷等の種別 色 彩 取付形式 ・ 室名札 ※図示 ※図示 ※図示 ・ ビクトグラフ ※図示 ・ シルクスクリーン印刷 ・ 図示 ※図示 ・ とびら番号 ・ アクリル板 ・ 図示 ・ 非常用進入口 (※5.0 ・) ○名前無し ○表札									
		断熱材の取付け等 《20.2.4》 充填断熱工法 ※ 20.2.4.(3).(7).(a). (b)及び (c) による ・ 20.2.4.(3).(7).(a). (b)及び (c)以外の取付 ※ 製造所仕様による ・ 外張断熱工法 ・ 20.2.4.(3).(4).(a). (b)及び (c)による ・ 20.2.4.(3).(4).(a). (b)及び (c)以外の取付 ※ 製造所仕様による ・ 防蟻処理： ・ 行う （種類： ） ・ 行わない 防湿層の施工 ・ 室内側の防湿層を省略する 《20.2.4》 開口部の回りの施工 ○ 床下及び小屋裏点検口の高い気密性の高い構造 ※ 図示 電気配線のコンセント及びスイッチボックスの回りの施工 ・ 気密措置が講じられた専用のボックスを使用する ○ コンセント及びスイッチボックスの回りを防湿フィルムでくるむ 《20.2.4》				形式 材 種 寸 法 形 式 鍵 天井 ※アルミニウム製 ※450×450 一般形 ○額縁タイプ ○額縁タイプ ※なし ・ 600×600 ・ 目地タイプ ・ 目地タイプ ・ あり ・ 密閉形									
		床の施工 《20.2.5》 床に防湿フィルムを張らない場合の適用 ○ 床下地板に構造用合板、構造用パネル、パーティクルボード等の床合板等を用いる ・ 床合板等は、下地のある部分で継ぐか又はさね付きとし、それ以外の場合は、 気密テープで床合板の継目の処理を行う				製造所 評価名簿による									
		天井の施工 《20.2.5》 ・ 天井点検口を設ける天井の気密性及び断熱性の高い構造 ※ 図示 気流止めの施工 《20.2.5》 ○ 外気の壁内流入の防止を要する部位の気密材の材料及び工法 ※ 図示 ・ 間仕切り壁の内部の空間が天井裏又は床裏に 対し解放されている部位の気密材の材料及び工法 ※ 図示				断熱材及び防湿気密措置 《20.2.5》 ○ 外壁と天井及び屋根との取合い部の工法 ※ 図示 ○ 外壁と床との取合い部の工法 ※ 図示 ○ 間仕切り壁と天井又は床との取合い部の工法 ※ 図示 ○ 下屋の小屋裏の天井と壁との取合い部の工法 ※ 図示 ○ 外壁と基礎との取合い部の工法 ※ 図示									
		②				④		⑤		⑥					
各部位の工法				排水工事		材料 (21.2.1) 排水管用材料 ※ 表21.2.1による(材種、管の種類、呼び径等は図示による)									
				1		側塊の形状及び寸法 ※ 図示 排水樹の種類 ※ 図示 地業用材料 ・ 切込砂利、切込砕石 ※再生クラッシュラン (4.6.2)(21.2.2) 現場打ちの場合のコンクリート 種類 ※普通コンクリート 設計基準強度 ※18N/mm2 スランブ ※15cm ・ 18cm 現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 ※ S D 295 (21.2.1)									
				2		種 類 形 式 荷重(安全荷重(KN)) 鍵 鉄製製マンホールふた ・ 水封形 ・ 簡易密閉形(パッキン式) ・ 密閉形(テーパー・パッキン式) ・ 中蓋付密閉形(テーパー・パッキン式)									
				3		製造所 評価名簿による (21.2.1)(表3.2.1) ・ A 種 ※ B 種 ・ C 種 ・ D 種									
				4		・ 鋼製グレーチング (21.2.1) 型 式 用 途 適用荷重 メインバーピッチ メインバー上面の形状 ※ 受枠付 ・ 溝ふた用 ・ 歩行用 ・ 普通目 細 目 平 型 凹凸型 ・ ・ ますふた用 ・ T－2用 ・ ・ ・ ・ かさあげ用 ・ T－6用 ・ ・ ・ ・ U字溝用 ・ T－14用 ・ ・ ・ ・ T－20用 ・ ・ ・									
										植栽及び屋上緑化工事					
松本琢史建築設計事務所 TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates 一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史						工 事 名		係		係 長 課長補佐 課 長 図面番号					
高知市 都市建設部 公共建築課						中山間地域活性化高川第2・第3住宅新築工事		作 図 年 月 日		A - 09					
						図 面 名 木造特記仕様書（9） 2024.04 縮 尺 1 /									

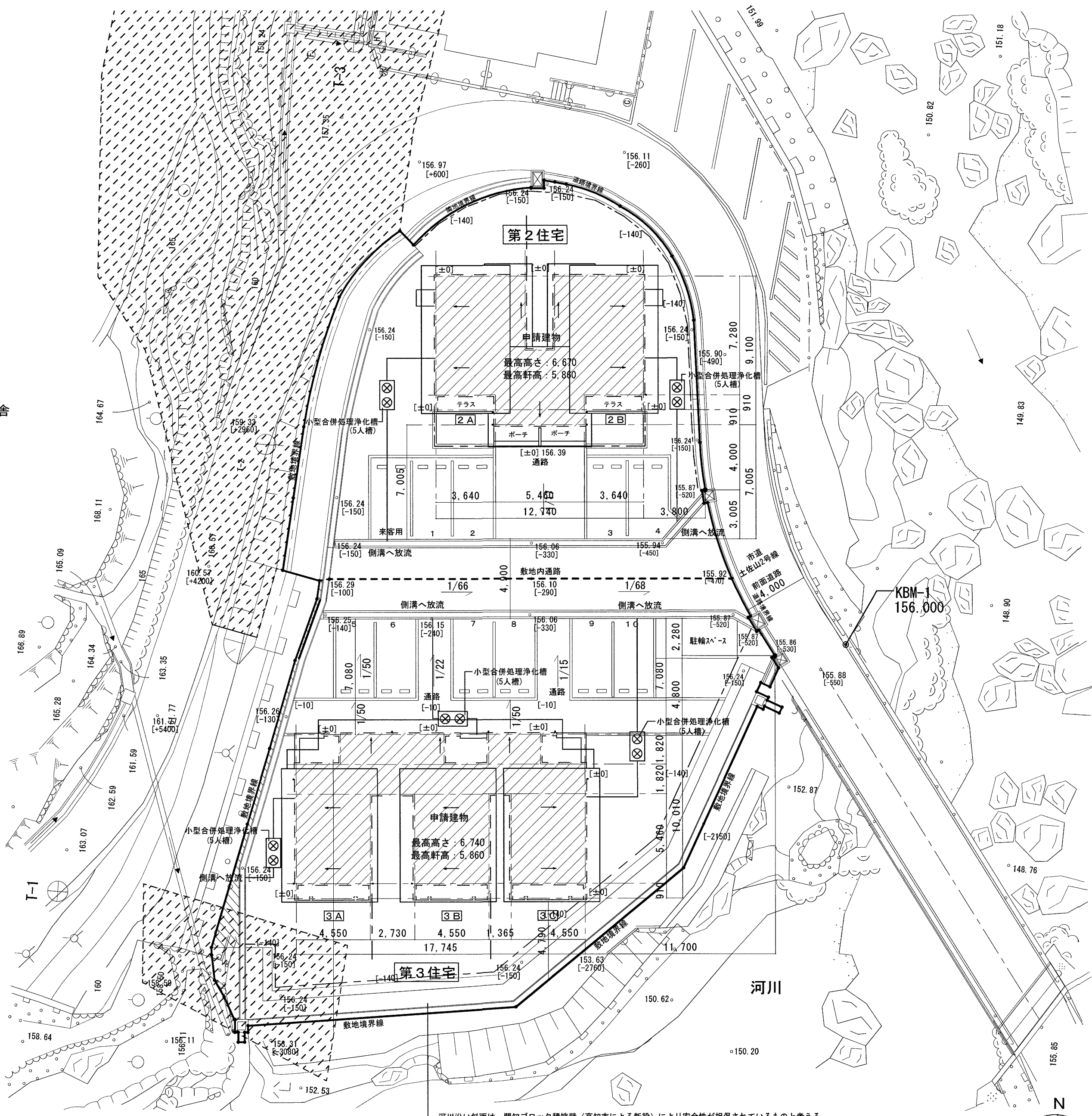
区分は ○ 印を適用する

				高知市 都市建設部 公共建築課				工事名 中山間地域活性化高川第2・第3住宅新築工事				松本琢史建築設計事務所 TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates		NO A - 10			
				係 係長 課長補佐 課長				図面名 工事区分表						SCALE			
				   				CHECKED BY				DRAWN BY		Matsumoto		一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史	
用紙サイズによる縮尺補正值 A2: 100% A3: 70.7%														—			



高知市立義務教育学校土佐山学舎

付近見取図



：土砂災害特別警戒地域

：道路境界線・隣地境界線・敷地境界線

配置図 S=1 : 200

図中[000](mm)は、設計GLからのレベルを示す。
なお、設計GL±0 = KBM+390(156.39)とする。
図中数値000.00は、標高TP(m)を示す。

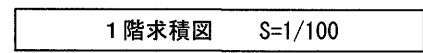
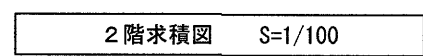
河川沿い斜面は、間知ブロック横擁壁（高知市による新設）により安全性が担保されているものとする

				高知市 都市建設部 公共建築課				工事名 中山間地域活性化高川第2・第3住宅新築工事				松本塚史建築設計事務所 TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates		NO A - 11	
				係	係長	課長補佐	課長							SCALE	
				   				図面名 付近見取図・配置図				一級建築士大臣登録第322947号 松本塚史		1/200	
用紙サイズによる縮尺補正値 A2 : 100% A3 : 70.7%								CHECKED BY			DRAWN BY			Matsumoto	

$$r \times r \times 3.14 \times (\theta / 360) \text{ — 底边 } L \times H/2$$

■ 敷地面積表

[illegible]



①	5.460	×	7.280	39.7488
②	1.820	×	1.820	3.3124
③	1.820	×	1.820	3.3124
④	0.910	×	0.910	0.8281
⑤	3.640	×	7.280	26.4992
⑥	0.910	×	4.550	4.1405
a	3.640	×	0.910	3.3124
b	2.730	×	0.350	0.9555

■ 床面積算定

1 住戸床面積					
1 階	①	5.460	×	7.280	39.7488
	②	1.820	×	1.820	3.3124
	③	1.820	×	1.820	3.3124
	④	0.910	×	0.910	0.8281
					47.2017
					47.20 m2
2 階	⑤	3.640	×	7.280	26.4992
	⑥	0.910	×	4.550	4.1405
					30.6397
					30.63 m2
延床面積	戸当り床面積				77.83 m2
全体延床面積					155.66 m2

■ 建築面積算定

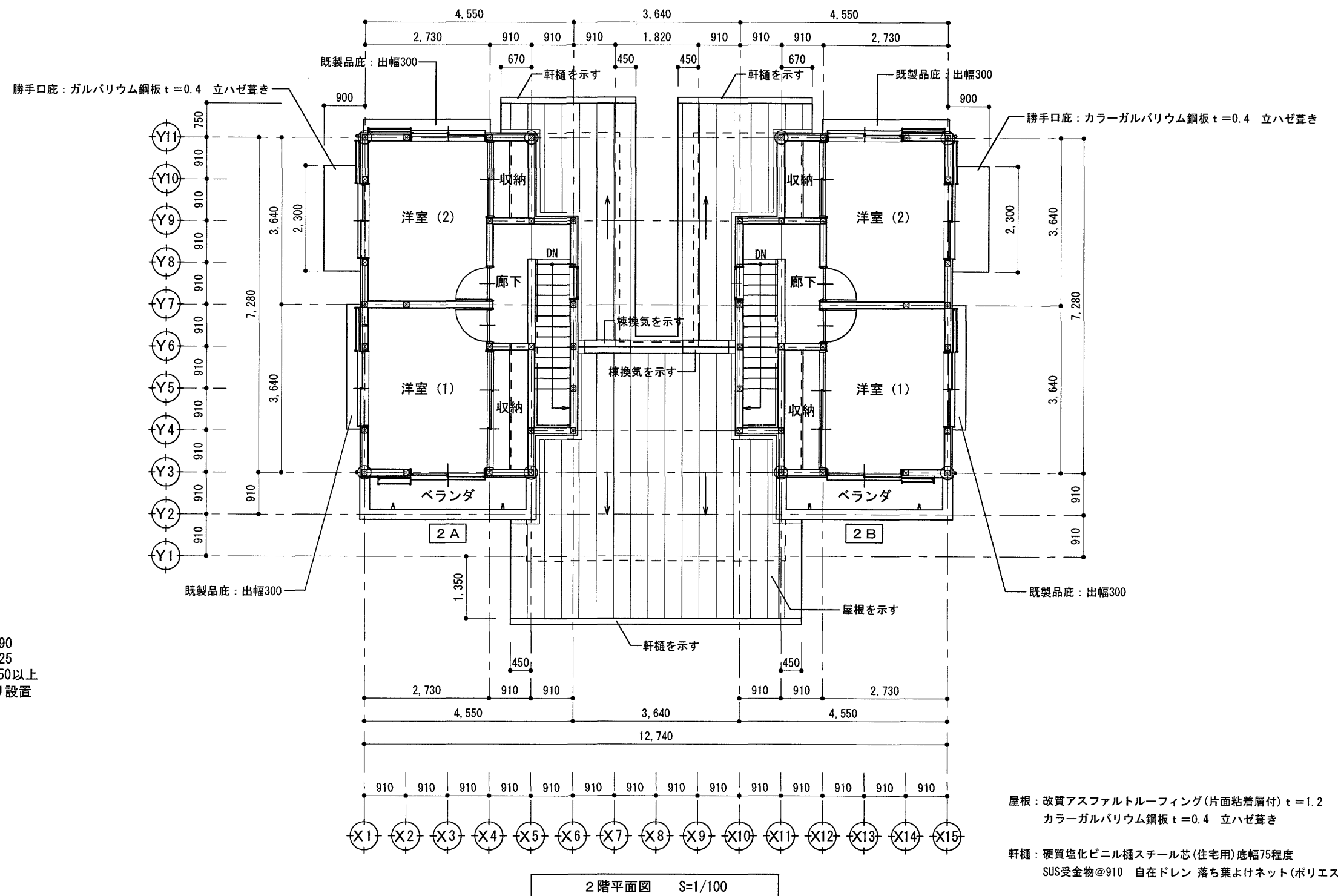
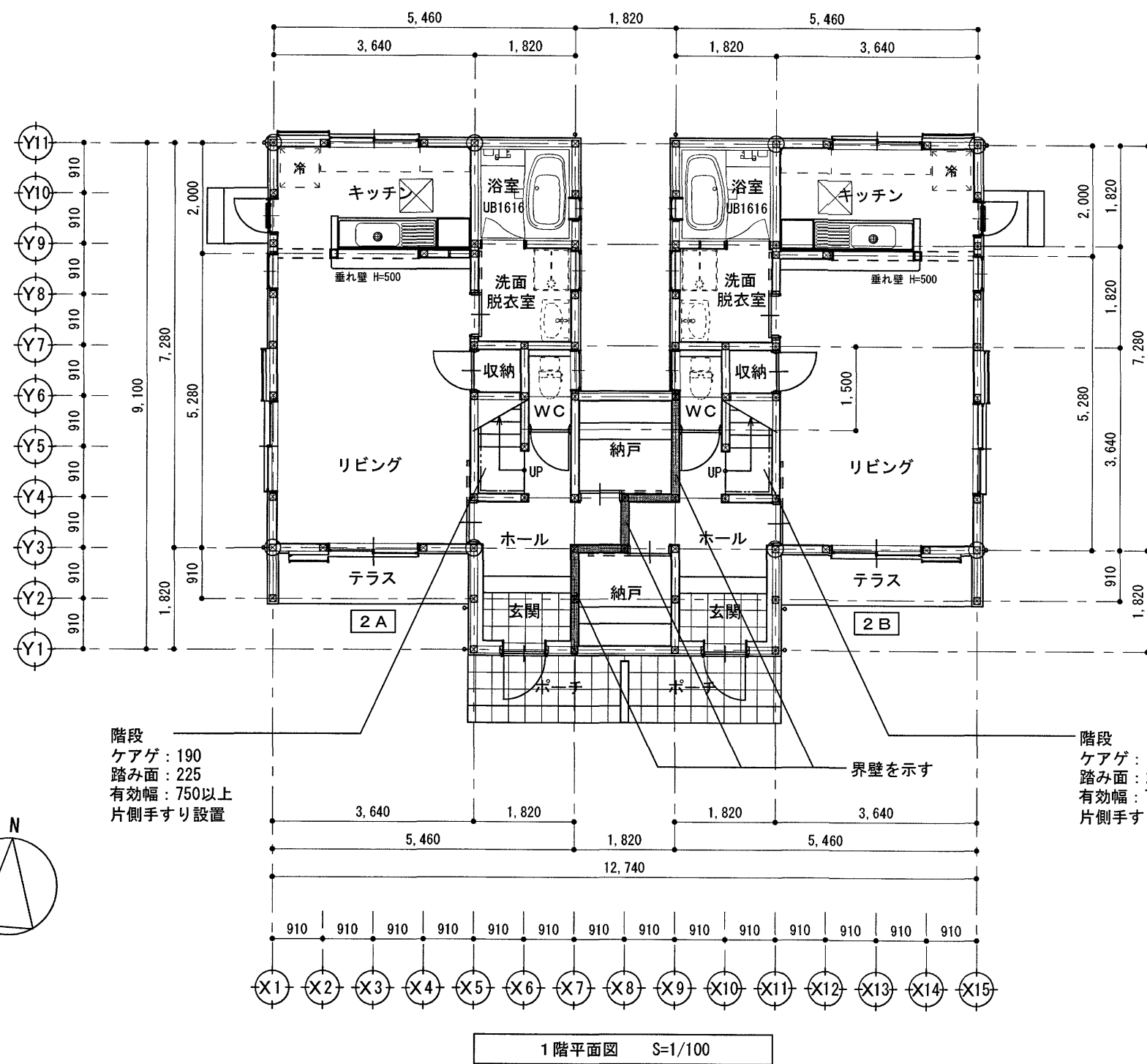
1 住戸建築面積					
	①	5.460	×	7.280	39.7488
	②	1.820	×	1.820	3.3124
	③	1.820	×	1.820	3.3124
	④	0.910	×	0.910	0.8281
	a	3.640	×	0.910	3.3124
	b	2.730	×	0.350	0.9555
					51.4696
戸当り建築面積					51.46 m ²
全体建築面積					102.92 m ²

■ 外部仕上表		特記事項		防火認定番号	
屋 根	改質アスファルトルーフィング(片面粘着層付) t=1.2+ カラーガルバリウム鋼板 t=0.4 立ハゼ葺き	断 熱 材	・室内・天井裏に使用する仕上材・塗料・合板類・接着剤等(家具・備品にも適用)は全てホルムアルデヒド等級区分F☆☆☆☆とし、クロルピリホス・トルエン・キシレンの配合無きものとする。 ・塗料：ホルムアルデヒド・アセトアルデヒド・ステレン・トルエン・キシレン・エチルベンゼンを含有していない水性形のものとする ・木材保存剤(防腐処理・防蟻処理等)クロルピリホス・ダイアジノン・フェノブカルブを含有しない非有機リン系の薬剤とし、加圧式防腐防蟻処理は工場で行い、十分乾燥した後に現場搬入する また、建物周囲1mの範囲の土壌及び地盤面よりH1mの木造躯体(柱・床束・大引・土台)には防蟻処理を行うこと。 ・木製額縁、木製建具枠、木製巾木等は製材(検)とする。	せつこうボード t=12.5 (GB-R 12.5)	不燃 大臣認定品
	野地板：構造用合板 t=15(特類) 母屋包み：カラーガルバリウム鋼板 t=0.4加工 棟包み：カラーガルバリウム鋼板 t=0.4加工 棟換気：既製品棟換気部材 カラーガルバリウム鋼板製 本体寸法1000程度 有効開口面積219cm2×2箇所 (219×2= 438>368)			せつこうボード t=9.5 (GB-R 9.5)	準不燃 大臣認定品
				シージングせつこうボード t=12.5 (GB-S 12.5)	準不燃 大臣認定品
				化粧せつこうボード t=9.5 (GB-D)	準不燃 大臣認定品
外 壁 (戸袋内部共)	透湿防水シート+たて胴縁(通気胴縁)杉18×45@455 窯業系サイディング t=16 (塗装品・金具留工法) 横張り(同質出隅仕様)専用金具	既製品庇		けい酸カルシウム板 t=6	不燃 大臣認定品
軒 天	けい酸カルシウム板 t=6.0 EP-G塗り(木下地)	バルコニー		壁紙張り	
根廻り	コンクリート打放し 撥水材塗布 誘発目地 MS-2 20×10 @3000			押入化粧吸放湿せつこうボード t=12.5	不燃 大臣認定品
土台水切	カラーガルバリウム鋼板 t=0.4加工	勝手口庇		押入化粧吸放湿せつこうボード t=9.5	準不燃 大臣認定品
樋	軒樋：硬質塩化ビニル樋スチール芯(住宅用)底幅75程度 SUS受金物@910 自在ドレン 落ち葉よけネット(ポリエステル製φ100) 縦樋：塩ビカラー φ60 SUS受金物@900以下			壁紙張り (番号に不燃記載したもののみ)	不燃 大臣認定品

■ 内部仕上表																								
		仕 上	下 地	1 階										2 階					共通					
				玄関	ホール	リビング	キッチン	洗面 脱衣室	浴室	WC	納戸	収納		洋室(1)	洋室(2)	収納	廊下		階段					
床	①	磁器質300角タイル張り	モルタル	①					ユニットバス															
	②	フローリング t=15 塗装品	構造用合板 t=28		②	②	②							②	②		②							
	③	ビニル床シート t=2.0張り	構造用合板 t=28+ラワン合板 t=9					③		③	③													
	④	しな合板 t=5.5	構造用合板 t=28										④			④								
	⑤	踏板 桧集成材 t=30(滑止め溝 t=5) UC塗り																⑤						
巾木	⑪	磁器質300角タイル張り	モルタル、構造用合板 t=12	⑪																				
	⑫	ビニル巾木 H=60						⑫		⑫	⑫													
	⑬	木製巾木 桧25×30 UC塗り		⑬	⑬	⑬	⑬						⑬	⑬		⑬								
	⑭	雑巾摺り 桧15×10										⑭				⑭								
	⑮	側げた 桧集成材 t=30 UC塗り																⑮						
壁	⑳	壁紙張り(不燃記載したもののみ不燃大臣認定品)	GB-R t=12.5	㉑	㉑	㉑ 不燃	㉑ 不燃			㉑				㉑	㉑		㉑							
	㉒	化粧けい酸カルシウム板 t=6.0 突付け	GB-R t=12.5				㉒																	
	㉓	壁紙張り 【界壁】	GB-R t=12.5+12.5 グラスウール24kg/m3 t=50充填	㉓	㉓																			
	㉔	押入化粧吸放湿せっこうボード t=12.5								㉔	㉔					㉔								
	㉕	押入化粧吸放湿せっこうボード t=12.5 【界壁】	GB-R t=12.5+12.5 グラスウール24kg/m3 t=50充填							㉕														
	㉖	壁紙張り	GB-S t=12.5					㉖																
	㉗	桧板 t=12(本実 ヨコ張り) UC塗り	構造用合板 t=12		㉗	㉗																		
天井	㉛	壁紙張り(不燃記載したもののみ不燃大臣認定品)	GB-R t=9.5 (木下地)	㉜	㉜	㉜ 不燃	㉜ 不燃			㉜				㉜	㉜		㉜							
	㉝	壁紙張り	GB-S t=9.5 (木下地)					㉝																
	㉞	押入化粧吸放湿せっこうボード t=9.5	(木下地)								㉞					㉞								
	㉟	踏板 桧集成材 t=30 UC塗り										㉟												
	廻り縁			塩ビ	塩ビ	塩ビ	塩ビ	塩ビ		塩ビ	塩ビ	塩ビ		塩ビ	塩ビ	塩ビ	塩ビ		塩ビ					
天井高			2.600	2.300	2.480 一部2.300	2.400	2.200 一部1.870		2.200	2.200	2.200		2.500	2.500	2.200	2.200								
						流し台L=1800 ガス台L= 600 吊戸棚L=1800				中棚・枕棚					中棚・枕棚 SUSハンガー パイプφ32φ			手スリ						

				高知市 都市建設部 公共建築課				工事名 中山間地域活性化高川第2・第3住宅新築工事				松本琢史建築設計事務所 TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates		NO A - 14			
				係	係長	課長補佐	課長	図面名 第2住宅 仕上表						SCALE			
								CHECKED BY				DRAWN BY		Matsumoto		一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史	
用紙サイズによる縮尺補正值 A2：100% A3：70.7%																	

界壁仕様:
石こうボード t=12.5+12.5 両面共(グラスウール24kg/m3 t=50充填)下地 仕上材張り (R1告示195号第1-1-h-(2) [1時間準耐火])
石こうボード周囲は4周耐火シールを施工すること
界壁は全て、小屋裏又は天井裏に達せしめること

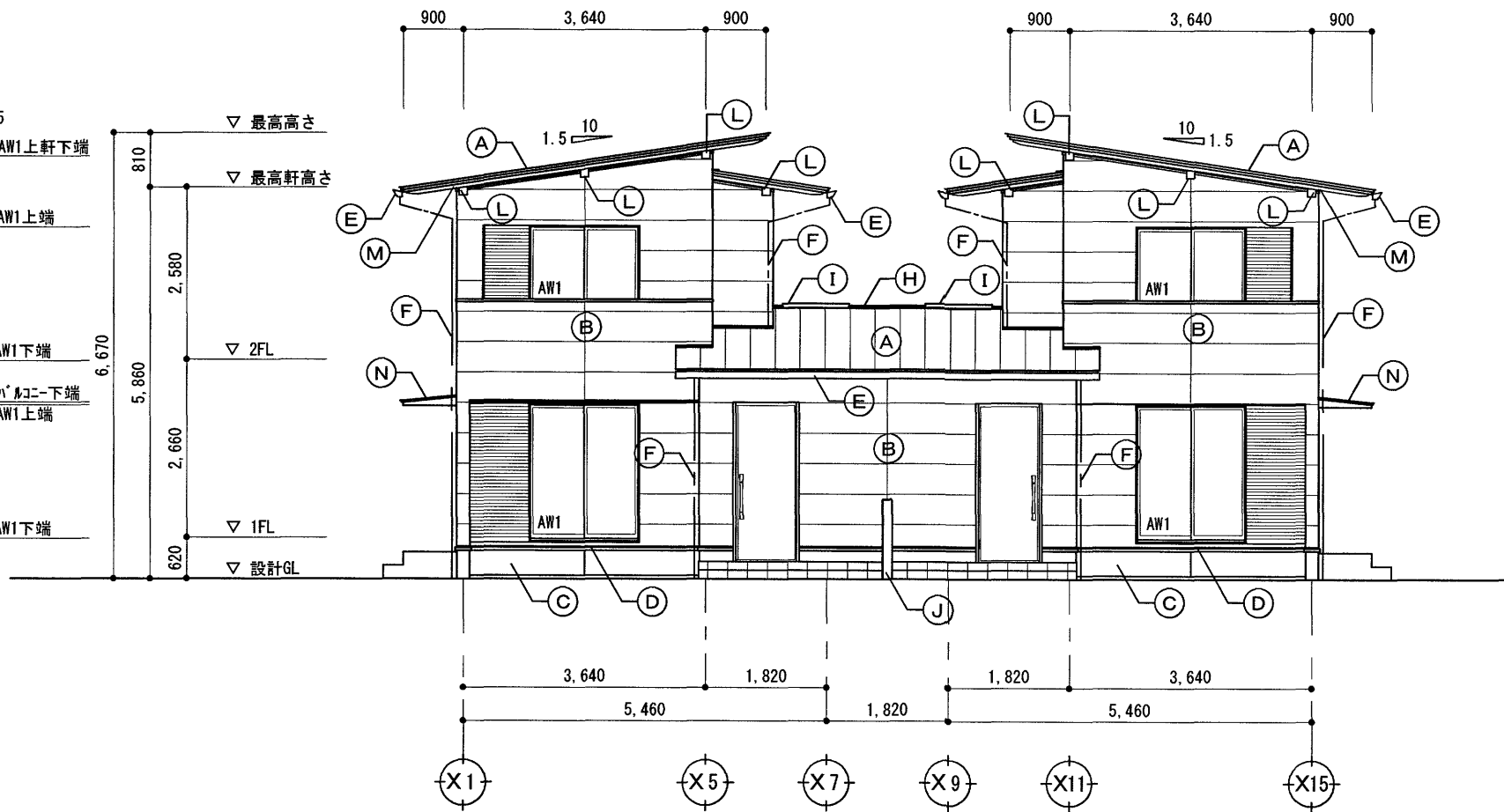


屋根: 改質アスファルトルーフィング(片面粘着層付) t=1.2
カラーガルバリウム鋼板 t=0.4 立ハゼ葺き
軒樋: 硬質強化ビニル樋スチール芯(住宅用)底幅75程度
SUS実金物φ910 自在ドレン 落ち葉よけネット(ポリエステル製φ100)

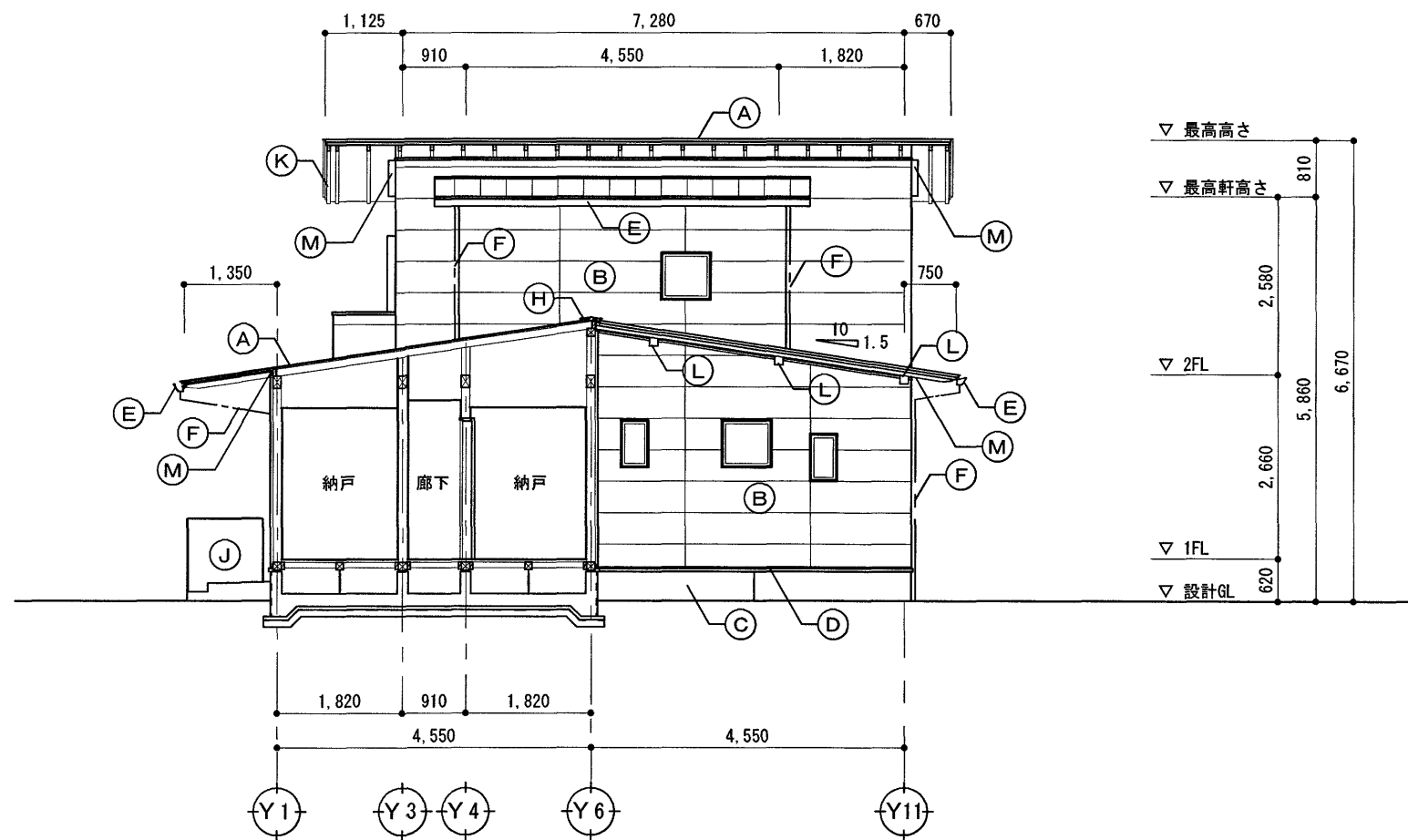
				高知市 都市建設部 公共建築課				工事名 中山間地域活性化高川第2・第3住宅新築工事				松本琢史建築設計事務所 TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates		NO A - 15	
				係	係長	課長補佐	課長	図面名 第2住宅 平面図・屋根伏図							
												一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史		SCALE 1/100	
用紙サイズによる縮尺補正値 A2: 100% A3: 70.7%								CHECKED BY							

3.080 x 0.3 = 0.924
<外壁面からの軒の出1.025

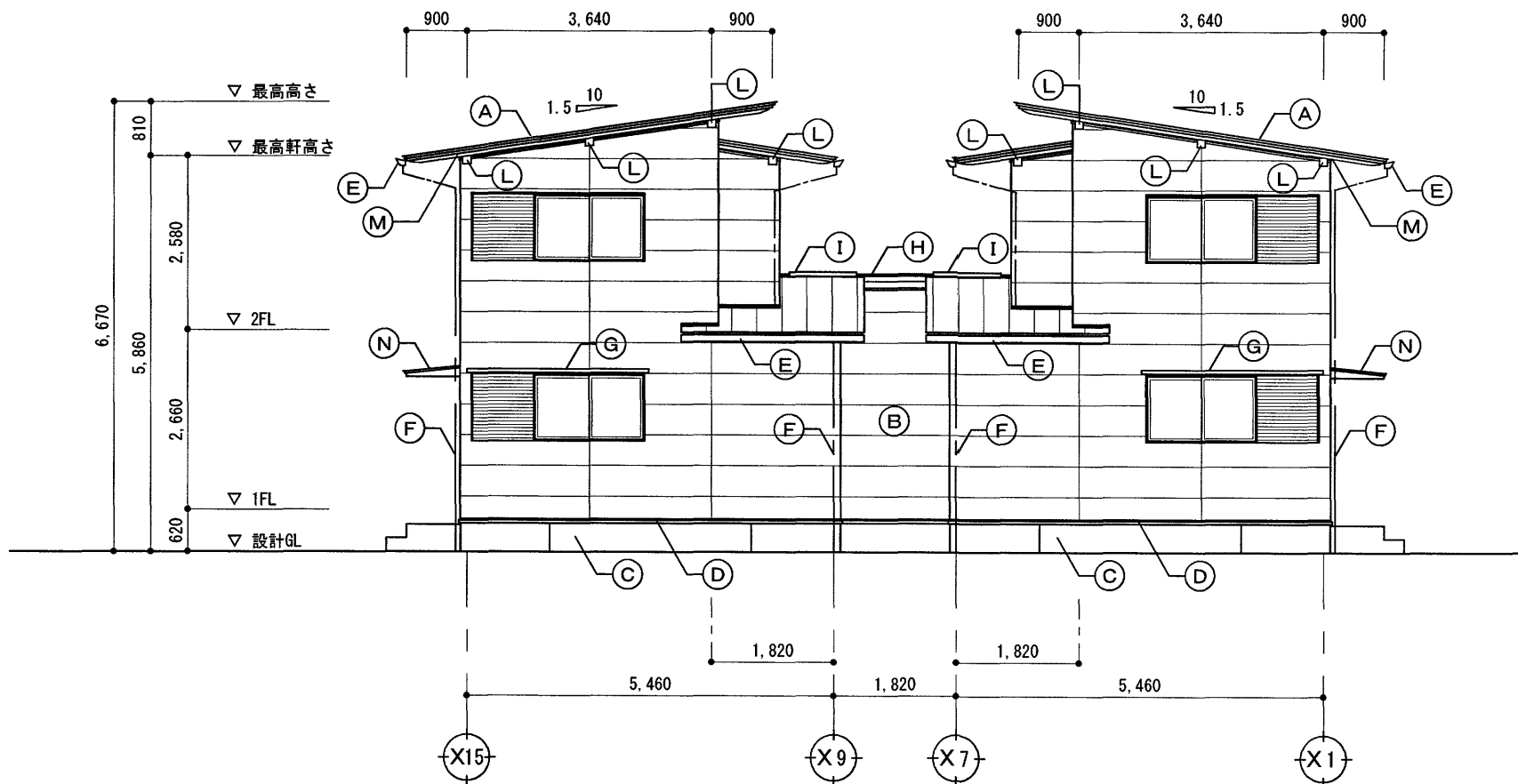
2.040 x 0.3 = 0.612
<外壁面からの軒の出0.91



南面 立面図 S=1/100



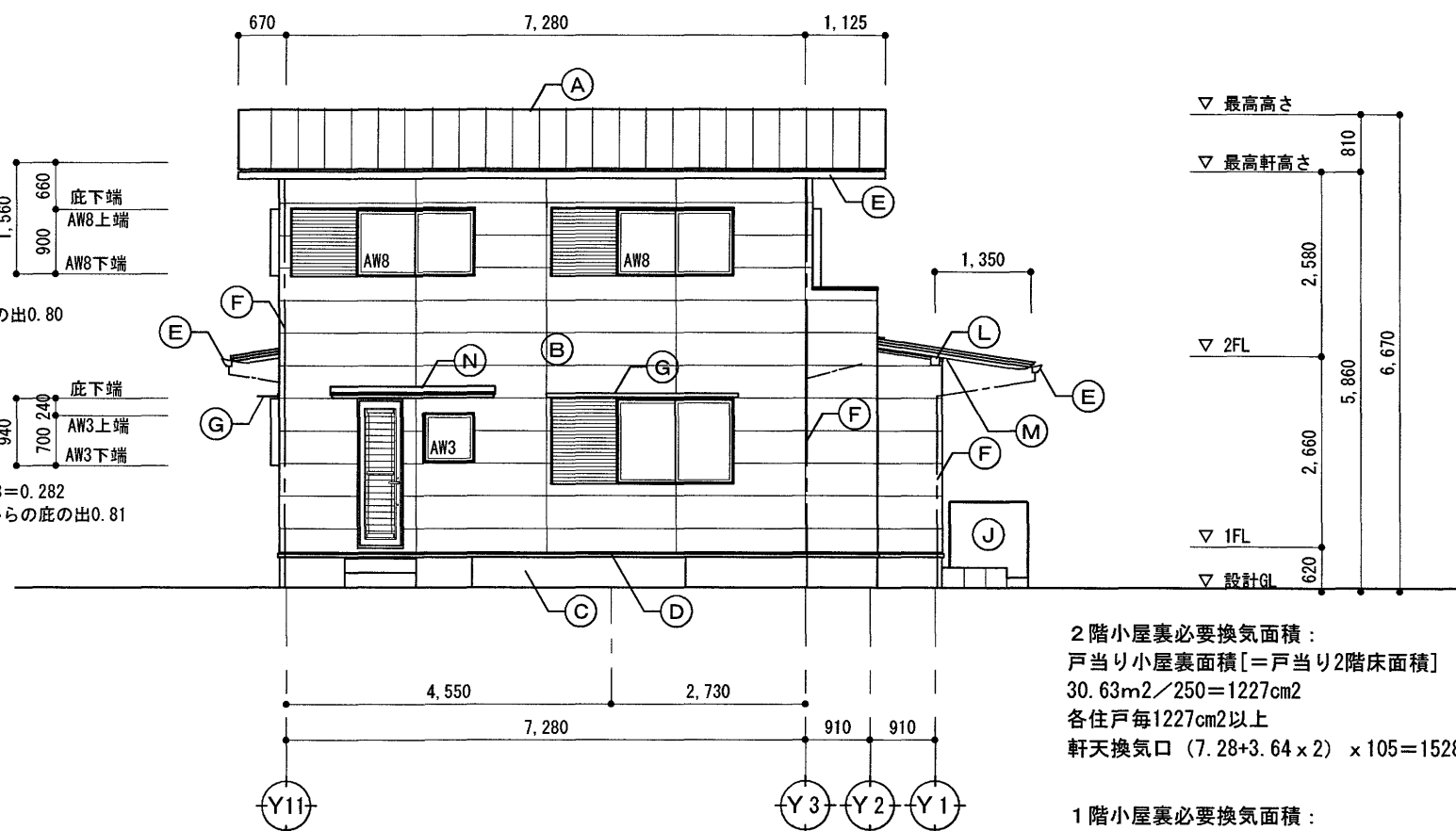
東面 立面図 S=1/100



北面 立面図 S=1/100

1.560 x 0.3 = 0.468
<外壁面からの軒の出0.80

0.940 x 0.3 = 0.282
<外壁面からの底の出0.81



西面 立面図 S=1/100

2階小屋裏必要換気面積:
戸当り小屋裏面積 [=戸当り2階床面積]
30.63m²/250=1227cm²
各住戸毎1227cm²以上
軒天換気口 (7.28+3.64 x 2) x 105=1528cm²>1227cm²

1階小屋裏必要換気面積:
戸当り小屋裏面積 [=戸当り1階床面積 - 戸当り2階床面積]
軒天換気 (47.20-30.63) m²/1600=104cm²
棟換気 (47.20-30.63) m²/900=185cm²
各住戸毎 給気185cm²以上、排気104cm²
軒天換気口 (1.82 x 2) x 105=382cm²>104cm²
棟換気 219cm²>185cm²

外部仕上表

屋根	(A)	改質アスファルトルーフィング(片面粘着層付) t=1.2+カラーガルバリウム鋼板 t=0.4 立ハゼ葺き 野地板: 構造用合板 t=15(特類)	軒 樋	(E)	硬質塩化ビニル樋(スチール芯(住宅用)底幅75程度 SUS受金物@910 自在ドレン 落ち葉よけネット(ポリエステル製φ100)	軒天	(K)	けい酸カルシウム板 t=6.0 目透し張り EP-G塗り 垂木(見出し): 45x105 @455 *屋外の見出し木材は全て、WP塗りとする
外 壁	(B)	透湿防水シート+たて胴縁(通気胴縁)杉18x45@455 窯業系サイディング t=16(塗装品・金具留工法) 横張り(同質出隅仕様)専用金具 *庇・サッシ廻り、その他取合いが生じる箇所は、防水テープ張りを行うこと	縦 樋	(F)	塩ビカラーφ60 SUS受金物@900以下	母屋包み	(L)	カラーガルバリウム鋼板 t=0.4加工
根廻り	(C)	コンクリート打放し撥水材塗布 誘発目地 PS-2 20x10 @3000	既製品庇	(G)	出幅300 L=2700(外壁面からの出幅270)	小屋裏換気	(M)	軒天換気材: 樹脂製既製品 有効換気面積105cm ² /m以上 2階屋根: 水下軒天及びケラバ軒天壁取合い部全域設置 1階屋根: 水下軒天壁取合い部全域設置
土台水切	(D)	カラーガルバリウム鋼板 t=0.5加工	棟包み	(H)	カラーガルバリウム鋼板 t=0.4加工	勝手口庇	(N)	木下地+ガルバリウム鋼板 t=0.4 立ハゼ葺き(部分詳細図参照)
			棟換気	(I)	既製品棟換気部材 緩勾配用 ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板製 本体寸法1000程度 有効開口面積219cm ²			
			隔て壁	(J)	コンクリート打放し 撥水剤塗布			

高知市 都市建設部 公共建築課

係 係長 課長補佐 課長

工事名 中山間地域活性化高川第2・第3住宅新築工事

図面名 第2住宅 立面図

CHECKED BY

DRAWN BY

Matsumoto

松本琢史建築設計事務所
TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates

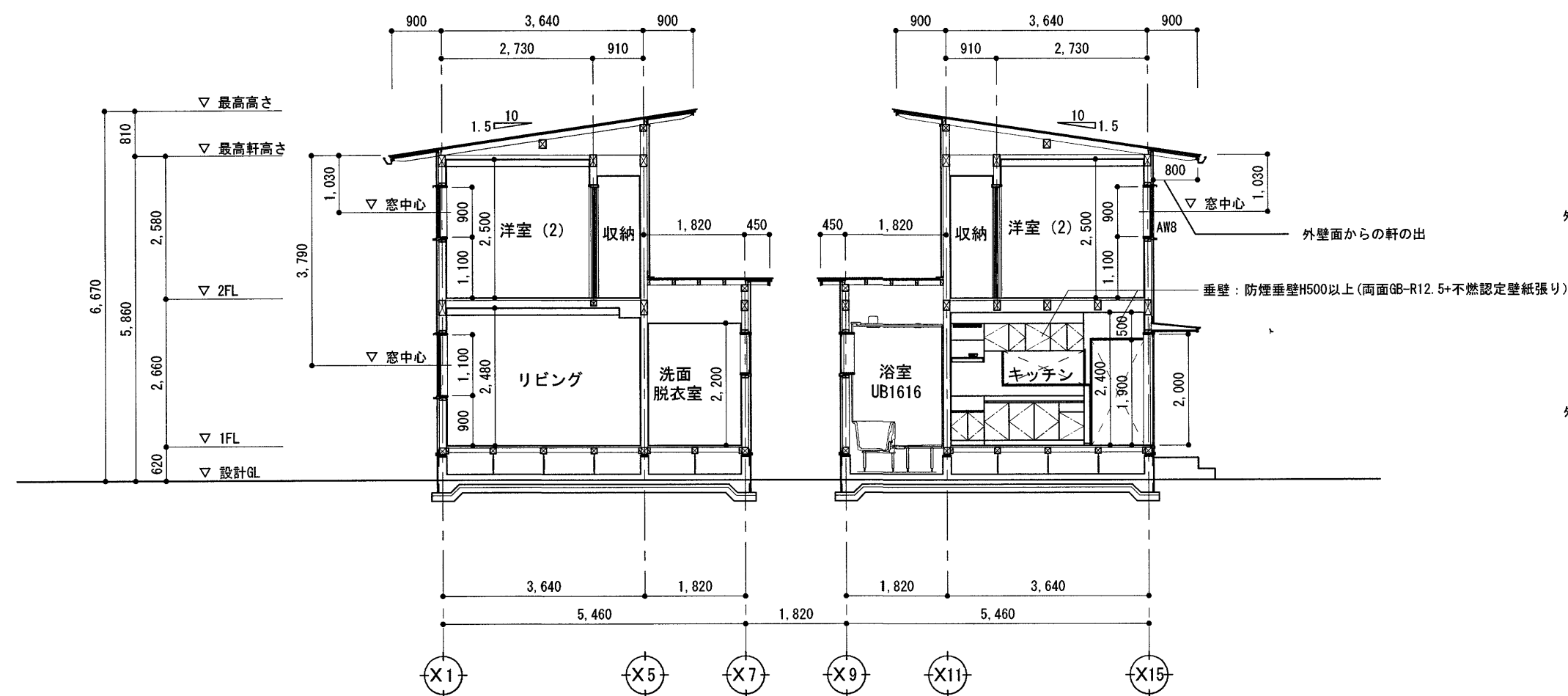
一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史

NO A - 16

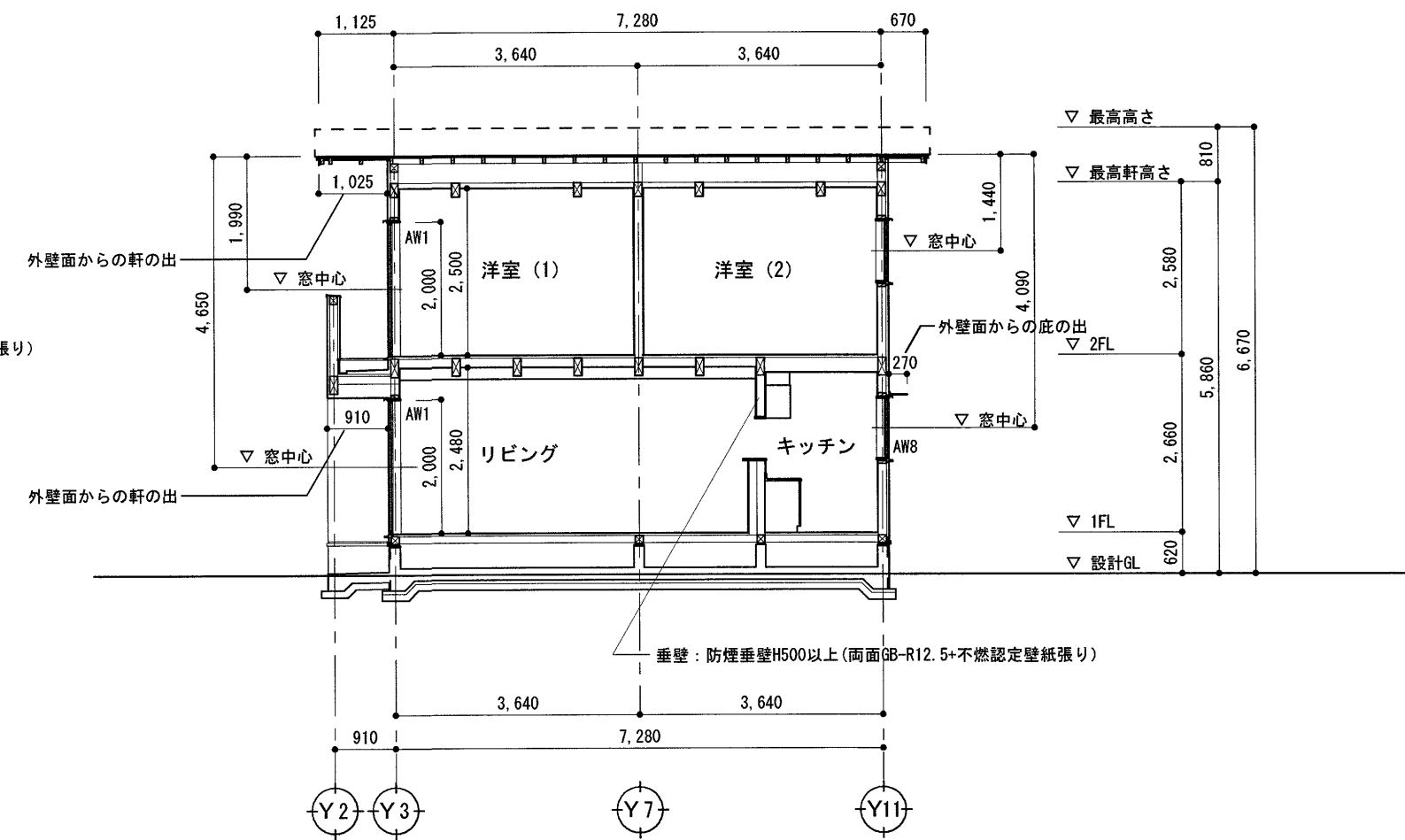
SCALE

1/100

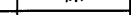
用紙サイズによる縮尺補正値 A2: 100% A3: 70.7%

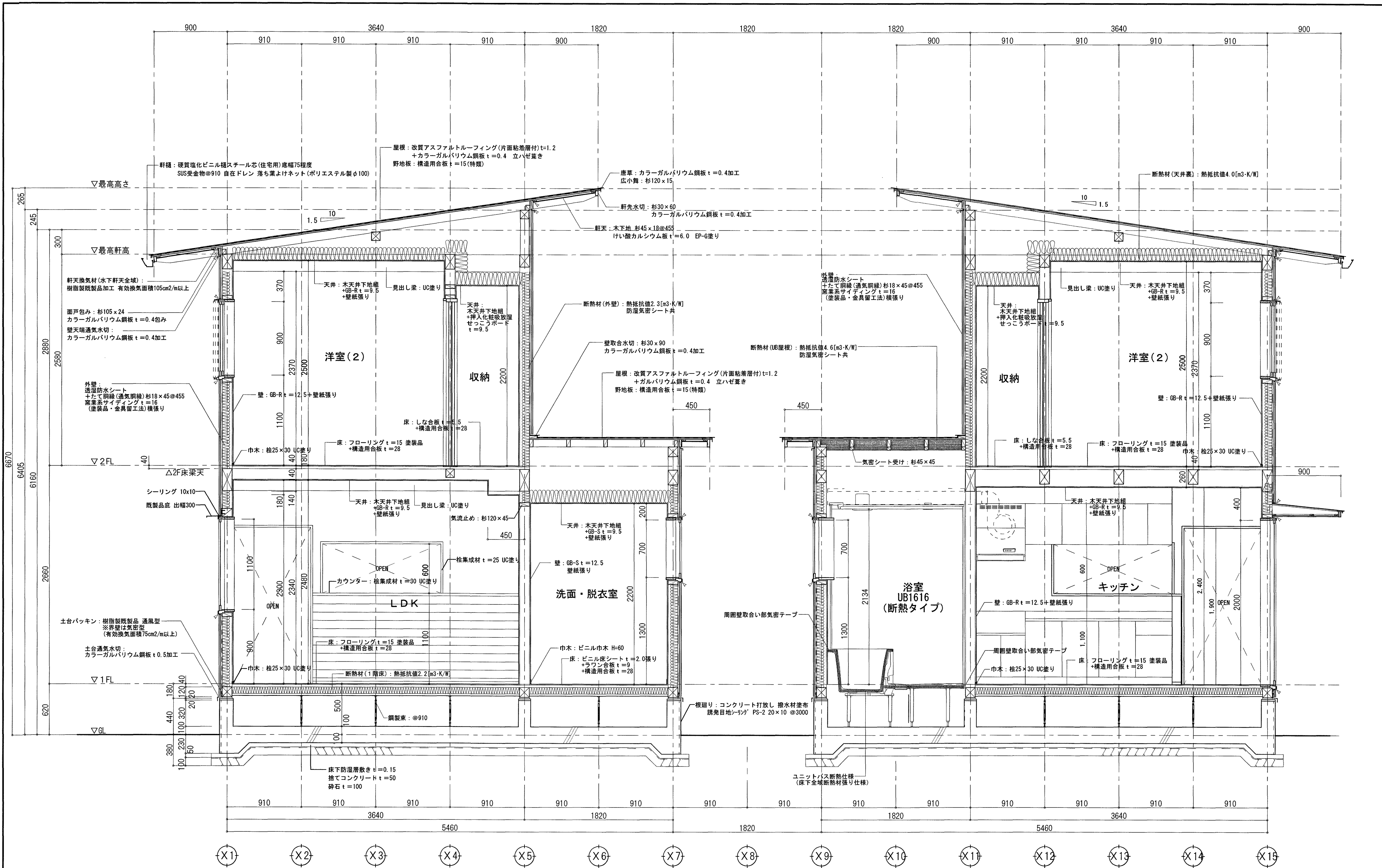


断面図 S=1/100

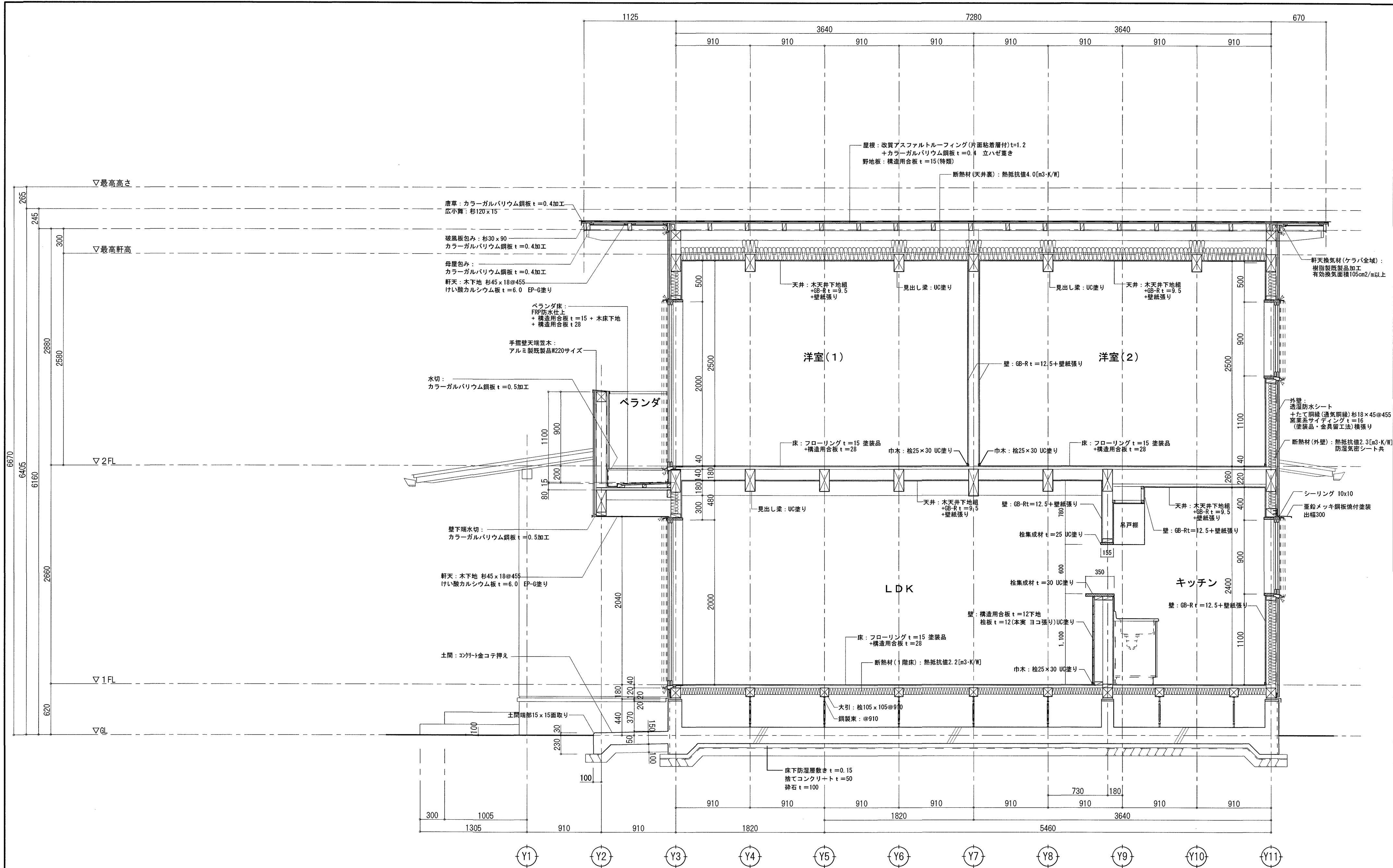


断面図 S=1/100

				高知市 都市建設部 公共建築課				工事名 中山間地域活性化高川第２・第３住宅新築工事				松本琢史建築設計事務所 TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates		NO A - 17				
				係	係長	課長補佐	課長	図面名 第２住宅 断面図						SCALE 1/100				
																		
用紙サイズによる縮尺補正值 A2：100% A3：70.7%								CHECKED BY				DRAWN BY		Matsumoto		一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史		

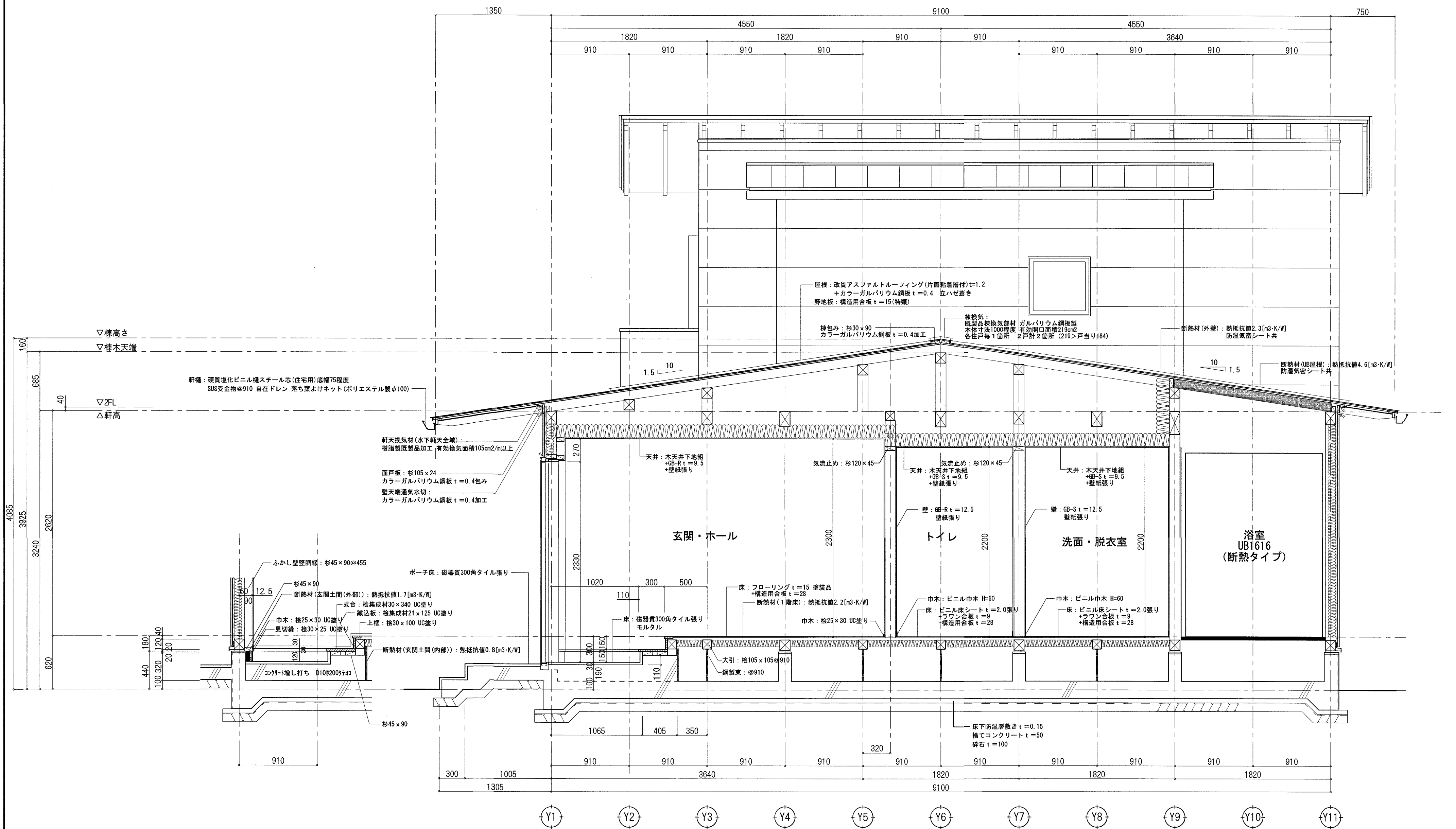


△ シーリング 15x10 を示す																				
気流止めについて、全ての壁・小屋裏取合部分に施すこと。但しそれに変わる梁等がある場合は省略。また屋根断熱部分下は除く。					高知市 都市建設部 公共建築課				工事名 中山間地域活性化高川第 2 ・ 第 3 住宅新築工事				松本琢史建築設計事務所 TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates		NO					
					係		係長								課長補佐		課長		A - 18	
															図面名 第 2 住宅 断面詳細図 (1)				SCALE	
																			1/30	
用紙サイズによる縮尺補正値 A2 : 100% A3 : 70.7%					CHECKED BY				DRAWN BY		Matsumoto		一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史							



△ シーリング 15x10 を示す

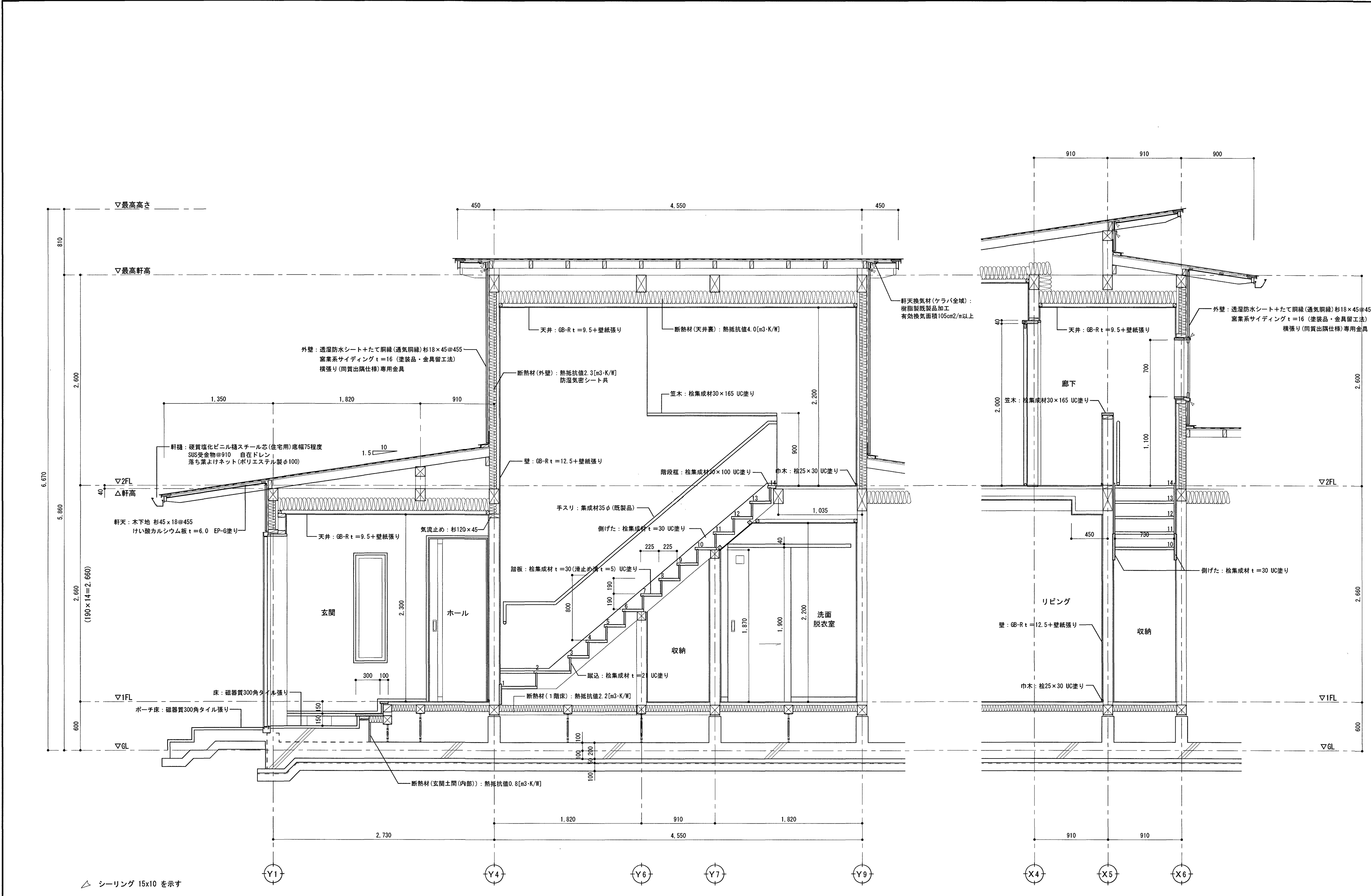
気流止めについて、全ての壁-小屋裏取合部分に施すこと。但しそれに変わる梁等がある場合は省略。また屋根断熱部分下は除く。				高知市 都市建設部 公共建築課				工事名 中山間地域活性化高川第2・第3住宅新築工事				松本琢史建築設計事務所 TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates		NO A - 19	
				係	係長	課長補佐	課長	図面名 第2住宅 断面詳細図 (2)						SCALE	
								CHECKED BY		DRAWN BY		Matsumoto		一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史	
用紙サイズによる縮尺補正値 A2: 100% A3: 70.7%															



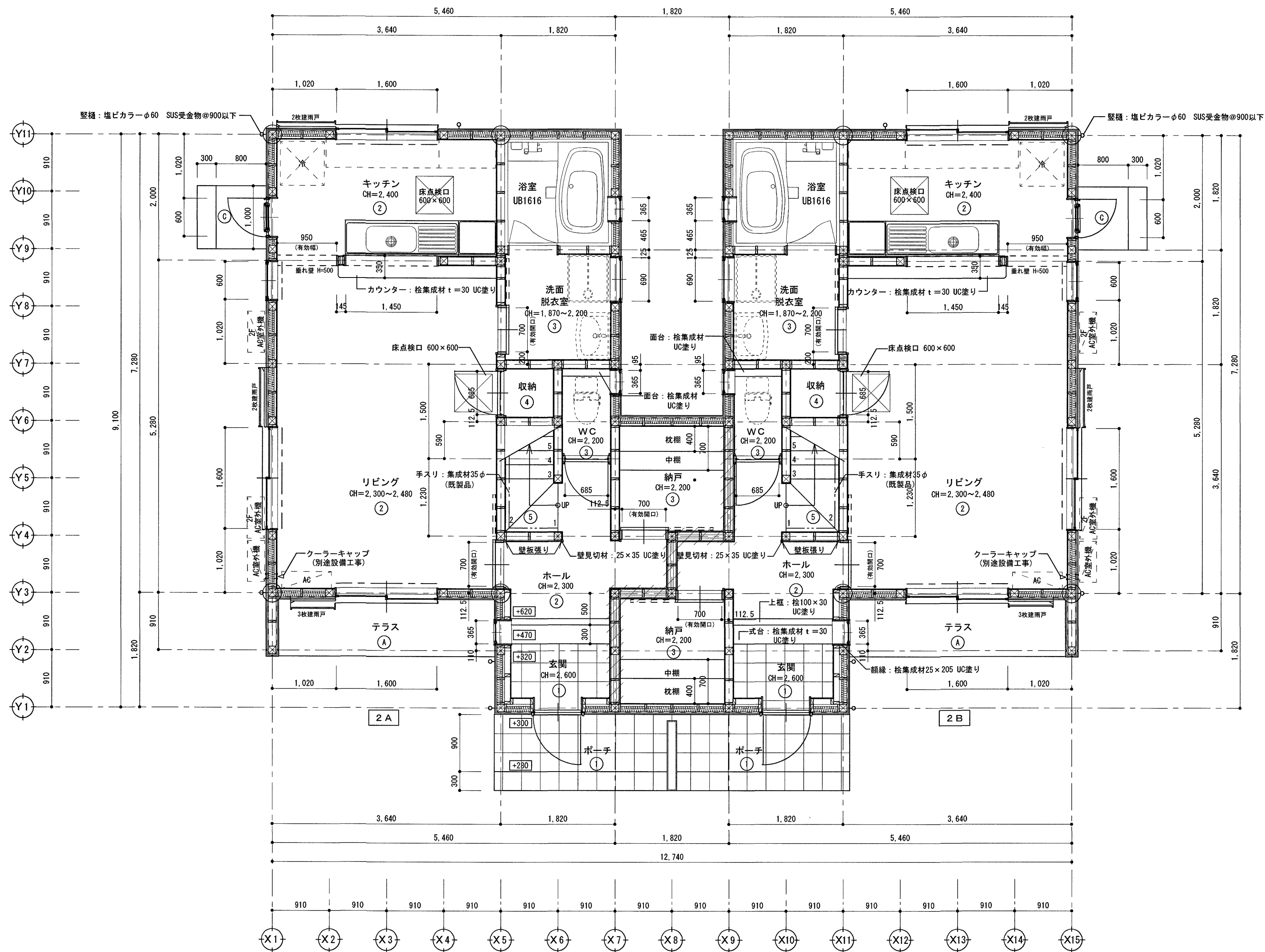
△ シーリング 15x10 を示す

気流止めについて、全ての壁-小屋裏取合部分に施すこと。但しそれに変わる梁等がある場合は省略。また屋根断熱部分下は除く。

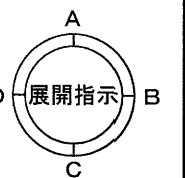
気流止めについて、全ての壁-小屋裏取合部分に施すこと。但しそれに変わる梁等がある場合は省略。また屋根断熱部分下は除く。				高知市 都市建設部 公共建築課				工事名 中山間地域活性化高川第2・第3住宅新築工事				松本琢史建築設計事務所 TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates		NO A - 20			
				係 係長 課長補佐 課長										SCALE			
				   				図面名 第2住宅 断面詳細図 (3)						一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史		1/30	
				用紙サイズによる縮尺補正值 A2: 100% A3: 70.7%				CHECKED BY DRAWN BY Matsumoto									



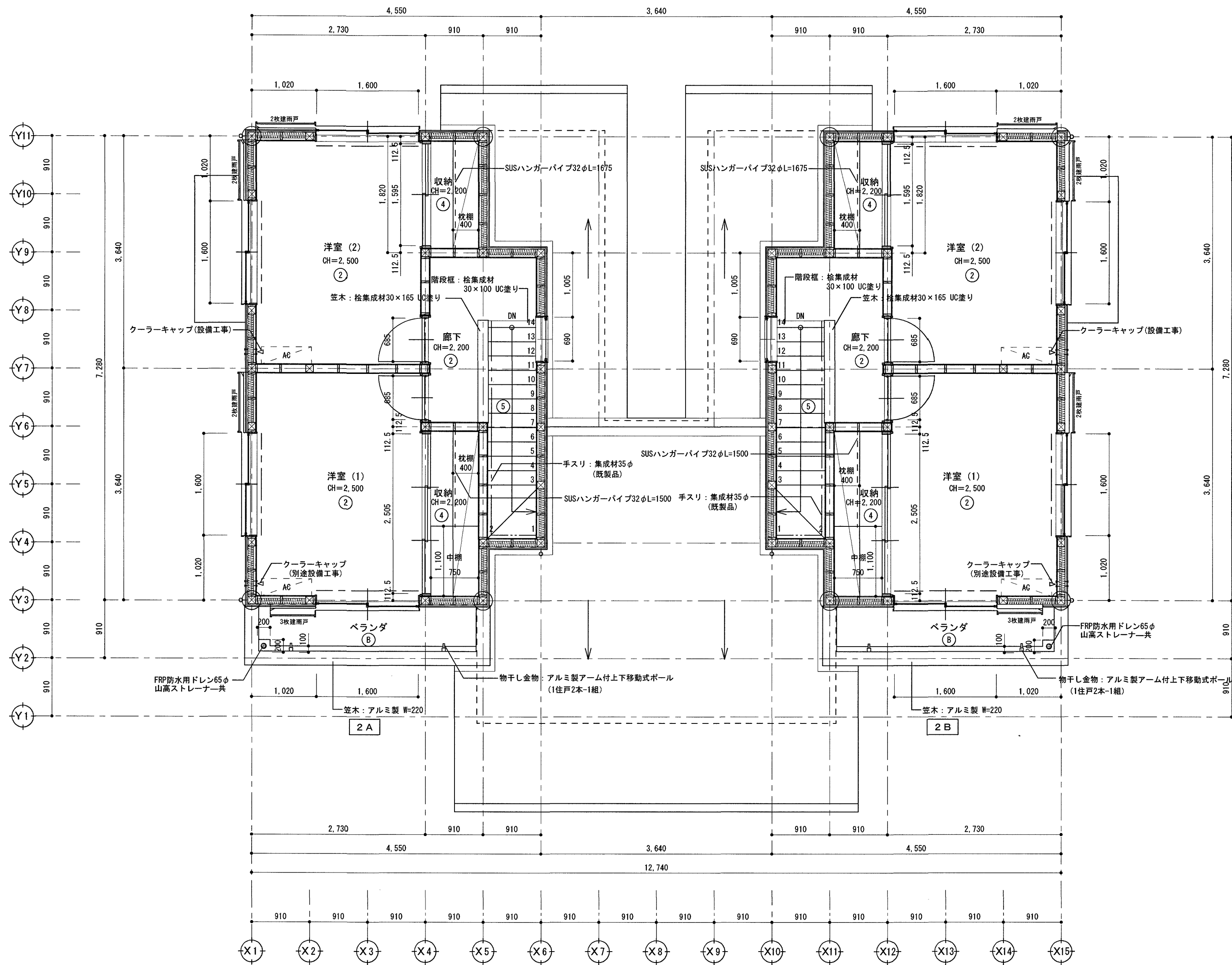
気流止めについて、全ての壁-小屋裏取合部分に施すこと。但しそれに変わる梁等がある場合は省略。また屋根断熱部分下は除く。				高知市 都市建設部 公共建築課				工事名 中山間地域活性化高川第2・第3住宅新築工事				松本琢史建築設計事務所 TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates		NO A - 21	
				係	係長	課長補佐		課長	図面名 第2住宅 断面詳細図 (4)					SCALE 1/30	
													CHECKED BY DRAWN BY Matsumoto		
用紙サイズによる縮尺補正値 A2: 100% A3: 70.7%															



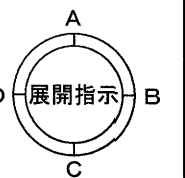
1階平面詳細図 S=1/50



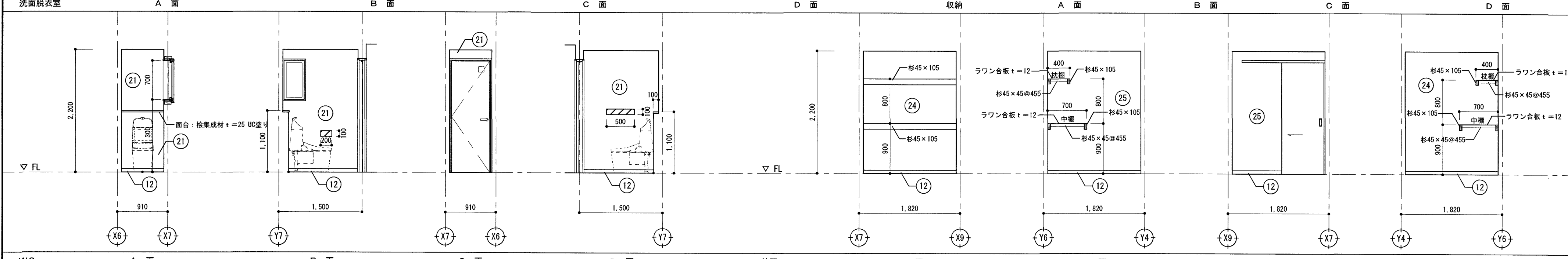
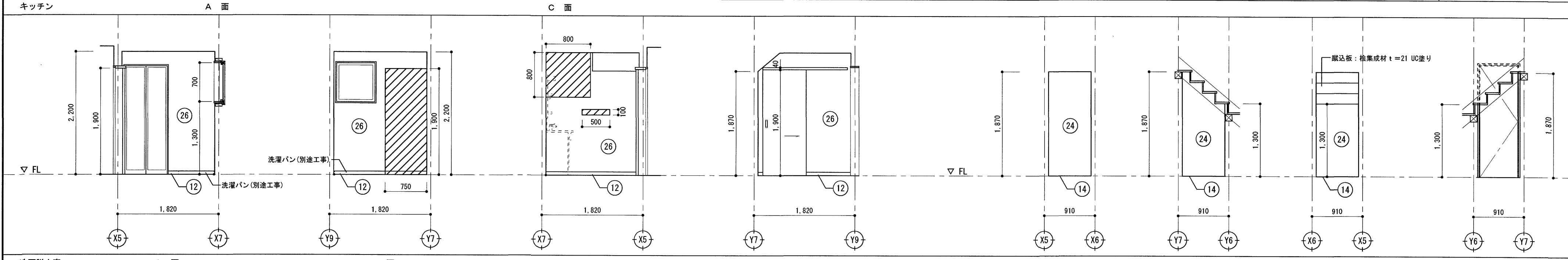
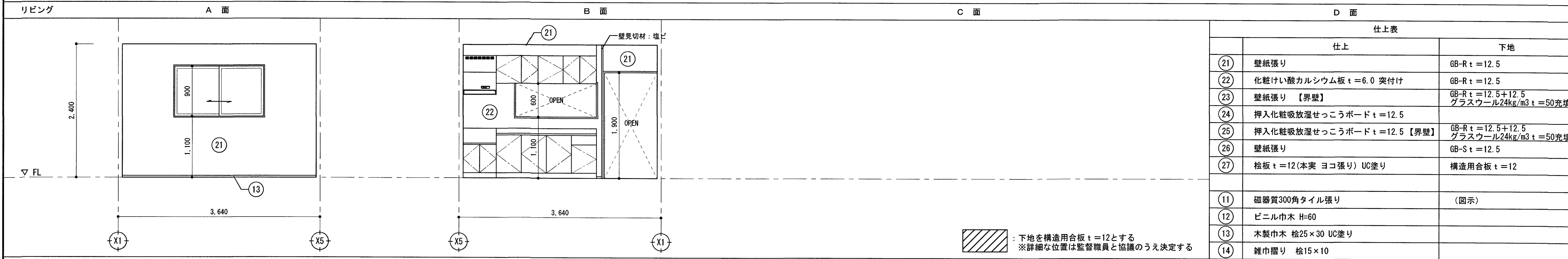
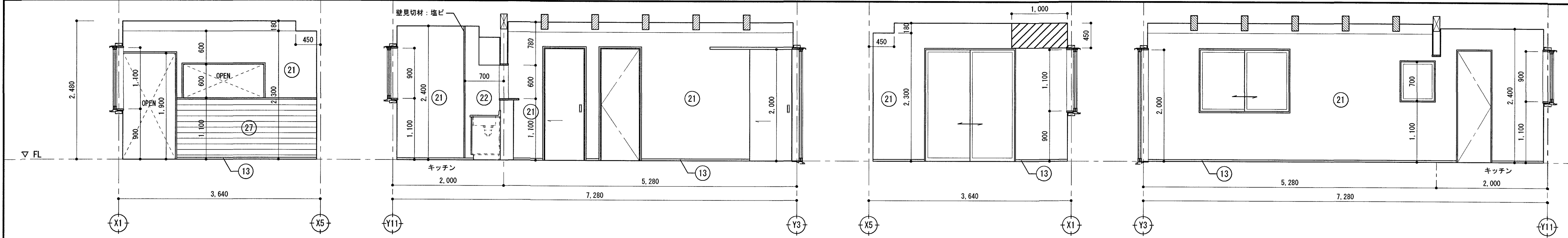
仕上		下地		仕上		注	
①	磁器質300角タイル張り		モルタル	①	コンクリート直均し金コテ仕上げ 目地切目1800		
②	フローリング t=15 塗装品		構造用合板 t=28	②	木床下地+構造用合板 t=15+FRP防水		
③	ビニル床シート t=2.0張り		構造用合板 t=28+ラワン合板 t=9.0	③	モルタル金コテ押え		
④	しな合板 t=5.5		構造用合板 t=28				
⑤	踏板 桧積層材 t=30(滑止め溝 t=5) UC塗り						
----- については、別途設備工事にて施工する							
				高知市 都市建設部 公共建築課		工事名 中山間地域活性化高川第2・第3住宅新築工事	
				係	係長 課長補佐 課長	図面名 第2住宅 1階平面詳細図	
						CHECKED BY	DRAWN BY Matsumoto
				用紙サイズによる縮尺補正値 A2: 100% A3: 70.7%		松本琢史建築設計事務所 TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates	
						一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史	
						NO A-22 SCALE 1/50	

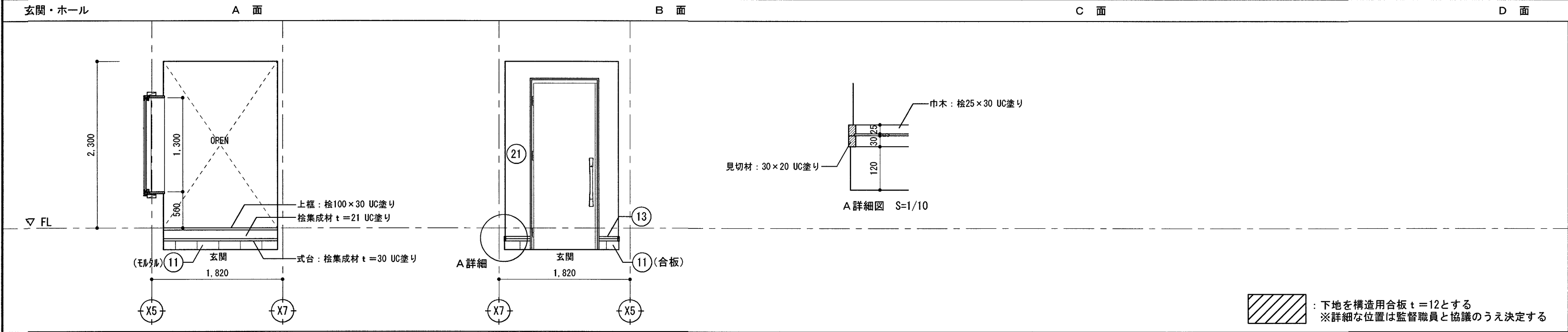
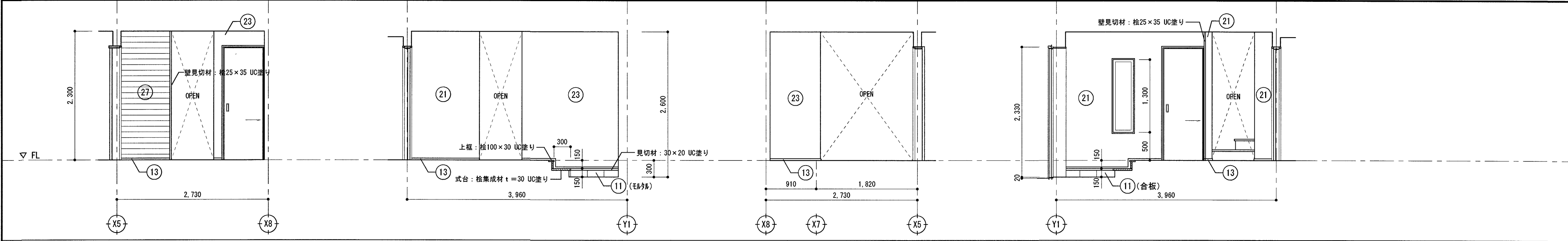


2階平面詳細図 S=1/50

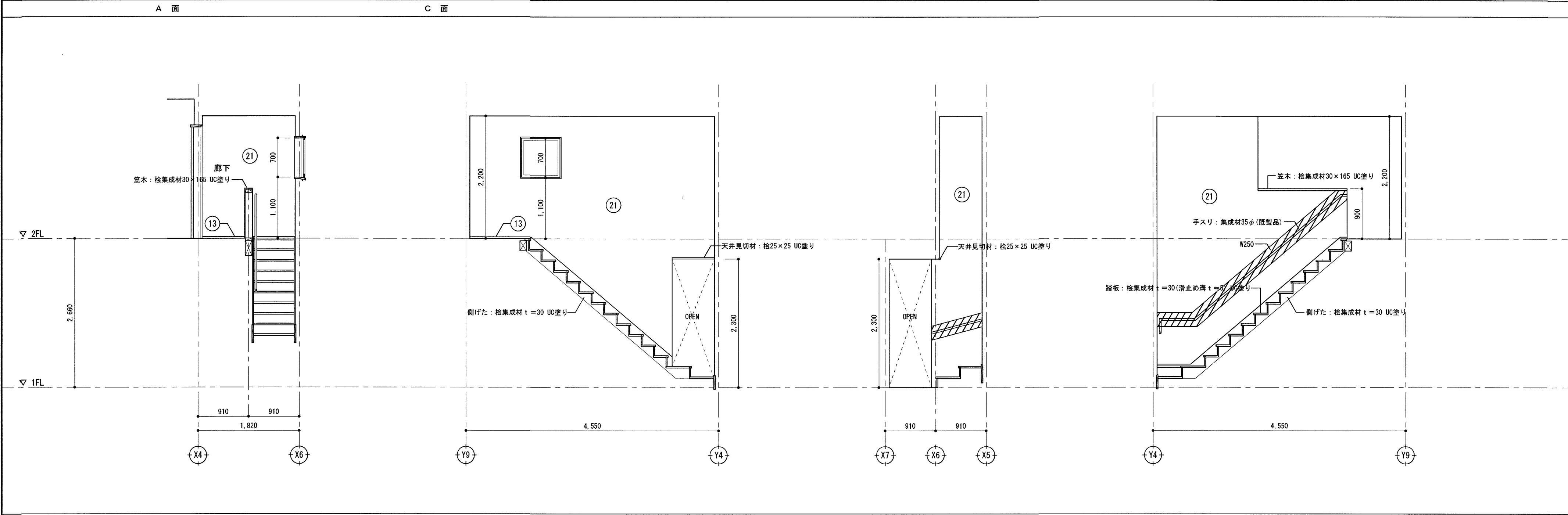


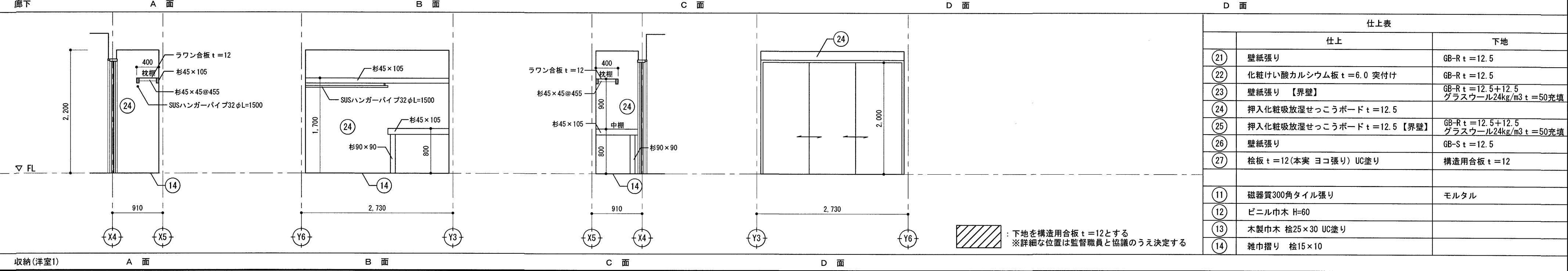
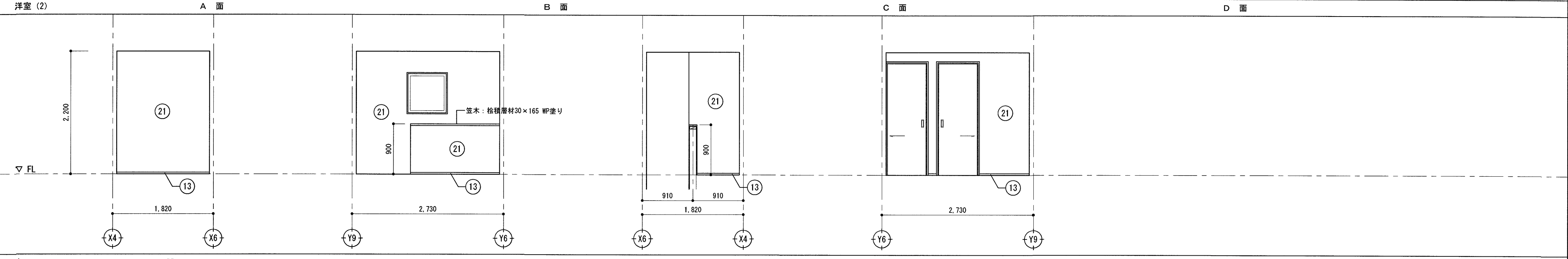
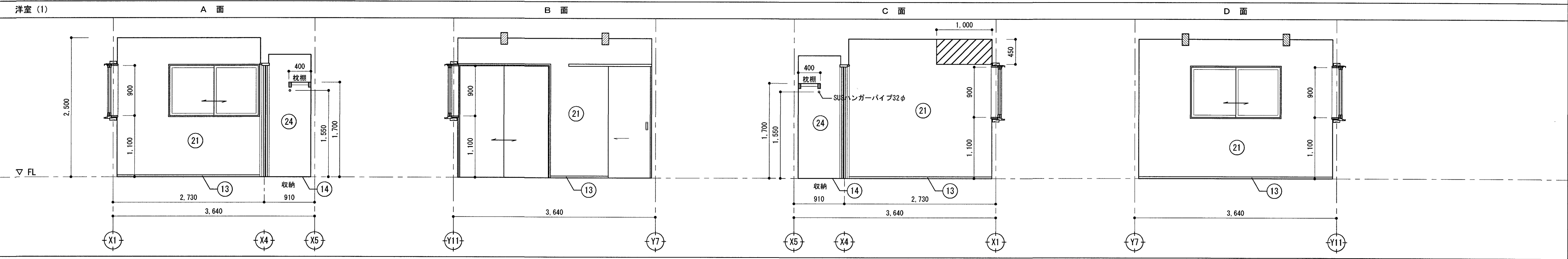
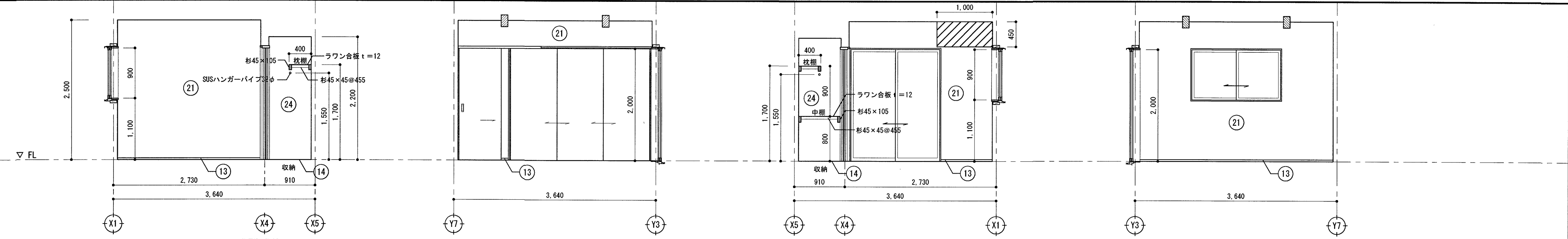
仕上		下地		仕上		住戸間界壁仕様	
①	磁器質300角タイル張り	モルタル		①	コンクリート直均し金コテ仕上げ 目地切φ1800	GB-R t=12.5+12.5両面張り+高性能ガラスウール断熱材 [GWHG24-35] (24kg/m3) t=50充填+4周耐火ｼｰﾙ	
②	フローリング t=15 塗装品	構造用合板 t=28		②	木床下地+構造用合板 t=15+FRP防水	アルミカーテンレールW	
③	ビニル床シート t=2.0張り	構造用合板 t=28+ラワン合板 t=9.0		③	モルタル金コテ押え		
④	しな合板 t=5.5	構造用合板 t=28					
⑤	踏板 桧積層材 t=30(滑止め溝 t=5) UC塗り						
----- については、別途設備工事にて施工する							
				高知市 都市建設部 公共建築課		工事名 中山間地域活性化高川第2・第3住宅新築工事	
				係	係長	課長補佐	課長
				小野	菅岡	三浦	松本
				図面名 第2住宅 2階平面詳細図		松本琢史建築設計事務所 TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates	
				用紙サイズによる縮尺補正値 A2: 100% A3: 70.7%		CHECKED BY	DRAWN BY Matsumoto
						一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史	
						NO A-23	
						SCALE 1/50	



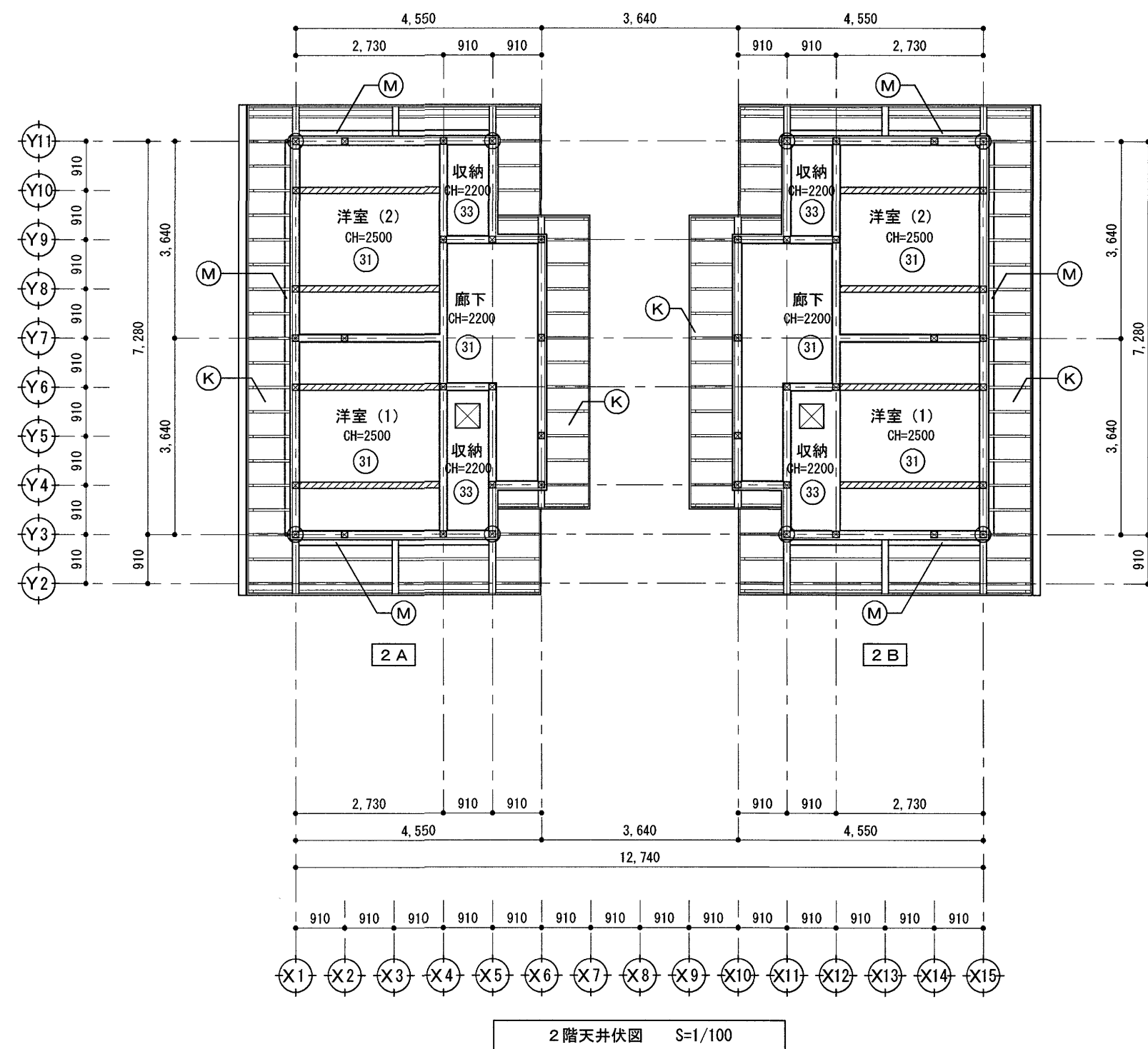
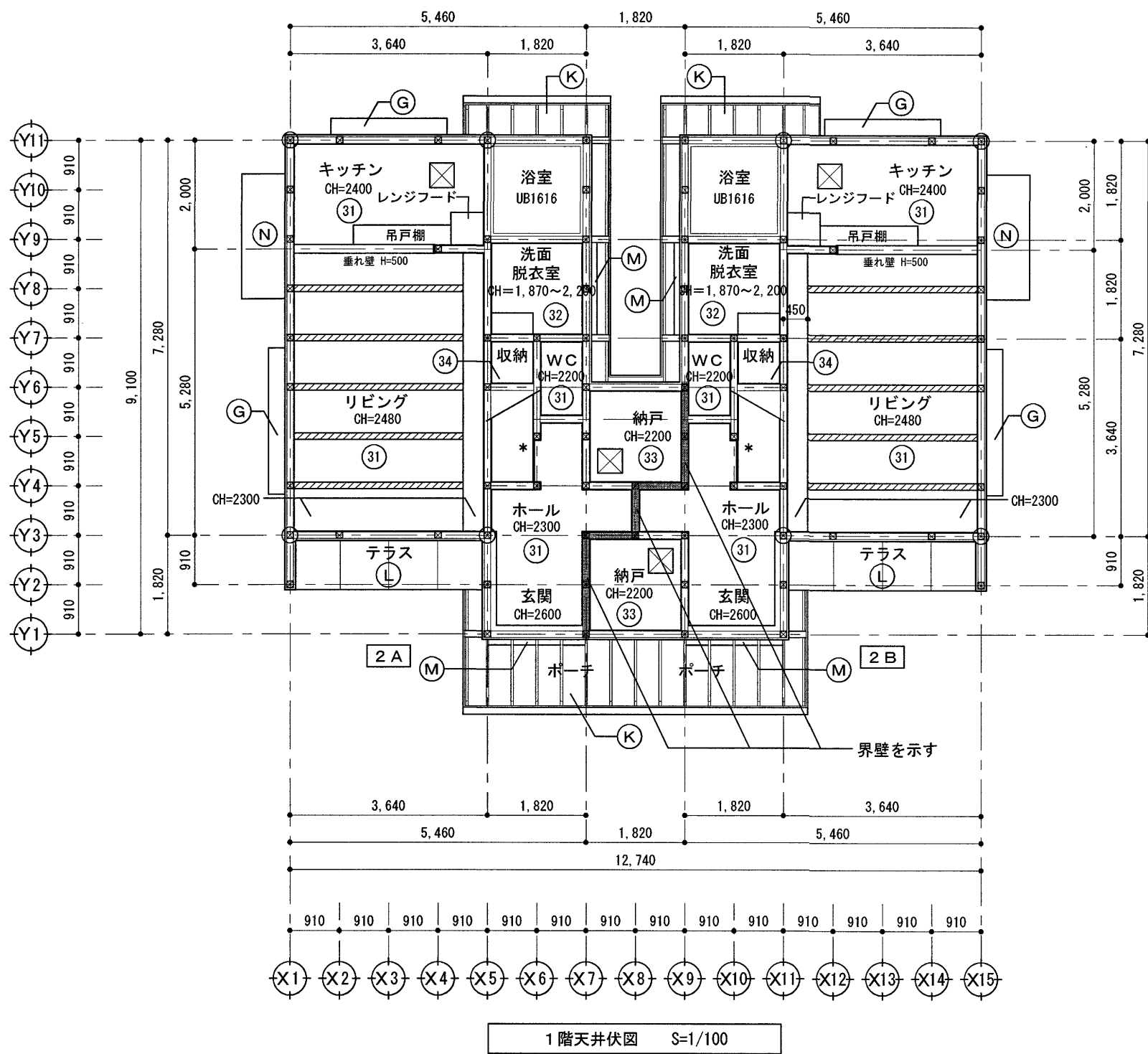


仕上表		
	仕上	下地
②1	壁紙張り	GB-R t=12.5
②2	化粧けい酸カルシウム板 t=6.0 突付け	GB-R t=12.5
②3	壁紙張り 【界壁】	GB-R t=12.5+12.5 グラスウール24kg/m3 t=50充填
②4	押入化粧吸放湿せつこうボード t=12.5	
②5	押入化粧吸放湿せつこうボード t=12.5 【界壁】	GB-R t=12.5+12.5 グラスウール24kg/m3 t=50充填
②6	壁紙張り	GB-S t=12.5
②7	桧板 t=12(本実 ヨコ張り) UC塗り	構造用合板 t=12
①1	磁器質300角タイル張り	(図示)
①2	ビニル巾木 H=60	
①3	木製巾木 桧25×30 UC塗り	
①4	雑巾摺り 桧15×10	

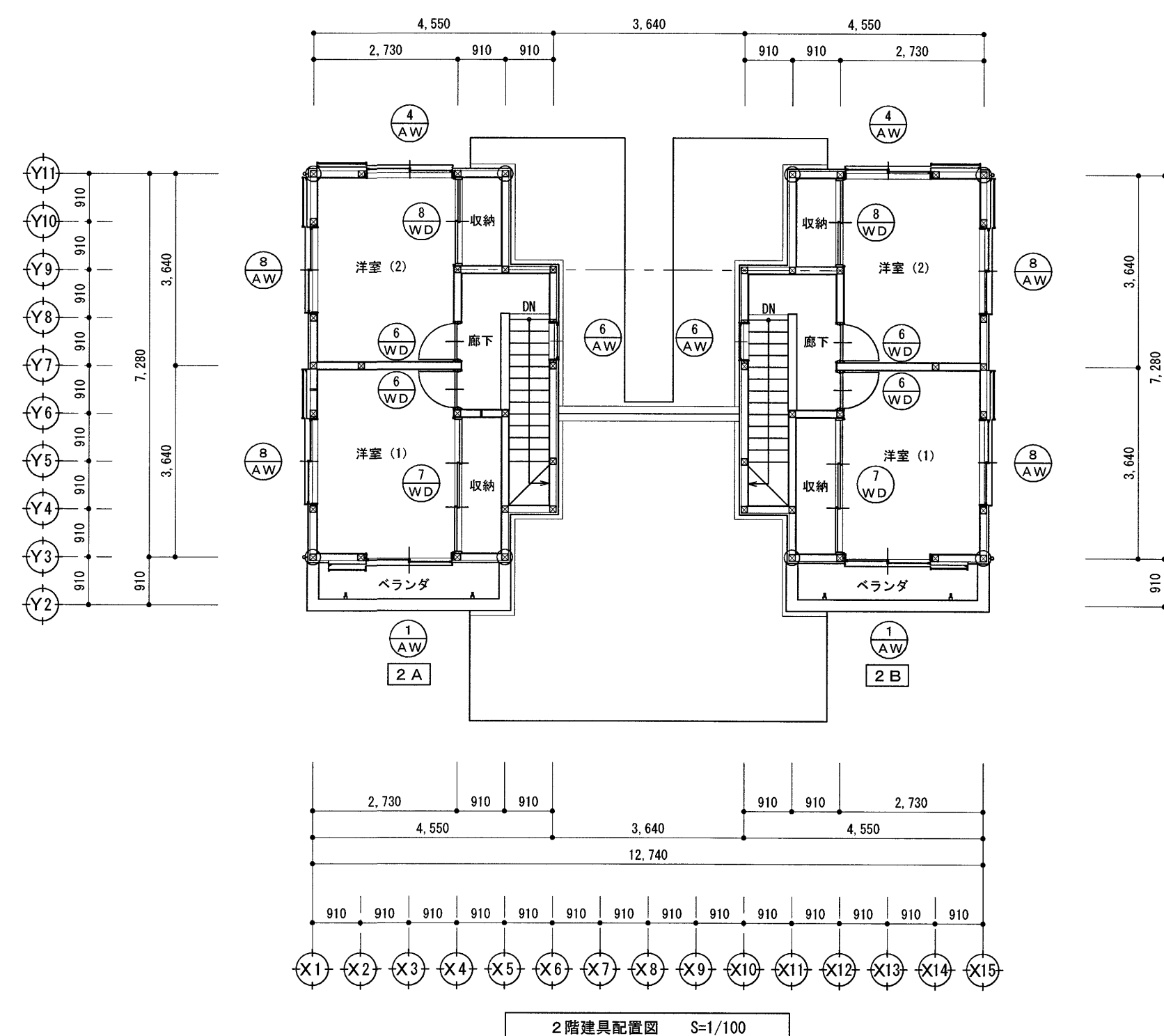
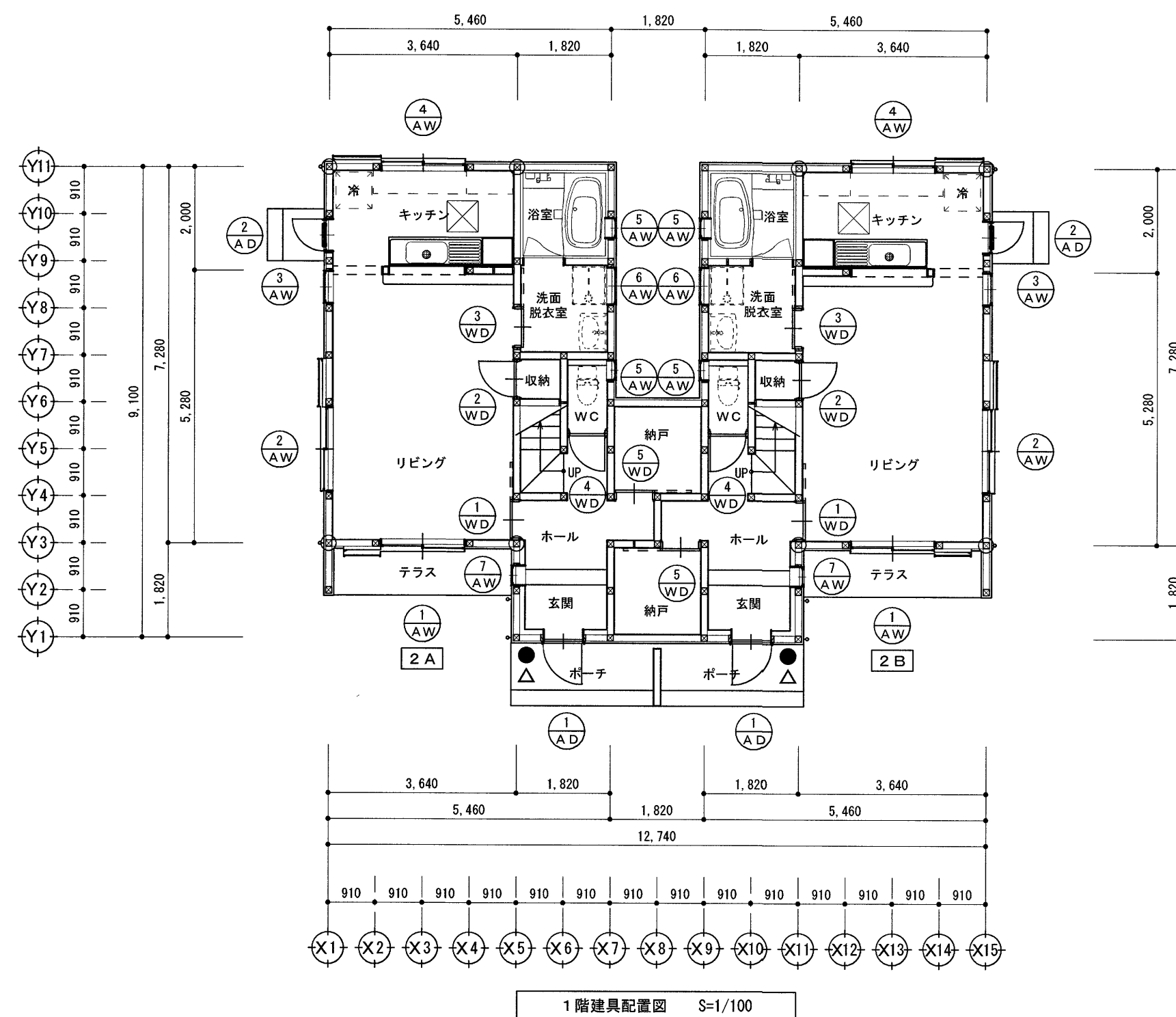




仕上表		
	仕上	下地
②1	壁紙張り	GB-R t=12.5
②2	化粧けい酸カルシウム板 t=6.0 突付け	GB-R t=12.5
②3	壁紙張り 【界壁】	GB-R t=12.5+12.5 グラスウール24kg/m3 t=50充填
②4	押入化粧吸放湿せつこうボード t=12.5	
②5	押入化粧吸放湿せつこうボード t=12.5 【界壁】	GB-R t=12.5+12.5 グラスウール24kg/m3 t=50充填
②6	壁紙張り	GB-S t=12.5
②7	桧板 t=12(本実 ヨコ張り) UC塗り	構造用合板 t=12
①1	磁器質300角タイル張り	モルタル
①2	ビニル巾木 H=60	
①3	木製巾木 桧25x30 UC塗り	
①4	雑巾摺り 桧15x10	

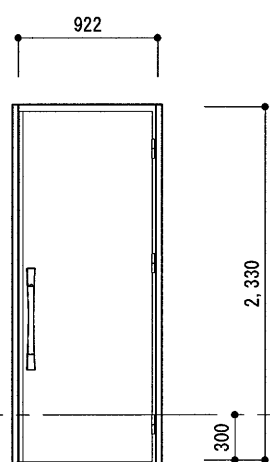
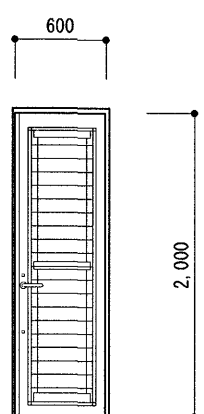
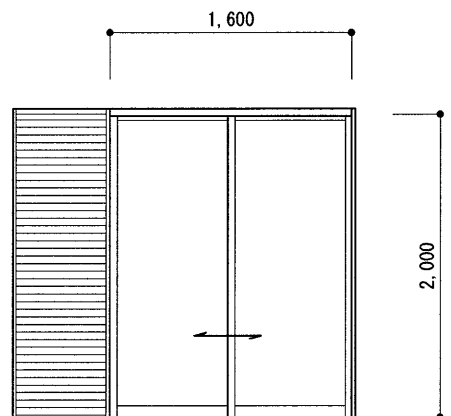
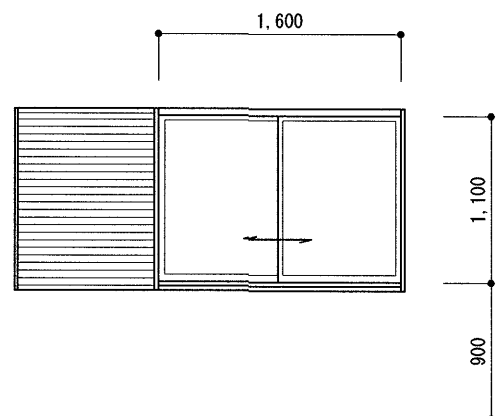
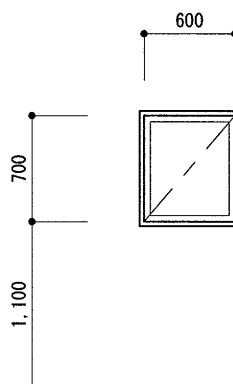
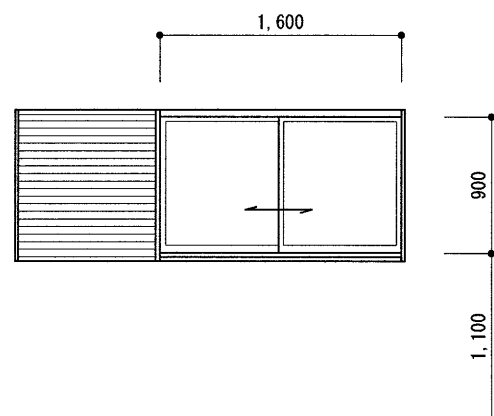
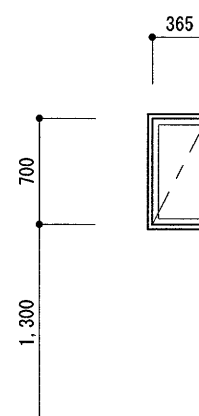
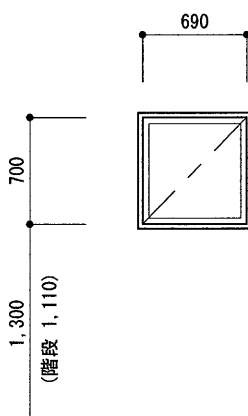
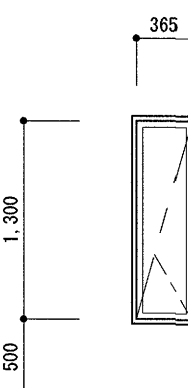
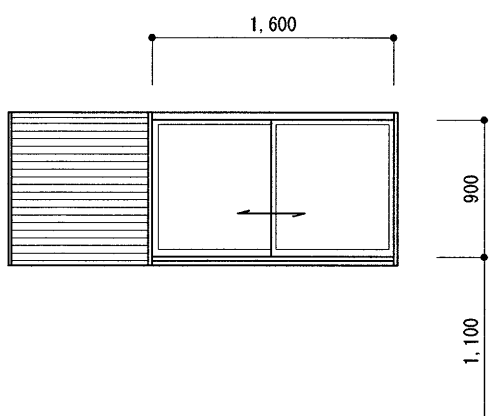


外部仕上表		天井仕上表				天井アルミ点検口450角 ・取付け位置は現場打合せとする					
		仕上		下地	廻り縁						
G	亜鉛メッキ鋼板焼付塗装 出幅300 L=2700（外壁面からの出幅270）										
K	軒天：けい酸カルシウム板 t=6.0 EP-G塗り（木下地） 垂木（見出し）：45×105 @455 *母屋木口はカラーガルバリウム鋼板 t=0.4で包む *屋外の見出し木材は全て、WP塗りとする	31	壁紙張り	GB-R t=9.5（木下地）	塩ビ	梁見出し UC塗り					
		32	壁紙張り	GB-S t=9.5（木下地）	塩ビ	* 天井見切材：桧25×25 UC塗り					
L	けい酸カルシウム板 t=6.0 目透し張り EP-G塗り（木下地）	33	押入化粧吸放湿せっこうボード t=9.5	（木下地）	塩ビ						
M	軒天換気材：樹脂製既製品 有効換気面積105cm2/m以上	34	踏板 桧集成材 t=30 UC塗り								
N	木下地＋ガルバリウム鋼板 t=0.4 立ハゼ葺き（部分詳細図参照）										
				高知市 都市建設部 公共建築課		工事名 中山間地域活性化高川第2・第3住宅新築工事		松本琢史建築設計事務所 TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates 一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史			
				係	係長					課長補佐	課長
										NO A - 27	
				図面名 第2住宅 天井伏図						SCALE 1/50	
用紙サイズによる縮尺補正值 A2：100% A3：70.7%						CHECKED BY		DRAWN BY	Matsumoto		



凡例		
●	表札：アルミ製（公団型） W=200 H=200	2ヶ処
△	郵便ポスト 前出前入タイプ（外壁付け） W300×H390×D120	2ヶ処

高知市 都市建設部 公共建築課				工事名 中山間地域活性化高川第2・第3住宅新築工事				NO A - 28 SCALE 1/100	
係 係長 課長補佐 課長				図面名 第2住宅 建具配置図					
   				CHECKED BY  DRAWN BY Matsumoto				一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史	
用紙サイズによる縮尺補正値 A2: 100% A3: 70.7%									

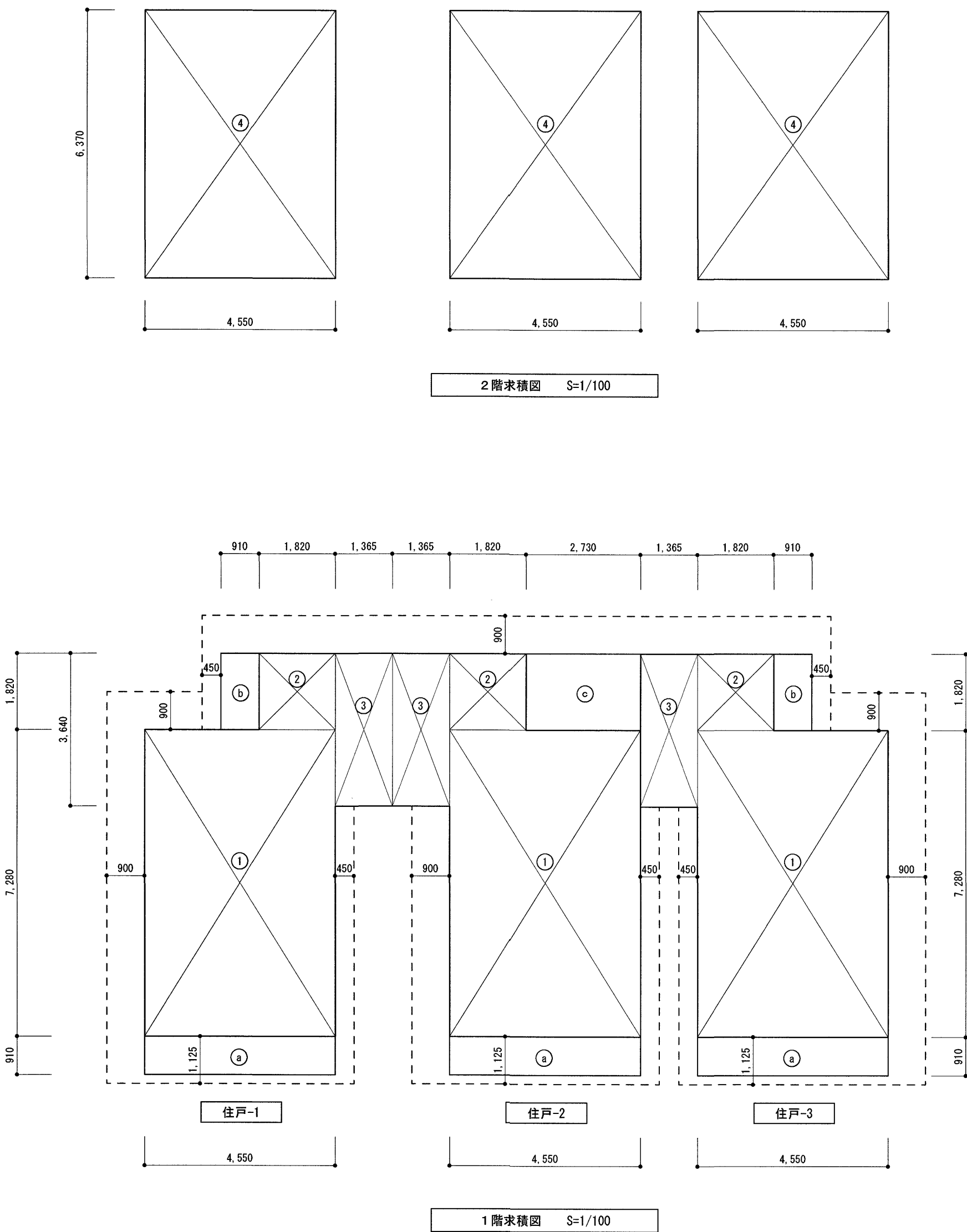
記 号	1 A D 1階 玄関	ヶ処数： 2	2 A D 1階 キッチン	ヶ処数： 2						
形状 寸法	K 2 仕様（熱貫流率2.3[W/(m2・K)]以下）  ▽ FL		熱貫流率3.5[W/(m2・K)]以下  ▽ FL							
名称・材種	玄関片開きドア		アルミ樹脂複合サッシ 片開きドア(採風勝手口ドア)							
金 物	シリンダーサムターン錠・付属金物一式		シリンダーサムターン錠・付属金物一式							
塗装・仕上	標準カラー		標準カラー							
ガラス			複層ガラス：LowE3＋A12＋F4							
備 考	アルミ製内部額縁 見込200		網戸							
記 号	1 A W 1階 リビング 2階 洋室(1)	ヶ処数： 4	2 A W 1階 リビング	ヶ処数： 2	3 A W 1階 キッチン	ヶ処数： 2	4 A W 1階 キッチン 2階 洋室(2)	ヶ処数： 4	5 A W 1階 浴室・WC	ヶ処数： 4
形状 寸法	熱貫流率4.1[W/(m2・K)]以下有効な庇又は軒あり  ▽ FL		熱貫流率3.5[W/(m2・K)]以下  ▽ FL		熱貫流率4.1[W/(m2・K)]以下有効な庇又は軒あり  ▽ FL		熱貫流率3.5[W/(m2・K)]以下  ▽ FL		熱貫流率3.5[W/(m2・K)]以下  ▽ FL	
名称・材種	アルミ樹脂複合サッシ 雨戸付引違い窓(鏡板付戸袋)		アルミ樹脂複合サッシ 雨戸付引違い窓(鏡板付戸袋)		アルミ樹脂複合サッシ すべり出し窓		アルミ樹脂複合サッシ 雨戸付引違い窓(鏡板付戸袋)		アルミ樹脂複合サッシ すべり出し窓	
金 物	付属金物一式		付属金物一式		カムラッチ・付属金物一式		付属金物一式		カムラッチ・付属金物一式	
塗装・仕上	標準カラー		標準カラー		標準カラー		標準カラー		標準カラー	
ガラス	複層ガラス：FL5＋A12＋FL5		複層ガラス：LowE5＋A12＋FL5		複層ガラス：FL5＋A12＋FL5		複層ガラス：LowE5＋A12＋F5(1階 キッチン)、LowE5＋A12＋FL5(2階 洋室(2))		複層ガラス：LowE5＋A12＋F5	
備 考	網戸・3枚建雨戸		網戸・2枚建雨戸		網戸		網戸・2枚建雨戸		網戸	
記 号	6 A W 1階 洗面脱衣室・階段	ヶ処数： 4	7 A W 1階 玄関	ヶ処数： 2	8 A W 2階 洋室(1)(2)	ヶ処数： 4				
形状 寸法	熱貫流率3.5[W/(m2・K)]以下  ▽ FL		熱貫流率3.5[W/(m2・K)]以下  ▽ FL		熱貫流率4.1[W/(m2・K)]以下有効な庇又は軒あり  ▽ FL					
名称・材種	アルミ樹脂複合サッシ すべり出し窓		アルミ樹脂複合サッシ たてすべり出し窓		アルミ樹脂複合サッシ 雨戸付引違い窓(鏡板付戸袋)					
金 物	カムラッチ・付属金物一式		カムラッチ・付属金物一式		付属金物一式					
塗装・仕上	標準カラー		標準カラー		標準カラー					
ガラス	複層ガラス：LowE5＋A12＋F5(1階 洗面脱衣室)、LowE5＋A12＋FL5(階段)		複層ガラス：LowE5＋A12＋FL5		複層ガラス：FL5＋A12＋FL5					
備 考	網戸		網戸		網戸・2枚建雨戸					

					高知市 都市建設部 公共建築課				工事名 中山間地域活性化高川第2・第3住宅新築工事				松本琢史建築設計事務所 TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates		NO A - 29	
					係 係長 課長補佐 課長				図面名 第2住宅 銅製建具表						SCALE 1/50	
					   				CHECKED BY						DRAWN BY	Matsumoto
用紙サイズによる縮尺補正値 A2：100% A3：70.7%										一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史						

記 号		1WD1階 リビング	ヶ処数： 2	2WD1階 収納	ヶ処数： 2	3WD1階 洗面脱衣室	ヶ処数： 2	4WD1階 WC	ヶ処数： 2	5WD1階 納戸	ヶ処数： 2				
形状 寸法															
	▽ FL						(有効開口)			アンダーカット					
見込：36			見込：36			見込：36			見込：36						
名称・材種		シナ合板フラッシュ片引き戸			シナ合板フラッシュ片引き戸			シナ合板フラッシュ片引き戸			シナ合板フラッシュ片引き戸				
金 物		SUS引手・上吊金物一式			SUS引手・レバーハンドル・戸当り			SUS引手・表示付サムターン鏝錠・上吊金物一式			SUS丁番(3枚吊)・レバーハンドル・表示付サムターン鏝錠・戸当り				
塗装・仕上		UC塗り 小口：桧UC塗り			UC塗り 小口：桧UC塗り			UC塗り 小口：桧UC塗り			UC塗り 小口：桧UC塗り				
ガラス		型板ガラス t=4						型板ガラス t=4							
備 考								小窓							
記 号		6WD2階 洋室 (1)・洋室 (2)	ヶ処数： 4	7WD2階 収納 (洋室(1))	ヶ処数： 2	8WD2階 収納 (洋室(2))	ヶ処数： 2								
形状 寸法															
	見込：36			見込：36			見込：36								
名称・材種		ポリ合板フラッシュ片引き戸			ポリ合板フラッシュ3枚引違い戸			ポリ合板フラッシュ引違い戸							
金 物		SUS丁番(3枚吊)・レバーハンドル・戸当り			SUS引手・フッターレール・戸車・ソフトクローズ			SUS引手・フッターレール・戸車・ソフトクローズ							
塗装・仕上		UC塗り 小口：桧UC塗り			小口：桧UC塗り			小口：桧UC塗り							
ガラス															
備 考															
流し台				2ヶ処				ユニットバス				2ヶ処			
				流し台：B L認定品 間口1800 天端・シンク：ステンレス				ガス台：B L認定品 間口600 天端：ステンレス コンロ用サイドカバー(ステンレス製) コンロ用バックガード(ステンレス製) 防熱板(ステンレス製) 側壁・後壁(ガスコンロ用)				吊戸棚：B L認定品 高さ500 間口1200+600			
				レンジフード：シロッコファン付き 間口600 必要換気量400m3/h											
S=1/50															
				戸建て用 1616											
				壁：4面同色 床：カラリ床 FRP製 断熱材付仕様 (立上り部共) 天井：化粧銅板複合パネル 天井点検口450角 浴槽：FRPバス 追焚用φ50開口 ゴム栓 断熱防水パン付 ドア：折戸W800 枠：ドア枠 樹脂製3方枠 窓枠 樹脂製4方枠 照明：半球形照明1灯 LEDランプ アクセサリー：タオル掛け L=400 雑排水トラップ：トラップ(ABS樹脂製)接続口：VP50受口 ふろふた：シャッター式ふろふた 鏡：なし 水栓：浴槽・洗い場兼用(サーモスタット スプレーシャワーS) ランドリーパイプ：1本 L=1100(ブラケット2個) 追焚機能：リモコン取付用補強木貼付け及び壁穴開口のみ ※リモコン本体及び接続は設備工事 手すり：I型 L=600×3箇所 (浴槽側短辺・ドア横・洗い場側正面) 換気扇：□177 開口および補強木取付のみ ※換気扇本体及び接続は設備工事											

階	住戸等 タイプ	室名	A	採光検討				V
			L W	H	ヶ所	補正係数	W	H
1	住戸 (2A・2B)	リビング キッチン	3.640 × 7.280 × 1 = 26.499	AW2	1.600 × 1.100 × 1 × 3.00 = 5.280	AW2	1.600 × 1.100 × 0.5 × 1 = 0.880	
		居室	計	5.280	計	2.480		
			26.49	26.499	√	√		
		WC	0.910 × 1.500 × 1 = 1.365		A / 7	= 3.784	A / 20	= 1.325
		玄関 ホール	計	1.365				
			1.36					
1F居室面積 26.49m ²	1.820 × 1.820 × 1 = 3.312 2.730 × 0.910 × 1 = 2.484 0.910 × 1.230 × 1 = 1.119							
計	6.916							
2		洋室（1）	2.730 × 3.640 × 1 = 9.937	AW4	1.600 × 0.900 × 1 × 3.00 = 4.320	AW4	1.600 × 0.900 × 0.5 × 1 = 0.720	
		居室	9.937	計	4.320	計	0.720	
		計	9.93	A / 7	= 1.419	A / 20	= 0.497	
		洋室（2）	2.730 × 3.640 × 1 = 9.937	AW4	1.600 × 0.900 × 1 × 3.00 = 4.320	AW4	1.600 × 0.900 × 0.5 × 1 = 0.720	
		居室	9.937	計	4.320	計	0.720	
		計	9.93	A / 7	= 1.419	A / 20	= 0.497	
		廊下	0.910 × 2.730 × 1 = 2.484 0.910 × 0.910 × 1 = 0.828					
		2F居室面積 19.86m ²	3.312					
		計	3.31					
	住戸面積 (求積図より) 1階 47.2m ² 2階 30.63m ² 計 77.83m ² 居室面積 1・2階計 46.35m ²							
		ベランダ面積	0.910 × 3.640 × 1 = 3.312					
			3.312					
			計	3.31				
				採光補正係数算定	d / h × α - β = 補正係数			
				西面1F	6.435 / 3.790 × 10 - 1 = 15.9788			
					/ x - =			
					以上によりそれぞれ 3.00			





①	4.550	×	7.280	33.1240
②	1.820	×	1.820	3.3124
③	1.365	×	3.640	4.9686
④	4.550	×	6.370	28.9835
a	4.550	×	0.910	4.1405
b	0.910	×	1.820	1.6562
c	2.730	×	1.820	4.9686

■ 床面積算定

				1 住戸床面積	全体床面積		
1 階	①	4.550	×	7.280	33.1240	33.1240	
	②	1.820	×	1.820	3.3124	3.3124	
	③	1.365	×	3.640	4.9686	4.9686	
	計			41.4050	41.4050		
					×	3 戸	
					124.2150		
	1 階住戸面積			41.40	m2		
	1 階床面積				124.21	m2	
2 階	④	4.550	×	6.370	28.9835	28.9835	
						×	3 戸
					28.9835	86.9505	
	2 階住戸面積			28.98	m2		
	2 階床面積				86.95	m2	
住戸面積				70.38	m2		
延床面積					211.16	m2	

■ 建築面積算定

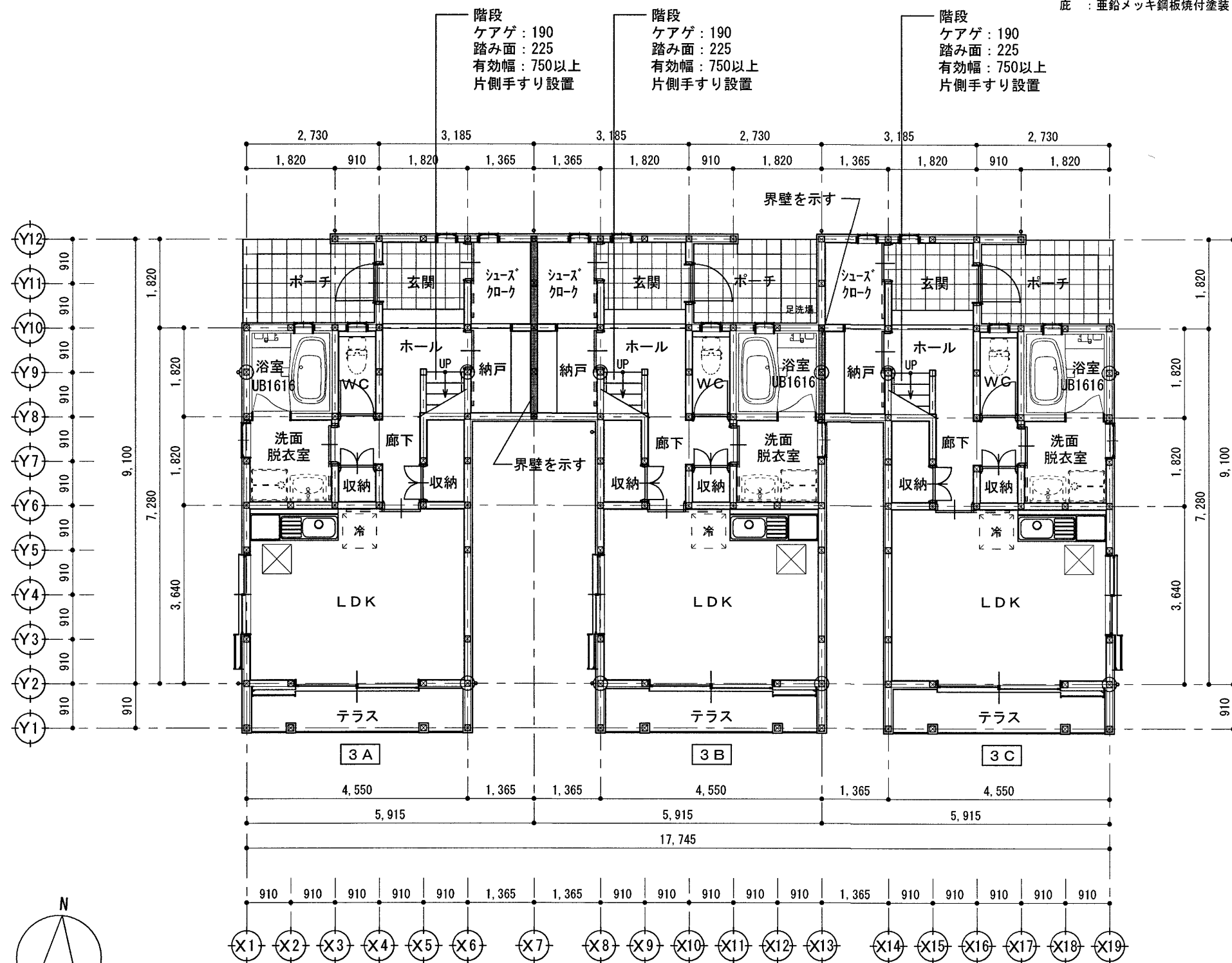
1 住戸建築面積(住戸-1・住戸-3)			
①	4.550	×	7.280
②	1.820	×	1.820
③	1.365	×	3.640
a	4.550	×	0.910
b	0.910	×	1.820
			47.2017
			47.20 m2
1 住戸建築面積(住戸-2)			
①	4.550	×	7.280
②	1.820	×	1.820
③	1.365	×	3.640
a	4.550	×	0.910
b	0.910	×	1.820
c	2.730	×	1.820
			52.1703
			52.17 m2
全体建築面積			146.57 m2

■ 外部仕上表										特記事項										防火認定番号											
屋 根	改質アスファルトルーフィング(片面粘着層付) t=1.2+ カラーガルバリウム鋼板 t=0.4 立ハゼ葺き				断 熱 材	1 階床：熱抵抗値2.2[m3・K/W] (高性能ｸﾞﾗｽｰﾙ断熱材 t=80) (GWHG24-36 剛床用) 外壁 ：熱抵抗値2.3[m3・K/W] (高性能ｸﾞﾗｽｰﾙ断熱材(防湿ﾌｲﾙﾑ付) t=90) (GWHG14-38) 防湿気密シートJIS A 6930 共 天井裏：熱抵抗値4.0[m3・K/W] (高性能ｸﾞﾗｽｰﾙ断熱材(防湿ﾌｲﾙﾑ付) t=155) (GWHG14-38) 玄関土間(内部)：熱抵抗値0.8[m3・K/W] (押出法ポリスチレンフォーム断熱材 t=25) (XPS3bA) 玄関土間(外部)：熱抵抗値1.7[m3・K/W] (押出法ポリスチレンフォーム断熱材 t=50) (XPS3bA)				・室内・天井裏に使用する仕上材・塗料・合板類・接着剤等（家具・備品にも適用）は全てホルムアルデヒド等級区分F☆☆☆☆とし、クロルピリホス・トルエン・キシレンの配合無きものとする。 ・塗料：ホルムアルデヒド・アセトアルデヒド・スチレン・トルエン・キシレン・エチルベンゼンを含有していない水性形のものとする。 ・木材保存剤（防腐処理・防蟻処理等） クロルピリホス・ダイアジノン・フェノブカルブを含有しない非有機リン系の薬剤とし、加圧式防腐防蟻処理は工場で行い、十分乾燥した後に現場搬入する。 また、建物周囲1mの範囲の土壌及び地盤面よりH1mの木造躯体（柱・床束・大引・土台）には防蟻処理を行うこと。 ・木製額縁、木製建具枠、木製巾木等は製材（桧）とする。										せっこうボード t=12.5 (GB-R 12.5)		不燃 大臣認定品									
	野地板：構造用合板 t=15(特類) 母屋包み：カラーガルバリウム鋼板 t=0.4加工					既製品庇		亜鉛メッキ鋼板焼付塗装 出幅300 L=2700・L=1000												せっこうボード t=9.5 (GB-R 9.5)		準不燃 大臣認定品									
外 壁 (戸袋内部共)	透湿防水シート+たて胴縁(通気胴縁)杉18×45@455 窯業系サイディング t=16 (塗装品・金具留工法) 横張り(同質出隅仕様)専用金具				バルコニー	床：木床下地+構造用合板 t=15+FRP防水 壁：透湿防水シート+たて胴縁(通気胴縁)杉18×45@455 窯業系サイディング t=16 (塗装品・金具留工法) 横張り(同質出隅仕様)専用金具 笠木：アルミ製 W=220														シージングせっこうボード t=12.5 (GB-S 12.5)		準不燃 大臣認定品									
軒 天	けい酸カルシウム板 t=6.0 EP-G塗り (木下地)																			化粧せっこうボード t=9.5 (GB-D)		準不燃 大臣認定品									
根廻り	コンクリート打放し 撥水材塗布 誘発目地 MS-2 20×10 @3000																		けい酸カルシウム板 t=6		不燃 大臣認定品										
土台水切	カラーガルバリウム鋼板 t=0.4加工																		壁紙張り												
樋	軒樋：硬質塩化ビニル樋スチール芯(住宅用)底幅75程度 SUS受金物@910 自在ドレン 落ち葉よけネット(ポリエステル製φ100)																		押入化粧吸放湿せっこうボード t=12.5		不燃 大臣認定品										
	壁樋：塩ビカラーφ60 SUS受金物@900以下																		押入化粧吸放湿せっこうボード t=9.5		準不燃 大臣認定品										
■ 内部仕上表																															
床	①	磁器質300角タイル張り	モルタル	①					ユニットバス								洋室(1)	洋室(2)	収納	廊下		階段									
	②	フローリング t=15 塗装品	構造用合板 t=28		②		②									②	②		②												
	③	ビニル床シート t=2.0張り	構造用合板 t=28+ラワン合板 t=9					③		③	③																				
	④	しな合板 t=5.5	構造用合板 t=28									④							④												
	⑤	踏板 桧集成材 t=30(滑止め溝 t=5) UC塗り																			⑤										
	⑥	モルタル金コテ押え t=30 表面強化剤				⑥																									
	巾木	⑪	磁器質300角タイル張り	モルタル、構造用合板 t=12	⑪																										
⑫		ビニル巾木 H=60						⑫		⑫																					
⑬		木製巾木 桧25×30 UC塗り		⑬	⑬		⑬				⑬				⑬	⑬			⑬												
⑭		雑巾摺り 桧15×10										⑭							⑭												
⑮		側げた 桧集成材 t=30 UC塗り																			⑮										
⑯		コンクリート打放し EP-G塗り				⑯																									
⑰		けい酸カルシウム板 t=6.0 EP-G塗り	GB-S t=12.5			⑰																									
壁	㉑	壁紙張り(不燃記載したもののみ不燃大臣認定品)	GB-R t=12.5	㉑	㉑	㉑	㉑ 不燃			㉑	㉑				㉑	㉑			㉑		㉑										
	㉒	化粧けい酸カルシウム板 t=6.0 突付け	GB-R t=12.5				㉒																								
	㉓	壁紙張り 【界壁】	GB-R t=12.5+12.5 グラスウール24kg/m3 t=50充填			㉓					㉓																				
	㉔	押入化粧吸放湿せっこうボード t=12.5										㉔							㉔												
	㉕	壁紙張り	GB-S t=12.5					㉕																							
	㉖	しな合板 t=12				㉖																									
	㉗																														
天井	㉛	壁紙張り(不燃記載したもののみ不燃大臣認定品)	GB-R t=9.5 (木下地)	㉜	㉜	㉜	㉜ 不燃			㉜	㉜				㉜	㉜			㉜		㉜										
	㉝	壁紙張り	GB-S t=9.5 (木下地)				㉝																								
	㉞	押入化粧吸放湿せっこうボード t=9.5	(木下地)									㉞							㉞												
	㉟	踏板 桧集成材 t=30 UC塗り										㉟																			
	天井高				2,600	2,300	2,600	2,300	2,200		2,200	2,300	2,200		2,500	2,500	2,200	2,200													
	廻り縁				塩ビ	塩ビ	塩ビ	塩ビ	塩ビ		塩ビ	塩ビ	塩ビ		塩ビ	塩ビ	塩ビ	塩ビ		塩ビ											
						棚	流し台L=1200 ガス台L= 600 吊戸棚L=1200				棚	中棚・枕棚					中棚・枕棚 SUSハンガー パイプ32φ			手すり 集成材35φ											
高知市 都市建設部 公共建築課										工事名 中山間地域活性化高川第2・第3住宅新築工事						松本琢史建築設計事務所 TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates						NO A - 34									
										係	係長	課長補佐	課長	図面名 第3住宅 仕上表								SCALE —									
用紙サイズによる縮尺補正值 A2：100% A3：70.7%																		CHECKED BY				DRAWN BY		Matsumoto		一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史					

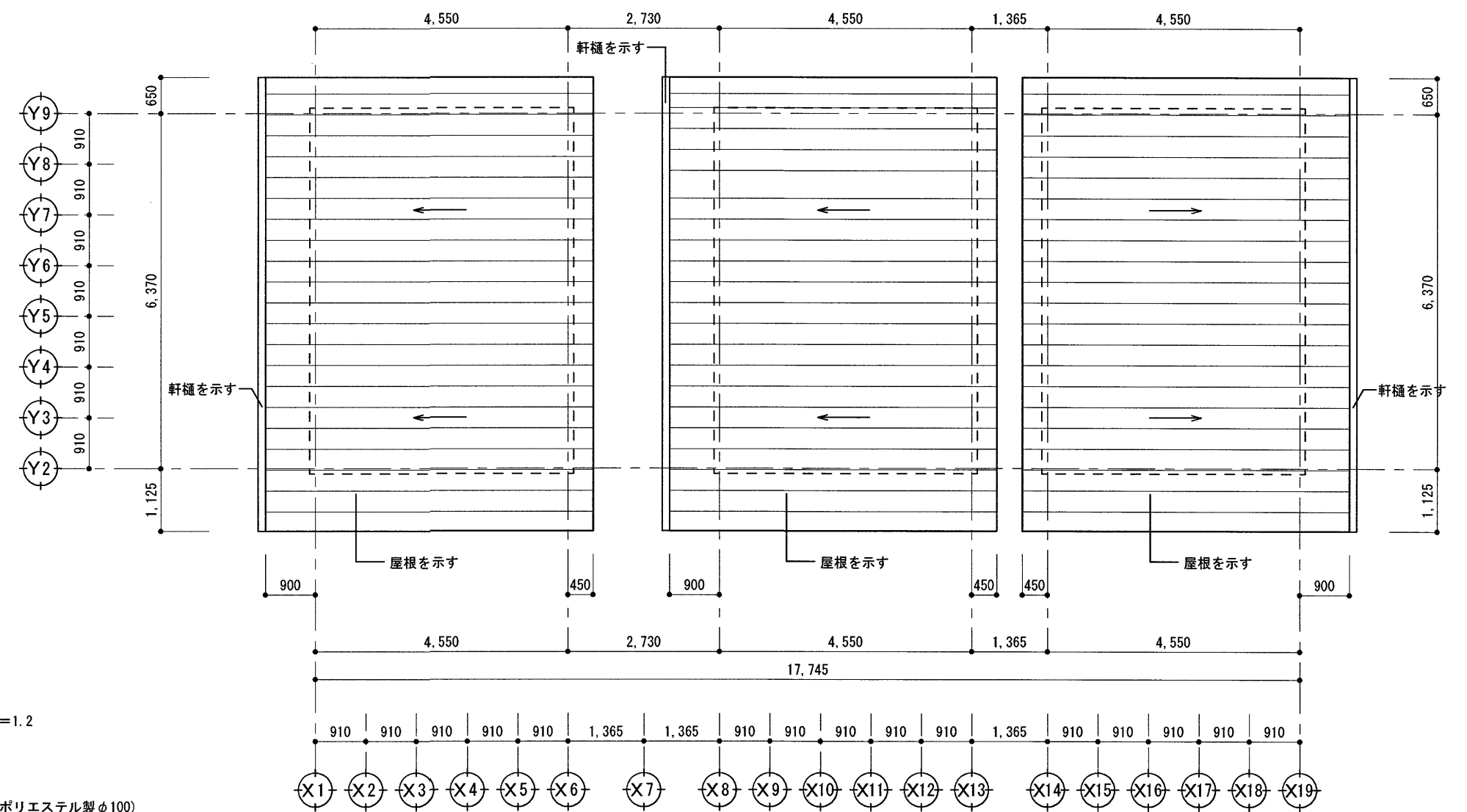
界壁仕様：
石こうボード t=12.5+12.5 両面共(グラスウール24kg/m³ t=50充填)下地 仕上材張り (R1告示195号第1-1-a-(2) [1時間準耐火])
石こうボード周囲は4周耐火シールを施工すること
界壁は全て、小屋裏又は天井裏に達せしめること

屋根：改質アスファルトルーフィング(片面粘着層付) t=1.2
ガルバリウム鋼板 t=0.4 立ハゼ葺き
軒樋：硬質塩化ビニル樋スチール芯(住宅用)底幅75程度
SUS受金物φ910 自在ドレン 落ち葉よけネット(ポリエステル製φ100)

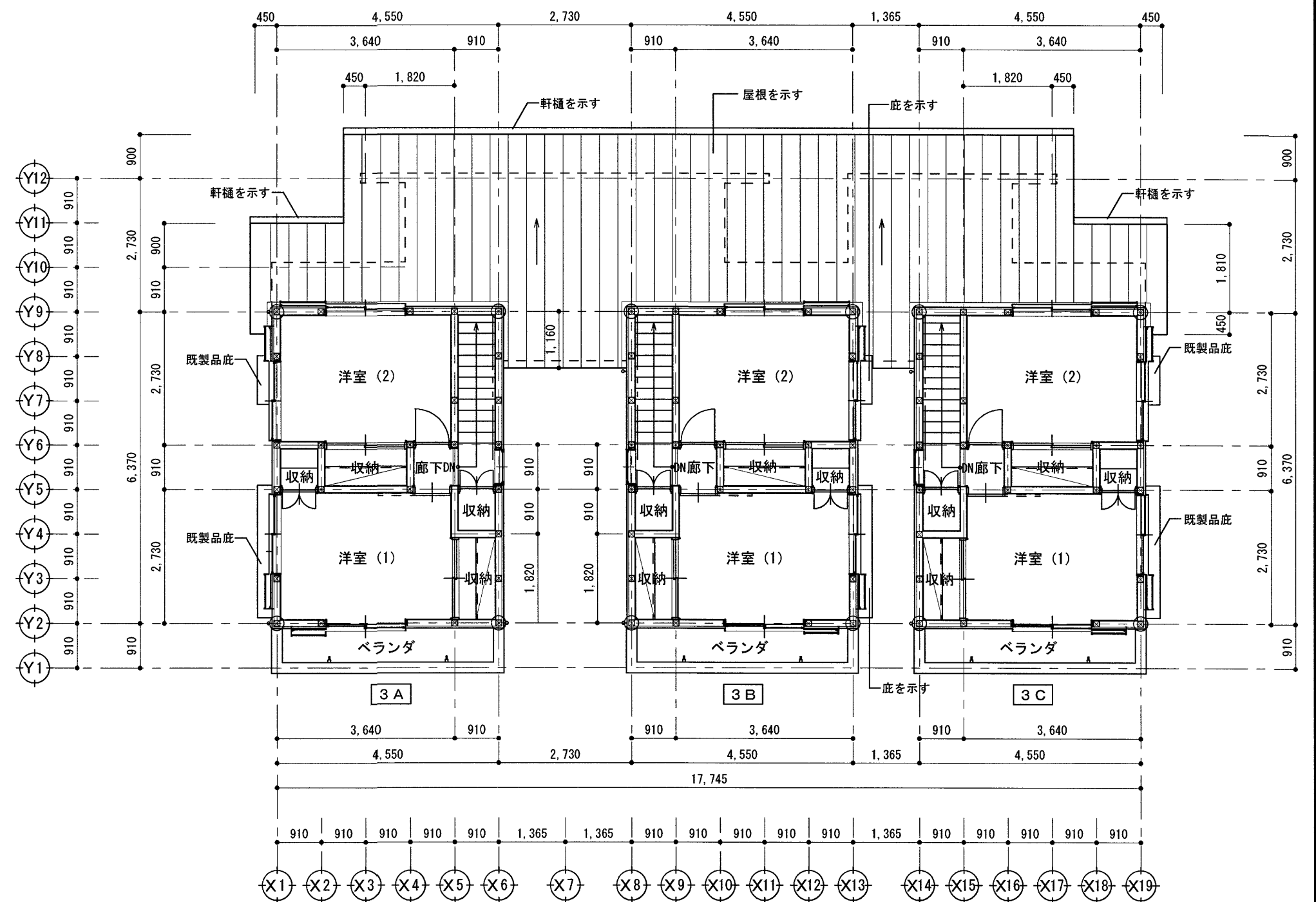
底：亜鉛メッキ鋼板焼付塗装 出幅300



1階平面図 S=1/100

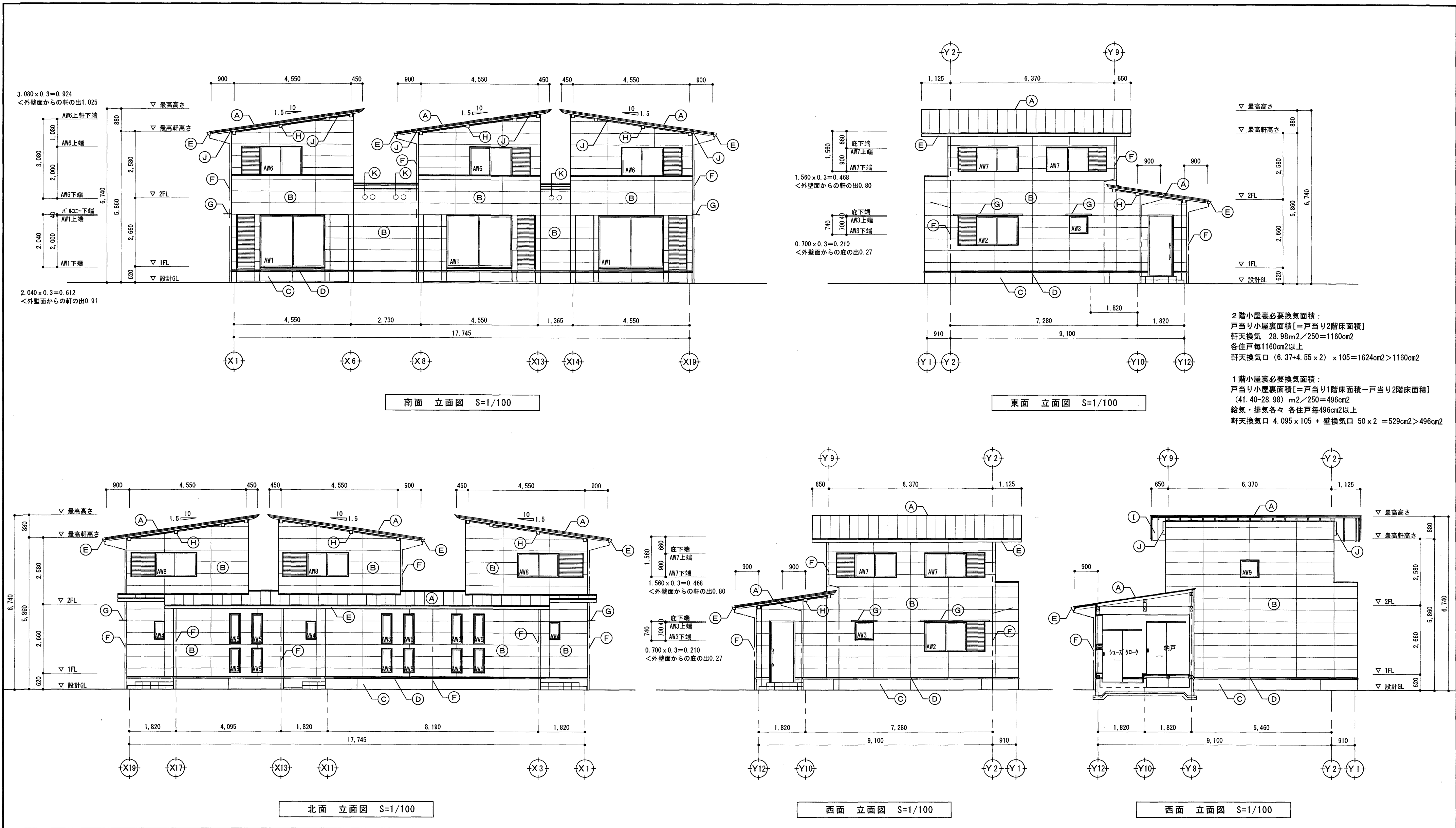


屋根伏図 S=1/100



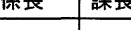
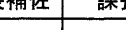
2階平面図 S=1/100

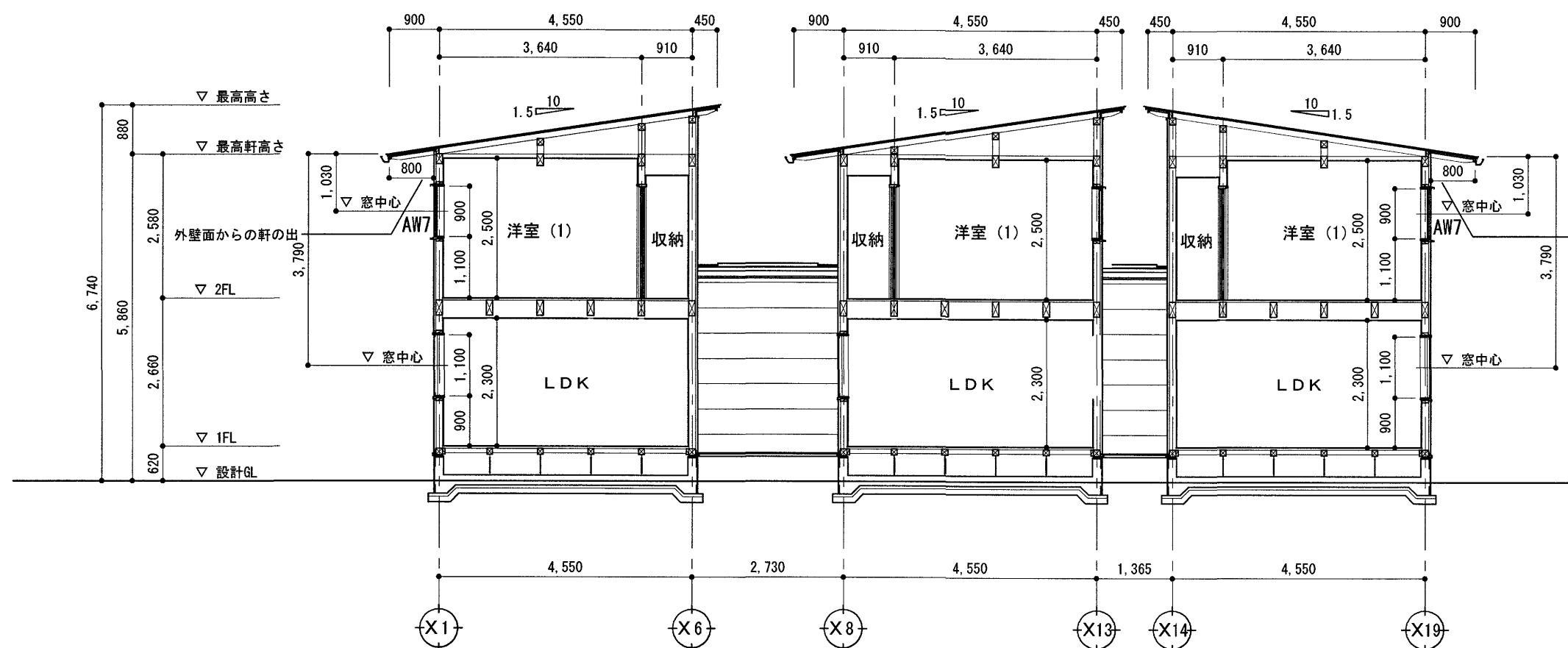
高知市 都市建設部 公共建築課				工事名 中山間地域活性化高川第2・第3住宅新築工事				松本琢史建築設計事務所 TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates		NO A - 35	
係	係長	課長補佐	課長	図面名 第3住宅 平面図・屋根伏図						SCALE 1/100	
用紙サイズによる縮尺補正值 A2: 100% A3: 70.7%								CHECKED BY		DRAWN BY Matsumoto	
										一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史	



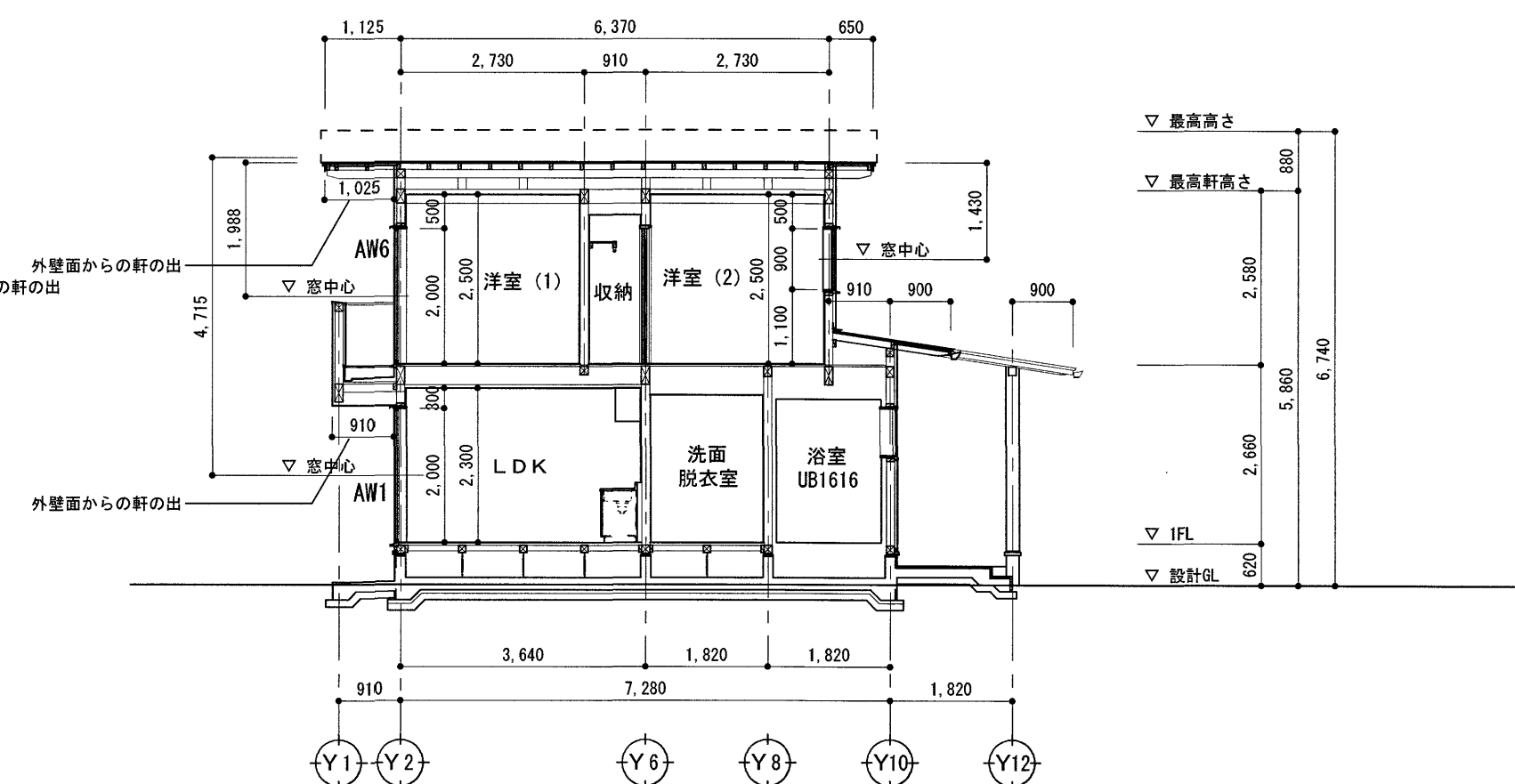
2階小屋裏必要換気面積：
戸当り小屋裏面積 [=戸当り2階床面積]
軒天換気 28.98m²/250=1160cm²
各住戸毎1160cm²以上
軒天換気口 (6.37+4.55×2) × 105=1624cm²>1160cm²

1階小屋裏必要換気面積：
戸当り小屋裏面積 [=戸当り1階床面積 - 戸当り2階床面積]
(41.40-28.98) m²/250=496cm²
給気・排気各々 各住戸毎496cm²以上
軒天換気口 4.095 × 105 + 壁換気口 50 × 2 =529cm²>496cm²

外部仕上表												
屋 根	Ⓐ	改質アスファルトルーフィング(片面粘着層付) t=1.2+カラーガルバリウム鋼板 t=0.4 立ハゼ葺き 野地板：構造用合板 t=15(特類)	軒 樋	Ⓔ	硬質塩化ビニル樋スチール芯(住宅用)底幅75程度 SUS受金物@910 自在ドレン 落ち葉よけネット(ポリエステル製φ100)	小屋裏換気	Ⓐ	軒天換気材：樹脂製既製品 有効換気面積105cm2/m以上 2階屋根：水下軒天及びケラバ軒天壁取合い部全域設置 1階屋根：水下軒天壁取合い部全域設置				
			外 壁	Ⓑ	透湿防水シート+たて胴縁(通気胴縁)杉18×45@455 窯業系サイディング t=16 (塗装品・金具留工法) 横張り(同質出隅仕様)専用金具 *庇・サッシ廻り、その他取合いが生じる箇所は、防水テープ張りを行うこと	縦 樋	Ⓕ	塩ビカラーφ60 SUS受金物@900以下	既製品庇	Ⓖ	出幅300 L=2700・L=1000 (外壁面からの出幅300)	小屋裏換気
根廻り	Ⓒ	コンクリート打放し撥水材塗布 誘発目地 PS-2 20×10 @3000	母屋包み	Ⓖ	カラーガルバリウム鋼板 t=0.4加工							
土台水切	Ⓓ	カラーガルバリウム鋼板 t=0.5加工	軒天	Ⓖ	けい酸カルシウム板 t=6.0 目透し張り EP-G塗り 垂木(見出し)：45×105 @455 *屋外の見出し木材は全て、WP塗りとする							
					高知市 都市建設部 公共建築課			工事名 中山間地域活性化高川第2・第3住宅新築工事		松本琢史建築設計事務所 TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates 一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史		NO A - 36 SCALE 1/100
					係 係長 課長補佐 課長			図面名 第3住宅 立面図				
					   			CHECKED BY		DRAWN BY Matsumoto		
用紙サイズによる縮尺補正値 A2: 100% A3: 70.7%												

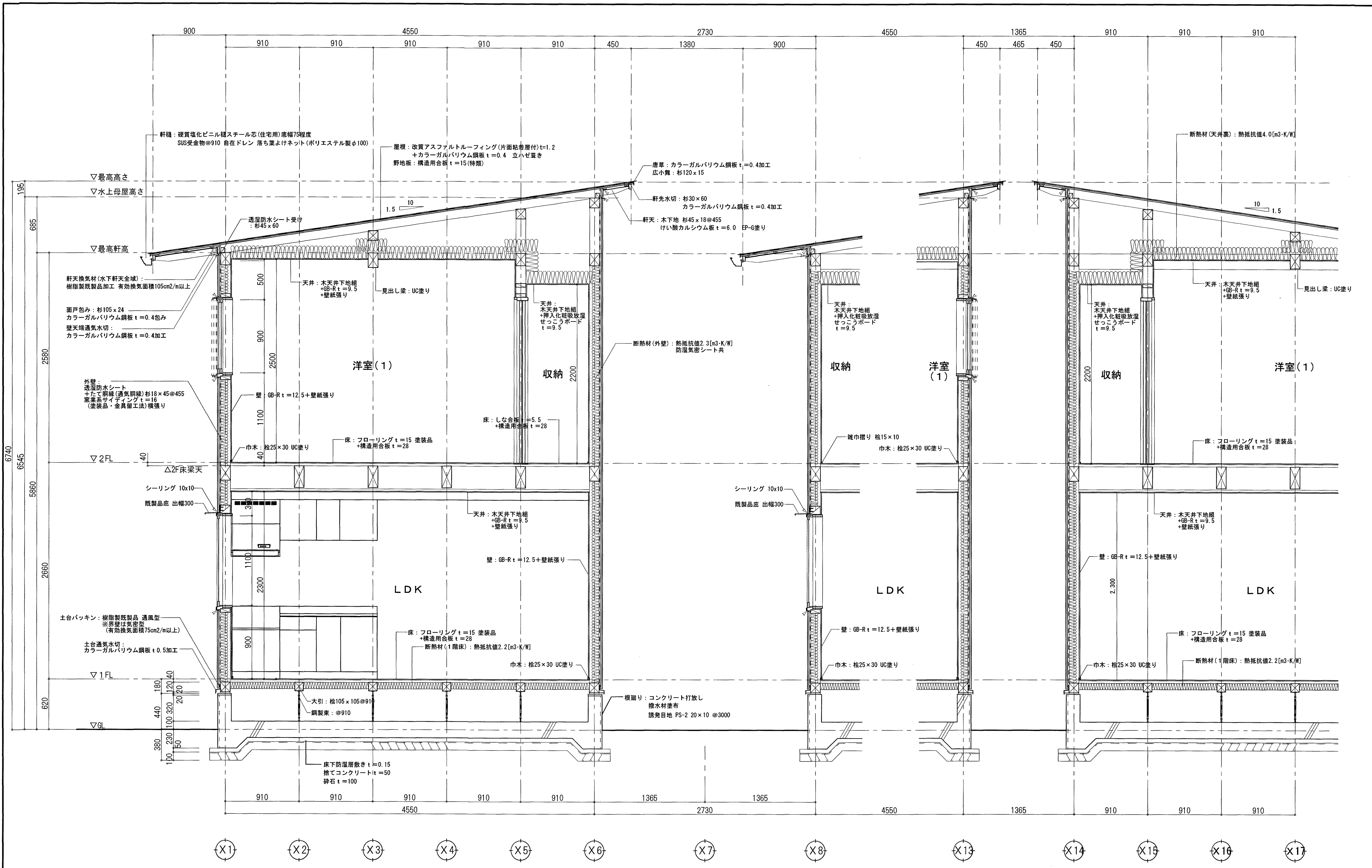


断面図 S=1/100

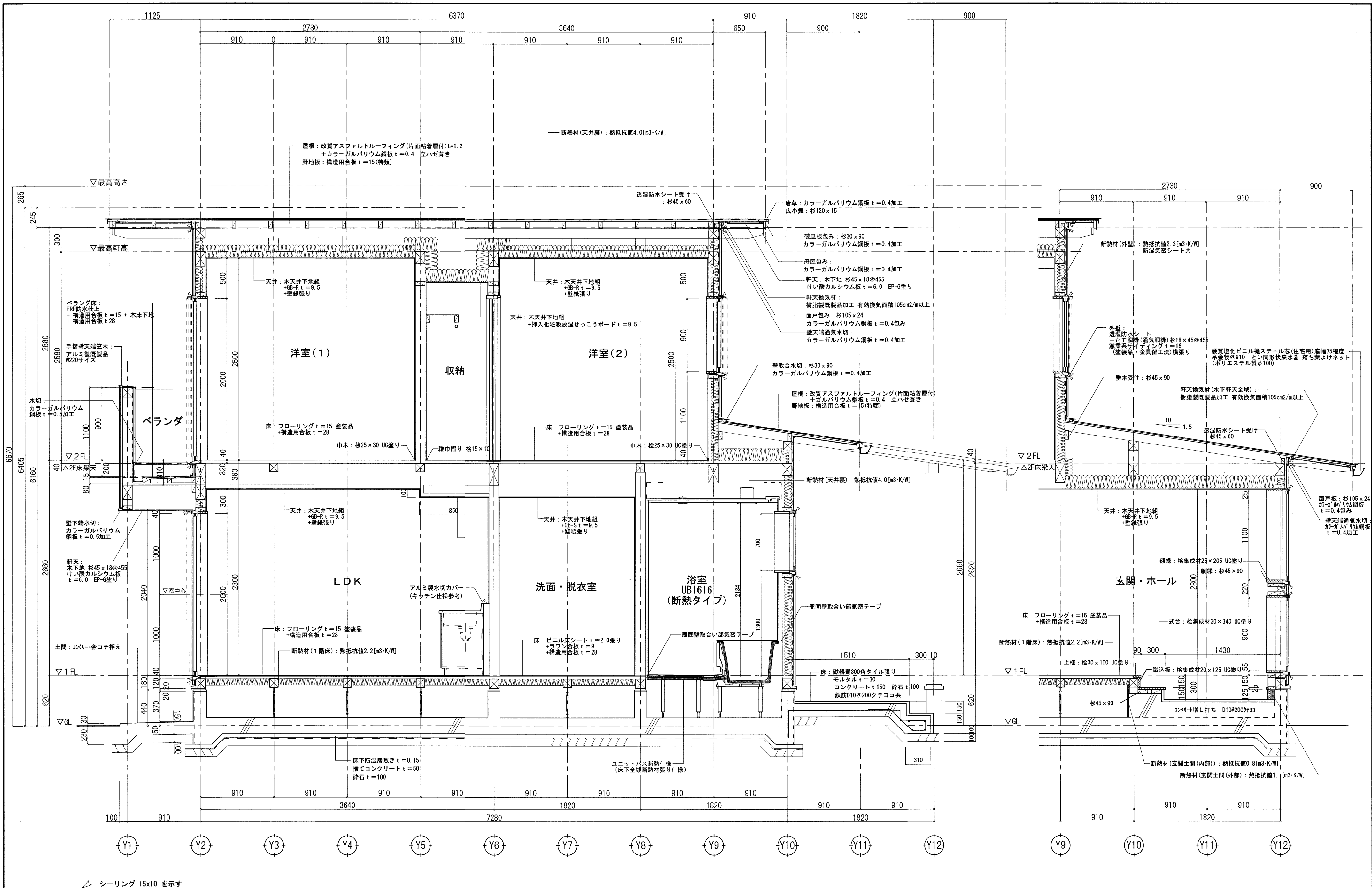


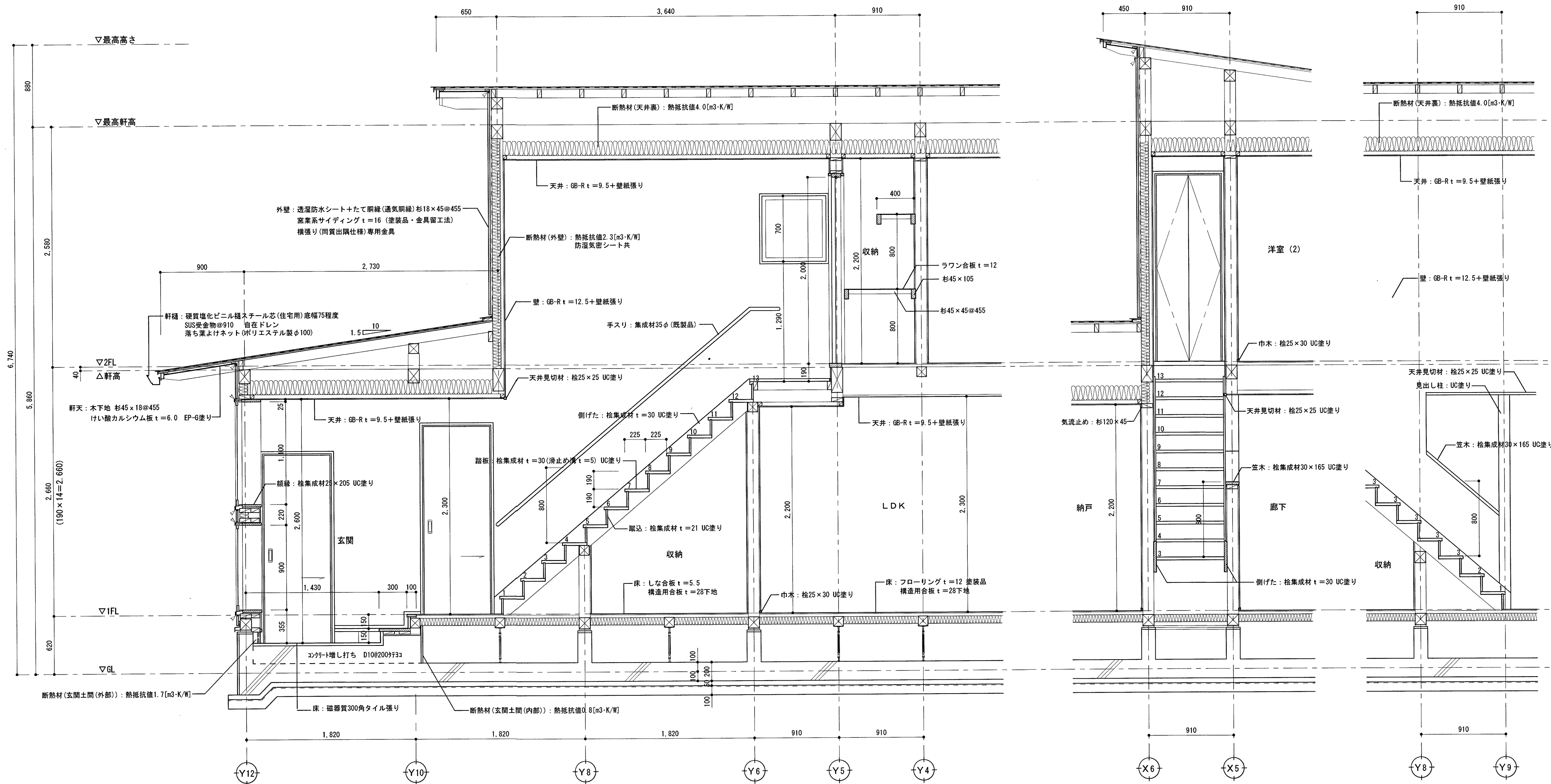
断面図 S=1/100

高知市 都市建設部 公共建築課				工事名 中山間地域活性化高川第2・第3住宅新築工事				松本琢史建築設計事務所 TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates		NO A - 37
係	係長	課長補佐	課長	図面名	第3住宅 断面図	CHECKED BY		DRAWN BY	Matsumoto	
用紙サイズによる縮尺補正値 A2: 100% A3: 70.7%				一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史				SCALE 1/100		



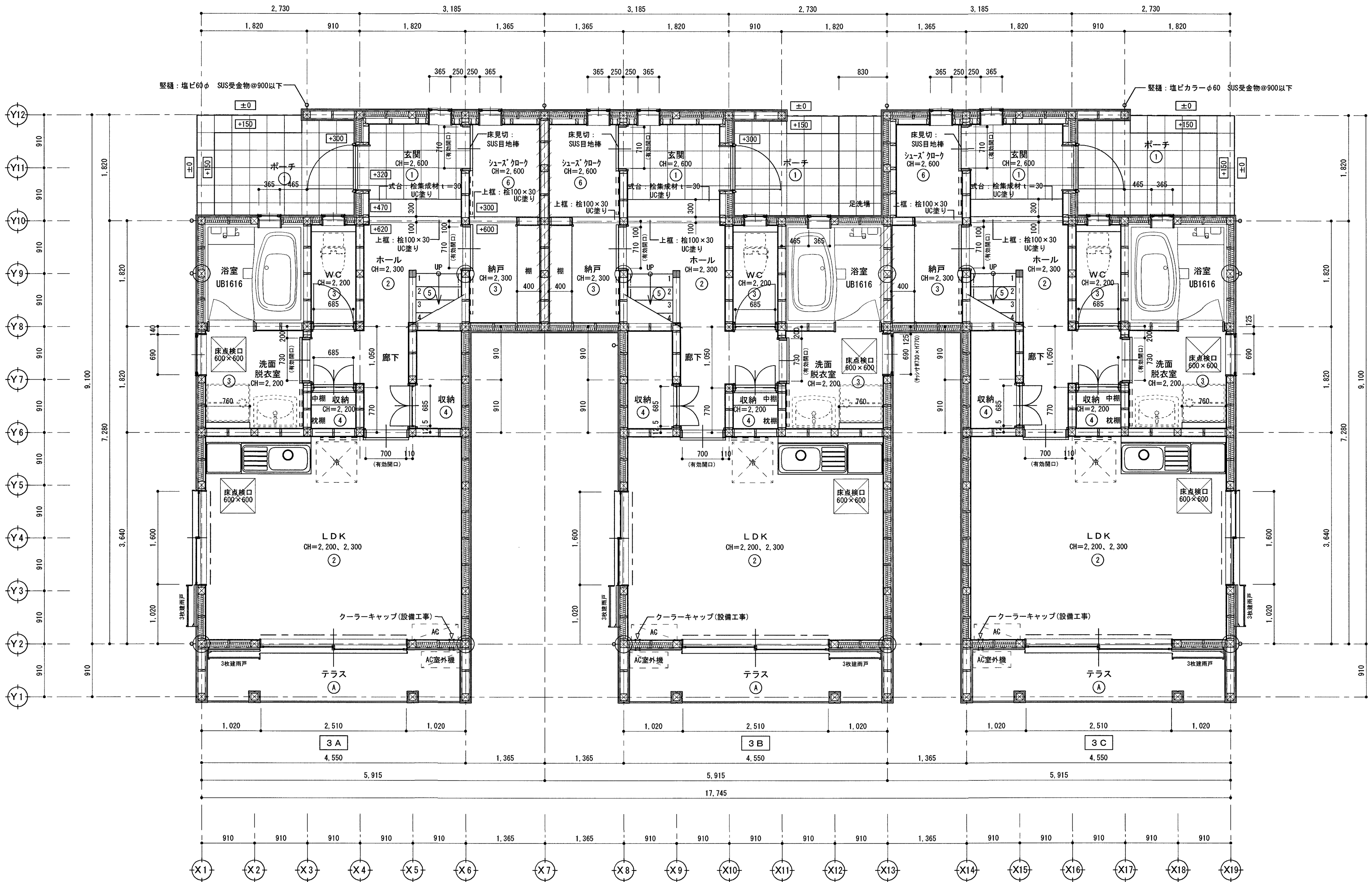
△ シーリング 15x10 を示す																	
気流止めについて、全ての壁・小屋裏取合部分に施すこと。但しそれに変わる梁等がある場合は省略。また屋根断熱部分下は除く。				高知市 都市建設部 公共建築課				工事名 中山間地域活性化高川第2・第3住宅新築工事		松本琢史建築設計事務所 TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates		NO A - 38					
				係 係長 課長補佐 課長				図面名 第3住宅 断面詳細図 (1)				SCALE					
				   						CHECKED BY		DRAWN BY Matsumoto		一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史		1/30	
用紙サイズによる縮尺補正值 A2 : 100% A3 : 70.7%																	





△ シーリング 15x10 を示す

気流止めについて、全ての壁・小屋裏取合部分に施すこと。但しそれに変わる梁等がある場合は省略。また屋根断熱部分下は除く。				高知市 都市建設部 公共建築課				工事名 中山間地域活性化高川第2・第3住宅新築工事				松本琢史建築設計事務所 TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates		NO A - 40	
				係	係長	課長補佐	課長							図面名 第3住宅 断面詳細図 (3)	
								CHECKED BY DRAWN BY Matsumoto							
				用紙サイズによる縮尺補正值 A2 : 100% A3 : 70.7%											



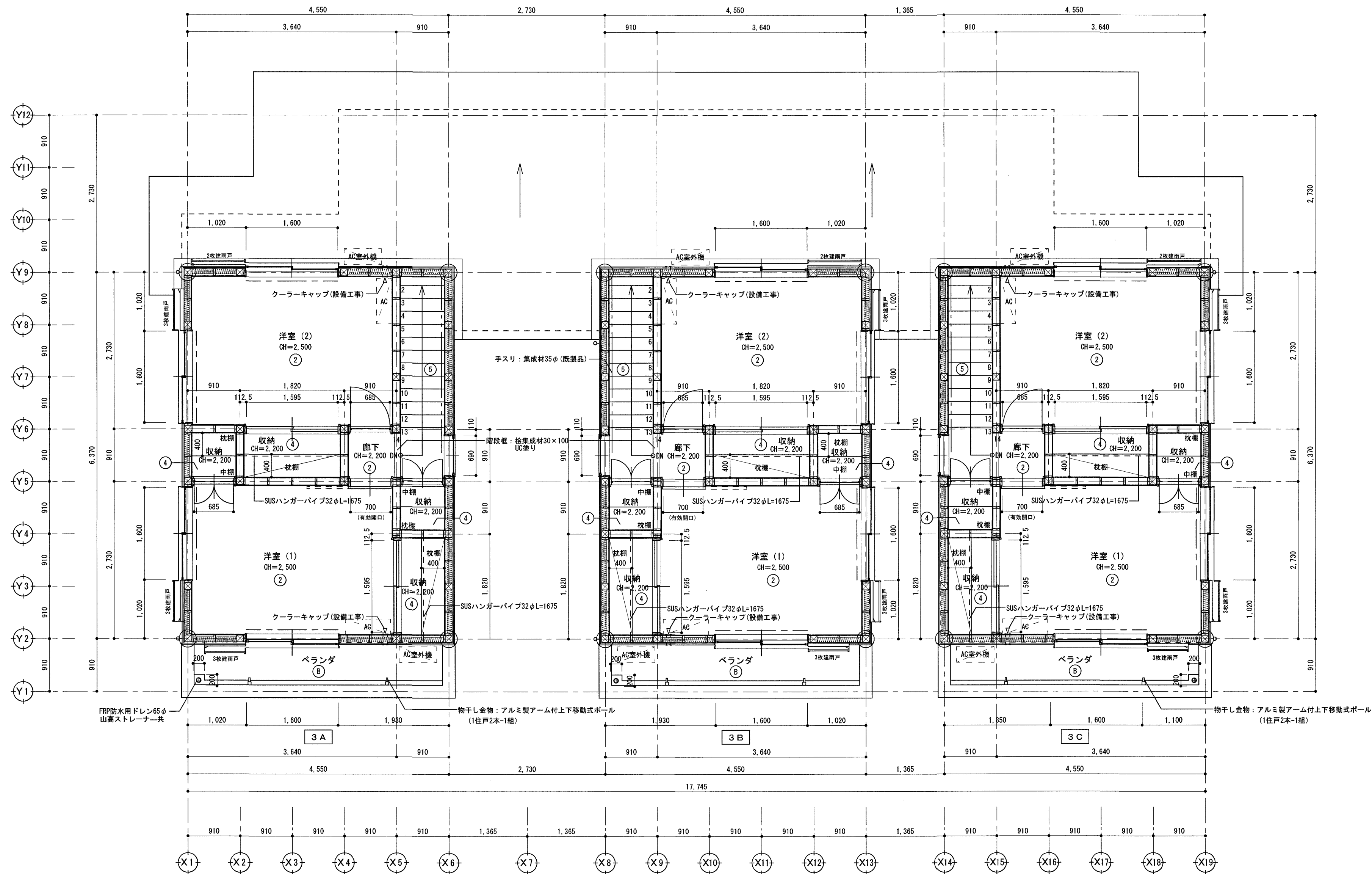
1階平面詳細図 S=1/50

仕上		下地		仕上		下地		仕上	
①	磁器質300角タイル張り		モルタル	⑥	モルタル金コテ押え t=30 表面強化剤			(A)	コンクリート直均し金コテ仕上げ 目地切φ1800
②	フローリング t=15 塗装品		構造用合板 t=28					(B)	木床下地+構造用合板 t=15+FRP防水
③	ビニル床シート t=2.0張り		構造用合板 t=28+ラワン合板 t=9.0						
④	しな合板 t=5.5		構造用合板 t=28						
⑤	踏板 桧積層材 t=30(滑止め溝 t=5) UC塗り								

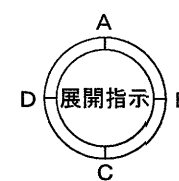
----- については、別途設備工事にて施工する

住戸間界壁仕様：GB-R t=12.5+12.5両面張り+高性能グラスウール断熱材 [GWHG24-35] (24kg/m³) t=50充填+4周耐火シール
----- : アルミカーテンレールW

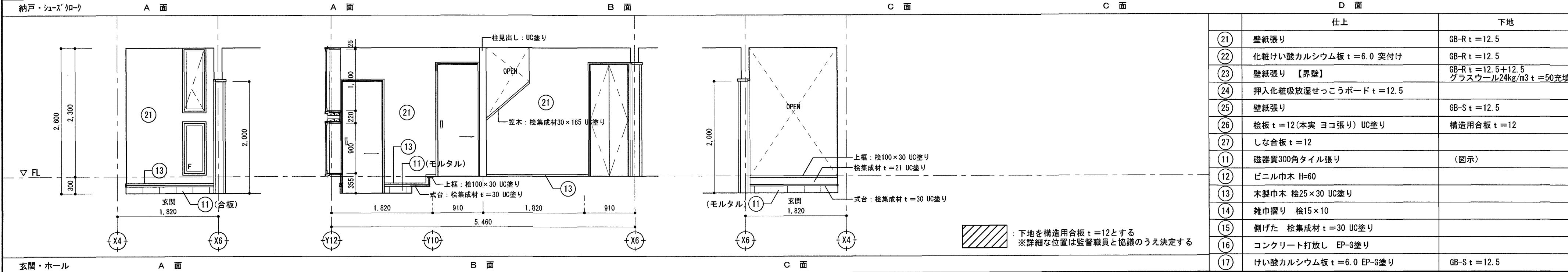
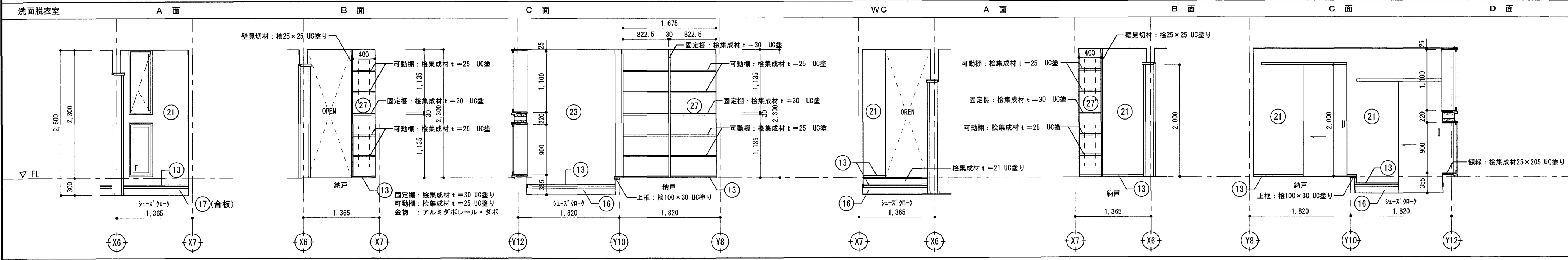
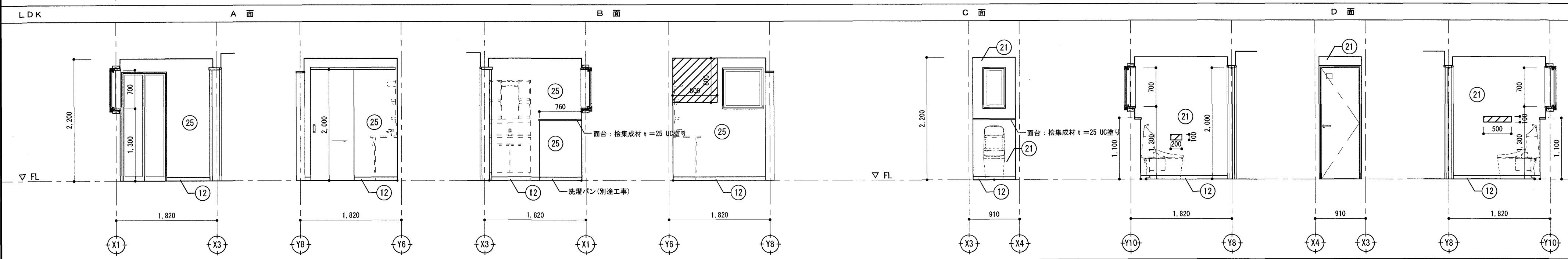
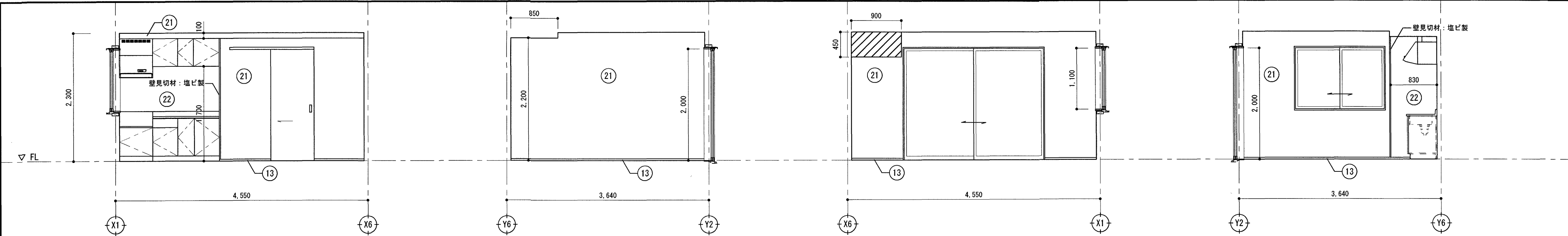
----- については、別途設備工事にて施工する				高知市 都市建設部 公共建築課				工事名 中山間地域活性化高川第2・第3住宅新築工事				松本塚史建築設計事務所 TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates		NO A - 41		
				係	係長	課長補佐	課長	図面名 第3住宅 1階平面詳細図						SCALE		
								CHECKED BY				DRAWN BY		Matsumoto		1/50
用紙サイズによる縮尺補正値 A2：100% A3：70.7%								一級建築士大臣登録第322947号 松本塚史								



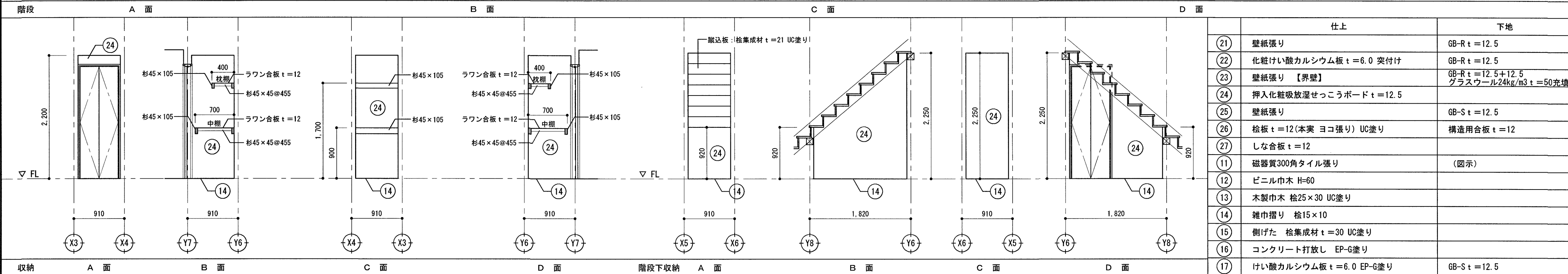
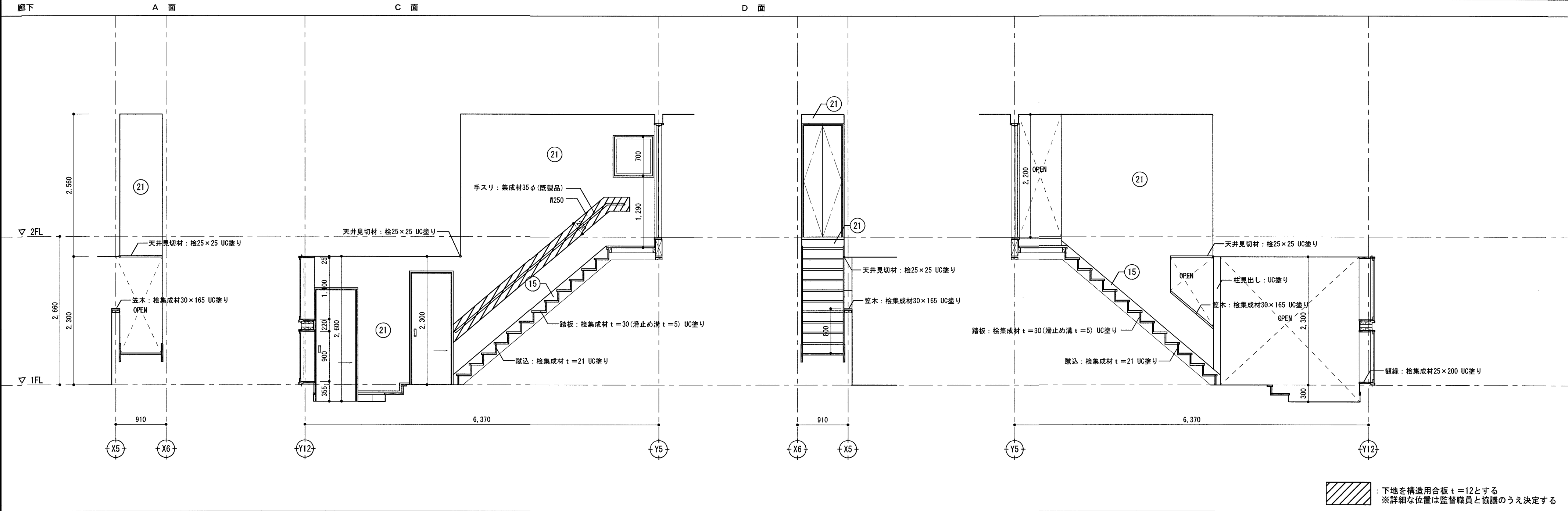
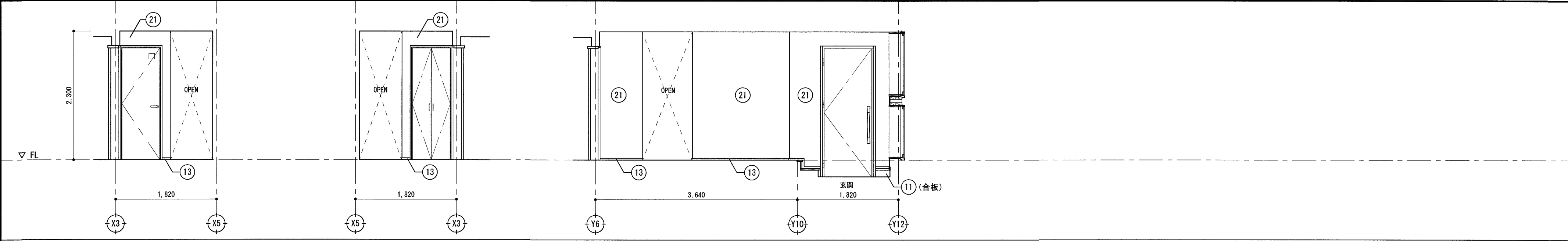
2階平面詳細図 S=1/50



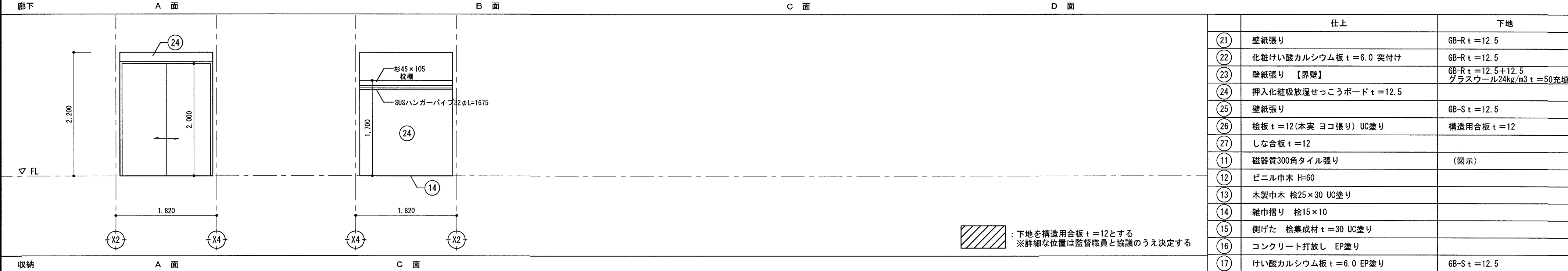
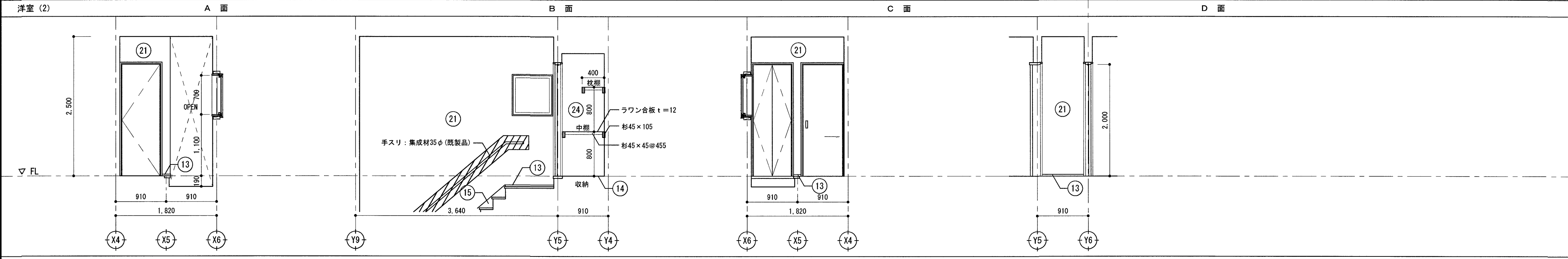
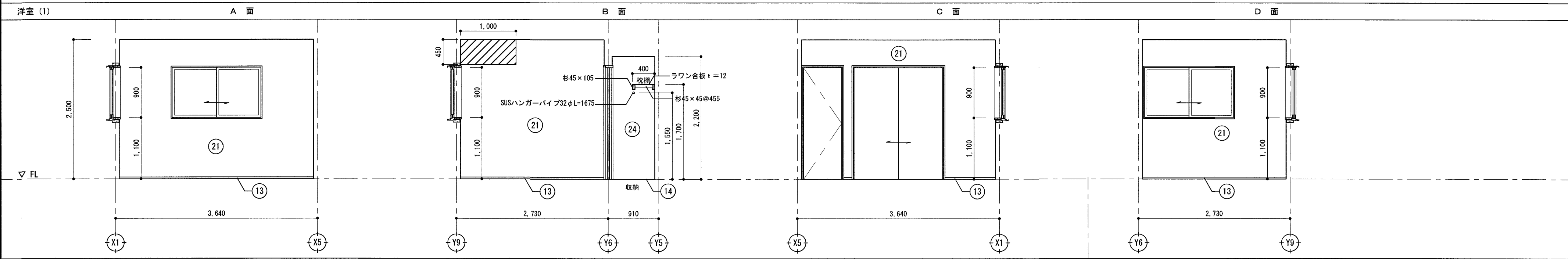
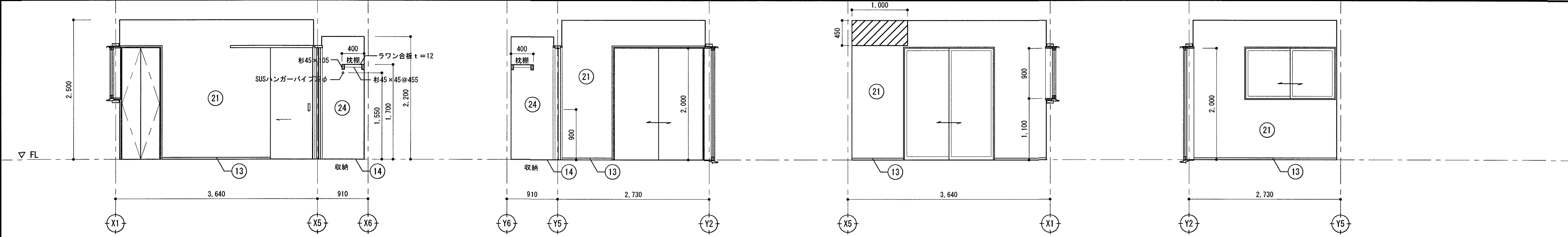
仕上		下地		仕上		下地		仕上	
①	磁器質300角タイル張り	モルタル	⑥	モルタル金コテ押え t=30 表面強化剤	(A)	コンクリート直均し金コテ仕上げ 目地切1800		住戸間界壁仕様: GB-R t=12.5+12.5両面張り+高性能グラスウール断熱材 [GWHG24-35] (24kg/m3) t=50充填+4周耐火シール	
②	フローリング t=15 塗装品	構造用合板 t=28			(B)	木床下地+構造用合板 t=15+FRP防水		--- : アルミカーテンレールW	
③	ビニル床シート t=2.0張り	構造用合板 t=28+ラワン合板 t=9.0							
④	しな合板 t=5.5	構造用合板 t=28							
⑤	踏板 桧積層材 t=30(滑止め溝 t=5) UC塗り								
----- については、別途設備工事にて施工する									
				高知市 都市建設部 公共建築課				工事名 中山間地域活性化高川第2・第3住宅新築工事	
				係	係長	課長補佐	課長	図面名 第3住宅 2階平面詳細図	
								CHECKED BY	
								DRAWN BY Matsumoto	
				用紙サイズによる縮尺補正値 A2: 100% A3: 70.7%				松本琢史建築設計事務所 TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates	
								一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史	
								NO A-42	
								SCALE 1/50	



仕上		下地
(21)	壁紙張り	GB-R t=12.5
(22)	化粧い酸カルシウム板 t=6.0 突付け	GB-R t=12.5
(23)	壁紙張り 【界壁】	GB-R t=12.5+12.5 グラスウール24kg/m3 t=50充填
(24)	押入化粧吸放湿せこうボード t=12.5	
(25)	壁紙張り	GB-S t=12.5
(26)	桧板 t=12(本実 ヨコ張り) UC塗り	構造用合板 t=12
(27)	しな合板 t=12	
(11)	磁器質300角タイル張り	(図示)
(12)	ビニル巾木 H=60	
(13)	木製巾木 桧25×30 UC塗り	
(14)	雑巾摺り 桧15×10	
(15)	側げた 桧集成材 t=30 UC塗り	
(16)	コンクリート打放し EP-G塗り	
(17)	けい酸カルシウム板 t=6.0 EP-G塗り	GB-S t=12.5

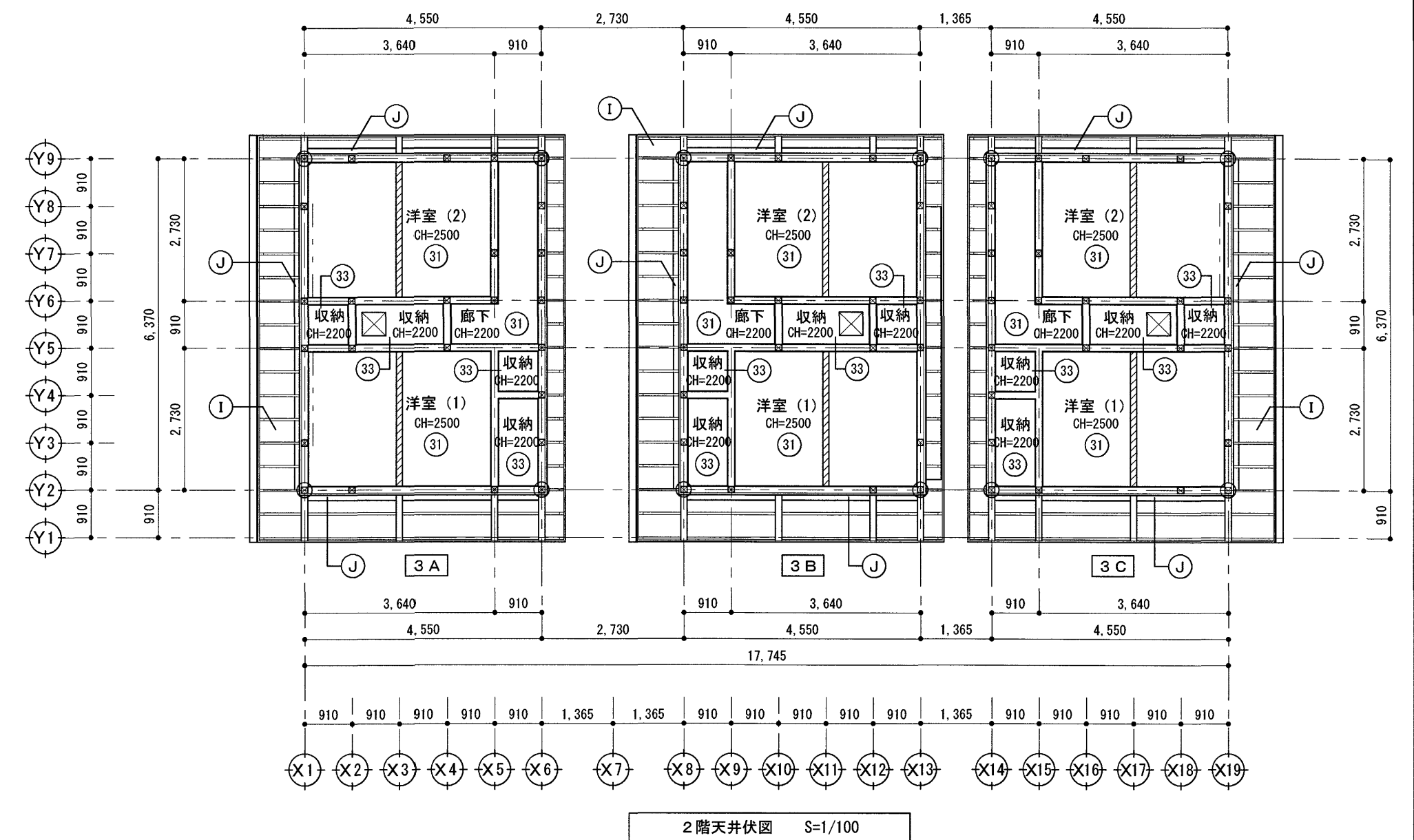


高知市 都市建設部 公共建築課				工事名 中山間地域活性化高川第2・第3住宅新築工事				松本琢史建築設計事務所 TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates		NO A - 44
係	係長	課長補佐	課長	図面名 第3住宅 1階 展開図 (2)				SCALE 1/50		
				CHECKED BY		DRAWN BY	Matsumoto	一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史		

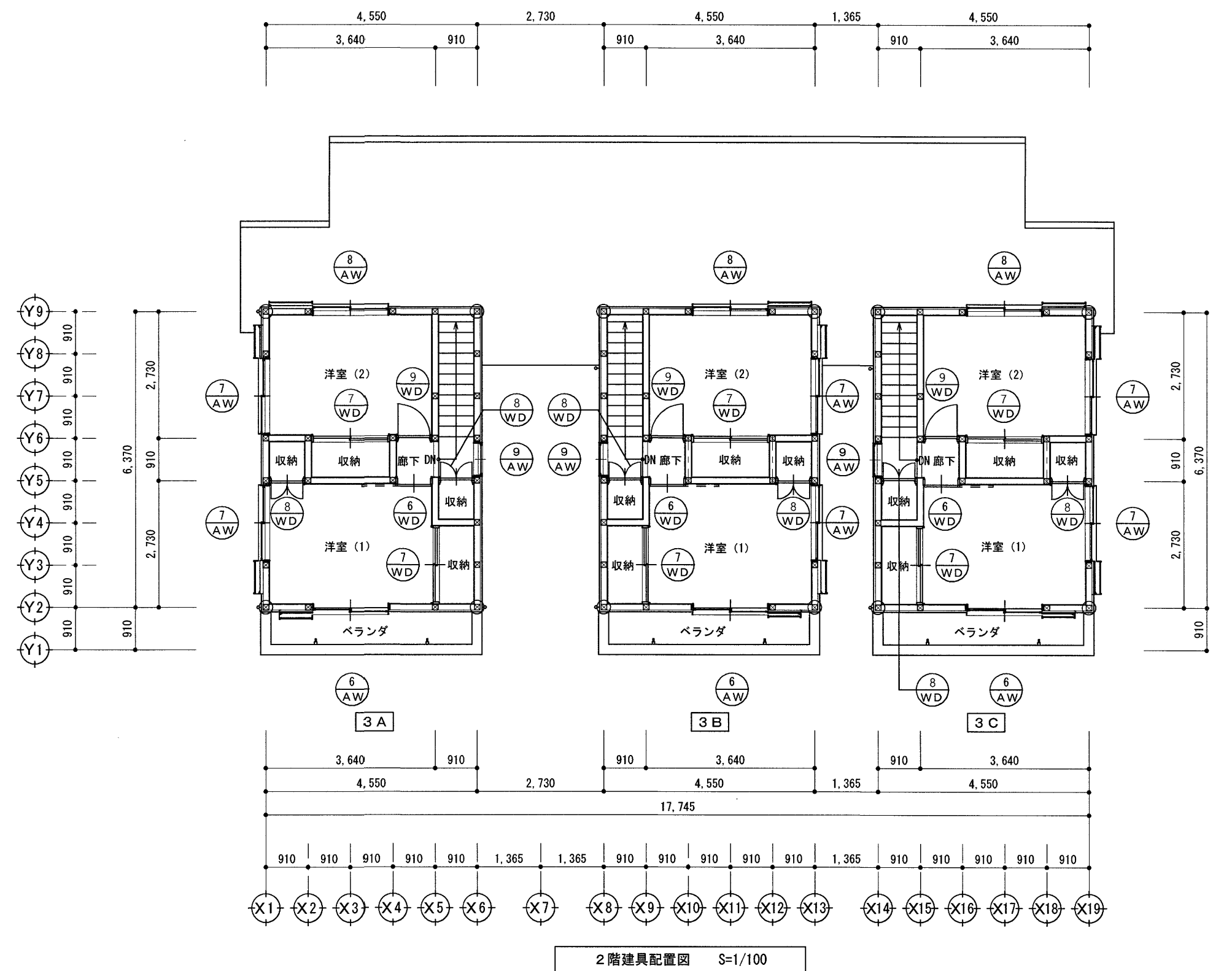
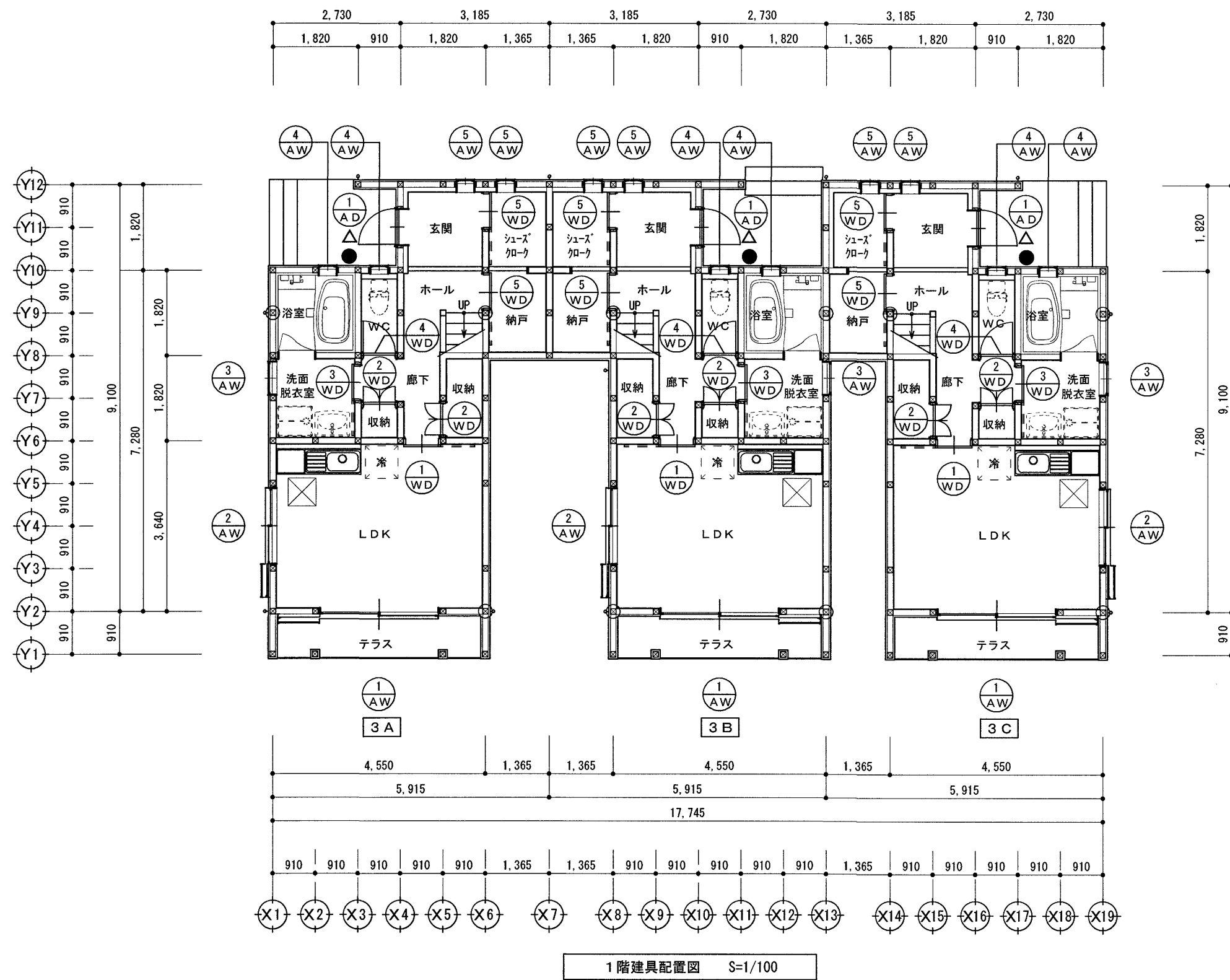


：下地を構造用合板 t=12とする
※詳細な位置は監督職員と協議のうえ決定する

仕上		下地
21	壁紙張り	GB-R t=12.5
22	化粧けい酸カルシウム板 t=6.0 突付け	GB-R t=12.5
23	壁紙張り 【界壁】	GB-R t=12.5+12.5 グラスウール24kg/m3 t=50充填
24	押入化粧吸放湿せこうボード t=12.5	
25	壁紙張り	GB-S t=12.5
26	桧板 t=12(本実 ヨコ張り) UC塗り	構造用合板 t=12
27	しな合板 t=12	
11	磁器質300角タイル張り	(図示)
12	ビニル巾木 H=60	
13	木製巾木 桧25x30 UC塗り	
14	雑巾摺り 桧15x10	
15	側げた 桧集成材 t=30 UC塗り	
16	コンクリート打放し EP塗り	
17	けい酸カルシウム板 t=6.0 EP塗り	GB-S t=12.5



外部仕上表		天井仕上表				天井アルミ点検口450角 ・取付け位置は現場打合せとする					
Ⓔ	亜鉛メッキ鋼板焼付塗装 出幅300 L=2700・L=1000		仕上	下地	廻り縁						
Ⓘ	軒天：けい酸カルシウム板 t=6.0 EP-G塗り（木下地） 垂木（見出し）：45×105 @455 * 屋外の見出し木材は全て、WP塗りとする	Ⓒ1	壁紙張り	GB-R t=9.5（木下地）	塩ビ	梁見出し					
Ⓙ	軒天換気材：樹脂製既製品 有効換気面積105cm2/m以上	Ⓒ2	壁紙張り	GB-S t=9.5（木下地）	塩ビ	* 天井見切材：桧25×25 UC塗り					
Ⓛ	けい酸カルシウム板 t=6.0 目透し張り EP-G塗り（木下地）	Ⓒ3	押入化粧吸放湿せっこうボード t=9.5	（木下地）	塩ビ						
		Ⓒ4	踏板 桧積層材 t=30 UC塗り								
		高知市 都市建設部 公共建築課				工事名 中山間地域活性化高川第2・第3住宅新築工事		松本塚史建築設計事務所 TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates	NO A - 46		
		係 係長 課長補佐 課長								図面名 第3住宅 天井伏図	
		用紙サイズによる縮尺補正值 A2：100% A3：70.7%				CHECKED BY		DRAWN BY	Matsumoto		一級建築士大臣登録第322947号 松本塚史



凡例	
● 表札：アルミ製（公団型） W=200 H=200	3ヶ処
△ 郵便ポスト 前出前入タイプ（外壁付け）W300×H390×D120	3ヶ処

記 号		1 A D1階 玄関		ヶ処数： 3																	
形状 寸法		K 2仕様（熱貫流率2.3[W/(m2・K)]以下）																			
		▽ FL 922 2,330 300																			
		遮音 T-1																			
名称・材種		玄関片開きドア																			
金 物		シリンダーサムターン錠・付属金物一式																			
塗装・仕上		標準カラー																			
ガラス																					
備 考		アルミ製内部額縁 見込115																			
記 号		1 A W1階 LDK		ヶ処数： 3		2 A W1階 L D K		ヶ処数： 3		3 A W1階 洗面脱衣室		ヶ処数： 3		4 A W1階 浴室・WC		ヶ処数： 6		5 A W1階 玄関・シューズクローク		ヶ処数： 6	
形状 寸法		熱貫流率4.1[W/(m2・K)]以下有効な庇又は軒あり				熱貫流率3.5[W/(m2・K)]以下				有効な庇又は軒あり				熱貫流率3.5[W/(m2・K)]以下				熱貫流率3.5[W/(m2・K)]以下			
		▽ FL 2,510 2,000				1,600 1,100 900				690 700 1,300				365 700 1,300				365 1,100 900			
		遮音 T-1住宅用半外付サッシ 見込：70				日射取得型遮音 T-1住宅用半外付サッシ 見込：70				遮音 T-1住宅用半外付サッシ 見込：70				遮音 T-1日射取得型住宅用半外付サッシ 見込：70				遮音 T-1日射取得型住宅用半外付サッシ 見込：70			
名称・材種		アルミ樹脂複合サッシ 雨戸付引違い窓(鏡板付戸袋)				アルミ樹脂複合サッシ 雨戸付引違い窓(鏡板付戸袋)				アルミ樹脂複合サッシ すべり出し窓				アルミ樹脂複合サッシ すべり出し窓				アルミ樹脂複合サッシ たてすべり出し窓・FIX窓			
金 物		付属金物一式				付属金物一式				カムラッチ・付属金物一式				カムラッチ・付属金物一式				カムラッチ・付属金物一式			
塗装・仕上		標準カラー				標準カラー				標準カラー				標準カラー				標準カラー			
ガラス		複層ガラス：FL5＋A12＋FL5				複層ガラス：LowE5＋A12＋FL5				複層ガラス：F5＋A12＋F5				複層ガラス：LowE5＋A12＋F5				複層ガラス：LowE5＋A12＋F5			
備 考		網戸・3枚建雨戸				網戸・3枚建雨戸				網戸				網戸				網戸			
記 号		6 A W2階 洋室（1）		ヶ処数： 3		7 A W2階 洋室（1）・洋室（2）		ヶ処数： 6		8 A W2階 洋室（2）		ヶ処数： 3		9 A W2階 階段		ヶ処数： 3					
形状 寸法		熱貫流率4.1[W/(m2・K)]以下有効な庇又は軒あり				熱貫流率4.1[W/(m2・K)]以下有効な庇又は軒あり				熱貫流率3.5[W/(m2・K)]以下				熱貫流率3.5[W/(m2・K)]以下							
		▽ FL 1,600 2,000				1,600 900 1,100				1,600 900 1,100				690 700 1,300							
		遮音 T-1住宅用半外付サッシ 見込：70				遮音 T-1住宅用半外付サッシ 見込：70				日射取得型遮音 T-1住宅用半外付サッシ 見込：70				日射取得型遮音 T-1住宅用半外付サッシ 見込：70							
名称・材種		アルミ樹脂複合サッシ 雨戸付引違い窓(鏡板付戸袋)				アルミ樹脂複合サッシ 雨戸付引違い窓(鏡板付戸袋)				アルミ樹脂複合サッシ 雨戸付引違い窓(鏡板付戸袋)				アルミ樹脂複合サッシ すべり出し窓							
金 物		付属金物一式				付属金物一式				付属金物一式				カムラッチ・付属金物一式							
塗装・仕上		標準カラー				標準カラー				標準カラー				標準カラー							
ガラス		複層ガラス：FL5＋A12＋FL5				複層ガラス：FL5＋A12＋FL5				複層ガラス：LowE5＋A12＋FL5				複層ガラス：LowE5＋A12＋FL5							
備 考		網戸・3枚建雨戸				網戸・3枚建雨戸				網戸・2枚建雨戸				網戸							

				高知市 都市建設部 公共建築課				工事名 中山間地域活性化高川第2・第3住宅新築工事				松本琢史建築設計事務所 TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates 一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史				NO A - 48	
				係 係長 課長補佐 課長				図面名 第3住宅 鋼製建具表								SCALE 1/50	
用紙サイズによる縮尺補正値 A2：100% A3：70.7%								CHECKED BY				DRAWN BY		Matsumoto			

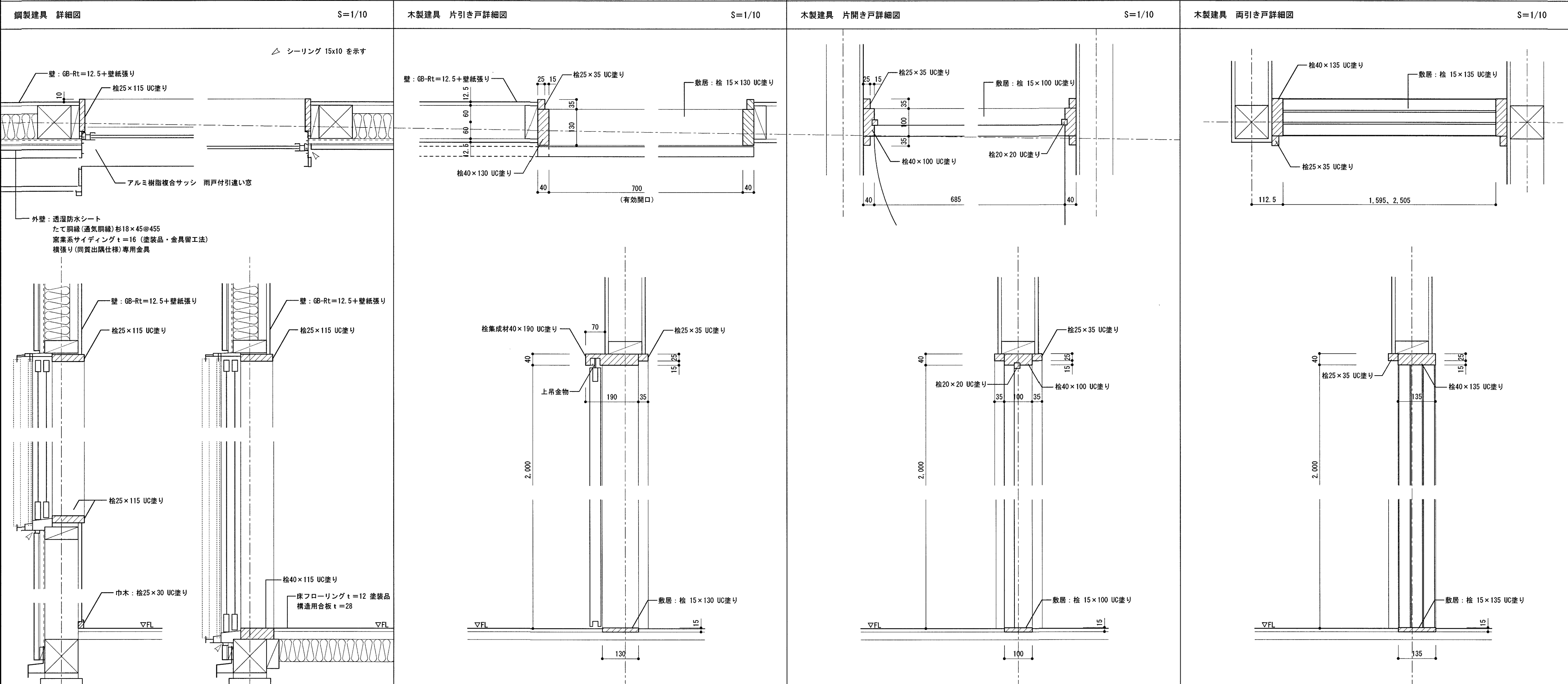
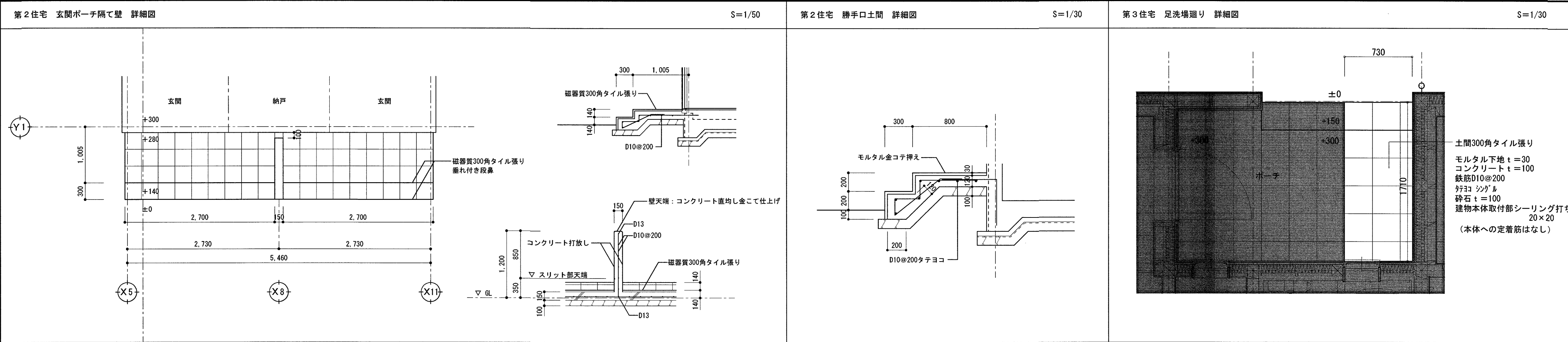
記 号		1WD1階 LDK	ヶ処数： 3	2WD1階 収納	ヶ処数： 6	3WD1階 洗面脱衣室	ヶ処数： 3	4WD1階 WC	ヶ処数： 3	5WD1階 納戸・シューズクローク	ヶ処数： 6		
形状 寸法													
		見込：36			見込：36			見込：36			見込：36		
名称・材種		シナ合板フラッシュ片引き戸			シナ合板フラッシュ両開き戸			シナ合板フラッシュ片引き戸			シナ合板フラッシュ片開き戸		
金 物		SUS引手・上吊金物一式			SUS丁番(3枚吊)・SUS取手L=110・戸当り・マグネットキャッチ			SUS引手・表示付サムターン鏝錠・上吊金物一式			SUS丁番(3枚吊)・レバーハンドル・表示付サムターン鏝錠・戸当り		
塗装・仕上		UC塗り 小口：桧UC塗り			UC塗り 小口：桧UC塗り			UC塗り 小口：桧UC塗り			UC塗り 小口：桧UC塗り		
ガラス		型板ガラス t=4						型板ガラス t=4					
備 考								小窓			小窓・アンダーカット		
記 号		6WD2階 洋室(1)	ヶ処数： 3	7WD2階 収納(洋室(1))	ヶ処数： 6	8WD2階 収納(洋室(2)・階段)	ヶ処数： 6	9WD2階 洋室(2)	ヶ処数： 3				
形状 寸法													
		見込：36			見込：36			見込：36			見込：36		
名称・材種		ポリ合板フラッシュ片引き戸			ポリ合板フラッシュ引違い戸			ポリ合板フラッシュ両開き戸			ポリ合板フラッシュ片開き戸		
金 物		SUS引手・上吊金物一式			SUS引手・フラッターレール・戸車・ソフトクローズ			SUS丁番(3枚吊)・SUS取手L=110・戸当り・マグネットキャッチ			SUS丁番(3枚吊)・レバーハンドル・戸当り		
塗装・仕上		UC塗り 小口：桧UC塗り			UC塗り 小口：桧UC塗り			UC塗り 小口：桧UC塗り			UC塗り 小口：桧UC塗り		
ガラス													
備 考		木製幕板											

流し台		3ヶ処	ユニットバス	3ヶ処
S=1/50		流し台：B L 認定品 間口1200 天端・シンク：ステンレス ガス台：B L 認定品 間口600 天端：ステンレス コンロ用サイドカバー(ステンレス製) コンロ用バックガード(ステンレス製) 防熱板(ステンレス製) 側壁・後壁(ガスコンロ用) 吊戸棚：B L 認定品 高さ500 間口1200 レンジフード：シロッコファン付き 間口600 必要換気量400m3/h 水切りカバー：アルミ製 間口240cm用・奥行15cm サイドプレート 奥行15cm用 側面フィルター 高さ80cm用	戸建て用 1616 壁：4面同色 床：カラリ床 FRP製 断熱材付仕様(立上り部共) 天井：化粧鋼板複合パネル 天井点検口450角 浴槽：FRPバス 追焚用φ50開口 ゴム栓 断熱防水パン付 ドア：折戸W800 枠：ドア枠 樹脂製3方枠 窓枠 樹脂製4方枠 照明：半球形照明1灯 LEDランプ アクセサリー：タオル掛け L=400 雑排水トラップ：トラップ(ABS樹脂製)接続口：VP50受口 ふろふた：シャッター式ふろふた 鏡：なし 水栓：浴槽・洗い場兼用(サーモスタット スプレーシャワーS) ランドリーパイプ：1本 L=1100(ブラケット2個) 追焚機能：リモコン取付用補強木貼付け及び壁穴開口のみ ※リモコン本体及び接続は設備工事 手すり：I型 L=600×3箇所(浴槽側短辺・ドア横・洗い場側正面) 換気扇：□177 開口および補強木取付のみ ※換気扇本体及び接続は設備工事	

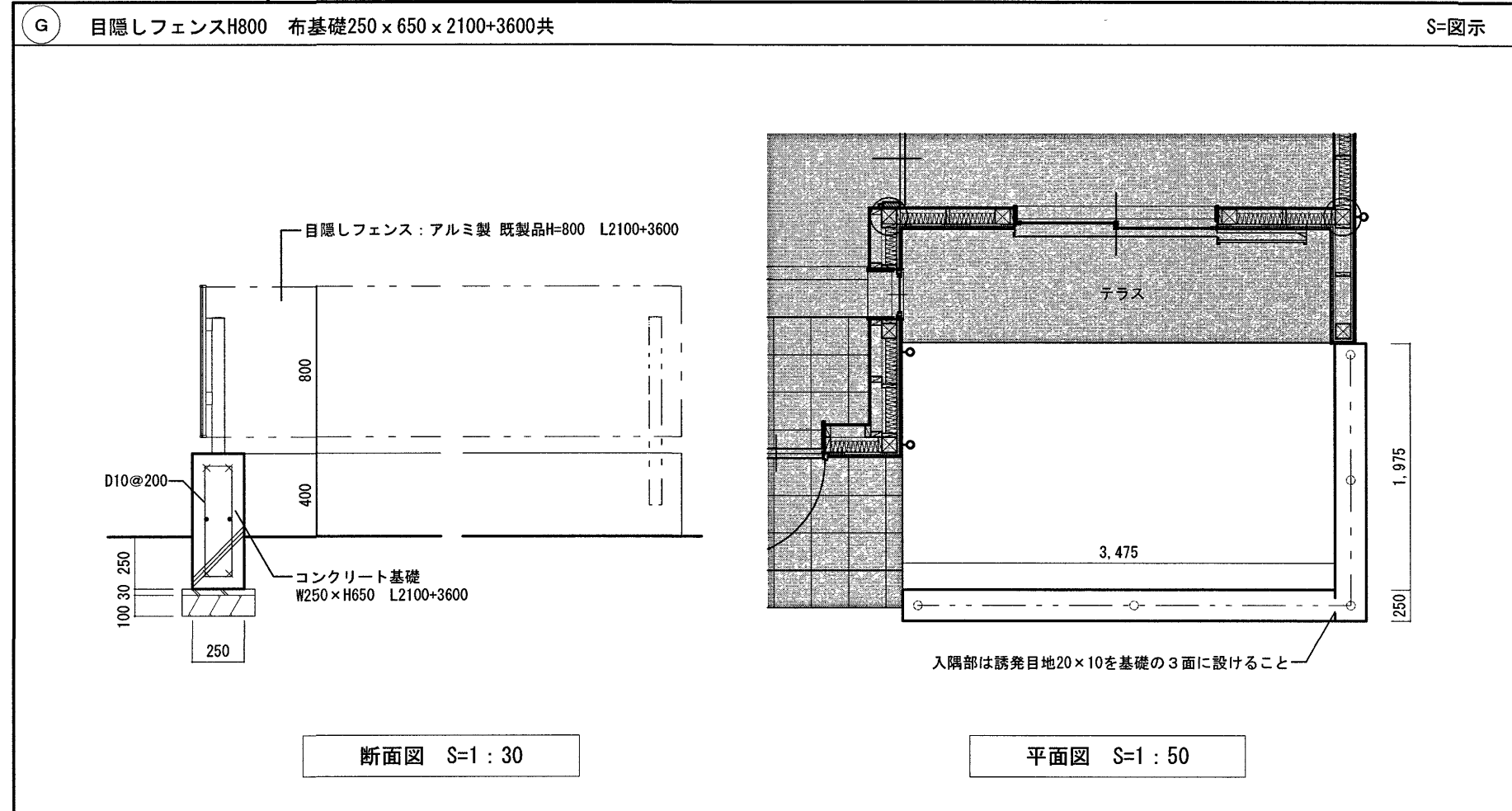
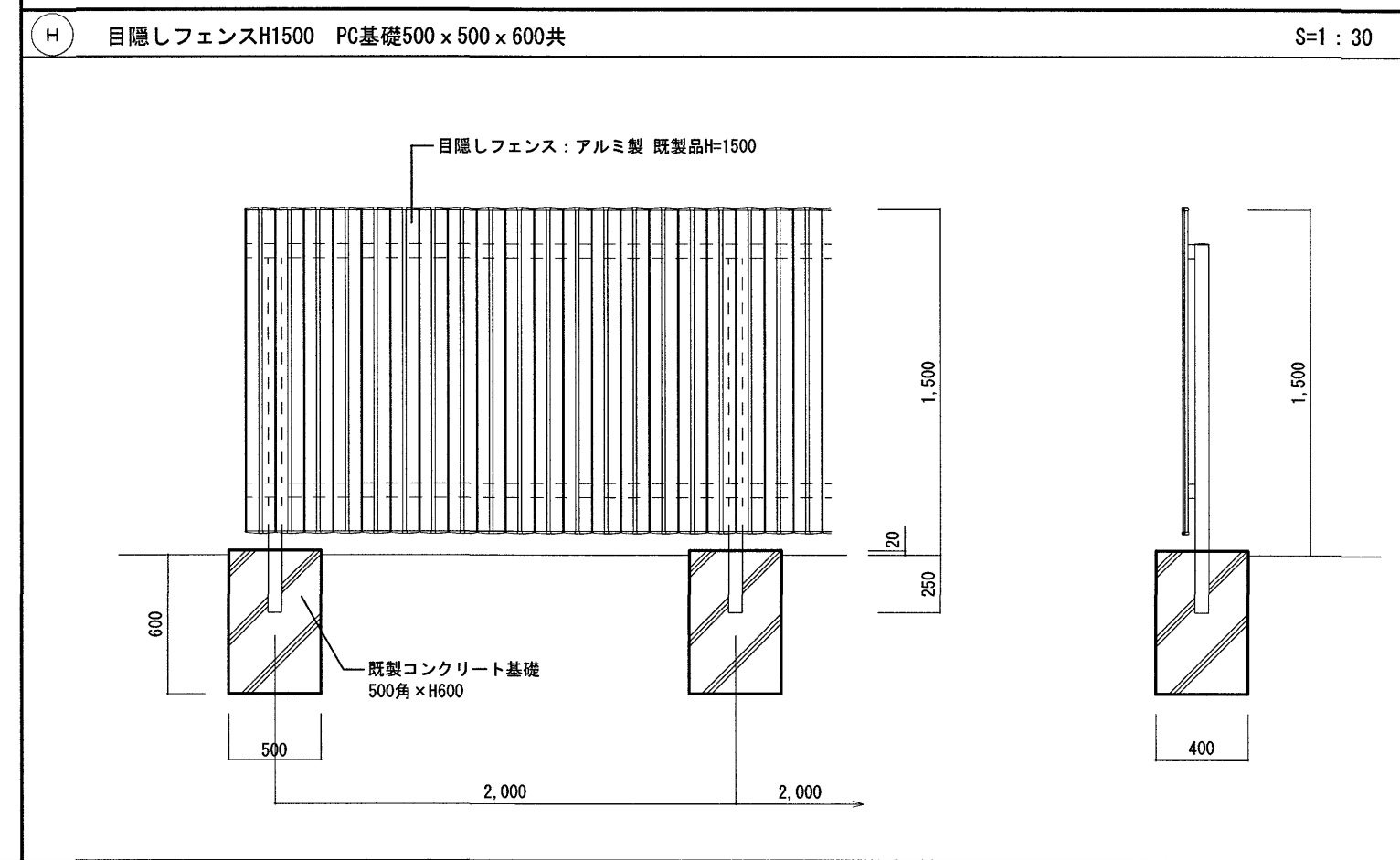
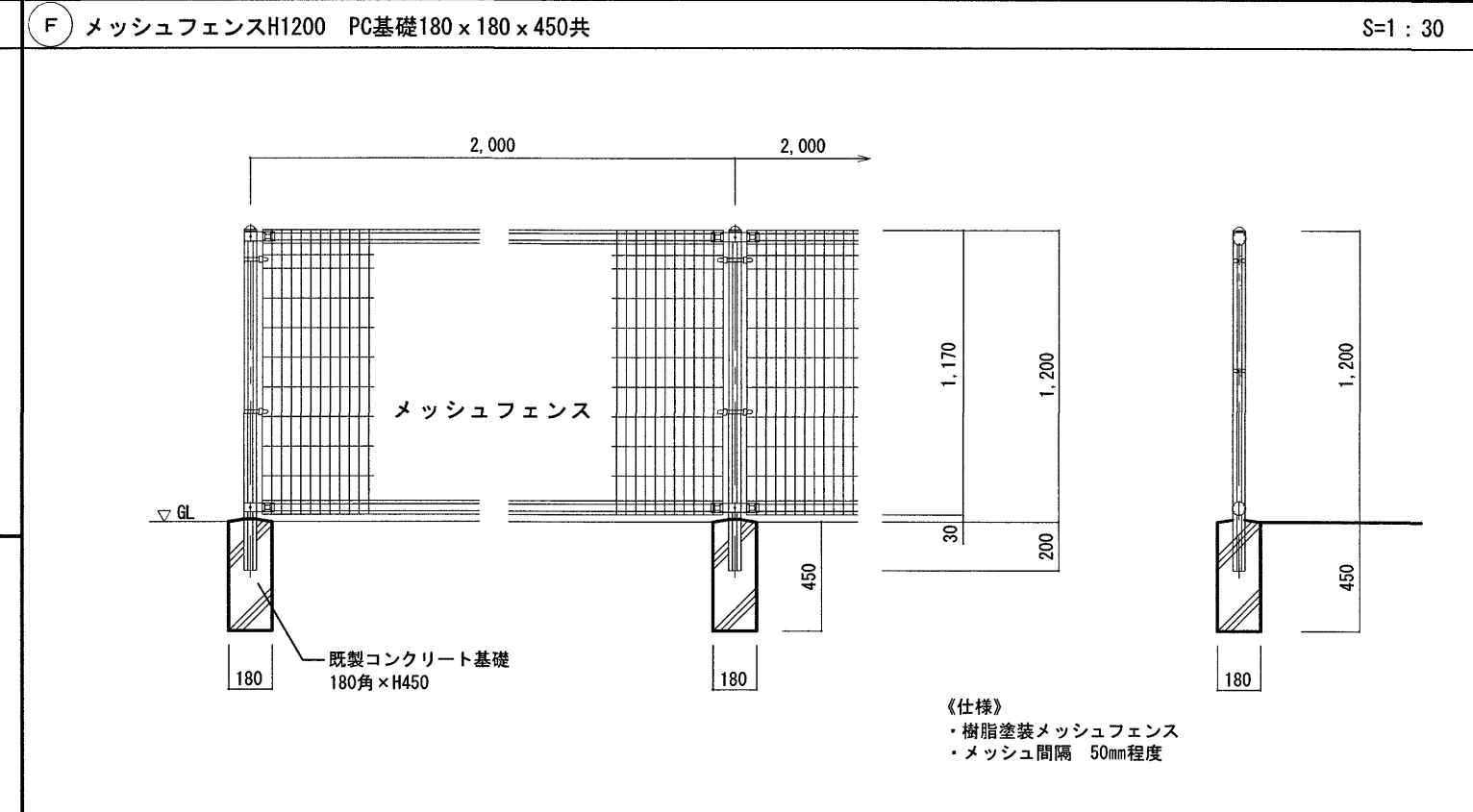
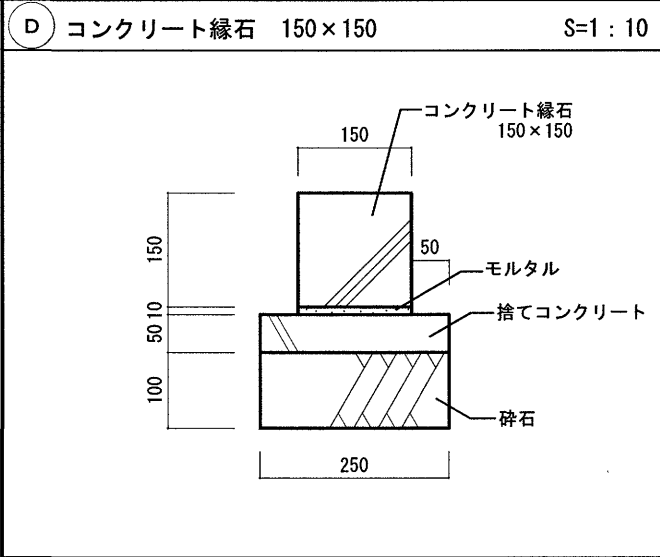
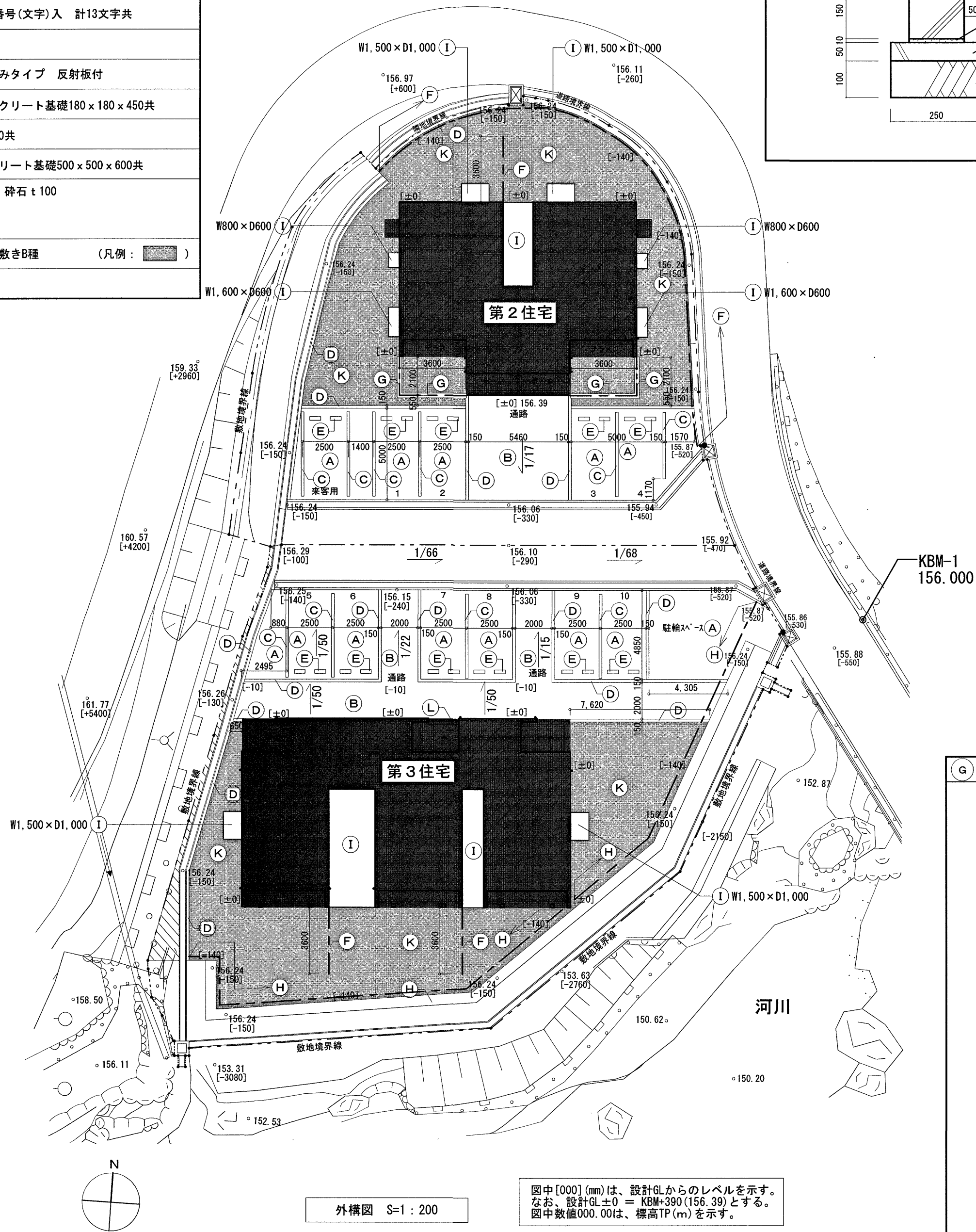
高知市 都市建設部 公共建築課				工事名 中山間地域活性化高川第2・第3住宅新築工事		松本琢史建築設計事務所 TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates		NO A - 49	
係 係長 課長補佐 課長				図面名 第3住宅 木製建具表・ユニット図				SCALE	
用紙サイズによる縮尺補正値 A2：100% A3：70.7%				CHECKED BY		DRAWN BY Matsumoto		一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史	

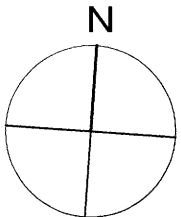
階	住戸等 タイプ	室名	A				採光検討				換気検討									
			L	W	H	ヶ所 補正係数	V	W	H	係数 ヶ所										
1	住戸 (3A・3B・3C)	L D K	4.550	×	3.640	×	1 = 16.562	AW1	2.500	×	2.000	×	1 × 3.00 = 15.000	AW1	2.500	×	2.000	×	0.5 × 1 = 2.500	
		居室											計 15.000					計 2.500		
		16.56	計										√				√			
								A/ 7					= 2.366		A/ 20		= 0.828			
		WC	0.910	×	1.820	×	1 = 1.656													
	1F居室面積 16.56m2																			
		玄関 ホール 廊下	1.820 1.820 1.820 0.910	×	1.820 1.820 0.910	×	1 = 1 = 1 = 1 =	3.312 3.312 1.656 0.828												
		計											9.109 9.10							
2		洋室 (1)	3.640	×	2.730	×	1 = 9.937	AW4	1.600	×	2.000	×	1 × 3.00 = 9.600	AW4	1.600	×	1.000	×	0.5 × 1 = 0.800	
		居室											計 9.600					計 0.800		
		9.93	計									√				√				
								A/ 7					= 1.419		A/ 20		= 0.497			
		洋室 (2)	3.640	×	2.730	×	1 = 9.937	AW4	1.600	×	2.000	×	1 × 3.00 = 9.600	AW4	1.600	×	2.000	×	0.5 × 1 = 1.600	
	2F居室面積 19.86m2	居室											計 9.600					計 1.600		
		9.93	計									√				√				
												A/ 7					= 1.419			
															A/ 20		= 0.497			
	住戸面積 (求積図より) 1階 41.40m2 2階 28.98m2 計 70.38m2 居室面積 1・2階計 36.42m2																			
		ベランダ面積	0.910	×	4.550	×	1 = 4.141													
		計											4.141 4.14							

				高知市 都市建設部 公共建築課				工事名 中山間地域活性化高川第2・第3住宅新築工事				松本琢史建築設計事務所 TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates		NO A - 50	
				係 係長 課長補佐 課長				図面名 第3住宅 法チェック図						SCALE	
				   				CHECKED BY  DRAWN BY  Matsumoto				一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史			
用紙サイズによる縮尺補正值 A2 : 100% A3 : 70.7%															



外 構 工 事 項 目	
A	アスファルト舗装 : A-5-10
B	カラーアスファルト舗装 : A-3-10
C	区画線 : 白線 溶融式 W150 番号(文字)入 計13文字共
D	コンクリート縁石 150×150
E	車止 : PC 120×600 アンカー打込みタイプ 反射板付
F	メッシュフェンスH1200 既製コンクリート基礎180×180×450共
G	目隠しフェンスH800 連続基礎W250共
H	目隠しフェンスH1500 既製コンクリート基礎500×500×600共
I	コンクリート土間金コテ押え t 70 砕石 t 100 ワイヤメッシュ6×100×100共 本体取合部 差筋D10 @200共
K	防草シート t0.64 敷きの上、砂利敷きB種 (凡例 : )
L	第3住宅足洗場廻り 詳細図参照





図中[000](mm)は、設計GLからのレベルを示す。
 なお、設計GL±0 = KBM+390(156.39)とする。
 図中数値000.00は、標高TP(m)を示す。

[illegible]

				高知市 都市建設部 公共建築課				工事名 中山間地域活性化高川第2・第3住宅新築工事				松本琢史建築設計事務所 TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates		NO A - 54	
				係	係長	課長補佐	課長	図面名 現況図兼仮設計面図						SCALE 1/200	
用紙サイズによる縮尺補正值 A2: 100% A3: 70.7%								CHECKED BY			DRAWN BY		Matsumoto	一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史	

木 造 軸 組 接 合 部 標 準 図 (1)

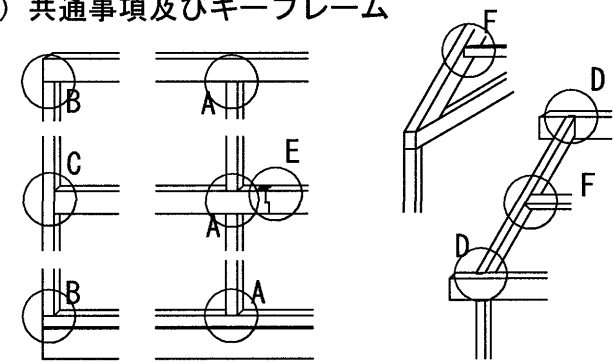
1. 一般事項	2. 材料	3. アンカーボルト	4. 接合一般
(1) 適用範囲 ※本標準図は建築物及び工作物の構造上主要な部分に木材・木質材料を用いる工事に適用する。 木造の構法は、建築基準法施行令第3章3節に規定する木造軸組工法に適用する。 (2) 設計図書 設計図書とは本標準図、特記仕様書、設計図、指示書（現場説明書及び質疑回答書を含む）をいう。 (3) 準拠する図書 設計図書に記載なきものは下記の図書に準拠する。（※全て最新版による。） 「公共建築木造工事標準仕様書」（国土交通大臣官房官庁営繕部監修） 上記の仕様書に記載無き場合は、公共規格又はこれに準ずる規格を適用する。 (4) 設計図書の優先順位 設計図書の優先順位は下記による。 1. 指示書（現場説明書及び質疑回答書） 2. 設計図 3. 特記仕様書 4. 本標準図 (5) 疑義 疑義を生じた場合や工法の提案を行いたい場合には監督職員に申し出、その処理方法について協議する。 (6) 製作要領書及び施工計画書の作成・提出 工事に先立ち、製作要領書や施工計画書を作成し、監督職員の承諾を受ける。 (7) 施工図及びプレカット図の提出 工事に先立ち各種の施工図を作成し監督職員の承諾を受ける。また、必要に応じて接合部のモックアップの作成を行う。プレカット工場を使用する場合には、プレカット図を施工図と位置づける。 (8) 製作工場の選定、承諾 設計図書に基づき、当該工事の規模、加工内容に応じた技術と設備を備え、かつ自主管理能力を有した製作工場及び木工技能者を選定し、監理者の承諾を受ける (9) 各種試験・検査報告書の提出 施工者は、各種工事の試験・検査結果ならびに施工記録を提出する。 (10) 接合工法 本標準図に示す構造耐力上主要な柱及び梁の接合方法は、下記による。 ・継手仕口による在来工法 ・梁受け金物、及びホゾパイプ等による金物工法 なお、上記の方法はひとつの建物で混用して構わない。 また、本標準図は在来接合工法のみについて記載しており、金物工法を用いる場合は、金物工法用の標準図を本標準図に追加して用いること。 本標準図で指定していない金物に変更する場合は、監理者の承認を得ること。 (11) 加工部材に関する留意事項 本標準図で扱う一般的な在来プレカット工場で加工可能な範囲は以下による。 ・梁：部材断面が幅90mm～150mm、梁成が幅と同寸～450mm、及び材長6m以下 ・柱：90角～150角の正方形断面、長さ6m以下 これらを超える場合は、一般プレカット工場では加工できない為、任意形状の加工が可能な加工機を有する工場を選定すること。	(1) 木材及び木質材料 主要構造部に使用する木材・木質材料の品質については特記仕様書で指定する。 (2) 接合具 a) くぎ 主要構造部に使用するくぎはJIS A 5508で規定される鉄丸くぎ（N釘）または太め鉄丸くぎ（CN釘）または溶融亜鉛メッキ太め鉄丸くぎ（ZN釘）またはステンレス鋼釘（S釘）を用いる。 b) 木質構造用ビス 主要構造部に使用する場合は構造上必要な剛性・耐力・靱性が確保されるものを選定することとし、造作用のビス（コーススレッド等）を用いてはならない。 使用箇所・呼び径・呼び長さ等については特記仕様書で指定する。 c) ボルト・ナット・座金 1) 主要構造部に使用するボルト及びナットについては以下による。 ・ボルトはJIS B 1180 , ナットはJIS B 1181 に規定される機械的性質を満たす炭素鋼 ・公益財団法人日本住宅・木材技術センター規格に準じた金物に使用するボルト及びナット 【 Z マーク表示金物 】 【 D マーク表示金物 】 【 S マーク表示金物 】 ・上記以外に、指定性能評価機関、又はそれに準じる公立の評価機関で試験成績書を取得して、耐力が明示された金物に使用するボルト及びナット使用については協議による。 2) 主要構造部に使用するボルト・ナットのねじはJISB0205に示すメートル並目ねじとし、構造上主要な部分にはM12以上を用いる。 3) ボルト及びナットを用いて木材及び接合金物を緊結する場合には適切な寸法と厚みのある座金を用いる。 ※ ボルト・ナット及び座金の使用部位、種類、材質、寸法、表面処理については特記仕様書で指定する。 d) ドリフトピン・ラグスクリュー 主要構造部に使用する場合は構造上必要な剛性・耐力・靱性が確保されるものを選定することとする。使用箇所・材質・呼び径・呼び長さ等については特記仕様書で指定する。 e) 木栓・木ダボ 主要構造部に使用する場合は所定の強度が確保できる樹種を指定する。 樹種・径等については、特記仕様書で指定する。 節・目切れ等の耐力上の欠点のないものとする。 (3) 接合金物 a) 規格金物 構造材の接合に用いる接合金物の規格は以下による。 ・JIS A 5531：木構造用金物 ・公益財団法人日本住宅・木材技術センターによる規格に準じた金物； Z マーク表示金物、又は C マーク表示金物 ・同等認定金物；D マーク表示金物 ・性能認定金物；S マーク表示金物 上記以外に、指定性能評価機関、又はそれに準じる公立の評価機関で試験評価機関で試験成績書を取得して基準耐力が明示された金物を、規格金物として使用できる。 使用部位と金物の名称、材質、その他については特記仕様書で指定する。 b) 製作金物 製作金物の使用部位・材質・形状・寸法・溶接仕様・表面処理等については、特記仕様書及び設計図による。 (4) 接着剤 原則として、構造計算による応力の検定に現場接着による接着剤の耐力は算入しない。但し、たわみや振動等に対する剛性確保のために接着剤の効果を見込む場合はこの限りではない。 建築現場で用いる接着剤の名称・材質・使用環境等については特記仕様書による。 (5) 防腐防蟻処理及び耐候処理 防腐防蟻処理及び耐候処理（塗装）は特記仕様書で指定する。 土台及び外壁の地盤面から1m以下の構造材については適切な防腐防蟻処理を行う適切な防腐防蟻処理については特記仕様書で指定する。	※共通事項 ・アンカーボルト及び座金の品質と性能、表面処理等は、特記仕様書による。 (1) 土台固定用アンカーボルト a). アンカーボルトの埋設位置； アンカーボルトの埋設位置は以下による。 -1. 耐力壁（筋交い、合板仕様共通）の下部； 耐力壁（筋交い、合板仕様共通）の下部は、その両端の柱の下部に近接した位置（柱芯より200mm内外）とする。 200 程度 引張金物専用アンカーボルト M16以上 埋込み長さ ≥ 360 mm 土台 △ 基礎天端 360 ※ 250 ※ 柱 土台 アンカーボルト アンカーボルト ※ J 型及び L 型アンカーボルトを用いる場合の必要埋込み長さを示す。 (見下げ) -2. 土台切れの端部及び、土台の継手仕口； 土台切れの端部及び、土台の継手仕口では、男木の端部に設ける。当該部分が出隅の場合は、出来る限り柱に近接させた位置とする。 継手の場合 男木 女木 土台 アンカーボルト 男木 女木 土台 △ 基礎天端 250 ※ 70 程度 ※ J 型及び L 型アンカーボルトを用いる場合の必要埋込み長さを示す。 仕口の場合 土台 男木 女木 土台 アンカーボルト 土台切れの場合（柱勝ち収まり等） アンカーボルト 土台 200 程度 △ 通り芯、又は柱芯 (見下げ) (見下げ) -3. その他； 上記以外では、2.0m以内の間隔で設ける。 (2) 引張金物専用アンカーボルト a). 引張金物専用アンカーボルトの径 引張金物専用アンカーボルトの呼び径は、M16以上とする。 b). 引張金物専用アンカーボルトの基礎への埋込み長さ 引張金物専用のアンカーボルトの基礎コンクリートへの埋込み長さは、J 型アンカーボルトを用いる場合は、360 mm 以上（ 35kN用は 500 mm 以上 ）とする。その他のアンカーボルトを用いる場合は、引張金物の耐力を満たす埋込み長さとする。	(1) 釘接合 ・釘の長さは材厚の2.5倍以上とする。 ・面材表面に対し、釘頭がめり込んではいならない。 ・自動釘打ち機を使用する場合は、圧力を適切に調整するか、弱めの圧力で打込んだうえに手で打込んで仕上げる等により、釘頭のめり込みを防ぐ。 ・構造耐力上主要な部分において、釘を引き抜き方向に抵抗させることは避ける。 ・木口面に打たれた釘は、引抜き方向に抵抗させることはできない。 (2) 木質構造用ビス接合 ・木口面に打たれた木質構造用ビスは、引抜き方向に抵抗させることはできない。 ・先孔を設ける場合の先孔の径は、以下のとおりとする。； 比重が 0.5 以上の樹種・・・呼び径の 60～75 % 上記以外の樹種・・・呼び径の 40～70 % ※ 先孔の深さは、主材へのねじ込み深さの2／3程度とする。 (3) ボルト接合 ・締付けに先立ち、ボルトの長さ、材質、呼び径、座金等が施工箇所に適していることを確認する。 ・ボルトの締め付けは、座金等が木材に軽くめり込む程度とし、過度に締付けない。 ・締め付けを完了したボルトは、ねじ部がナットから2山以上突き出ていることを確認する。但し、座掘り座金等、ナットと座金が一体になって土台に埋込まれるタイプのものについては、メーカーの使用条件による。 ・引張力を負担する構造上主要な箇所のボルトで、設計図書で指定する部位のものについては、ダブルナット等、弛み止め等の適切な処置を行う。 (4) ラグスクリュー接合 ・座金の厚さと大きさは、同じ胴径のボルト接合部における規定値を用いる。 ・締付けに先立ち、ラグスクリューの長さ、材質、呼び径、座金等が施工箇所に適していることを確認する。 ・先孔を設ける場合の先孔の径は、以下のとおりとする。； 比重が 0.5 以上の樹種・・・呼び径の 60～75 % 上記以外の樹種・・・呼び径の 40～70 % ※ 先孔の深さは、ネジ部の長さと同寸以上とする。 ・ラグスクリューの挿入は、スパナやインパクトレンチ等を用い、必ず回転させて行う。ハンマー等での叩き込みによる挿入を行ってはならない。 ・一度ねじ込んだラグスクリューは、抜き直して再びねじ込むことは避ける。 ・鋼板を側材に用いる場合のラグスクリューは、切削ネジタイプとし、転造ネジタイプを用いてはならない。また、鋼板の孔径は以下のとおりとする。 ・呼び径 M12以下；+1.0mm ・呼び径 M16以上；+1.5mm (5) ドリフトピン接合 ・ドリフトピンは、孔に密着させて使用し、木材に対し遊びがあってはならない。 ・ドリフトピンは、原則として、集成材やLVL等の寸法安定性の高い木質材料に用いるものとし、止むを得ず製材に用いる場合はKD材とする。 ・施工に際しては、孔に対しテーパのある側を先端にして打込み、無理な打撃を加えてはならない。 (6) 木栓接合 ・木栓は、孔に密着させて使用し、木材に対し遊びがあってはならない。 ・木栓は、原則として、集成材やLVL等の寸法安定性の高い木質材料に用いるものとし、止むを得ず製材に用いる場合はKD材とする。 ・施工に際しては、木栓を孔に対し打込む時に、折れ曲がりや割れ、頭部の潰れ等が生じないように注意し、無理な打撃を加えてはならない。 ・木栓は湿気の少ない場所で保管し、現場においても水に濡れないよう注意する。 (7) グルードインロッド接合 ・グルードインロッド接合とは、軸組部材の木口に先孔を開け、鋼棒等を挿入して、樹脂接着剤等注入・充填させることにより、接着剤の付着抵抗と鋼棒等の引張によって、応力を伝達する接合をいう。 ・グルードインロッド接合は、原則として、集成材やLVL等の寸法安定性の高い木質材料に用いるものとし、止むを得ず製材に用いる場合はKD材とする。 ・施工に際しては、所定の適用範囲や材料、手順、接着剤の使用環境、養生方法等を遵守して適正に行う。

				高知市 都市建設部 公共建築課				工事名 中山間地域活性化高川第2・第3住宅新築工事				松本琢史建築設計事務所 TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates		NO B1 - 01			
				係 係長 課長補佐 課長				図面名 木造軸組接合部標準図（1）						SCALE			
														一級建築士大士登録第322947号 松本琢史			
用紙サイズによる縮尺補正値 A2：100% A3：70.7%				小野 笹岡 徳岡 松本				CHECKED BY		Matsumoto		DRAWN BY		Matsumoto			

木造軸組接合部標準図(2)

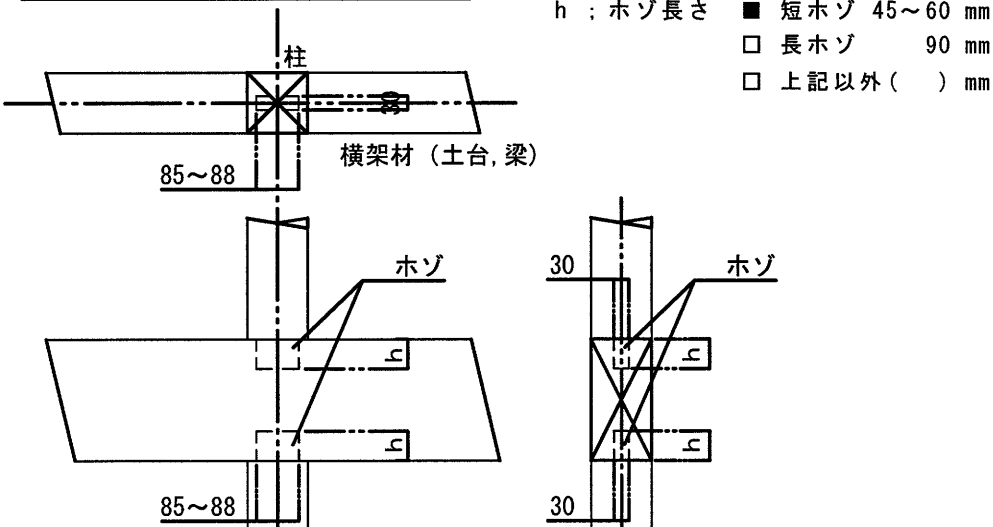
5. 軸組標準接合部

(1) 共通事項及びキーフレーム

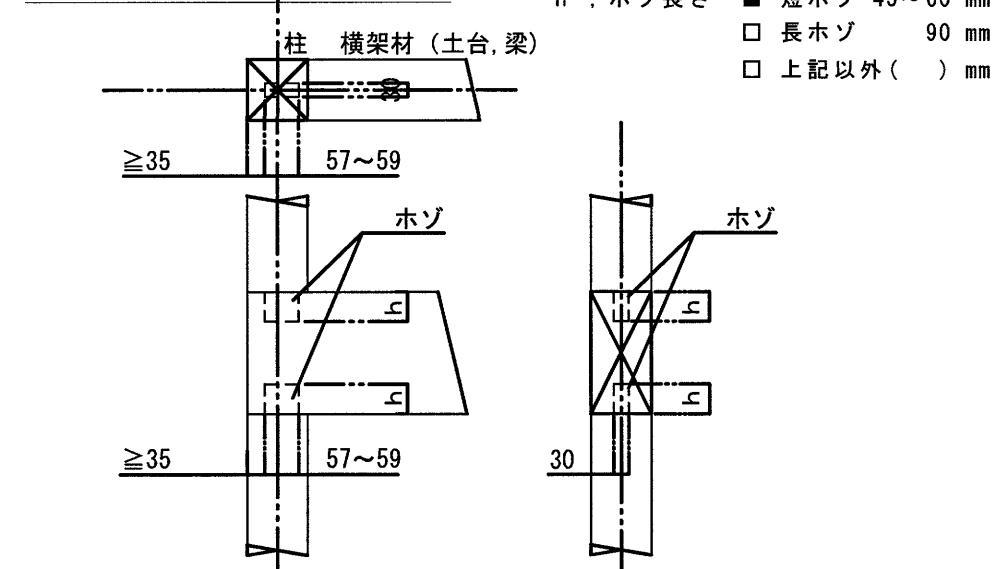


(2) 標準的な継手仕口 (mm)

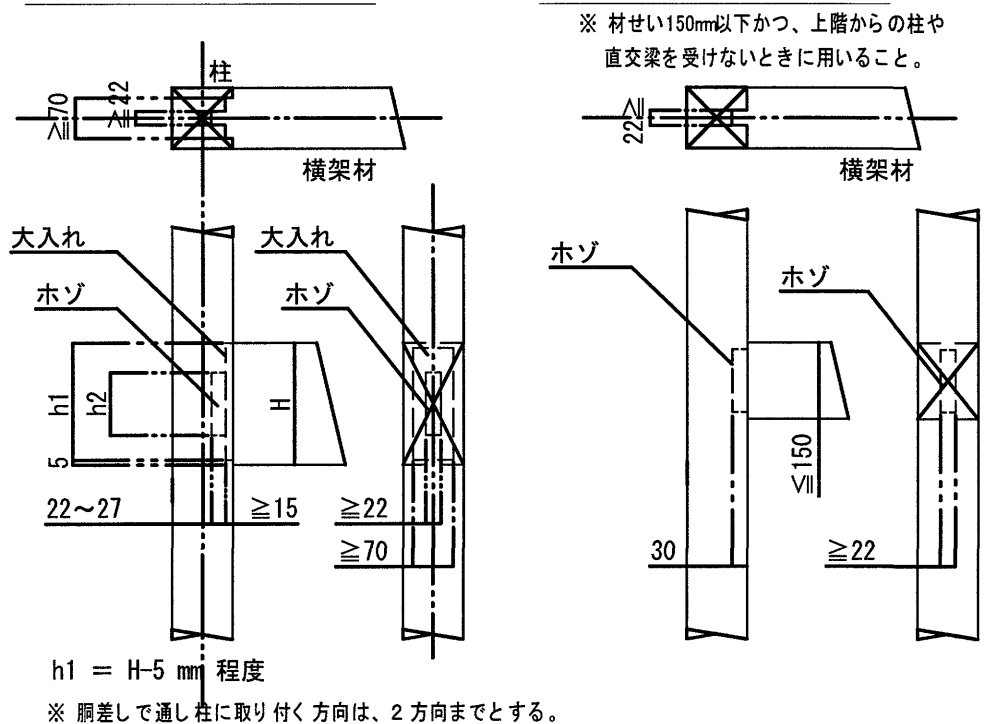
A 柱-横架材仕口：一般部 (土台共通)



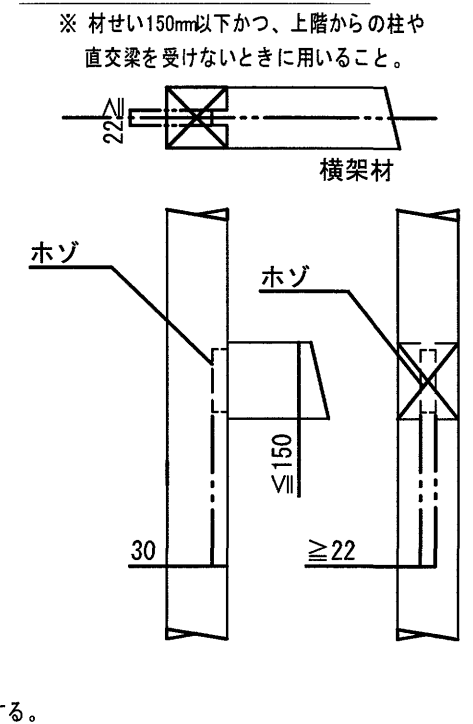
B 柱-横架材仕口：出隅部 (土台共通)



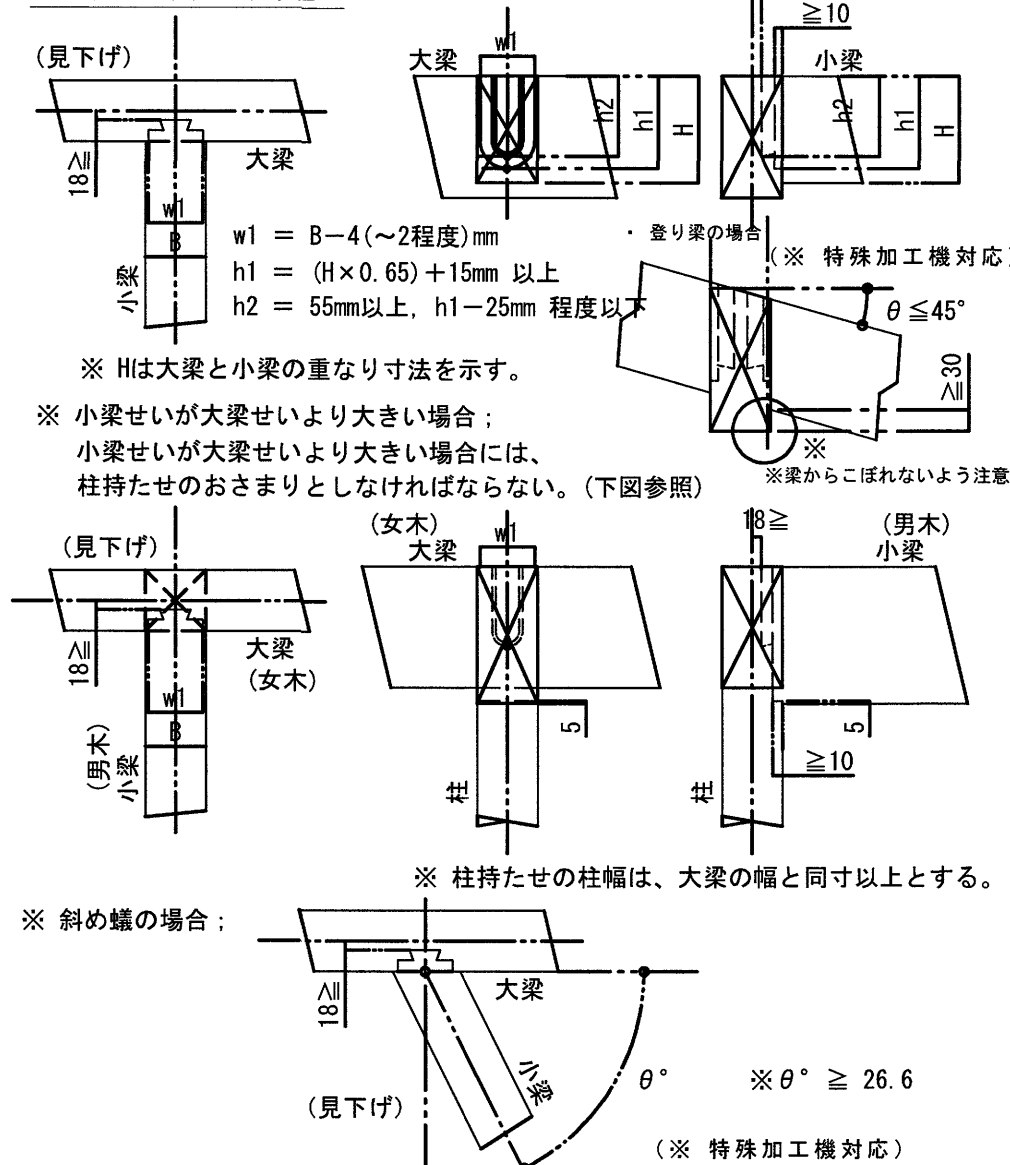
C 通柱-横架材仕口：胴差し



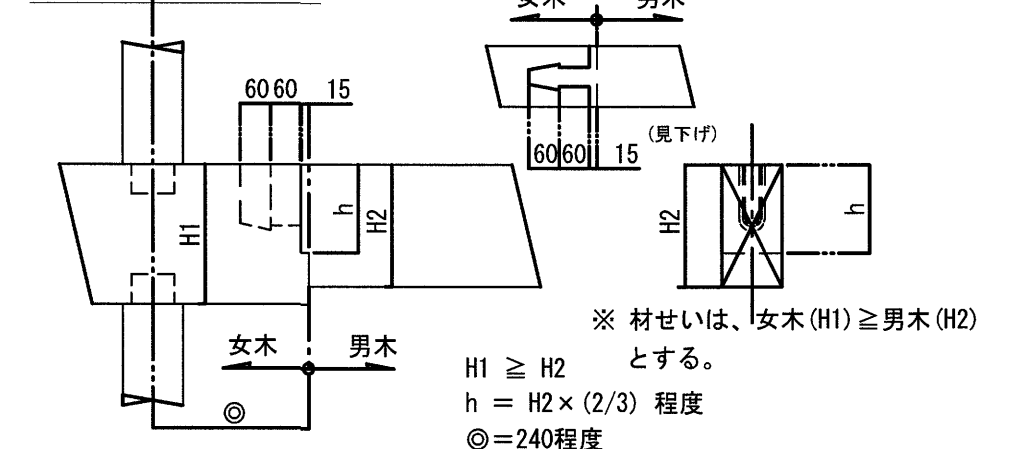
C 通柱-横架材仕口：桁差し



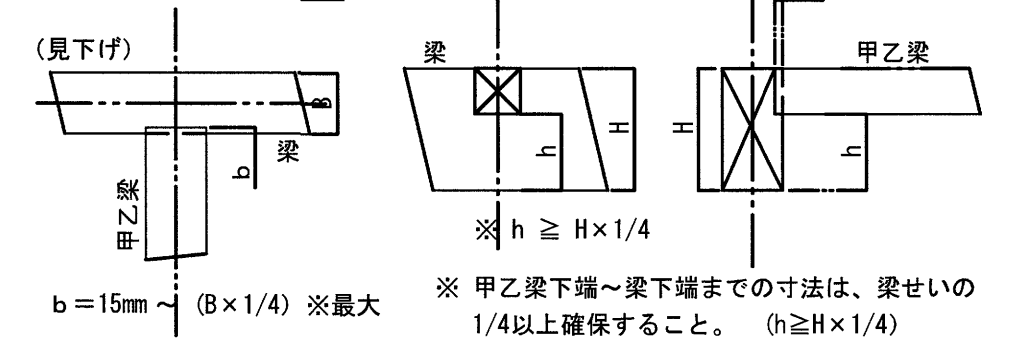
D 大梁-小梁仕口：蟻仕口



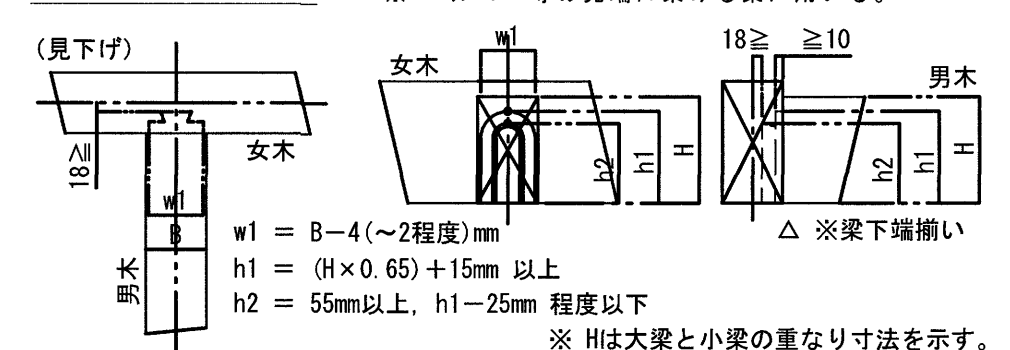
E 梁-梁継手：腰掛継



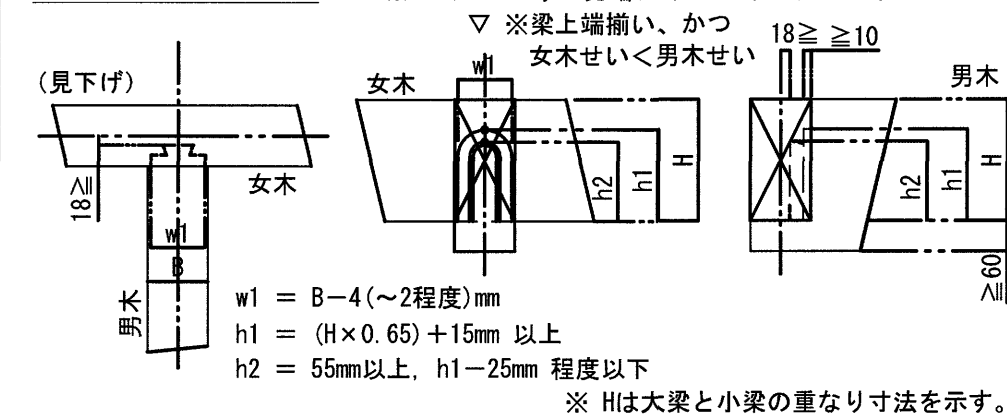
F 梁-甲乙梁仕口：大入れ



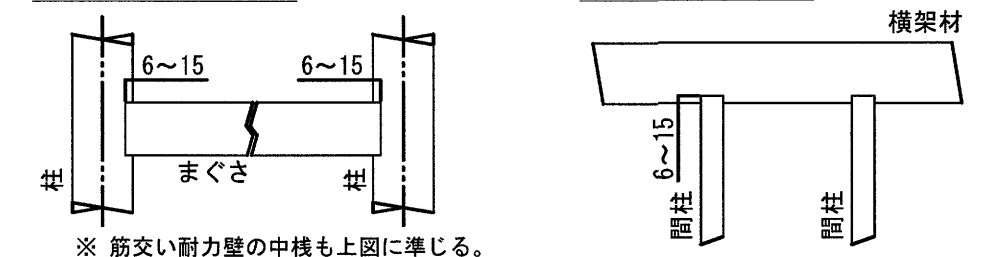
G 梁-梁仕口：逆蟻仕口



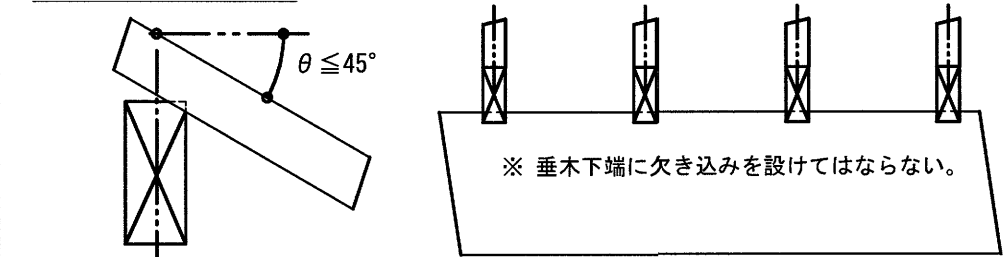
H 梁-梁仕口：茶臼仕口



I その他：まぐさ欠き



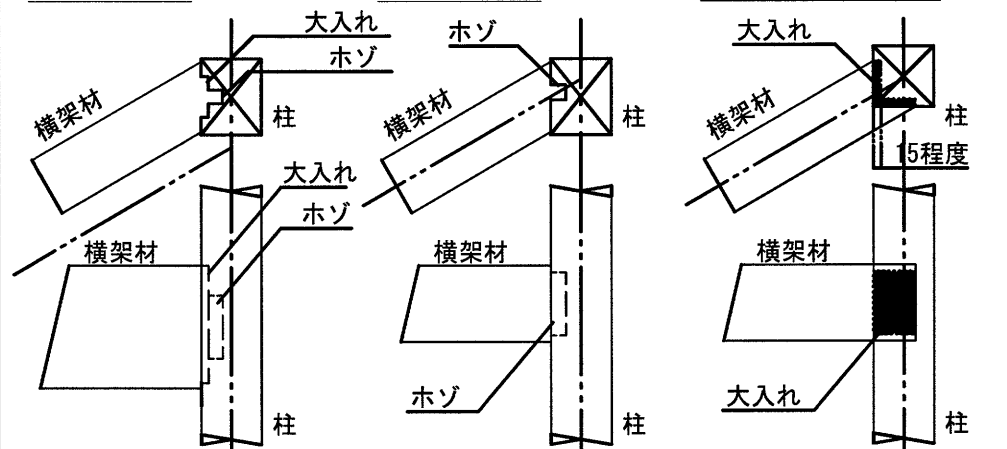
K その他：垂木欠き



(3) 特殊加工機を用いた標準的な継手仕口 (mm)

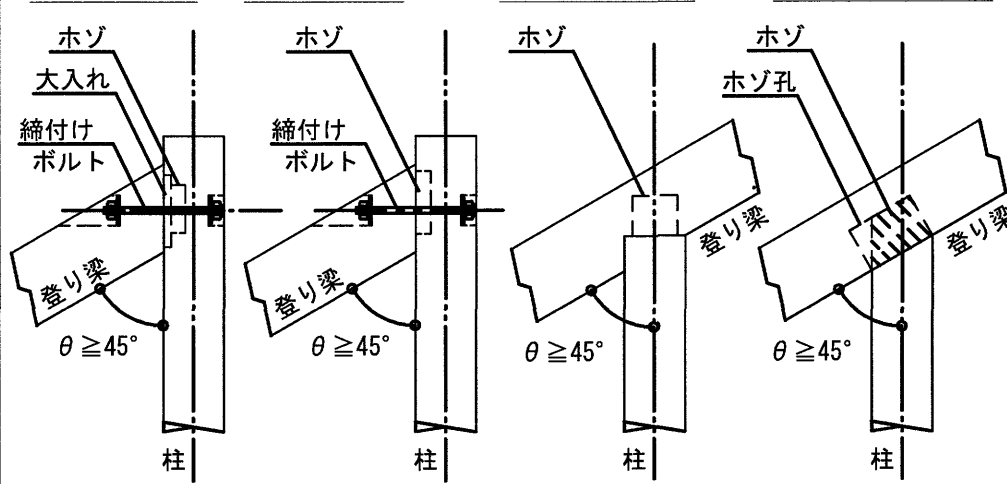
特殊加工機を用いることにより対応可能な継手仕口の一列を、本節に示す。
特殊加工機を用いた継手仕口は、加工工場が限定されるので注意すること。
特殊加工機を用いた継手仕口は、その形状により加工コストが増すので注意すること。

L 斜め胴差し

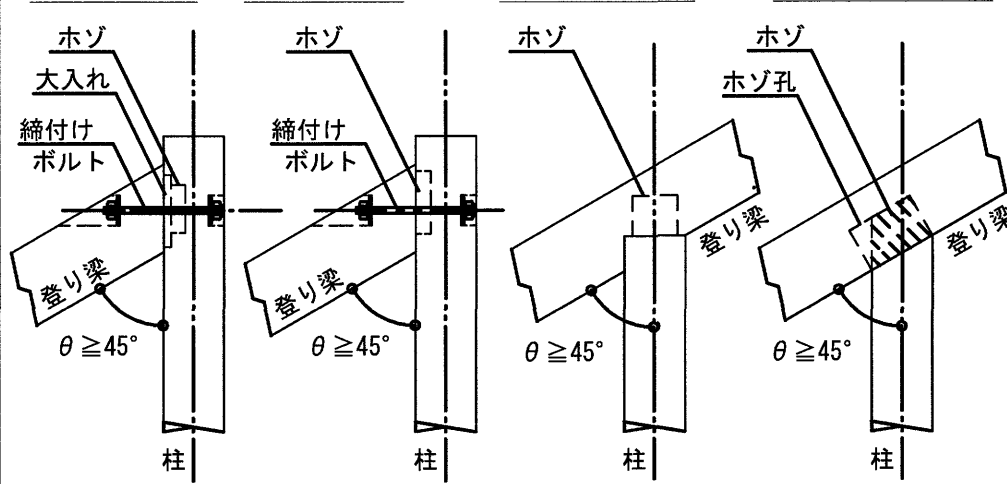


※ L, Mともに、梁幅が柱からこぼれない範囲で用い、柱断面を調整して使用すること。
※ L, Mともに、柱梁の緊結には引きボルトの代わりにコーナー金物を使用すること。
使用するコーナー金物は、羽子板同等以上の引張耐力を有するものとする。

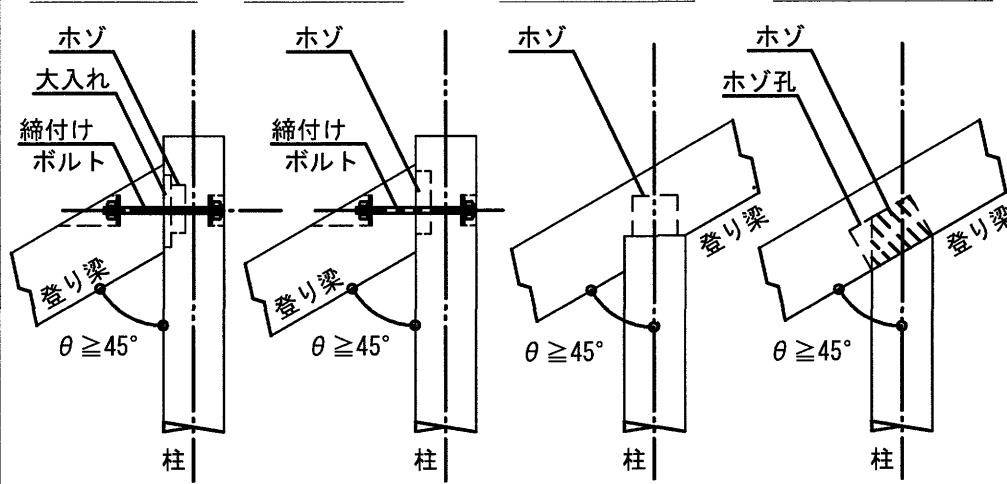
O 登り胴差し



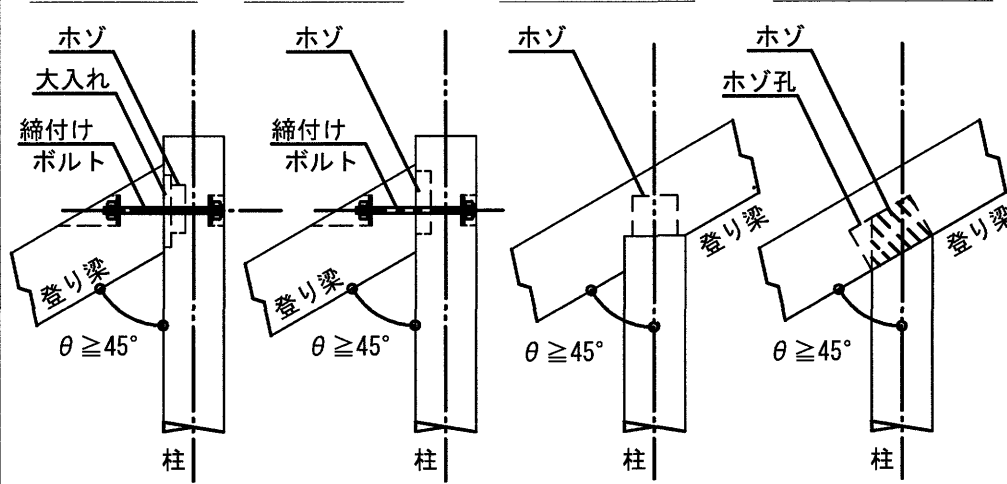
P 登り桁差し



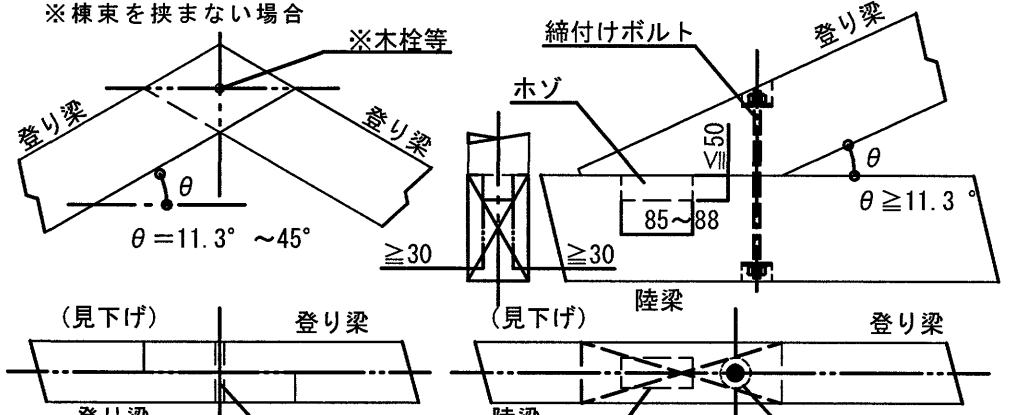
Q 登り斜めホゾ



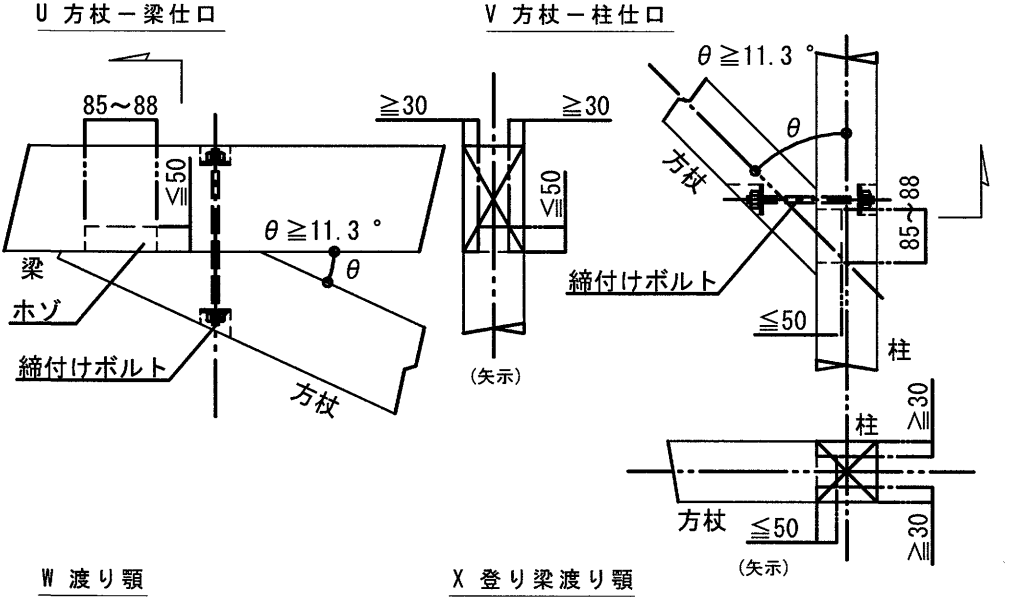
R 登り座付きホゾ



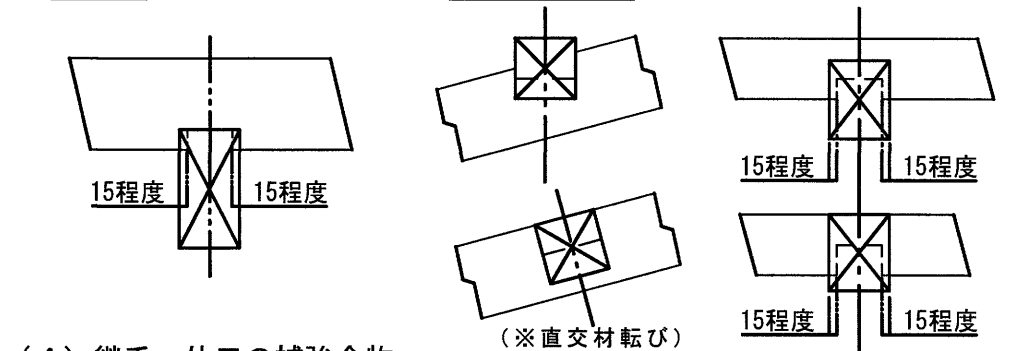
S 登り梁合掌部



T 登り梁合掌尻

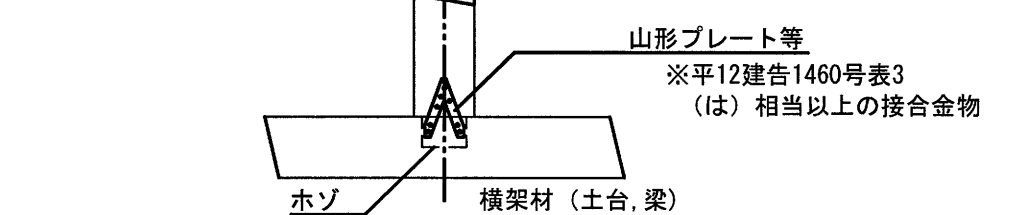


W 渡り頭

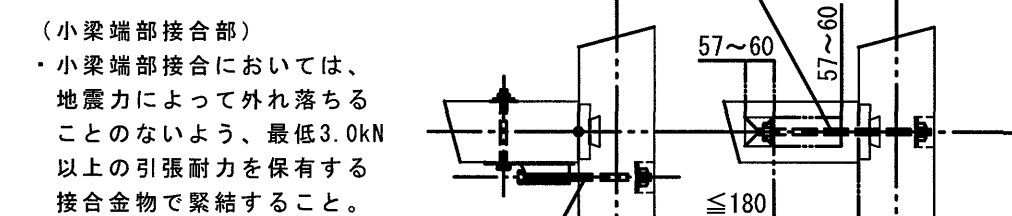
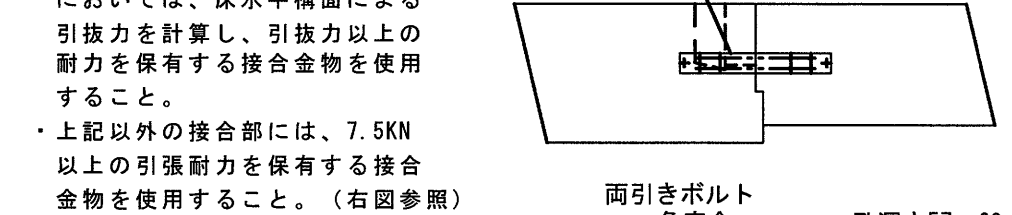


(4) 継手・仕口の補強金物

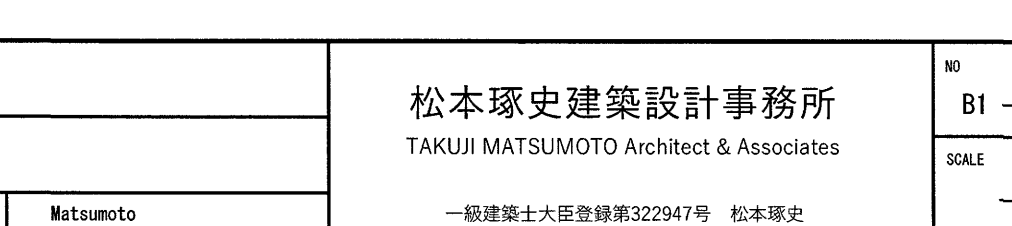
・耐力壁柱の柱脚・柱頭においては、耐力壁による引抜き力を計算し、引抜き力以上の耐力を有する接合金物を使用すること。
・上記以外の柱脚接合部には、5.1kN以上の引張耐力を有する接合金物(平12建告1460号表3に対応する表符号の"は"相当以上)を使用すること。



(梁-梁 接合部)
・水平構面の外周部横架材接合部においては、床水平構面による引抜き力を計算し、引抜き力以上の耐力を有する接合金物を使用すること。
・上記以外の接合部には、7.5kN以上の引張耐力を有する接合金物を使用すること。(右図参照)



(小梁端部接合部)
・小梁端部接合部においては、地震力によって外れ落ちることのないよう、最低3.0kN以上の引張耐力を有する接合金物で緊結すること。



高知市 都市建設部 公共建築課

工事名 中山間地域活性化高川第2・第3住宅新築工事

図面名 木造軸組接合部標準図(2)

CHECKED BY Matsumoto

DRAWN BY Matsumoto

松本琢史建築設計事務所

TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates

一級建築士大臣登録第32947号 松本琢史

NO B1-02

SCALE

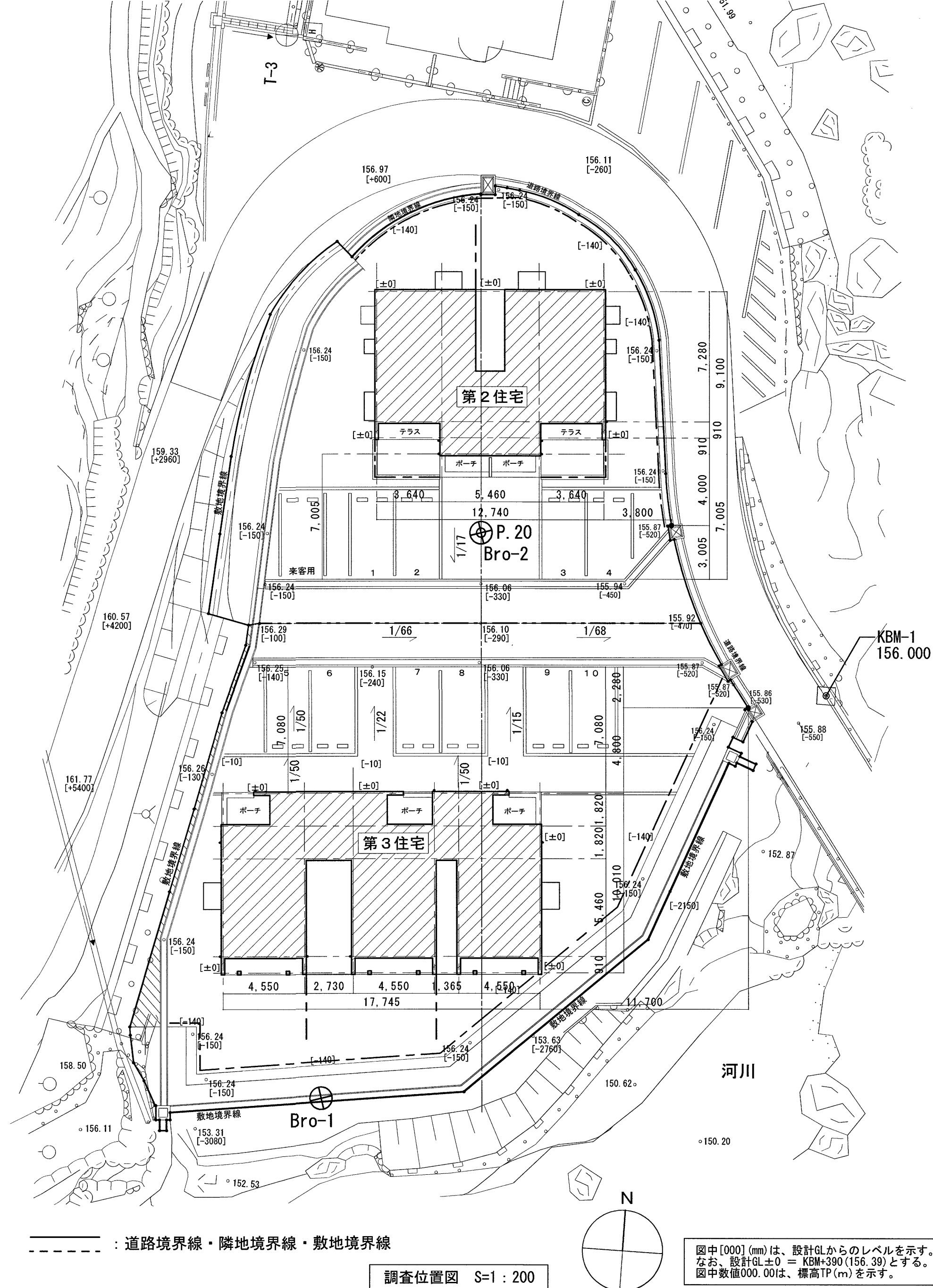
用紙サイズによる縮尺補正値 A2: 100% A3: 70.7%

ボーリング名	Bor-1	調査位置	高知市 土佐山高川	北緯	33° 38' 12.6"
発注機関	高知市 耕地課	調査期間	令和06年11月18日～令和06年11月22日	東経	133° 31' 31.0"
調査業者名	株式会社ジオテック 電話(088-802-7755)	主任技師	武智 俊雄 地盤調査士 第09815号	現場代理人	折戸 明美 地盤調査士 第09815号
コア	武智 俊雄 地盤調査士 第09815号	ボーリング責任者	福本 健 地盤調査士 第17691号		
孔口標高	T.P. 153.55 m	試験機	東邦地下工機製D1		
総削孔長	9.00 m	エンジン	ヤンマーNFD10	ポンプ	動噴
角	180°	方	北 0°	地盤勾配	0°
度	0°	位	0°	使用機種	

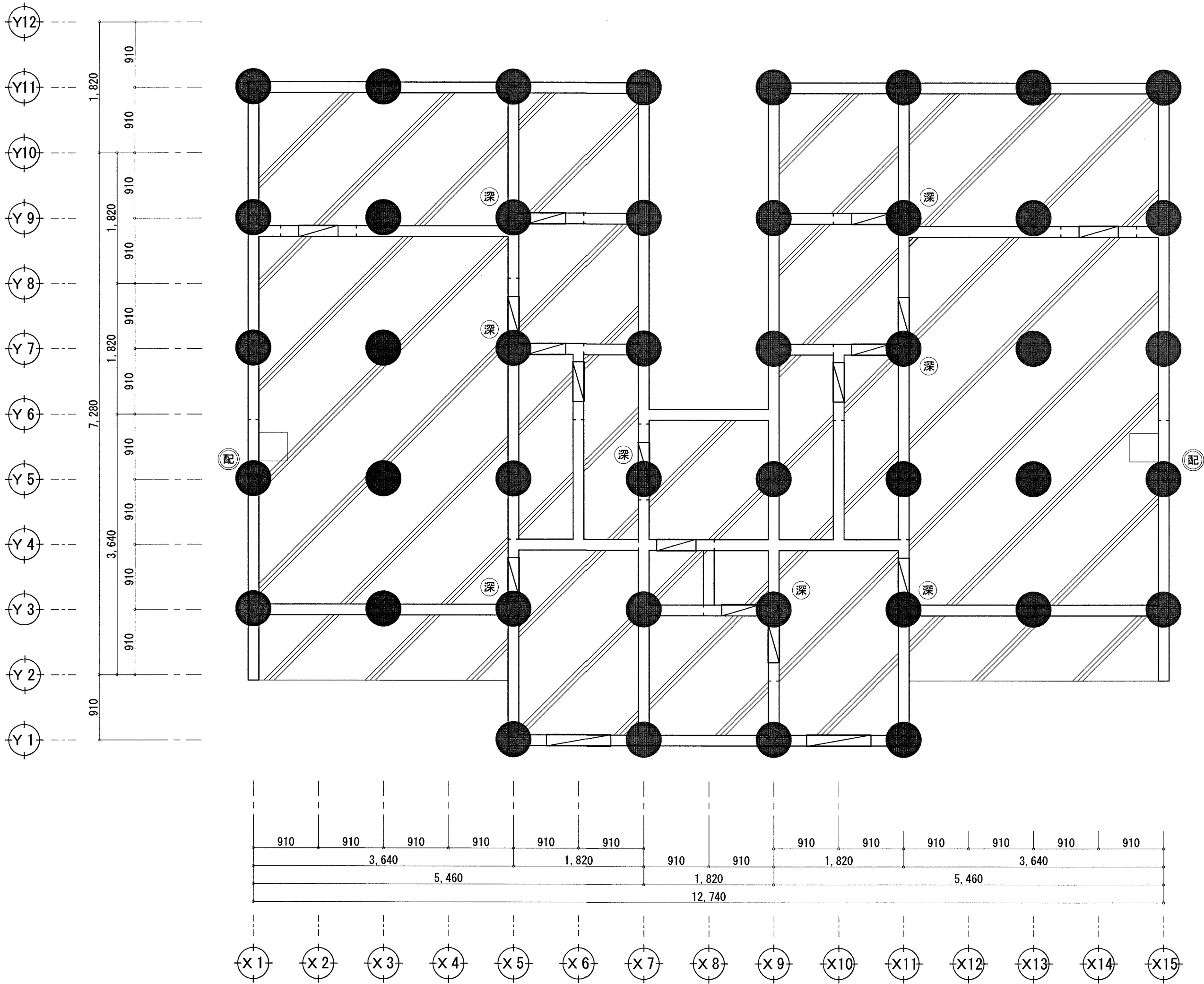
標	層	深	現	現	地	色	相	相	記	孔	標	準	貫	入	試	験	原	位	置	試	験	試	料	採	室	削			
尺	高	厚	度	場	場	盤	対	対	事	内							深	試	験	名	深	試	採	内	孔				
(m)	(m)	(m)	(m)	土質名(模倣)	土質名	材料の工学的分類	調	度		水							度	及	び	結	度	料	取	内	孔				
										位	測	定	年	月	日	値	度	回	数	度	度	番	方	試	月				
											年	月	日				(m)				(m)	号	法	験	日				
1				シルト質砂礫	シルト質砂礫	茶暗灰茶		緩い	GL-0.4mまで茶色、それ以後は暗灰茶。φ30mm前後の塊状を呈する。新鮮である。チャートの転石、角礫があり、塊状～棒状となる。新鮮かつ硬質である。	11/20	153.55	2.55	2.55				5.0	1.15	2	1	2	5	300	1.15	1-1	-	物理	11/18	
2																	7.0	1.45	1	1	5	7	300	1.45					
3				玉石	玉石	暗灰茶		非常に密な中へい	チャートの転石、角礫があり、塊状～棒状となる。新鮮かつ硬質である。	11/21	149.55	1.45	4.00				800.0	2.45	3.00	60	10	10	300	60				11/19	
4				玉石混じり砂礫	玉石混じり砂礫	暗灰茶		緩い	φ5～30mmの角礫の砂を主体とし、マトリックスはシルト、砂で構成された玉石混じりシルト質砂礫。玉石は、灰白色の硬質なチャートである。	11/21	148.75	0.80	4.80				20.0	4.15	8	5	7	20	300	4.15	1-2	-	物理	11/20	
5																	30.0	4.45	9	11	10	30	300	4.45					
6				シルト質砂礫	シルト質砂礫	暗灰茶		緩い	φ30mm前後の塊を含むシルト質砂礫。塊状は角礫～亜円礫。結核は、チャート、緑色岩など、φ10cm程度の玉石あり。	11/22	146.90	1.85	6.65				22.0	5.45	6.15	7	7	8	22	300	6.15	1-3	-	物理	11/20
7																	900.0	6.45	7.00	60	20	20	300	60					
8				凝灰岩	凝灰岩	明緑灰・灰			基盤岩。岩塊は暗灰茶・暗緑灰～棒状を呈する。新鮮である。GL-6.7m以下、φ85mmに幅1cm程度の亀裂があり、その亀裂は茶色を帯び、綿状状となっている。岩塊区分は、CL級の上位からCL級。	11/21	144.55	2.35	9.00				360.0	8.00	9.00	60	60	60	60	60	7.00				11/21
9																	600.0	8.05	9.00	60	60	60	60	60				11/22	
10																		9.03	30										

ボーリング名	Bor-2	調査位置	高知市 土佐山高川	北緯	33° 38' 13.4"
発注機関	高知市 耕地課	調査期間	令和06年11月25日～令和06年12月02日	東経	133° 31' 31.1"
調査業者名	株式会社ジオテック 電話(088-802-7755)	主任技師	武智 俊雄 地盤調査士 第09815号	現場代理人	折戸 明美 地盤調査士 第09815号
コア	武智 俊雄 地盤調査士 第09815号	ボーリング責任者	福本 健 地盤調査士 第17691号		
孔口標高	T.P. 156.43 m	試験機	東邦地下工機製D1		
総削孔長	11.00 m	エンジン	ヤンマーNFD10	ポンプ	動噴
角	180°	方	北 0°	地盤勾配	0°
度	0°	位	0°	使用機種	

標尺	標高	層厚	深度	現場土質名 (模倣)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色相対対	相対密度	記	孔内水位／測定年月日	標準貫入試験	原位置試験	試験採取	室内試験
(m)	(m)	(m)	(m)											
1	155.53	0.90	0.90		シルト質砂礫	灰茶	非常に緩い		φ5～30mmの亜角礫及びシルト、砂で構成されるシルト質砂礫	11/27 156.43	 N 値			
2					礫混シルト質砂	灰茶	非常に緩い		φ5～30mmの礫を含むシルト・細砂などの隙隙分を主体とする地層。不均質な盛土。	11/25 156.43			2-1	- 物理
3	153.83 153.63	1.70 0.20	2.60 2.50		砂質粘土 礫混じりシルト質砂	灰黒・暗灰茶・暗赤茶	非常に緩い		灰黒色の粘土層を被覆する砂質土。白耕作土と思われる。	11/25 156.43 11/26 156.43			2-2	- 物理
4	152.73	0.90	3.70		玉石混じり砂礫	黒灰・茶	中くらい		φ30mm前後の礫が混入するシルト、細砂の隙隙分を主体とする地層。	11/28 156.43 11/26 156.43				
5					玉石混じり砂礫	黒灰・茶	中くらい		φ100～300mmの玉石と土砂。層状堆積物からなる地層。土砂部分は、灰茶色のシルトや砂。	11/30 156.43 11/29 156.43			2-3	- 物理
6					玉石混じり砂礫	黒灰・茶	中くらい		φ100～300mmの玉石と土砂。層状堆積物からなる地層。土砂部分は、灰茶色のシルトや砂。	11/30 156.43 11/29 156.43				
7	149.58	3.15	6.85		玉石混じり砂礫	灰茶・灰茶	非常に密な		φ30mm前後の緑色の玉石が連続し、玉石間には灰茶色の土砂が挟まれる。	11/27 156.43 11/29 156.43				11/27
8	148.23	1.35	8.20		玉石混じり砂礫	灰茶	非常に密な		(土砂：CL-7.2～ 7.3m、CL-7.5～ 7.6m、CL-7.15～ 7.85m) (玉石は、建資で覆 被)	11/27 156.43 11/29 156.43 11/30 156.43				11/28
9					暗灰岩	暗赤			現状～短冊状を呈する岩塊。角礫多 当片は新鮮である。 CL級の上位からCM 級。玄武岩質。	11/27 156.43 11/29 156.43 11/30 156.43				11/29
10					暗灰岩	暗赤			現状～短冊状を呈する岩塊。角礫多 当片は新鮮である。 CL級の上位からCM 級。玄武岩質。	11/27 156.43 11/29 156.43 11/30 156.43				11/29
11	145.43	2.80	11.00		暗灰岩	暗赤			現状～短冊状を呈する岩塊。角礫多 当片は新鮮である。 CL級の上位からCM 級。玄武岩質。	11/27 156.43 11/29 156.43 11/30 156.43				11/30



高知市 都市建設部 公共建築課				工事名 中山間地域活性化高川第2・第3住宅新築工事		No B1 - 03	
係	係長	課長補佐	課長	図面名 地盤調査結果		SCALE 1/200	
小	田	岡	松	CHECKED BY Matsumoto	DRAWN BY Matsumoto	一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史	



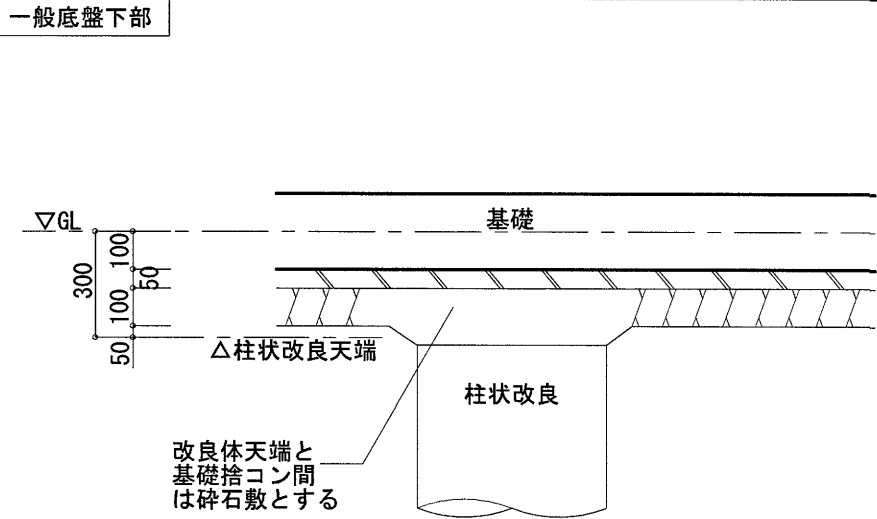
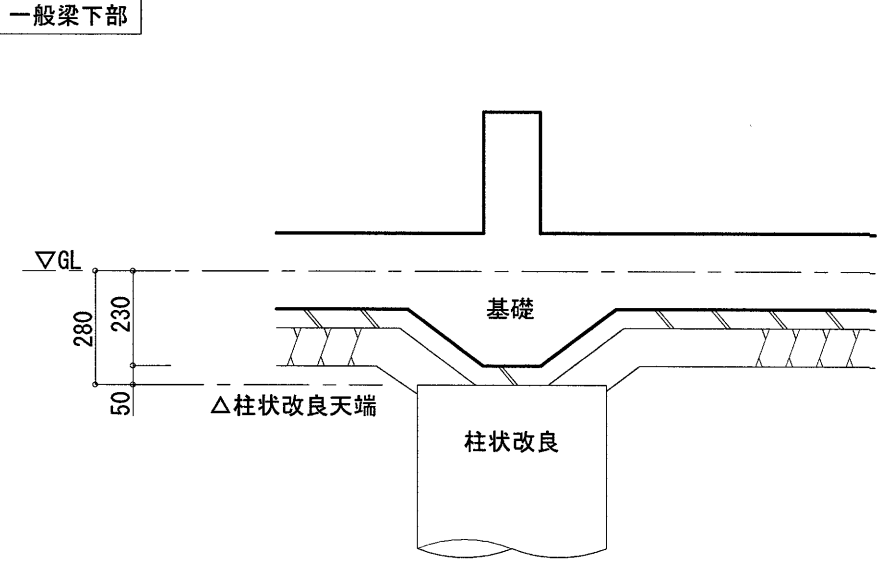
地盤改良杭伏図 S=1/50

- 《凡例》
- …改良体
 - 深 …深基礎部の改良体
 - 配 …配管取出口部分の改良体

特記事項（地盤改良仕様）

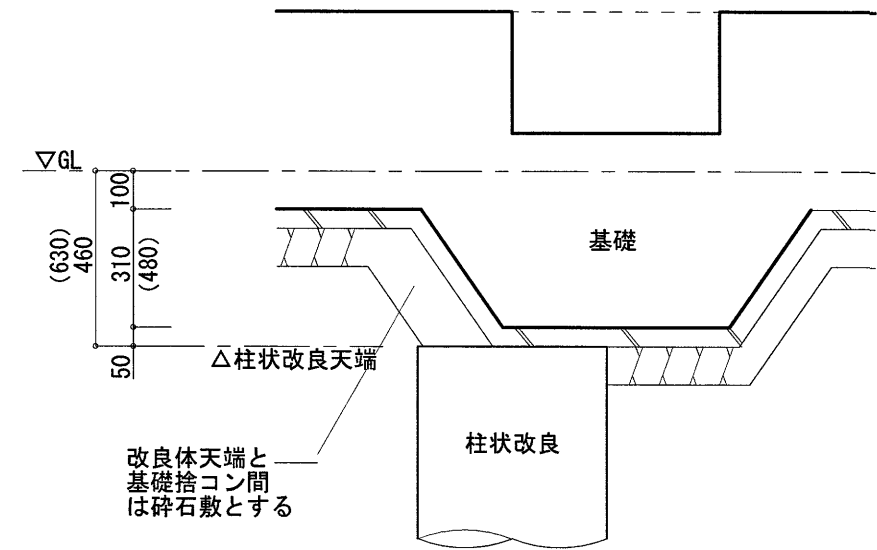
- 地盤改良による設計条件
 - 長期許容支持力度：20kN/m²以上
 - 基礎形状：べた基礎
 - 改良体先端深度：設計 GL-3.5mかつ換算 q a値が長期許容支持力以上となる層より深となる支持地盤まで到達する事。
 - 施工に先立ち、SWS試験（5カ所）を行い支持地盤について監督職員と協議すること。なおその試験費は本工事に含むものとする。
- 地盤改良の仕様概要
 - スラリー状のセメント系固化工材を地中に注入しながら柱状改良体を築造し、行う地盤改良工法とする。
 - 工法は、建築技術性能証明取得工法同等とする。
 - 改良体径：500mm
 - 改良体本数：44本
 - 設計基準強度：Fc=700kN/m²以上
- 固化工材配合量：施工時に現状土による室内配合試験を実施し、配合量を決定する。規準配合量 300kg/m³
- 施工条件：1本目の施工時に目標トルクを設定し、残りはトルク管理にて施工する。
施工コラム中で強度が最も発現し難いと想定される深度及びコラム頭部よりサンプルを各3本ずつ採取し、28日後一軸圧縮試験を行い、報告書を提出する。
- 六価クロム溶出試験：国土交通省 国官技第16号 国営建第1号（平成13年4月20日）「セメント及びセメント系固化工材を使用した改良土の六価クロム溶出試験要領（案）」による六価クロム溶出試験を実施し、試験結果を提出する。事前配合試験段階 1検体
- その他：設計及び施工は「改訂版建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」（日本建築センター）による。

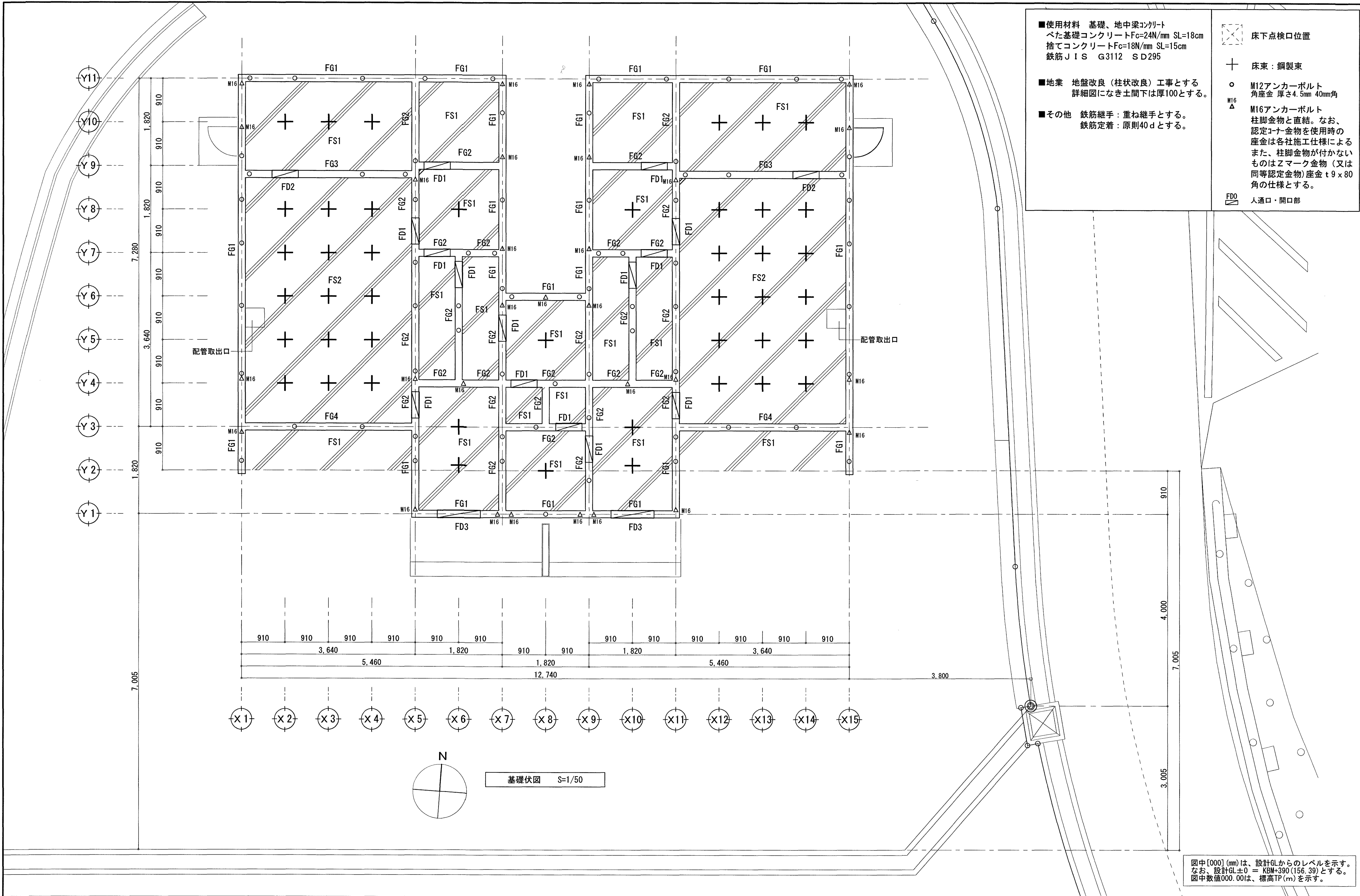
地盤改良部分詳細図 S=1：20



深基礎部
配管取出口部

表記寸法のうち、（ ）内数値は、配管取出口部分の寸法を示す



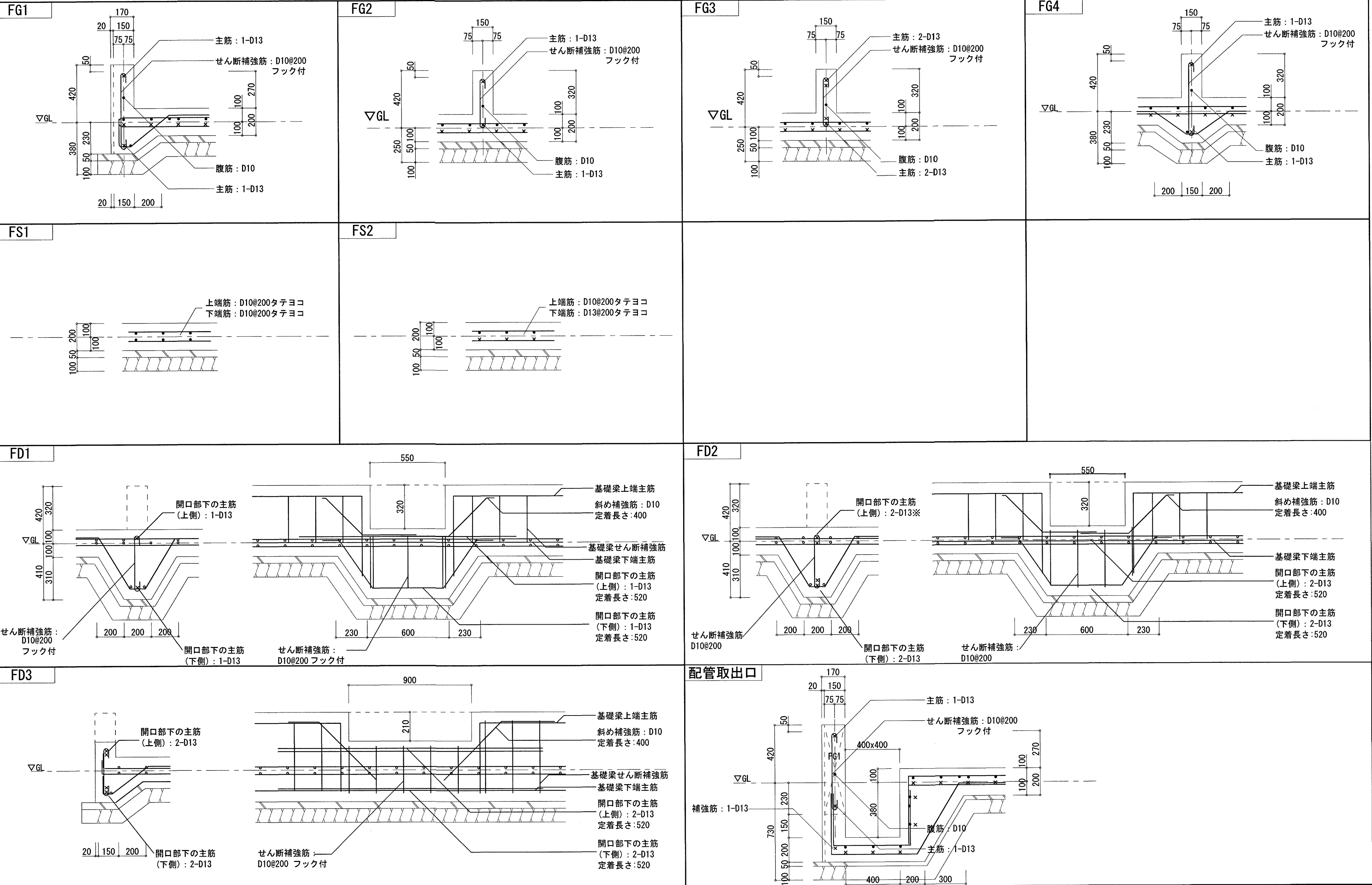


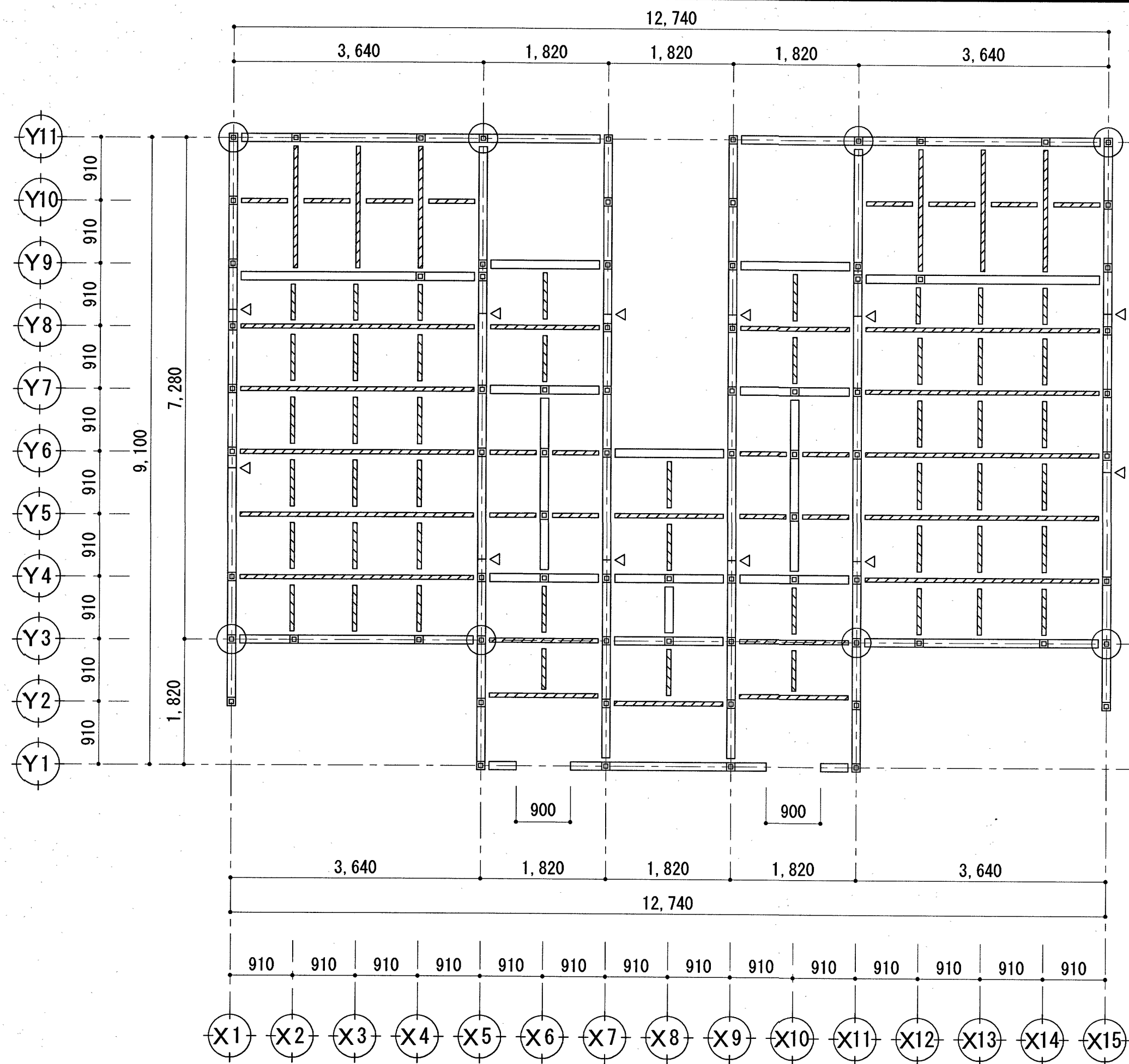
- 使用材料 基礎、地中梁コンクリート
べた基礎コンクリートFc=24N/mm SL=18cm
捨てコンクリートFc=18N/mm SL=15cm
鉄筋 J I S G3112 S D295
- 地業 地盤改良（柱状改良）工事とする
詳細図になき土間下は厚100とする。
- その他 鉄筋継手：重ね継手とする。
鉄筋定着：原則40dとする。

- 床下点検口位置
- ＋ 床束：銅製束
- M12アンカーボルト
角座金 厚さ4.5mm 40mm角
- M16
△ M16アンカーボルト
柱脚金物と直結。なお、
認定ユナ金物を使用時の
座金は各社施工仕様による
また、柱脚金物が付かない
ものはZマーク金物（又は
同等認定金物）座金 t 9 x 80
角の仕様とする。
- FDO 人通路・開口部

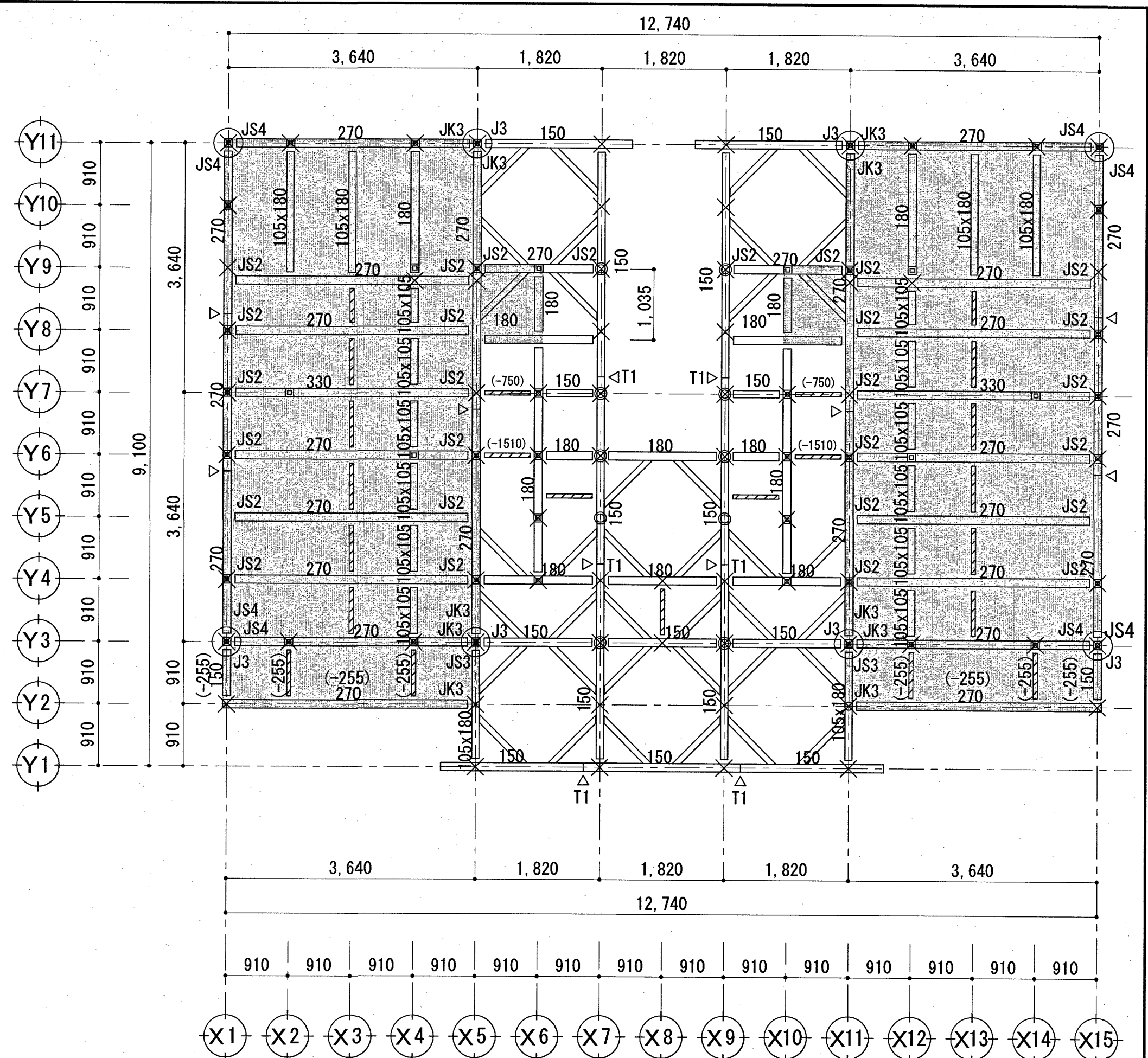
図中[0000] (mm) は、設計GLからのレベルを示す。
なお、設計GL±0 = KDM+390 (156.39) とする。
図中数値000.00は、標高TP (m) を示す。

基礎詳細図 S=1:20





1階床伏図 S=1/60



2階床1階小屋梁伏図 S=1/60

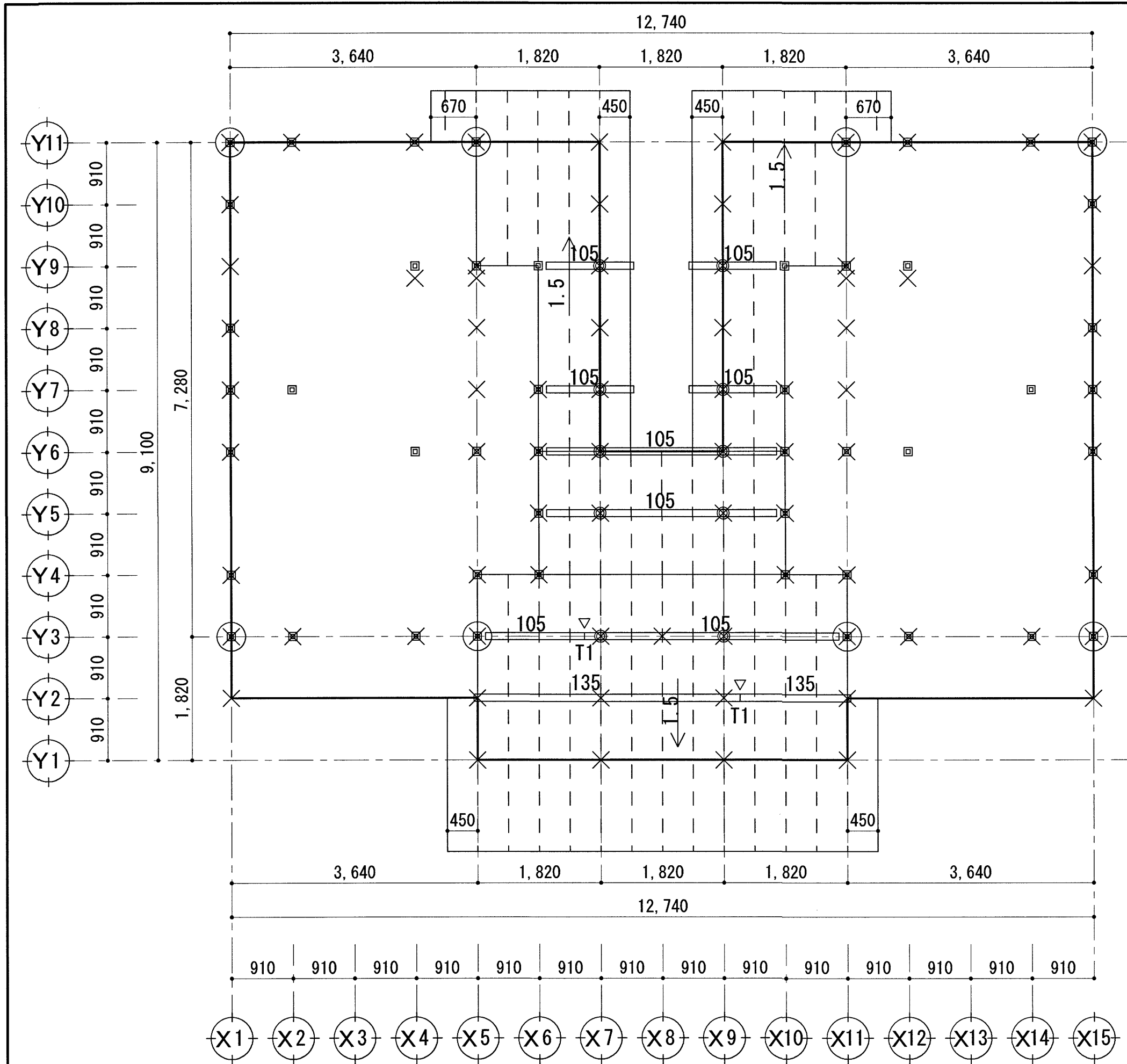
1階床伏図 凡例

- 土台: 120×120 (桧 機械等級材 E50)
- 継手
- 通し柱 (1~2階): (120×120 杉 機械等級材 E50)
- 柱: 120×120 (杉 機械等級材 E50)
- 大引: 105×105 (桧 無等級材)
- 全域 剛床 根太レス工法: 構造用合板 t28 (浴室以外)

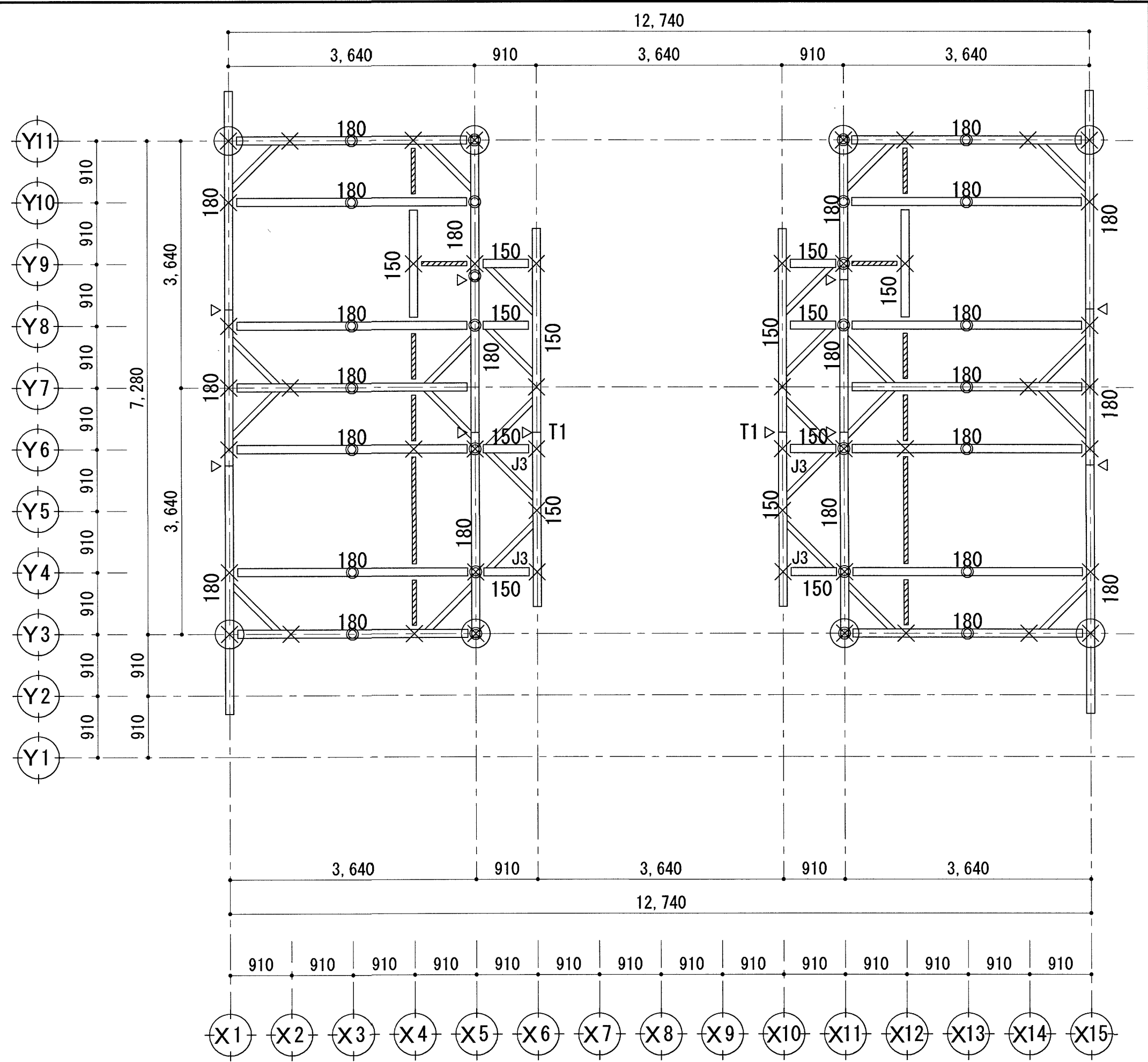
2階床1階小屋梁伏図 凡例

分類	記号	仕様
構架材 接合部	TG2	腰掛け蟻+短ざく金物×2
	JS2	大入れ蟻掛け+羽子板ボルト×2
	JS3	(通し柱)大入れほぞ差し+羽子板ボルト (梁せい180以上)
	JS4	(通し柱)大入れほぞ差し+羽子板ボルト+スクリーナ釘1本
	JK3	Zマーク梁受け金物BH255
	J3	(通し柱)大入れほぞ差し+羽子板ボルト (梁せい150以下)
	J1	大入れ蟻掛け+羽子板ボルト
	T1	腰掛け蟻+短ざく金物
※接合部記号表記の無い仕口の仕様はJ1、継手の仕様はTG2		

- (-200) 梁・桁 (寸法 寸法は幅120のものについては梁せいのみ表示) ※括弧付きの数値は地盤りを基準とした配置高さ (杉 機械等級材 E50)
- 甲乙梁 (105×105 杉 無等級材)
- 火打梁 (90×90 杉 機械等級材 E50)
- 管柱 (120×120 杉 機械等級材 E50)
- 小屋束 (105×105 杉 機械等級材 E50)
- 通し柱 (1~2階): (120×120 杉 機械等級材 E50)
- 下階柱
- 剛床 根太レス工法: 構造用合板 t28サネ付 N75川の字打t150以下
- 継手

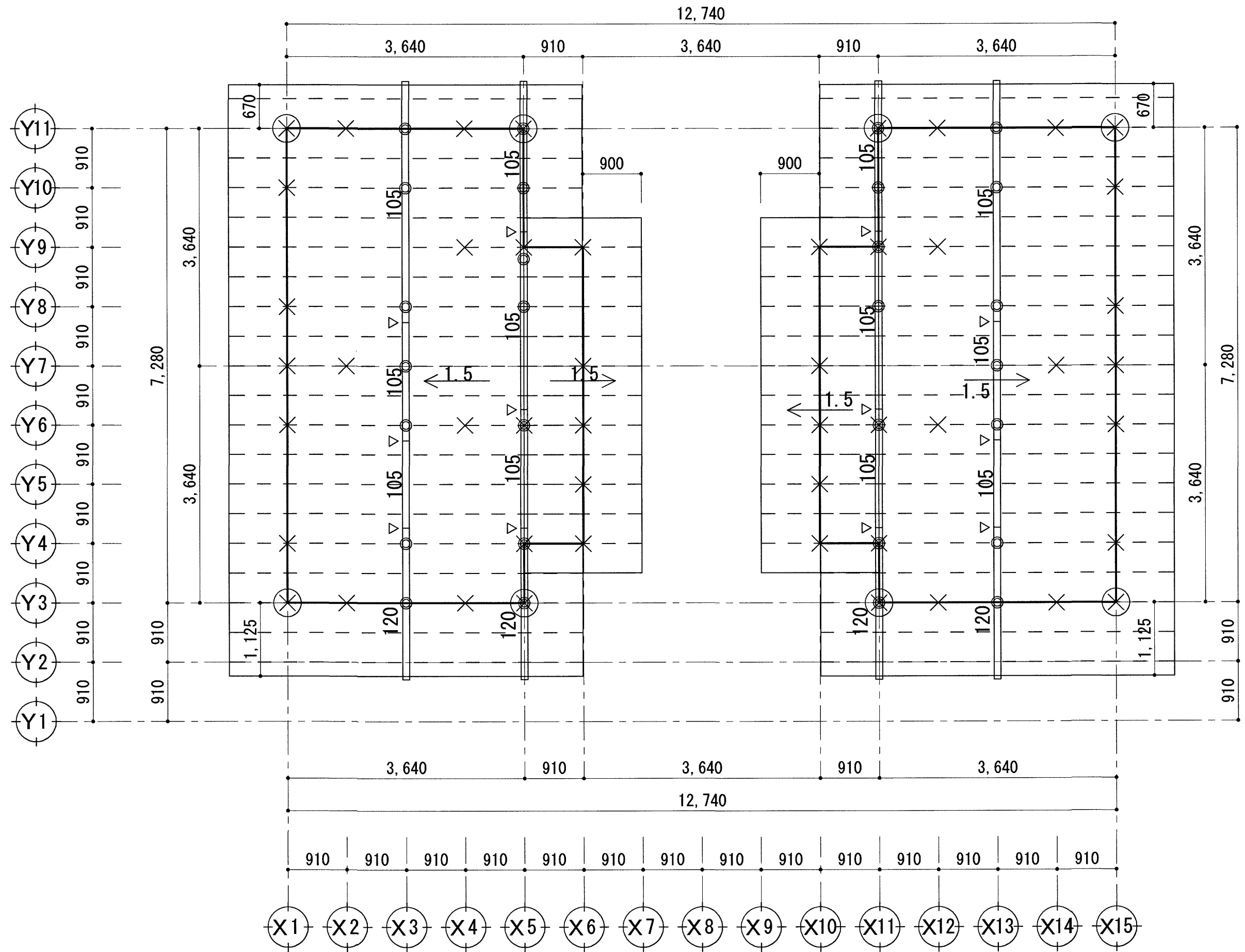


1階母屋伏図 S=1/60



2階小屋伏図 S=1/60

分類	記号	仕様
横架材 接合部	TG2	腰掛け蟻+短ざく金物×2
	J1	大入れ蟻掛け+羽子板ボルト
	T1	腰掛け蟻+短ざく金物
	J3	(通し柱)大入れぼ差し+羽子板ボルト
※接合部記号表記の無い仕口の仕様はJ1、継手の仕様はTG1		
105 棟木/母屋/小屋梁(寸法 寸法は 母屋伏(幅105) 小屋伏(幅120)のものについては梁せいのみ表示)(杉 機械等級材 E50)		
— 甲乙梁(105×105 杉 無等級材)		
／ 火打梁(90×90 杉 機械等級材 E50)		
● 小屋束(105×105 杉 機械等級材 E50)		
≡≡ 垂木: 杉 105×45@455 (杉 目視等級材 甲種2級) 垂木止めは短期許容引張力1.56kN以上のもの(タルキックⅡTK5×165等)で 軒桁・棟木には2本/箇所、母屋には1本/箇所止めつけること。		
▽ 継手		
□ 上階柱		
× 下階柱		
○ 通し柱(1~2階)		



2階母屋伏図 S=1/60

分類	記号	仕様
横架材 接合部	J1	大入れ蟻掛け+羽子板ボルト
	T1	腰掛け蟻+短ざく金物
※接合部記号表記の無い仕口の仕様はJ1、継手の仕様はT1		
105 棟木/母屋/小屋梁(寸法 寸法は 母屋伏(幅105) 小屋伏(幅120)のものについては梁せいのみ表示) (杉 機械等級材 E50)		
火打梁 (90×90 杉 機械等級材 E50)		
小屋束 (105×105 杉 機械等級材 E50)		
垂木: 杉 105×45@455 (杉 目視等級材 甲種2級) 垂木止めは短期許容引張力1.56kN以上のもの(タルキックⅡTK5x165等)で 軒桁・棟木には2本/箇所、母屋には1本/箇所止めつけること。		
継手		
上階柱		
下階柱		
通し柱 (1~2階)		

筋かい・柱頭柱脚金物・筋かい金物仕様

分類	記号	仕様	短期許容引張耐力 (kN)	相当 Z 金物
樹種	筋交全て	杉 目視等級製材 甲種 2 級		
壁材種	S1	筋かい (45×90) シングル		
	S2	筋かい (45×90) ダブル		
柱頭柱脚接合部	C1	短ぼぞ差し	0.00	(い)
	C2	かすがい打ち	1.08	
	C4	L 字型のかど金物 釘CN65×10本	3.81	(ろ)
	C3	長ぼぞ差し込み栓打ち	3.38	
	C5	T 字型のかど金物 釘CN65×10本	5.07	(は)
	C6	山形プレート金物 釘CN90×8本	5.88	
	C7	羽子板ボルトφ12mm又は短ざく金物	7.50	(に)
	C8	羽子板ボルトφ12mm又は短ざく金物＋スクリーナ釘×1本	8.50	(ほ)
	C9	引き寄せ金物φ12mmのボルト×2本	10.00	(へ)
	C10	引き寄せ金物φ12mmのボルト×3本	15.00	(と)
	C11	引き寄せ金物φ12mmのボルト×4本	20.00	(ち)
	C12	引き寄せ金物φ12mmのボルト×5本	25.00	(ぬ)
筋かい接合部	SS6	筋かいプレート (BP-2) 同等認定金物等		

凡例

— 一般壁

— 開口部

— 耐力壁

▲ 筋かいダブル

柱頭

▲ 柱脚

筋かいシングル

S1 筋かい仕様

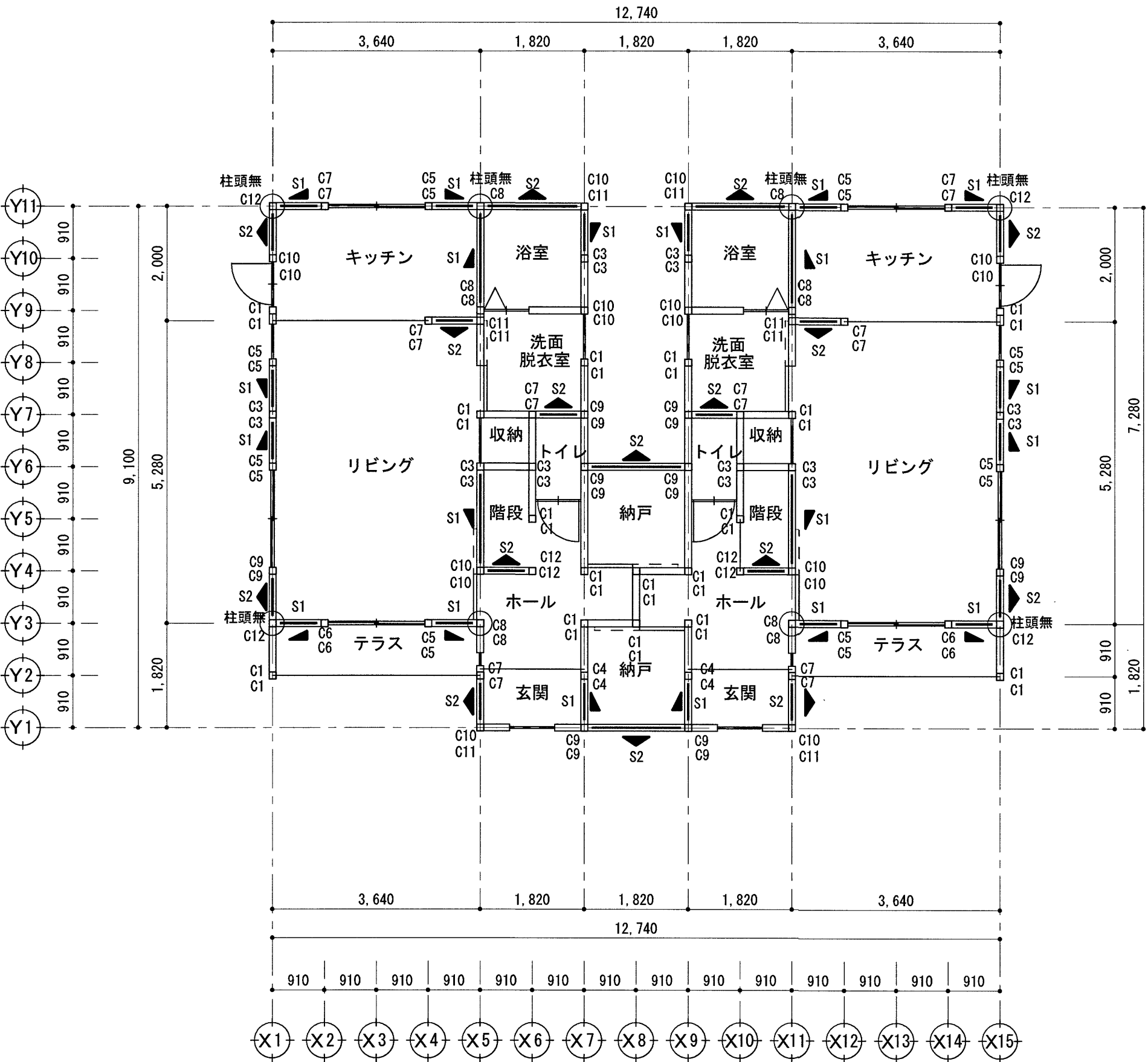
C1

C1

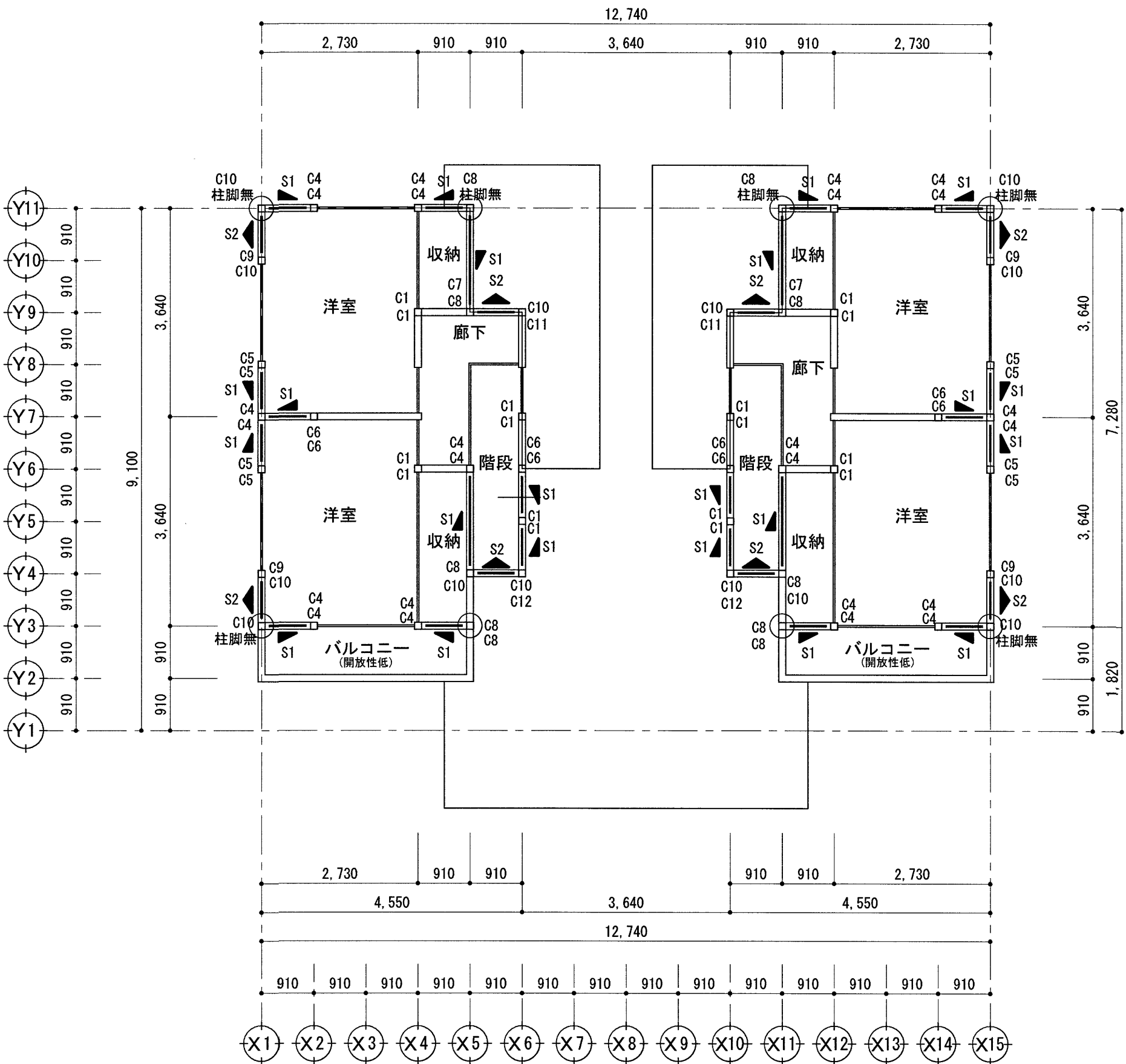
柱 (中は接合部仕様記号: 上が柱頭、下が柱脚)

C1

通し柱 (1~2階)



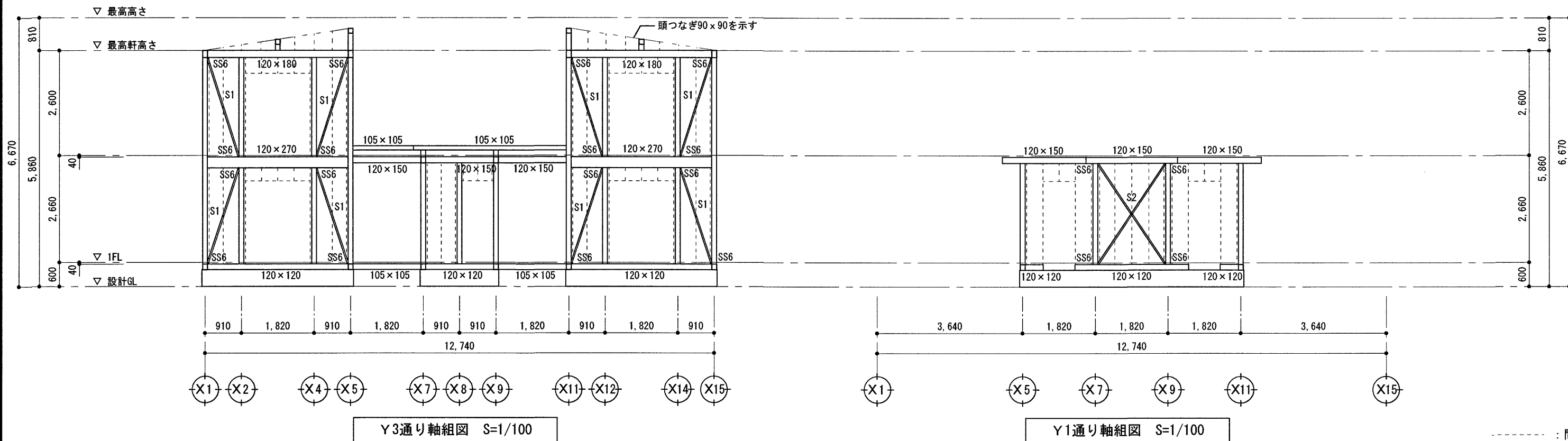
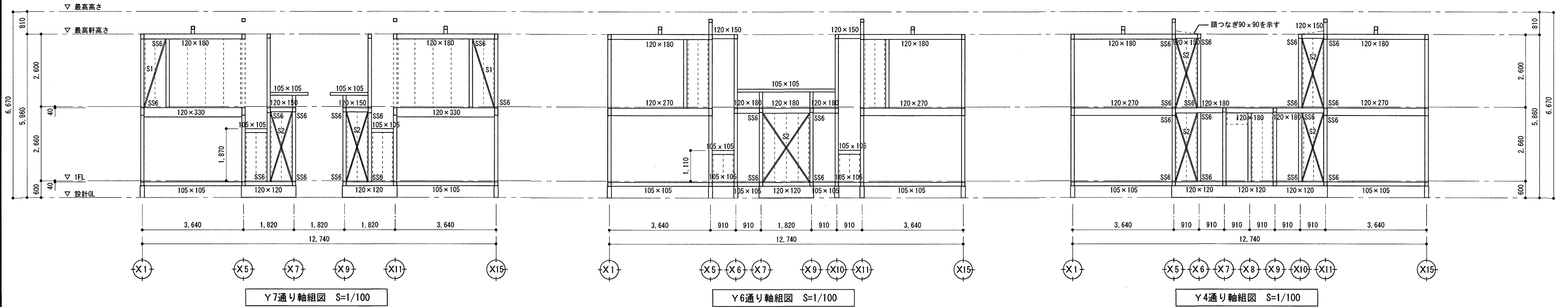
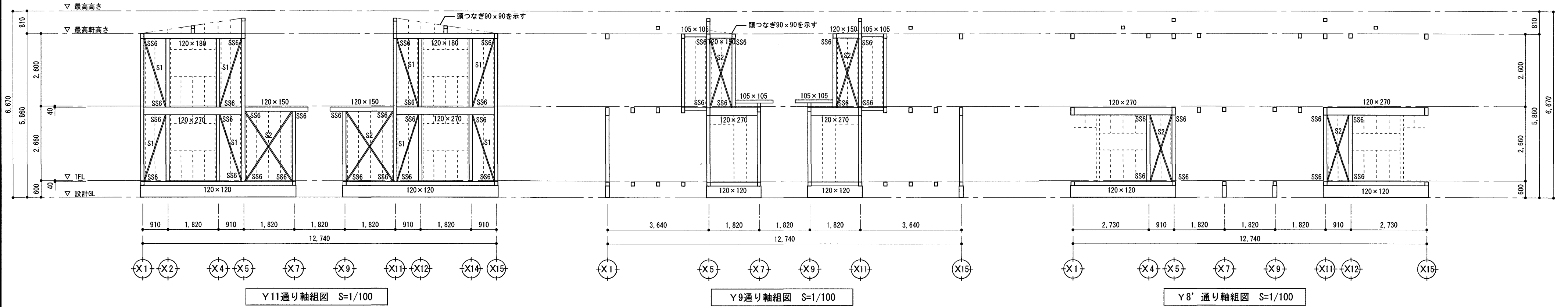
1 階耐力壁配置図 S=1/80



2 階耐力壁配置図 S=1/80

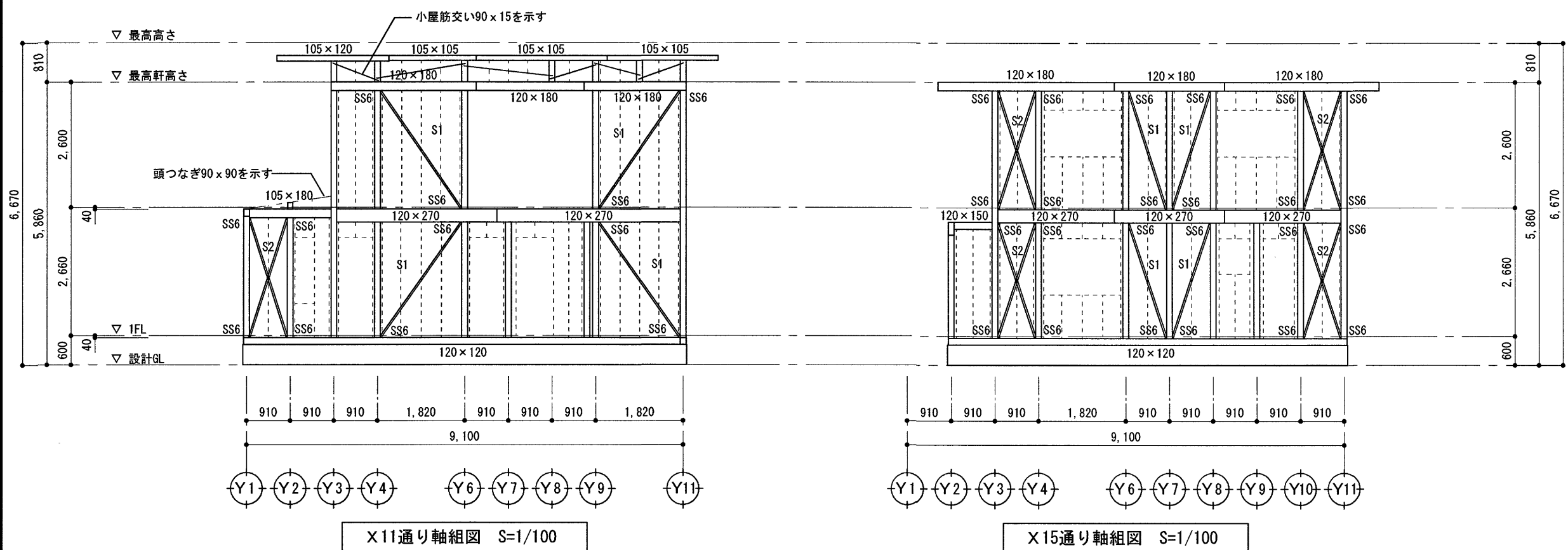
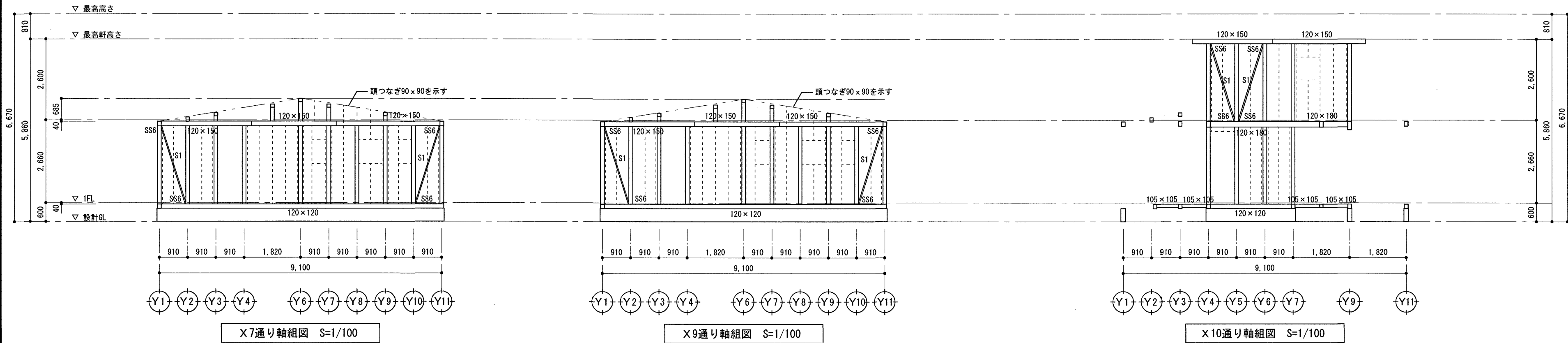
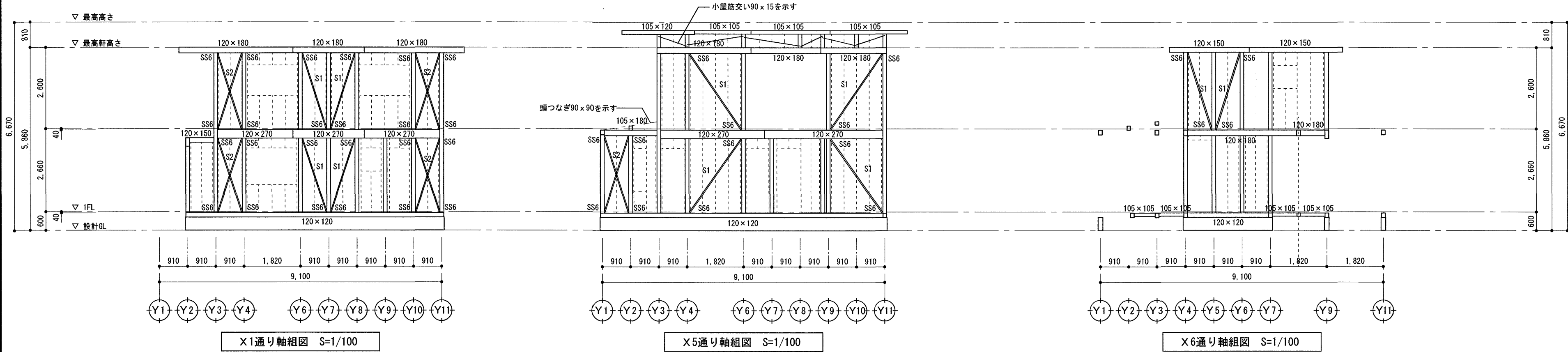
※通し柱の2階床梁取合い部について、欠損を考慮し、図示の柱頭柱脚金物を設置する箇所があること留意すること。

※通し柱の2階床梁取合い部について、欠損を考慮し、図示の柱頭柱脚金物を設置する箇所があること留意すること。				高知市 都市建設部 公共建築課				工事名 中山間地域活性化高川第2・第3住宅新築工事				松本琢史建築設計事務所 TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates		NO B2 - 07	
				係 係長 課長補佐 課長				図面名 第2住宅 耐力壁配置図						SCALE	
				   								一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史		1/80	
用紙サイズによる縮尺補正値 A2 : 100% A3 : 70.7%								CHECKED BY Matsumoto		DRAWN BY Matsumoto					



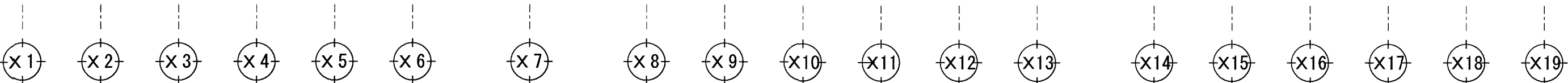
----- : 間柱・窓台等 45x90 (杉 無等級製材) を示す。

分類	部位又は記号	仕様
樹種	梁・桁・管柱 小屋束・母屋	杉 機械等級製材 E50
	土台	桧 機械等級製材 E50
	筋交	杉 目視等級製材 甲種2級
	頭つなぎ・甲乙梁 小屋筋交い	杉 無等級製材
	大引	桧 無等級製材
筋交	S1	筋かい(45×90)シングル
	S2	筋かい(45×90)ダブル
筋かい 接合部	SS6	筋かいプレート (BP-2) 同等認定金物等



----- : 間柱・窓台等 45x90(杉 無等級製材)を示す。

分類	部位又は記号	仕様
樹種	梁・桁・管柱	杉 機械等級製材 E50
	小屋束・母屋	杉 機械等級製材 E50
	土台	杉 機械等級製材 E50
	筋交	杉 目視等級製材 甲種2級
	頭つなぎ・甲乙梁	杉 無等級製材
	小屋筋交い	杉 無等級製材
筋交	S1	筋かい(45×90)シングル
	S2	筋かい(45×90)ダブル
筋かい 接合部	SS6	筋かいプレート(BP-2) 同等認定金物等



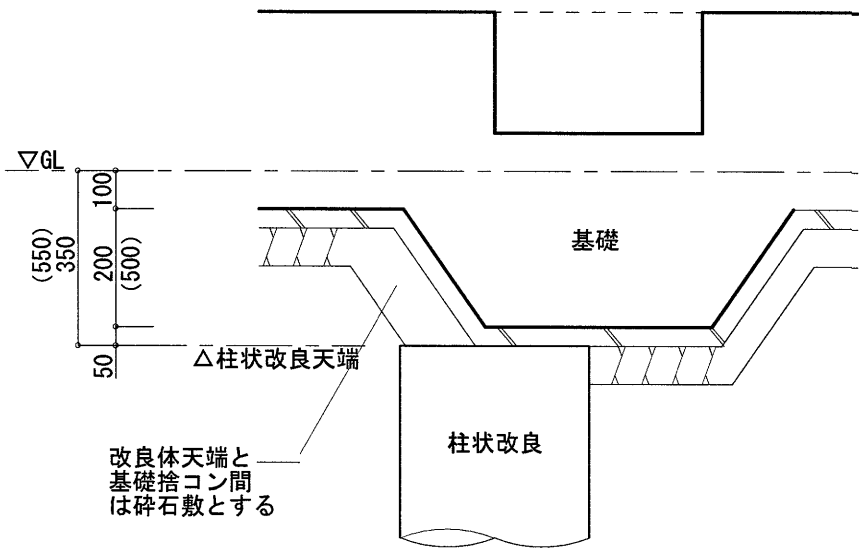
《凡例》

● …改良体

◎ …深基礎部の改良体

⊙ …配管取出口部分の改良体

1. 地盤改良による設計条件
 - ・長期許容支持力度：20kN/m²以上
 - ・基礎形状：べた基礎
 - ・改良体先端深度：設計 GL-3.5mかつ換算 q_a値が長期許容支持力以上となる層より以深となる支持地盤まで到達する事。
 - ・施工に先立ち、SNS試験（5カ所）を行い支持地盤について監督職員と協議すること。なおその試験費は本工事に含むものとする。
2. 地盤改良の仕様概要
 - ・スラリー状のセメント系固化工材を地中に注入しながら柱状改良体を築造し、行う地盤改良工法とする。
 - ・工法は、建築技術性能証明取得工法同等とする。
 - ・改良体径：500mm
 - ・改良体本数：55本
 - ・設計基準強度：F_c=700kN/m²以上
3. 固化工材配合量：施工時に現状土による室内配合試験を実施し、配合量を決定する。規準配合量 300kg/m³
4. 施工条件：1 本目の施工時に目標トルクを設定し、残りはトルク管理にて施工する。
施工コラム中で強度が最も発現し難いと想定される深度及びコラム頭部よりサンプルを各3本ずつ採取し、28日後一軸圧縮試験を行い、報告書を提出する。
5. 六価クロム溶出試験：国土交通省 国官技第16号 国営建第1号（平成13年4月20日）「セメント及びセメント系固化工材を使用した改良土の六価クロム溶出試験要領（案）」による六価クロム溶出試験を実施し、試験結果を提出する。事前配合試験段階 1 検体
6. その他：設計及び施工は「改訂版建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」（日本建築センター）による。



				高知市 都市建設部 公共建築課				工事名 中山間地域活性化高川第2・第3住宅新築工事				松本琢史建築設計事務所 TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates		NO B3 - 01	
				係	係長	課長補佐	課長	図面名 第3住宅 地盤改良杭伏図						SCALE	
								CHECKED BY Matsumoto				DRAWN BY Matsumoto		1/50	
用紙サイズによる縮尺補正値 A2: 100% A3: 70.7%												一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史			

■使用材料 基礎、地中梁コンクリート
べた基礎コンクリートF_c=24N/mm SL=18cm
捨てコンクリートF_c=18N/mm SL=15cm
鉄筋 J I S G3112 S D295

■地業 地盤改良（柱状改良）工事とする
詳細図になき土間下は厚100とする。

■その他 鉄筋継手：重ね継手とする。
鉄筋定着：原則40dとする。

床下点検口位置

床束：鋼製束

M12アンカーボルト
角座金 厚さ4.5mm 40mm角

M16アンカーボルト
柱柱脚金物と直結。なお、
認定コーナー金物を使用時の
座金は各社施工仕様による
また、柱脚金物が付かない
ものはZマーク金物（又は
同等認定金物）座金 t 9 x 80
角の仕様とする。

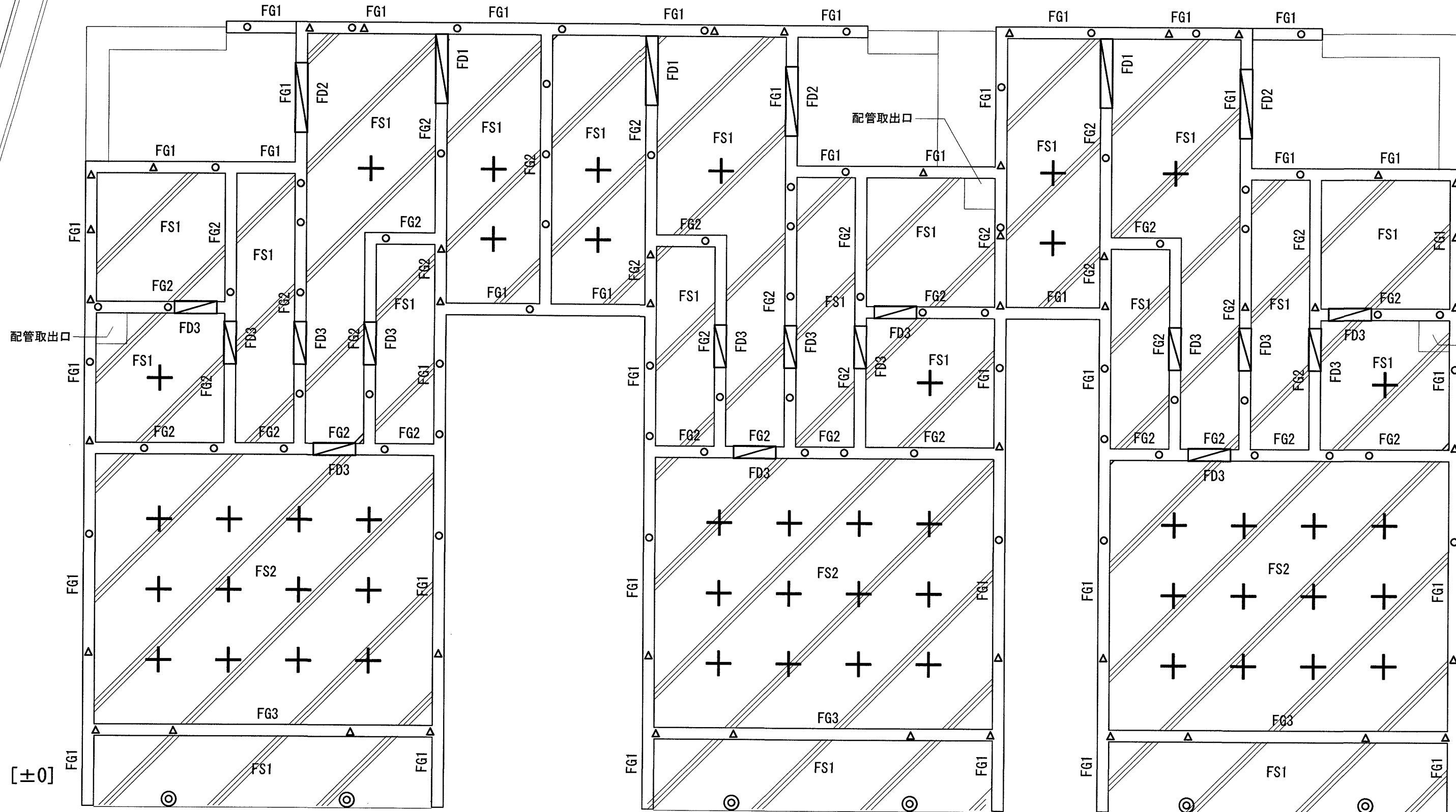
SUS装飾柱脚金物用
2-M12アンカーボルト
埋込深さ125mm以上

人通口・開口部

基礎伏図 S=1/50

[-130]

156.26



[±0]

[±0]

156.24

[-150]

154.24

[-2150]

図中[000] (mm) は、設計GLからのレベルを示す。
なお、設計GL±0 = KBM+390 (156.39) とする。
図中数値000.00は、標高TP (m) を示す。

高知市 都市建設部 公共建築課

係 係長 課長補佐 課長

工事名 中山間地域活性化高知第2・第3住宅新築工事

図面名 第3住宅 基礎伏図

CHECKED BY Matsumoto

DRAWN BY Matsumoto

松本琢史建築設計事務所
TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates

一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史

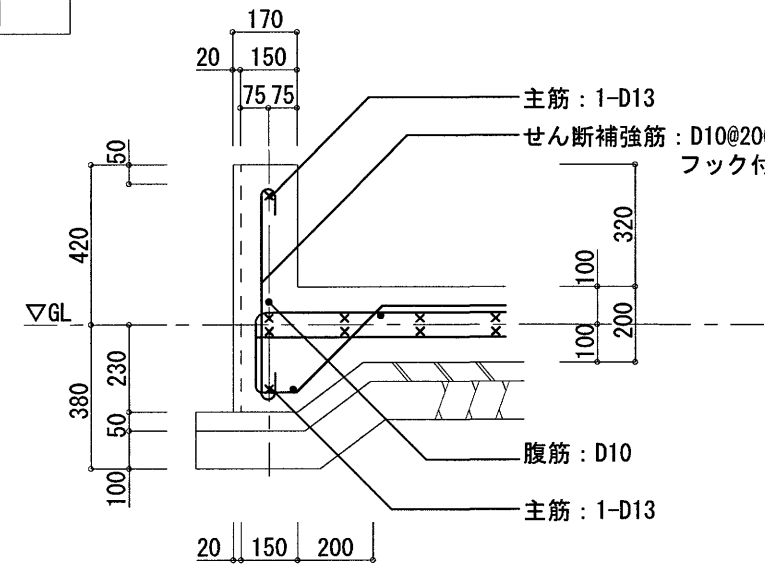
NO
B3 - 02

SCALE
1/50

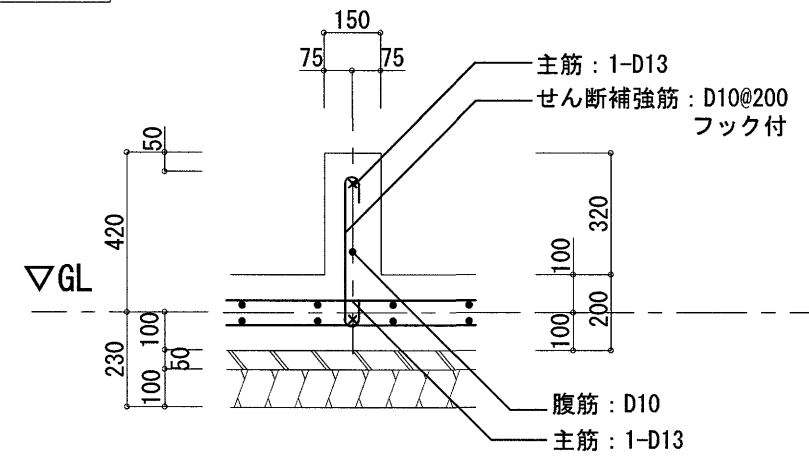
用紙サイズによる縮尺補正値 A2: 100% A3: 70.7%

基礎詳細図 S=1 : 20

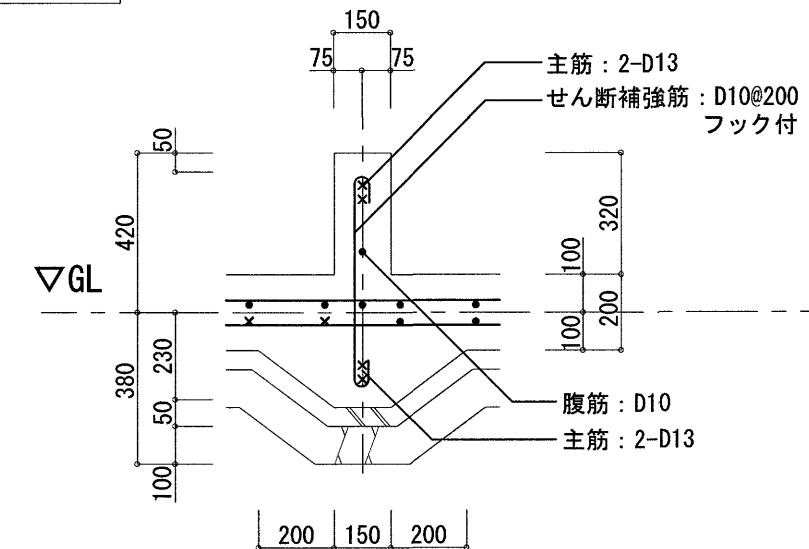
FG1



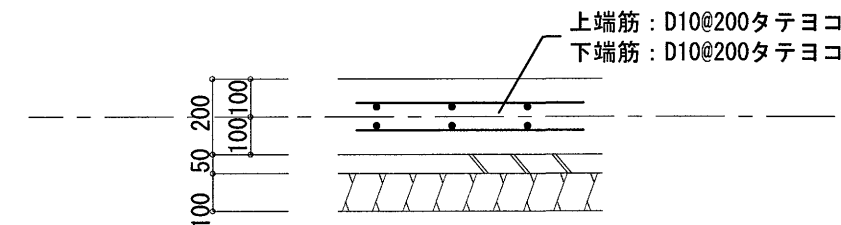
FG2



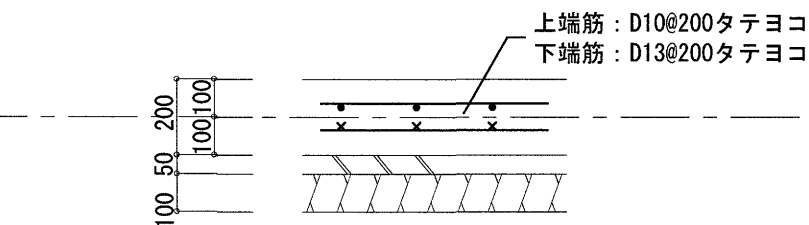
FG3



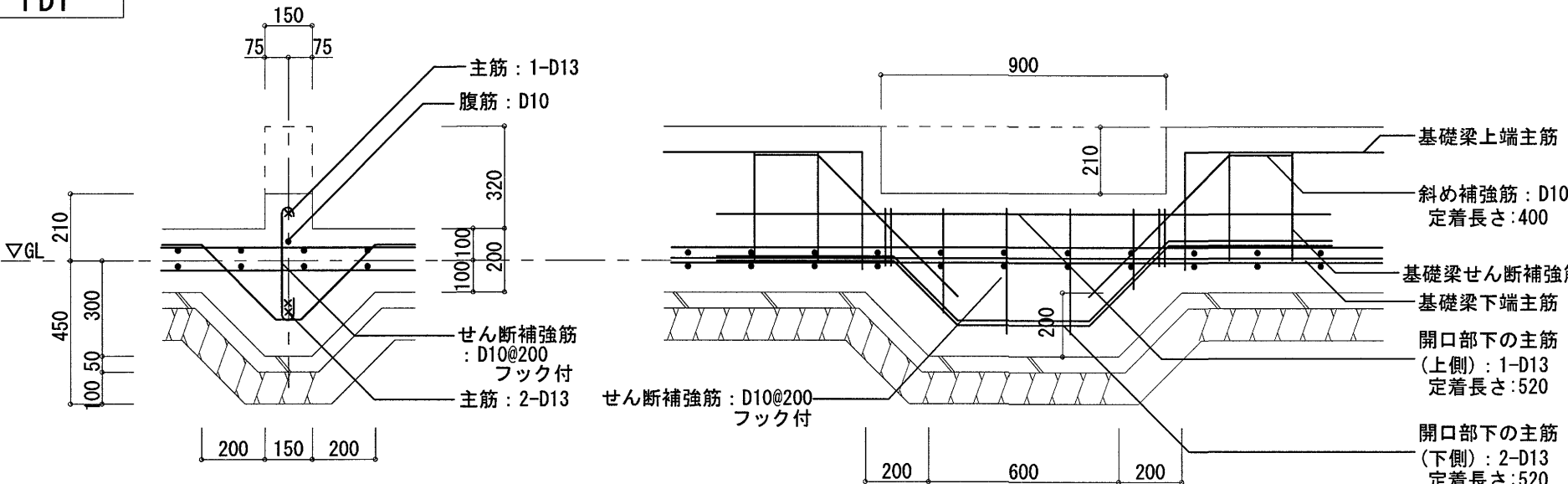
FS1



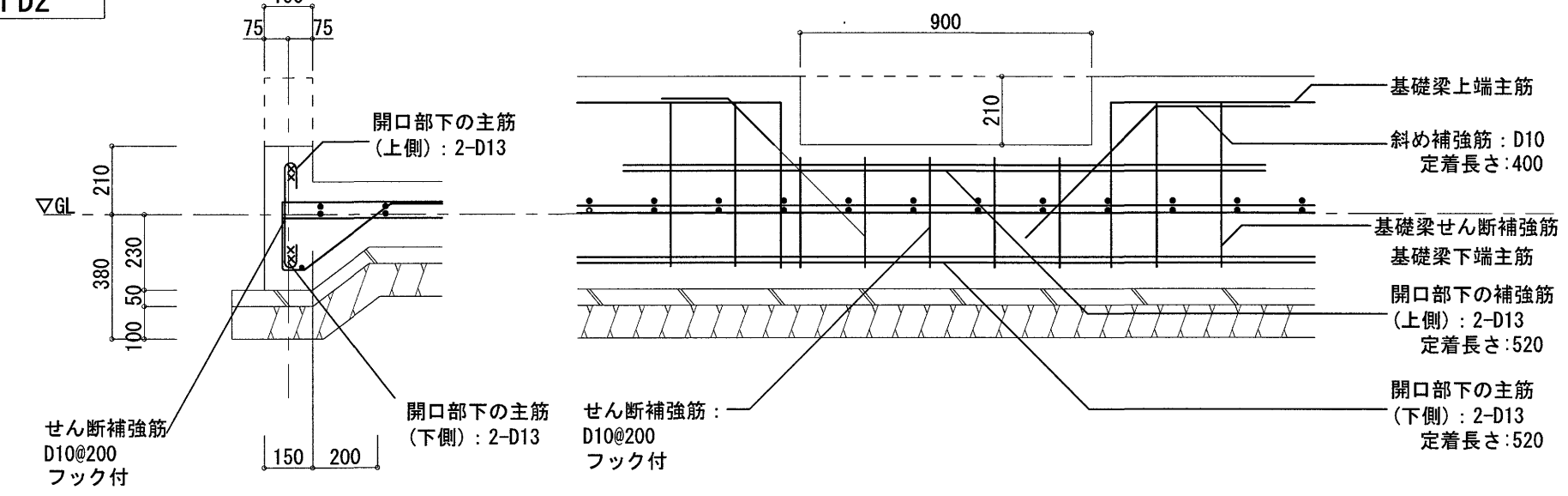
FS2



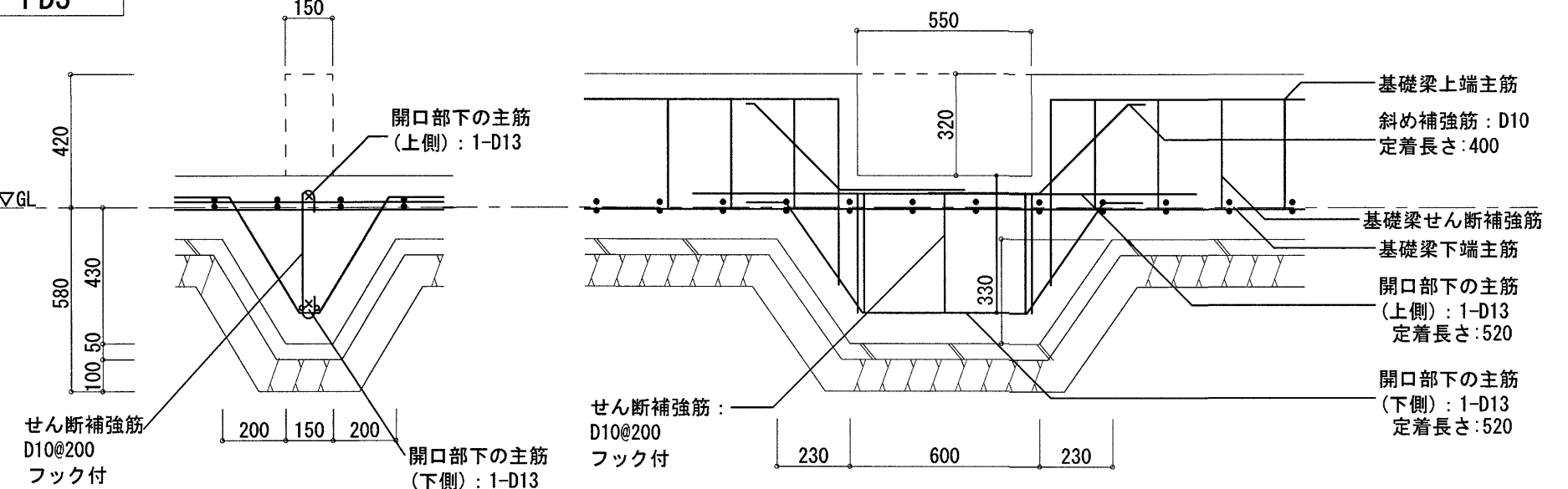
FD1



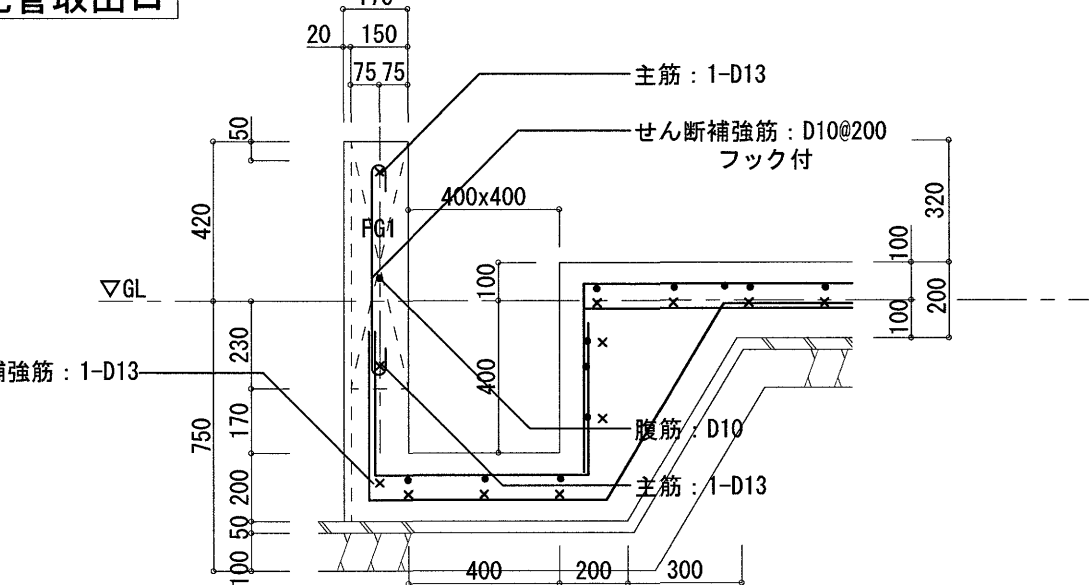
FD2

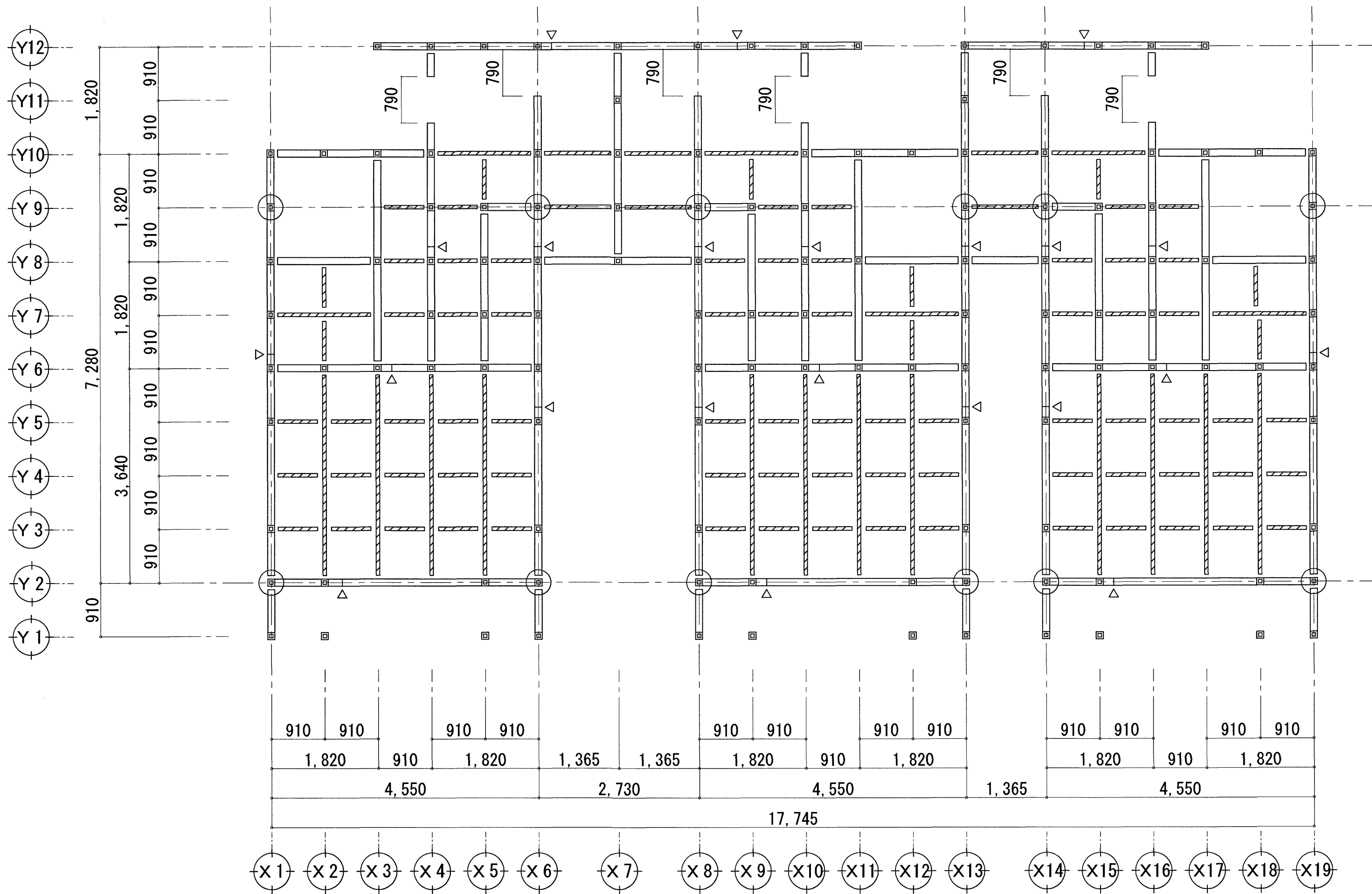


FD3



配管取出口

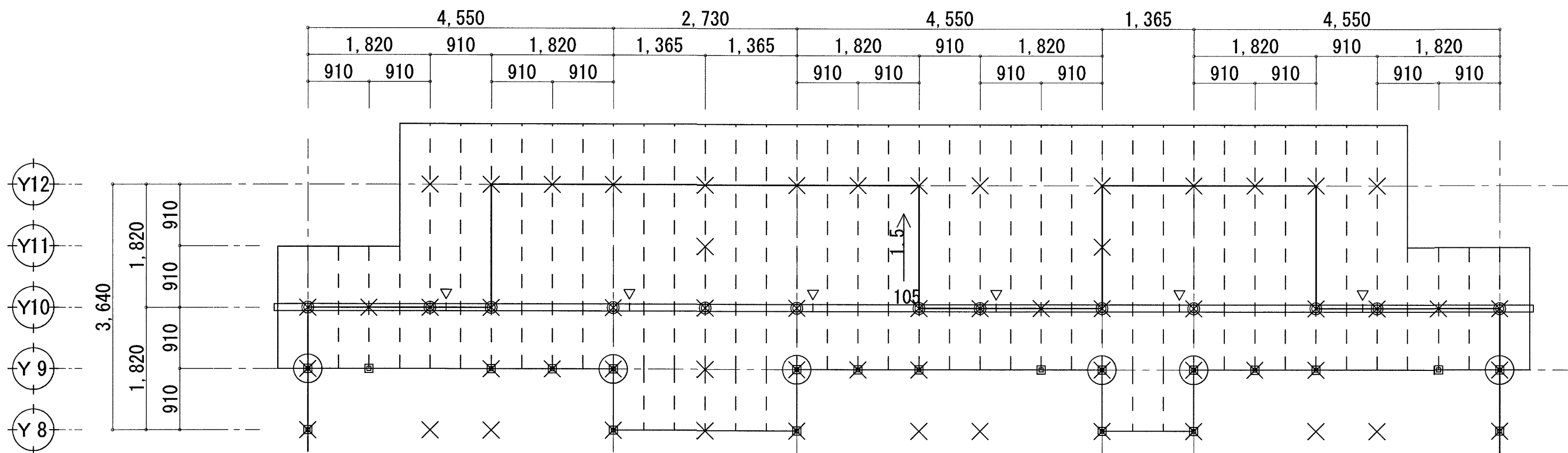




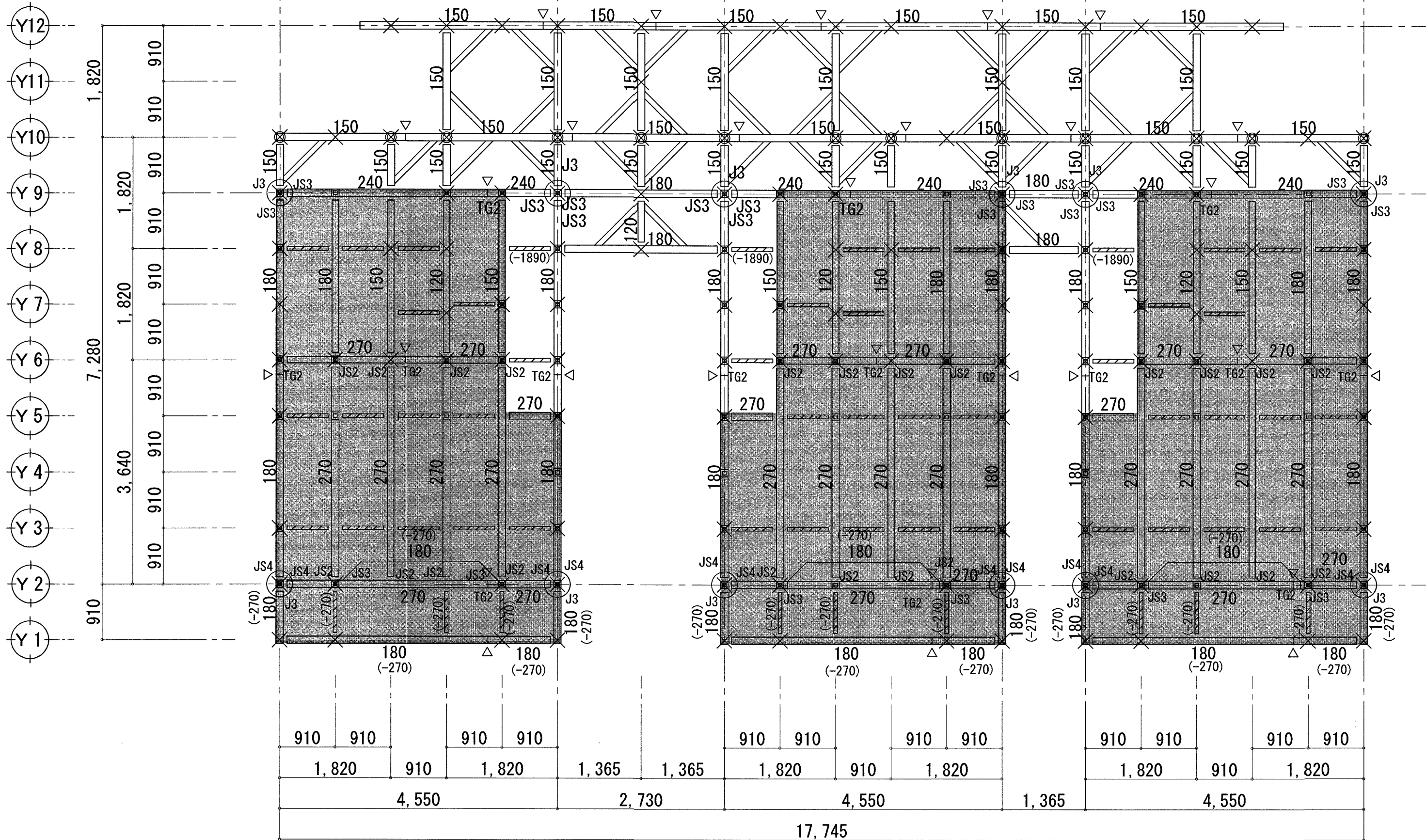
1 階床伏図 S=1/60

1 階床伏図 凡例

- 土台 : 120 x 120 (桧 機械等級材 E50)
- 継手
- 柱 : 120 x 120 (杉 機械等級材 E50)
- 通し柱 : 120 x 120 (杉 機械等級材 E50)
- 大引 : 105 x 105 (桧 無等級材)
- 全域 剛床 根太レス工法 : 構造用合板 t 28 (浴室以外)



1階母屋伏図 S=1/60



2階床梁伏図 S=1/60

1階母屋伏図 凡例

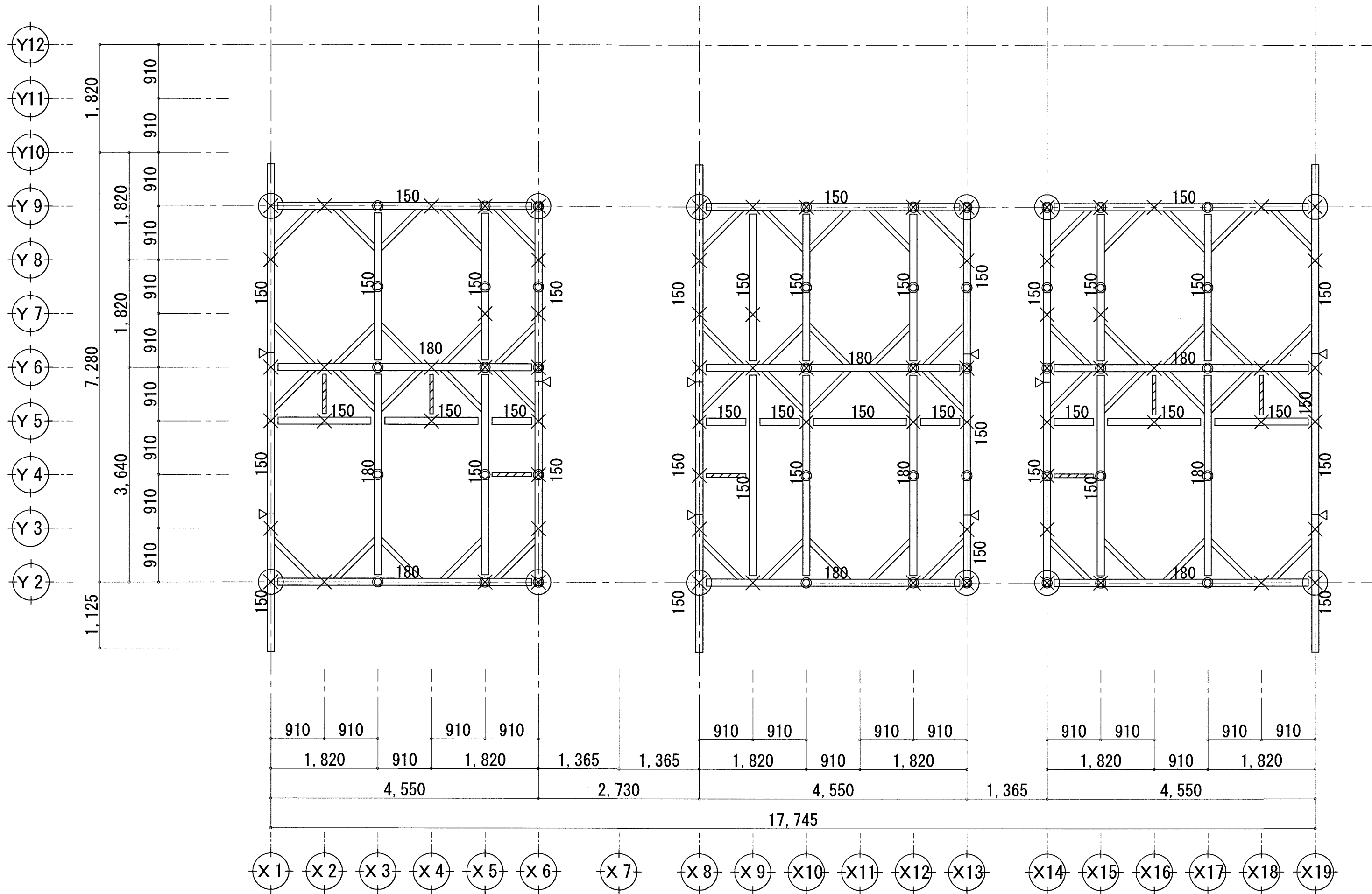
- 棟木/母屋：幅105 梁せい図示（杉 機械等級材 E50）
- 継手
- 火打梁：90×90（杉 機械等級材 E50）
- 小屋束：105×105（杉 機械等級材 E50）
- 下階柱
- 垂木：杉 105×45@455（杉 目視等級材 甲種2級）
垂木止めは短期許容引張力1.56kN以上のもの（タルキックⅡTK5x165等）で
軒桁・棟木には2本/箇所、母屋には1本/箇所止めつけること。
- 横架材接合部 ※図中 接合部記号表記の無い継手の仕様はT1
- T1 腰掛け蟻+短ざく金物

2階床梁伏図 凡例

- 梁析：梁幅120 梁せい図示（杉 機械等級材 E50）
(000)は基準梁天端からの高さを示す。
- 2段梁部分を示す。（ ）内は下段梁の基準梁天端からの高さを示す
- 甲乙梁：105×105（杉 無等級材）
- 火打梁：90×90（杉 機械等級材 E50）
- 継手
- 柱：120×120（杉 機械等級材 E50）
- 通し柱：120×120（杉 機械等級材 E50）
- 下階柱
- 小屋束：105×105（杉 機械等級材 E50）
- 剛床 根太レス工法：構造用合板 t28サネ付 N75川の字打@150以下

横架材接合部 ※図中 接合部記号表記の無い仕口の仕様はJ1、継手の仕様はT1

TG2	腰掛け蟻+短ざく金物×2
JS2	大入れ蟻掛け+羽子板ボルト×2
JS3	(通し柱)大入れほぞ差し+羽子板ボルト (梁せい180以上)
JS4	(通し柱)大入れほぞ差し+羽子板ボルト+スクリュー釘1本
JK3	Zマーク梁受け金物BH255
J3	(通し柱)大入れほぞ差し+羽子板ボルト (梁せい150以下)
J1	大入れ蟻掛け+羽子板ボルト
T1	腰掛け蟻+短ざく金物

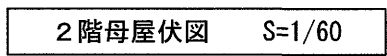


2階小屋梁伏図 S=1/60

- 000
(-000) 梁桁：梁幅120 梁せい図示（杉 機械等級材 E50）
(000)は基準梁天端からの高さを示す。
甲乙梁：105×105（杉 無等級材）
- 火打梁：90×90（杉 機械等級材 E50）
- 継手
- 柱：120×120（杉 機械等級材 E50）
- 通し柱：120×120（杉 機械等級材 E50）
- 下階柱
- 小屋束：105×105（杉 機械等級材 E50）

機架材接合部 ※図中 接合部記号表記の無い仕口の仕様はJ1、継手の仕様はT1

- T1 腰掛け蟻+短ざく金物
- J1 大入れ蟻掛け+羽子板ボルト



- 横架材接合部 ※図中 接合部記号表記の無い継手の仕様はT1
T1 腰掛け蟻+短ざく金物

筋かい・柱頭柱脚金物・筋かい金物仕様				
分類	記号	仕様	短期許容引張耐力 (kN)	相当Z金物
樹種	樹1	杉 目視等級製材 甲種2級		
	S1	筋かい(30×90)シングル		
	S2	筋かい(30×90)ダブル		
	S3	筋かい(45×90)シングル		
柱頭柱脚 接合部	C1	短ぼぞ差し	0.00	(い)
	C2	かすがい打ち	1.08	
	C4	L字型のかど金物 釘CN65×10本	3.81	(ろ)
	C3	長ぼぞ差し込み栓打ち	3.38	
	C5	T字型のかど金物 釘CN65×10本	5.07	(は)
	C6	山形プレート金物 釘CN90×8本	5.88	
	C7	羽子板ボルトφ12mm又は短ざく金物	7.50	(に)
	C8	羽子板ボルトφ12mm又は短ざく金物+スクリュー釘×1本	8.50	(ほ)
	C9	引き寄せ金物φ12mmのボルト×2本	10.00	(へ)
	C10	引き寄せ金物φ12mmのボルト×3本	15.00	(と)
	C11	引き寄せ金物φ12mmのボルト×4本	20.00	(ち)
筋かい 接合部	C1-2	ステンレス裝飾柱脚金物(直方体形・短期基準接合耐力10kN型)	0.00	(い)
	SS5	筋かいプレート(BP) 同等認定金物等 (S1、S2用)		
	SS6	筋かいプレート(BP-2) 同等認定金物等 (S3、S4用)		

凡例

— 耐力壁

▲ 筋かいダブル 柱頭 ▼ 柱脚 筋かいシングル

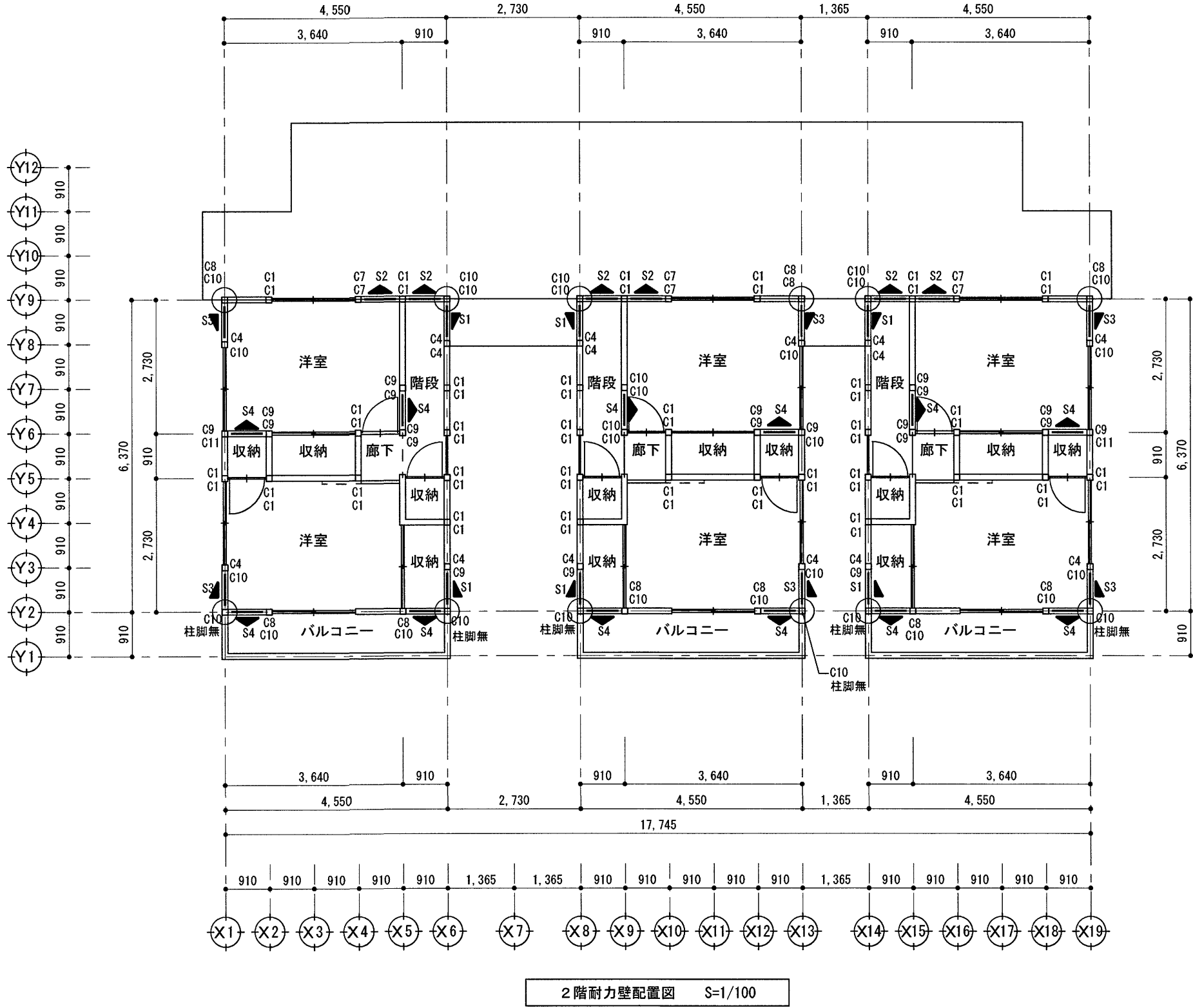
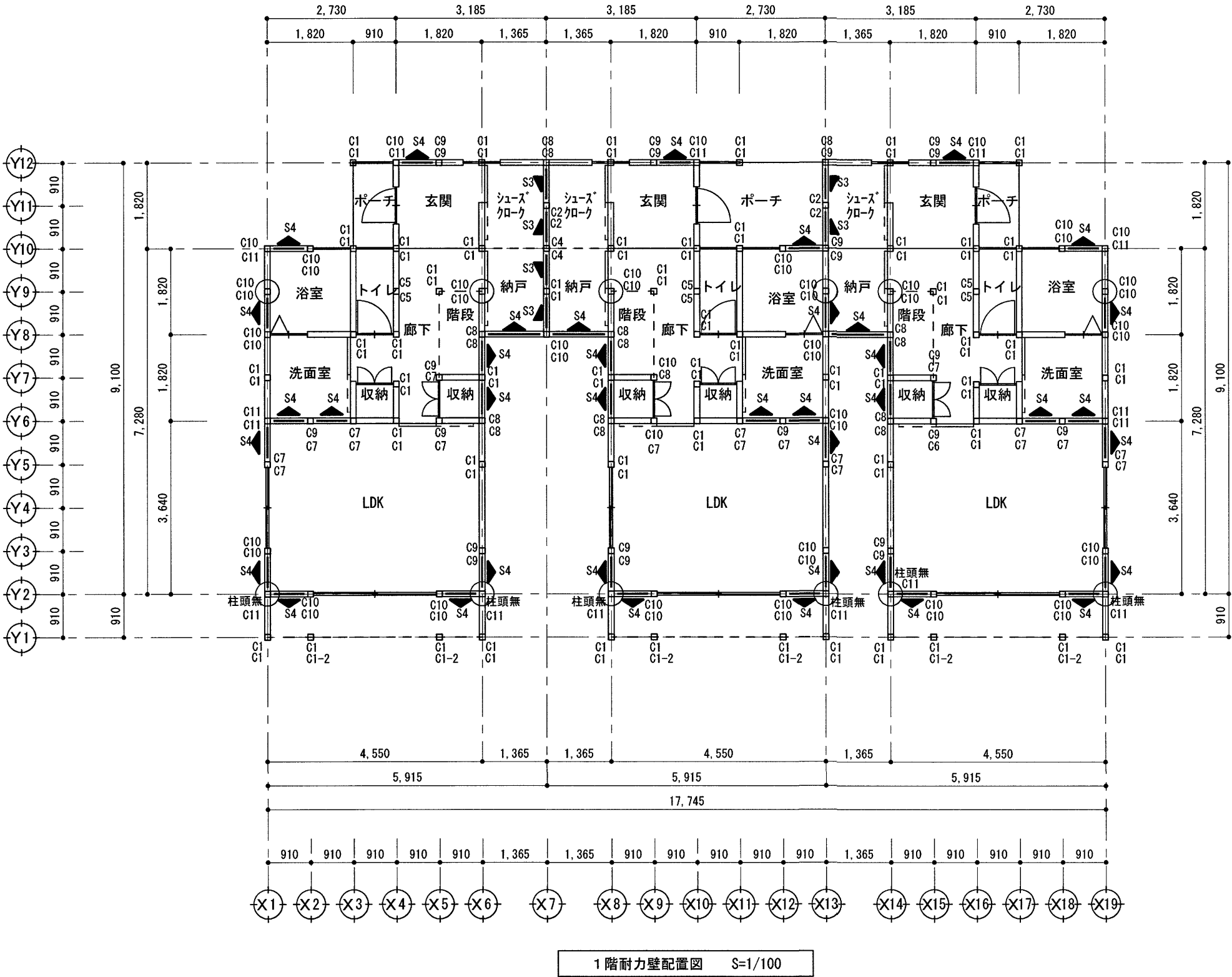
S1 筋かい仕様

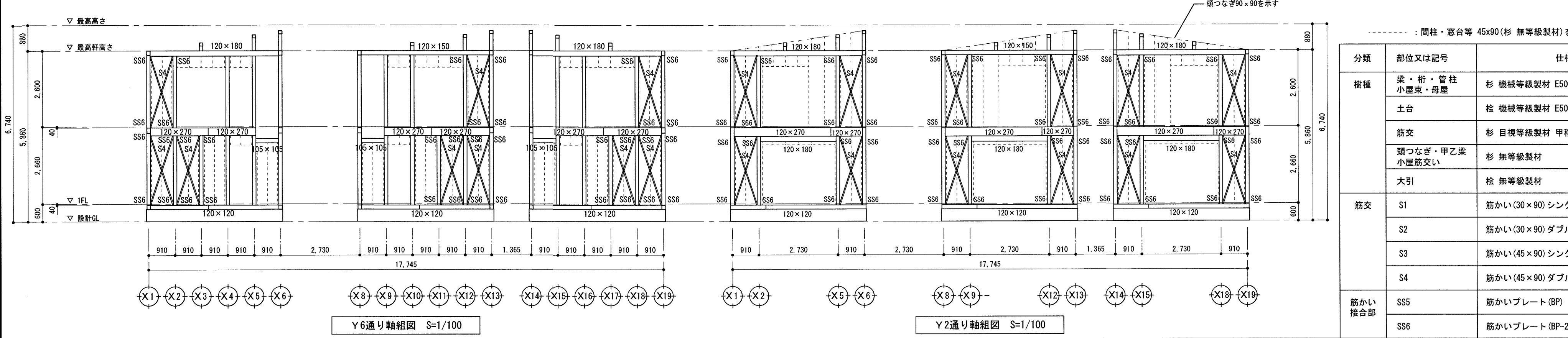
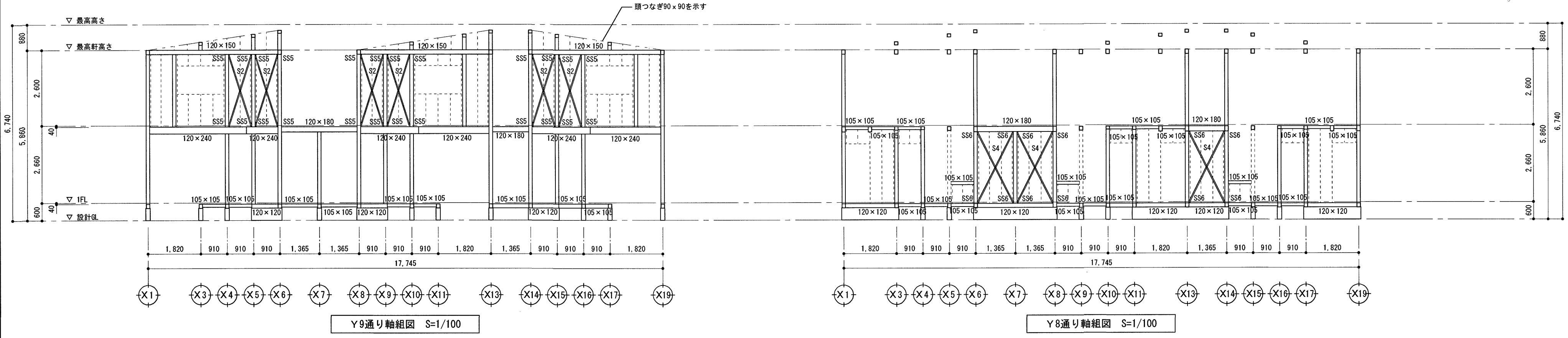
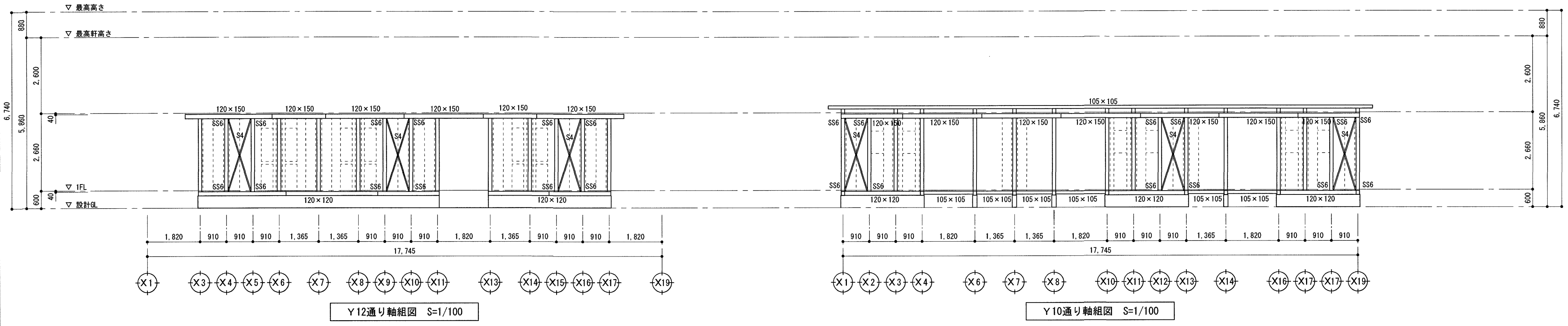
C1 柱 (中は接合部仕様記号：上が柱頭、下が柱脚)

C1

⑩11

 通し柱 (1～2階)





----- : 間柱・窓台等 45x90(杉 無等級製材)を示す。

分類	部位又は記号	仕様
樹種	梁・桁・管柱 小屋束・母屋	杉 機械等級製材 E50
	土台	桧 機械等級製材 E50
	筋交	杉 目視等級製材 甲種2級
	頭つなぎ・甲乙梁 小屋筋交い	杉 無等級製材
	大引	桧 無等級製材
筋交	S1	筋かい(30×90)シングル
	S2	筋かい(30×90)ダブル
	S3	筋かい(45×90)シングル
	S4	筋かい(45×90)ダブル
筋かい 接合部	SS5	筋かいプレート(BP) 同等認定金物等
	SS6	筋かいプレート(BP-2) 同等認定金物等

